

岡崎市の子ども・子育てに関する
アンケート調査報告書

令和6年（2024年）3月
岡 崎 市

目次

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査概要	1
3. 報告書の見方	2
4. 現在家庭類型・潜在家庭類型の考え方	3
5. 現在家庭類型・潜在家庭類型の算定	3
II. 調査結果の総括	4
1. 就学前児童・小学生児童調査	4
①子どもと家族の状況について.....	4
②子どもの育ちをめぐる環境について.....	4
③保護者の就労状況について.....	4
④平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	5
⑤地域の子育て支援事業の利用状況について.....	5
⑥土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について... 5	
⑦病気の際の対応について.....	5
⑧不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について.....	6
⑨放課後の過ごし方について.....	6
⑩育児休業など職場の両立支援制度について.....	6
⑪子育て全般について.....	7
2. 保育園・幼稚園・認定こども園職員調査	7
①回答者の状況について.....	7
②仕事や職場の環境について.....	8
③保護者などの状況.....	8
④ワーク・ライフ・バランス.....	8
3. 事業所調査	8
①事業所の退職・離職・再雇用の状況.....	8
②仕事や職場の環境について.....	9
③子育て支援	9
④ワーク・ライフ・バランスの推進.....	9

Ⅲ. 調査結果（就学前児童・小学生児童） 10

1. お住まいの地域についてうかがいます	10
2. お子さんご家族の状況についてうかがいます	11
3. 子どもの育ちを巡る環境についてうかがいます	15
4. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます	20
5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます	27
6. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます.....	36
7. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます ..	38
8. 子育てサービスの認知度についてうかがいます	41
9. お子さんの病気の際の対応についてうかがいます（平日の教育・保育を利用する方のみ）	45
10. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます....	48
11. 放課後の過ごし方（就学前児童の場合は5歳以上）について.....	54
12. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます... 67	
13. 子育て全般についてうかがいます	74
就学前児童の自由回答	82
小学生児童の自由回答	86

Ⅳ. 調査結果（保育園・幼稚園・認定こども園職員） 90

1. あなた自身についてうかがいます	90
2. 仕事や職場の環境についてうかがいます	92
3. 保護者などの状況についてうかがいます	109
保育園・幼稚園・認定こども園の自由回答	112

Ⅴ. 調査結果（事業所） 114

1. 貴事業所について	114
2. 貴事業所の退職・離職・再雇用の状況についてうかがいます.....	118
3. 仕事や職場の環境についてうかがいます	121
4. 子育て支援についてうかがいます	125
5. ワーク・ライフ・バランスの推進についてうかがいます.....	131
事業所の自由回答	136

IV. 調査票	137
1. 就学前児童用調査票	137
2. 小学生児童保護者	147
3. 保育園・幼稚園・認定こども園職員	154
4. 事業所	158

I. 調査概要

1. 調査目的

子どもと子育て家庭の目線に立ち、子どもの育ちを重視する本市の実情に即した更なる環境整備を図るため、岡崎市内の子どもや子育て家庭を取り巻く環境を把握するために実施した。

2. 調査概要

【調査地域】 岡崎市全域

【調査対象者】 岡崎市内在住の就学前のお子さんをお持ちの世帯・保護者（就学前児童保護者）

岡崎市内在住の小学生のお子さんをお持ちの世帯・保護者（小学生児童保護者）

岡崎市内の保育園・幼稚園・認定こども園の職員

岡崎市内の事業所

【抽出方法】 無作為抽出及び悉皆

【調査方法】 郵送配布、郵送又はインターネットによる回収

【調査期間】 令和5年11月1日（水）～令和5年11月20日（月）

調査票	配布数	回収数	回収率
就学前児童保護者	3,000 件	1,469 件	49.0%
小学生児童保護者	2,000 件	954 件	47.7%
保育園・幼稚園・ 認定こども園職員	1,048 件	746 件	71.2%
事業所	500 件	166 件	33.2%
合計	6,548 件	3,335 件	50.9%

3. 報告書の見方

- 図・表中の N とは、設問に対する回答の合計数である。
- 回答は N、回答者数を 100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- 図・表中の 0.0 は回答者が皆無のものである。
- 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- 図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。
- 回答者数が少ないものについては、グラフの掲載やコメントを控えている場合がある。
- クロス集計の結果は無回答の人を除いているため、回答者の総数と各設問の回答者数は一致しない場合がある。
- クロス集計は、1位（背景…黒、文字…白）、2位（背景…灰色、文字…白）、3位（背景…薄い灰色、文字…黒）に着色しているが全体の回答数が 10 人未満の場合は着色していない。
- 単純集計・クロス集計ともに、回答数 50 未満の場合は回答者些少のため参考値とする。
- 就学前児童保護者を「就学前児童」、小学生児童保護者を「小学生児童」と省略している。
- 就学前児童の結果については、「現在家庭類型」「潜在家庭類型」を調査結果より算定し、クロス集計を一部で行っている。

4. 現在家庭類型・潜在家庭類型の考え方

アンケート調査結果を活用し、対象となる子どもの父母の有無、就労状況等から「家庭類型」を求めた上で、家庭類型の種類をタイプAからタイプFの8種類に構成する。

「家庭類型」は、現況の『現在家庭類型』と、母親の就労希望を反映させた『潜在家庭類型』の2種類となる。

タイプA	ひとり親家庭
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パートタイム
タイプC'	フルタイム×パートタイム（就労時間短家庭）
タイプD	専業主婦（夫）
タイプE	パートタイム×パートタイム
タイプE'	パートタイム×パートタイム（就労時間短家庭）
タイプF	無業×無業

5. 現在家庭類型・潜在家庭類型の算定

「現在家庭類型」と「潜在家庭類型」を算定するにあたり、以下の設問を利用している。

父母の有無	問5、問6 ※問5で「3.その他」と回答→集計対象から除く ※問5で「1.母親」「2.父親」と回答、かつ問6で「2.配偶者はいない」と回答→「ひとり親家庭」
母親の就労状況	問13①、問13-1①
父親の就労状況	問13②、問13-1②
母親の就労意向	問14①（パートタイムからフルタイムへの意向） 問15(1)（無業から就労への意向）
子どもの年齢	問3

※上記対象設問のいずれかが無回答のサンプルは集計対象から除く（ひとり親家庭で問13①、②のいずれかが無回答であるものを除く）。

■家庭類型分類結果

上段：度数 下段：%		【潜在家庭類型】									
		合計	Aひとり親家庭	Bフルタイム×フルタイム	Cフルタイム×パートタイム	C'フルタイム×パートタイム（短）	D専業主婦（夫）	Eパート×パート	E'パート×パート（短）	F無業×無業	無回答
全体	1469 100.0	69 4.7	535 36.4	308 21.0	196 13.3	336 22.9	2 0.1	-	-	2 0.1	21 1.4
Aひとり親家庭	69 100.0	69 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Bフルタイム×フルタイム	486 100.0	-	486 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
Cフルタイム×パートタイム	326 100.0	-	32 9.8	282 86.5	-	12 3.7	-	-	-	-	-
C'フルタイム×パートタイム（短）	177 100.0	-	9 5.1	-	155 87.6	13 7.3	-	-	-	-	-
D専業主婦（夫）	386 100.0	-	8 2.1	26 6.7	41 10.6	311 80.6	-	-	-	-	-
Eパート×パート	2 100.0	-	-	-	-	-	2 100.0	-	-	-	-
E'パート×パート（短）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F無業×無業	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0	-
無回答	21 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21 100.0

Ⅱ. 調査結果の総括

1. 就学前児童・小学生児童調査

①子どもと家族の状況について

- ・世帯収入について、就学前児童は「500～700万円未満」が最も多く、小学生児童は「700～1,000万円未満」が最も多い。また、現在の家計状況について、就学前児童・小学生児童ともに「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が最も多く、次いで「黒字であり、毎月貯蓄している」となっている。

②子どもの育ちをめぐる環境について

- ・子育てを主に行っている人について、就学前児童・小学生児童ともに「主に母親」が5割を超えており、次いで「父母ともに」が4割強となっている。前回調査時と比べると、就学前児童・小学生児童ともに「主に母親」の割合が増加している。
- ・子どもをみてもらえる親族・知人の有無について、「緊急時又は用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が就学前児童で6割、小学生児童で5割半ばとなっており、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」は就学前児童、小学生児童ともに3割以下となっている。
- ・子育てで困ったことや悩んでいることについて、「子どもの育て方やしつけ方」が最も多く、前回調査と同様である。次いで「子どもの発達や発達状況」となっており、前回調査の「子どもの生活習慣（食事など）」と順位が入れ替わっている。
- ・子どもの発育や発達状況に関する相談窓口の利用について、6割超が「ない」と回答しており、その理由は「相談まではしなくても良いと思った」の割合が多い。

③保護者の就労状況について

- ・保護者の現在の就労状況について、父親は前回調査とほぼ同様の結果となっている。一方、母親は特に就学前児童において「フルタイムで働いている」の割合が高まり、「以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が減少した。
- ・就学前児童の現在家庭類型について、おおむね「Bフルタイム×フルタイム」が多く、次いで0歳・1歳は「D専業主婦（夫）」となっている。3歳以上になると「Bフルタイム×フルタイム」「Cフルタイム×パートタイム」のいずれかの割合が多くなる。
- ・小学生児童の家庭類型について、いずれの学齢においても「Cフルタイム×パートタイム」が最も多く、次いで「Bフルタイム×フルタイム」となっている。
- ・就労希望について、就学前児童の母親は前回調査時とほぼ同様の傾向となっている。小学生児童の母親は「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が減少し、「すぐにでも、又は1年以内に就労したい」が増加している。
- ・就労を希望する子どもの年齢について、「3歳」「7歳」が多いことから、就園や小学校就学のタイミングで就労を希望することがうかがえる。

④平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

- ・定期的な教育・保育の事業の利用状況について、「利用している」の割合が前回調査時から増加した。特に2歳以下の利用が増加しており、低年齢児の保育需要に対応することが求められている。また、利用したいと考える事業は「認可保育所」が最も多く、次いで「幼稚園」となっている。前回調査時では「幼稚園」が最も多く、次いで「認可保育所」となっており、順位が逆転した。
- ・就学前児童の現在家庭類型について、「Aひとり親家庭」「Bフルタイム×フルタイム」「Cフルタイム×パートタイム」は「認可保育所（県や市の認可を受けたもの）」が最も多く、「C'フルタイム×パートタイム（短）」「D専業主婦（夫）」は「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が最も多い。
- ・幼稚園、幼稚園の預かり保育で現状の利用時間は「6時間」が最も多いのに対し、希望は「8時間」が最も多い。また、利用終了時刻についても、現状は「15時台」であるのに対し、希望は幼稚園で「16時台」、幼稚園の預かり保育で「17時台」となっており、利用時間の延伸を望んでいる傾向にある。

⑤地域の子育て支援事業の利用状況について

- ・地域子育て支援拠点事業に利用状況について、傾向としては前回調査とほぼ同様となっているが、「地域子育て支援拠点事業を利用している」の割合が就学前児童・小学生児童ともに減少した。新型コロナウイルス感染症の影響や、定期的な教育・保育の事業の利用が高まっていることから、特に保育所の代替機能と位置付けられている地域子育て支援拠点事業の利用が減少したものと考えられる。

⑥土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

- ・土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育の利用希望について、前回調査時とほぼ同様の傾向となっている。また、日曜日・祝日の利用意向について、前回調査時は「日曜日・祝日」となっていたため経年変化の単純な比較はできないが、今回の調査によって、祝日の利用意向が比較的高い様子が明らかになった。特に、認定保育所利用者の祝日の利用希望は3割強である。
- ・幼稚園利用者の、長期休暇中の教育・保育事業の利用希望は4割程度となっており、「利用する必要はない」とする人よりも多い。

⑦病気の際の対応について

- ・子どもが病気やけがで教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処法について、就学前児童・小学生児童ともに「母親が休んだ」が7割強で、次いで就学前児童は前回調査時の「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」から「父親が休んだ」と順位が変わった。小学生児童においても「父親が休んだ」の割合が高まっている。
- ・病児・病後児のための保育施設に対する利用意向について、「利用したいとは思わない」とする割合は、就学前児童で5割強、小学生児童は8割強となっている。また、子育てと仕事の両立のために職場に望むことについて、「子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇が取れる制度」の割合が最も多いことなどから、施設などの利用をしないで自分

たちで子どもを看たいという希望が推察される。

- ・施設に希望する条件について、「自宅の近い場所に設置されていること」が9割超となっている。

⑧不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

- ・私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業について、就学前児童・小学生児童ともに「利用していない」が8割超となっている。前回調査時と比べ、幼稚園の預かり保育がやや減少し、保育所などの一時預かりがやや増加した。
- ・保護者の用事により、泊りがけで預ける必要性について、就学前児童・小学生児童ともに「利用する必要はない」が8割超となっている。利用目的について、就学前児童は「保護者や家族の育児疲れ・不安」、小学生児童は「保護者や家族の病気」が最も多い。

⑨放課後の過ごし方について

- ・小学生児童の放課後の過ごし方については、8割近くが「自宅」であり、「習い事」が5割となっている。「放課後児童クラブ」は1割半ば、「学区こどもの家」は1割程度である。
- ・小学生低学年の放課後の希望の過ごし方について、就学前児童・小学生児童ともに「自宅」が最も多く、次いで、就学前児童は「放課後児童クラブ」、小学生児童は「習い事」となっている。
- ・小学生高学年の放課後の希望の過ごし方について、就学前児童・小学生児童ともに「放課後児童クラブ」の割合が低くなり、「部活動」の割合が高くなっている。
- ・土曜日、祝日、長期休暇の放課後児童クラブ利用希望については、祝日利用希望は土曜日の利用希望よりも高く、長期休暇については、就学前児童の7割半ば、小学生児童の5割強が利用を希望している。
- ・放課後児童クラブを利用する理由については「安心して預けられるから」が8割強、「家で子どもだけにできないから」が8割弱となっている。
- ・子どもが家で1人又は兄弟で過ごすことに不安を感じることにについて、「感じる」が7割超となっており、低学年においては「1時間」、高学年においては「3時間」が最も多い。
- ・他の学区の放課後児童クラブの利用意向は、「近隣学区であれば利用したい」が2割程度となっている。
- ・こどもが家で1人又は兄弟で過ごすことに不安を感じることにについて、「感じる」が7割超となっており、不安を感じる時間は、低学年では「1時間」、高学年では「3時間」が最も多い。
- ・学区こどもの家を利用する理由は、「無料で利用できるから」が約6割、次いで「学区こどもの家に満足しているから」が約5割であり、前回調査時に比べて満足と感じている割合が多くなっている。

⑩育児休業など職場の両立支援制度について

- ・子どもが生まれた時の育児休業の取得状況について、前回調査時に比べて父母ともに「取得した（取得中である）」の割合が増加している。同時に、職場への復帰状況について、父親における「現在も育児休業中である」の割合が大きく増加している。

- ・育児休業を取得していない理由について、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」、父親は「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が最も多い。次いで、父親は「仕事が忙しかった」とする回答が多く、企業の男性の育児休業取得に関する取組についての施策が求められている。
- ・職場復帰したタイミングについて、母親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が最も多く、前回調査時に比べて大きく増加した。また、希望の時期に職場復帰しなかった理由について、母親は「希望する保育所に入るため」、父親は「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が最も多い。
- ・子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば「1歳になるまで育児休業を取得したい」と回答する割合は母親で9割となっている。

⑪子育て全般について

- ・岡崎市が実施している子育て支援事業のうち、これまでに利用したことがある事業について、「ブックスタート」が約8割、「子育てハンドブック」が4割超、子育て応援すくすくメールが3割超となっている。また、利用したい事業について、「子育て広場」が6割超となっている。
- ・岡崎市の分野別満足度について、就学前児童・小学生児童ともに「各種保育・教育サービス」「妊娠・出産・育児期・学校などの健康診断」「身近で安心な小児医療サービス」は満足度（「満足」「まあ満足」の合計）が比較的高い。その一方、「企業・事業所などの子育て支援」は、他の分野に比べて満足度が低い。「公園など、身近の子どもの遊び場」については不満（「不満」「やや不満」の合計）が4割程度で最も高い。
- ・子どもを安心して産み育てられる環境のために、市に対して期待することについて、就学前児童・小学生児童ともに「子育てにかかる経済的な負担の援助」が最も多く、前回調査時と同様の傾向となっている。
- ・子育てに関する情報の収集方法について、就学前児童・小学生児童ともに「インターネット」が最も多く、次いで「友人・知人」となっている。
- ・インターネットやアプリを使った子育てサービスの利用経験について、就学前児童は「利用したことがある」が6割超であるのに対し、小学生児童は約4割となっている。

2. 保育園・幼稚園・認定こども園職員調査

①回答者の状況について

- ・保育経験年数は「10～20年未満」が最も多く、前回調査時に比べて割合が増加している。
- ・現在の年齢については、20代が減少し、40代・50代の割合が多くなっている。資格の保有状況については、前回調査時と同様の傾向である。また、免許や資格を保有した理由として、「子どもと接することが好きだから」が最も多い。
- ・9割超がやりがいや充実感を持っている。

②仕事や職場の環境について

- ・仕事の満足度について、職場の人間関係・コミュニケーションや職場生活全体、育児や介護などに対する職場の理解や協力体制など、職場環境や働いている人に対しての満足度は高い傾向にある。その一方、賃金や勤務条件、職員の配置状況などは低い傾向となっている。
- ・業務内容と比較した給与については、8割超が「かなり安い」「やや安い」となっており、その理由は「責任の大きさ」が7割超、「勤務時間の長さ」が1割超となっている。
- ・現在の業務量について、「多いと思う」「どちらかといえば多いと思う」の合計が5割超となっており、前回調査時に比べて若干ではあるものの減少している。業務量自体はわずかでも減少している兆しが見られるものの、業務負担は増えていると感じている。その理由として「特別な配慮を必要とする子どもへの対応の増加」が最も多く、前回調査時に比べて大きく増加していることが要因の一つとして考えられる。また、利用者数の増加や利用時間の長時間化により、多様化する教育・保育ニーズへの対応などに対する負担の増加がうかがえる。
- ・今の施設で改善が必要と思われる箇所や不足していると思うことについて、保育園は「教室・保育室や、ほふく室の改修」「おもちゃや絵本等の教材の不足」が他の勤務地に比べて多く、認定こども園は「園庭の遊具の改修」「子どもへの安全対策」が多い。また、「子どもへの安全対策」は勤務地によらず増加している。
- ・今の職場や仕事からの転職意向は、「よくある」「ある」の合計が4割超となっており、前回調査時に比べて増加している。
- ・こども家庭ソーシャルワーカーの資格取得意欲について、「ぜひとも取得したい」「取得したい」の合計が3割超となっている。

③保護者などの状況

- ・保護者から寄せられる要望として、「子どもの発達理解に関すること」が最も多く、前回調査時から増加している。また、最近の保護者などの状況について問題だと思うことの中で、「外国籍の保護者・子どもと言葉の壁があり、十分なコミュニケーションが取れないこと」がやや増えている。

④ワーク・ライフ・バランス

- ・仕事と生活とのバランスについては前回調査時とほぼ同様の傾向となっており、困ったときの相談相手は「家族」が最も多い。

3. 事業所調査

①事業所の退職・離職・再雇用の状況

- ・過去3年間に退職した女性従業員のうち、結婚や出産を理由に退職した従業員について、「0割」が最も多い。
- ・キャリアブランクのある人材の雇用について、「キャリアブランクは関係なく、本人の能力に応じた採用を行っている」が最も多く、次いで「短時間勤務制度やフレックスタイム制度を導入し、働きやすい体制づくりをしている」「キャリアブランクのある人でも積極的に採

用している」となっている。この順位は前回調査時と同様だが、それぞれの割合が高まっている。

②仕事や職場の環境について

- ・企業の子育て支援制度について、「現在実施中」は「短時間勤務制度などの実施」「所定外労働の免除」「夜間勤務の免除」「休日勤務の免除」「育児休業後の職場復帰への支援」が前回調査時に比べて増加している。これは、今回の調査では規模の大きい事業所を含めるようにしたことが影響していると考えられる。
- ・育児休業の取得状況については、男女ともに「0人」とする割合が少なくなり、育児休業の取得が進んでいることが分かる。
- ・職場復帰する従業員に対する取組について、前回調査では「特になにもしていない」が最も多かったが、今回調査では「職場復帰前の面談や講習などの実施」などが上位となっている。

③子育て支援

- ・子育てと仕事の両立支援について、「妊娠中や育児期間中の勤務軽減」が最も多く、次いで「子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇が取れる制度」となっている。
- ・ここ5年間において育児休業や育児休暇を取得する人について、「増えてきている」が前回調査時に比べ増加している。また、男性の育児休業や育児休暇の取得について、「男性も積極的に取得すべき」が前回調査時に比べ大きく増加している。
- ・従業員の子育て支援について「企業の社会的責任として」と回答する割合が前回調査に比べて増加している。

④ワーク・ライフ・バランスの推進

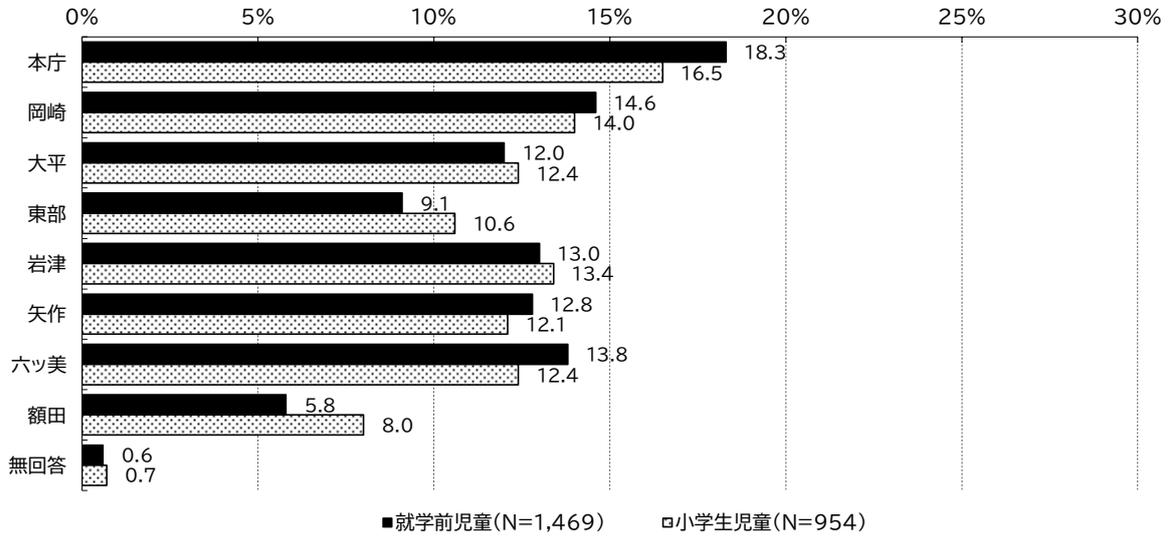
- ・従業員の働き方見直しについて実施していることとして、「年次有給休暇の取得促進」が9割を超えている。
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進について、100人以下では「必要と思うが、現実的に難しい」、1,001人以上では「必要であり、企業としても推進している」が他の従業員数の事業所に比べて多い。また、推進する理由として、101~1,000人以下と1,001人以上では「従業員のモチベーションの向上・維持」「離職や病気休暇などによる人件費、募集コストなど経費軽減」の割合が多い。

Ⅲ. 調査結果（就学前児童・小学生児童）

1. お住まいの地域についてうかがいます

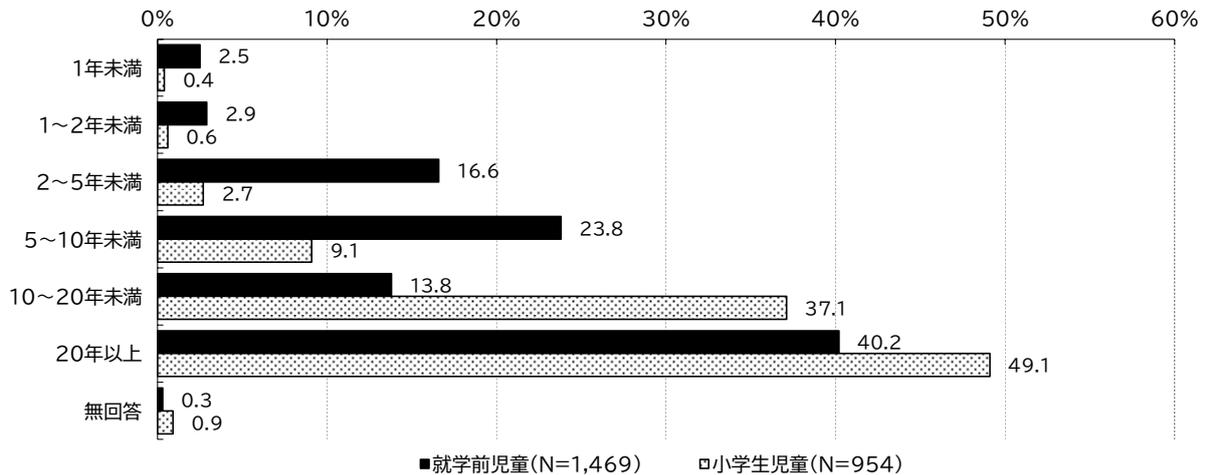
（1）お住まいの地域の小学校区名を記入してください

（就学前児童調査・小学生児童調査…問1）



（2）岡崎市に住んで何年になりますか。＜単数回答＞

（就学前児童調査・小学生児童調査…問2）

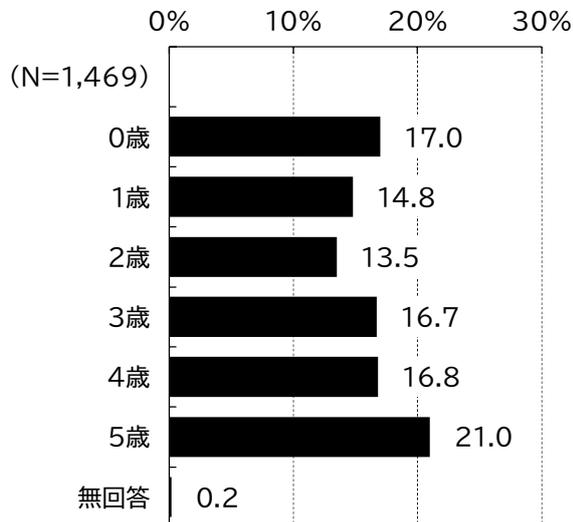


2. お子さんご家族の状況についてうかがいます

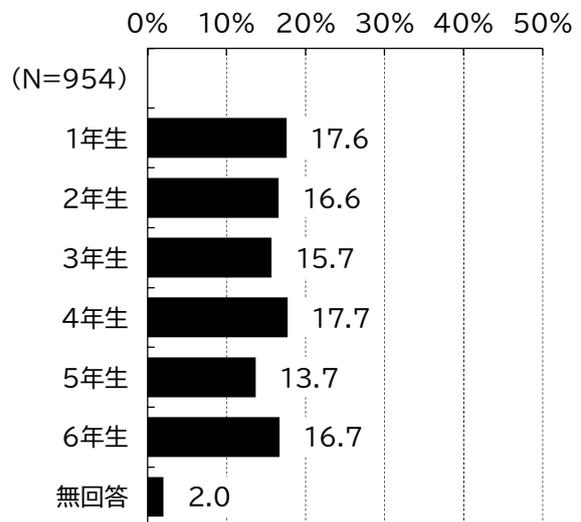
(3) 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。〈数量回答〉

(就学前児童調査・小学生児童調査…問3)

【就学前児童】



【小学生児童】



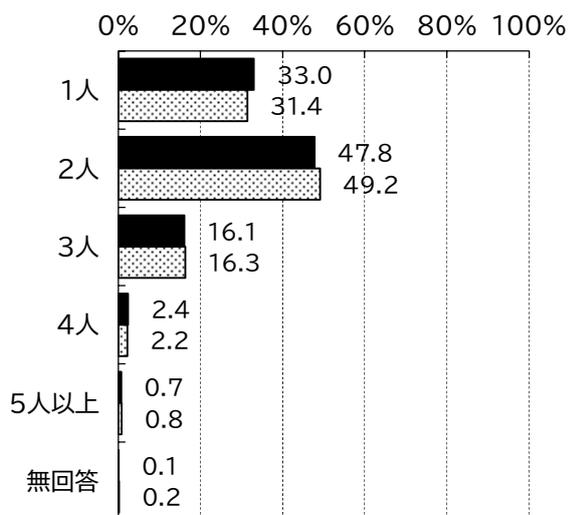
(4) お子さんは何人いらっしゃいますか。〈数量回答〉

(就学前児童調査・小学生児童調査…問4)

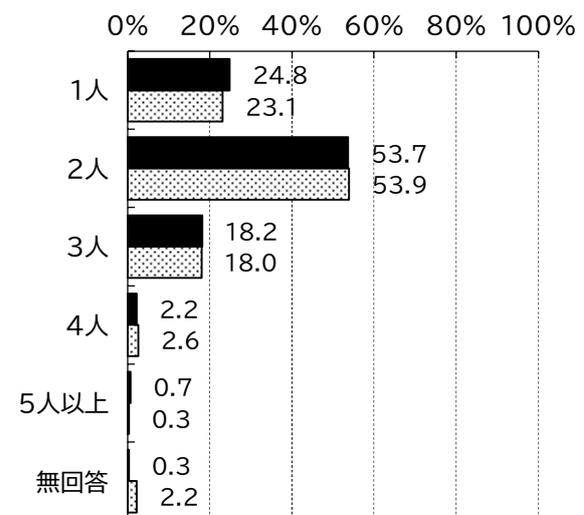
きょうだいの人数について、就学前児童・小学生児童ともに「2人」がそれぞれ47.8%、53.7%と最も多く、次いで「1人」が33.0%、24.8%となっている。

前回調査時と比べてほぼ同様の傾向となっている。

【就学前児童】



【小学生児童】



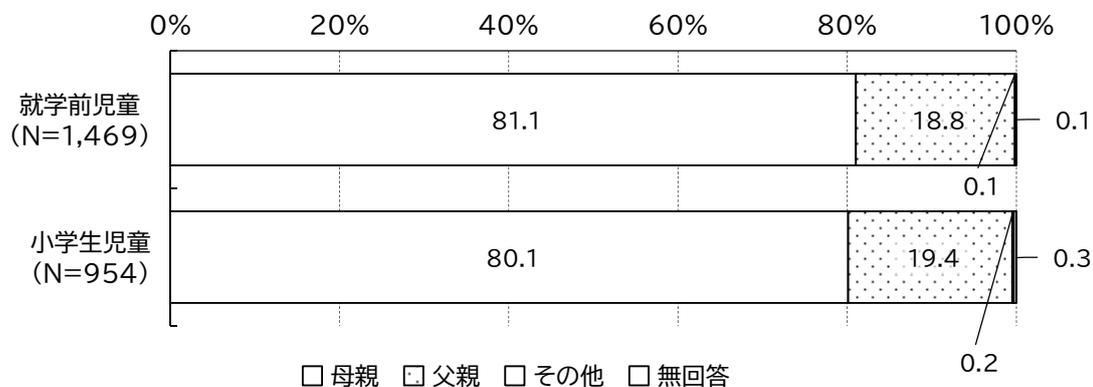
■ 令和5年度就学前児童(N=1,469)
 □ 平成30年度就学前児童(N=3,324)

■ 令和5年度小学生児童(N=954)
 □ 平成30年度小学生児童(N=1,890)

(5) この調査票にご回答いただく方はどなたですか。〈単数回答〉

(就学前児童調査・小学生児童調査…問5)

就学前児童・小学生児童ともに「母親」が81.1%、80.1%と最も多く、次いで「父親」が18.8%、19.4%となっている。

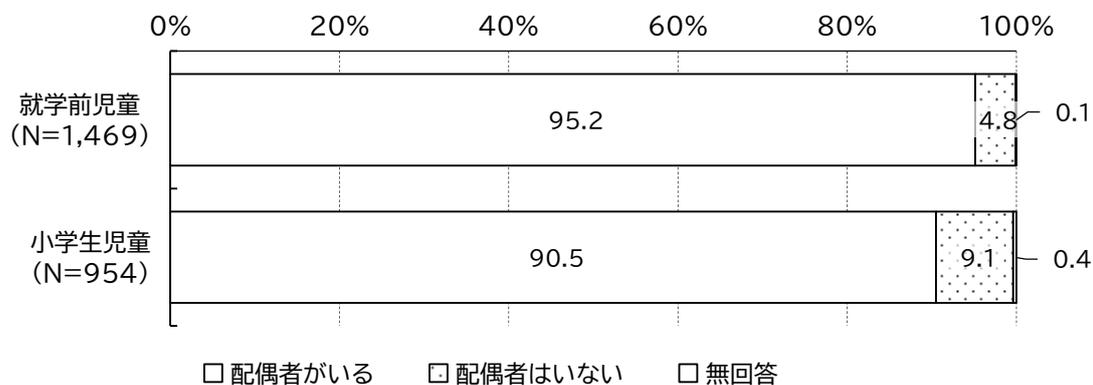


(6) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

〈単数回答〉

(就学前児童調査・小学生児童調査…問6)

就学前児童・小学生児童ともに「配偶者がいる」がそれぞれ95.2%、90.5%、「配偶者はいない」が4.8%、9.1%となっている。



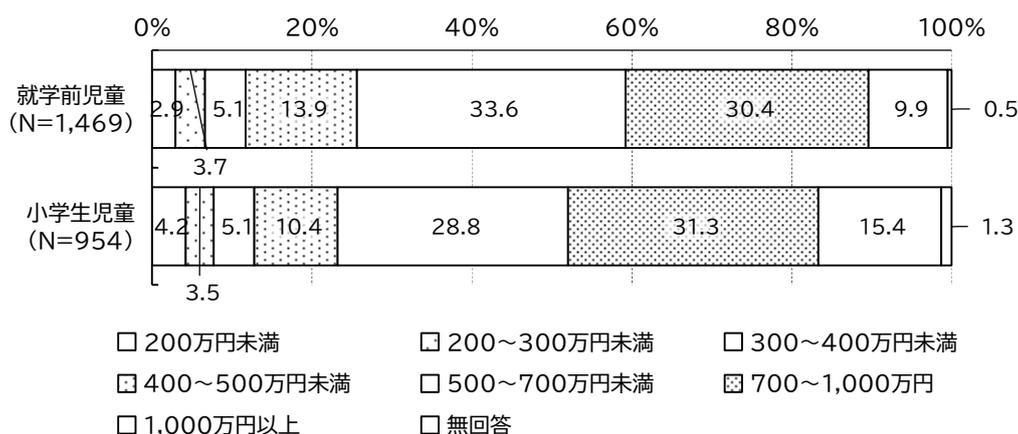
(7) 世帯全体の年収(税込)は、おおよそどのくらいですか。〈単数回答〉

(就学前児童調査・小学生児童調査…問7)

就学前児童では「500～700万円未満」が33.6%と最も多く、次いで「700～1,000万円未満」が30.4%、「400～500万円未満」が13.9%となっている。

小学生児童では「700～1,000万円未満」が31.3%と最も多く、次いで「500～700万円未満」が28.8%、「1,000万円以上」が15.4%となっている。

家庭類型別では、ひとり親家庭において「200万円未満」が多く、父母ともにフルタイムの世帯年収は「700～1,000万円未満」が多い。



【現在家庭類型×世帯年収_就学前児童】

上段:度数 下段:%	合計	200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全体	1448	39	53	75	203	486	142	142	7
	100.0	2.7	3.7	5.2	14.0	33.6	9.8	9.8	0.5
Aひとり親家庭	69	27	-	6	5	12	4	1	-
	100.0	39.1	-	8.7	7.2	17.4	5.8	1.4	-
Bフルタイム×フルタイム	486	-	8	9	49	-	210	82	2
	100.0	-	1.6	1.9	10.1	-	43.2	16.9	0.4
Cフルタイム×パートタイム	326	2	10	26	57	123	-	22	1
	100.0	0.6	3.1	8.0	17.5	37.7	-	6.7	0.3
C'フルタイム×パートタイム(短)	177	1	5	12	24	73	-	11	2
	100.0	0.6	2.8	6.8	13.6	41.2	-	6.2	1.1
D専業主婦(夫)	386	7	16	22	68	151	-	26	2
	100.0	1.8	4.1	5.7	17.6	39.1	-	6.7	0.5
Eパート×パート	2	-	-	-	-	1	1	-	-
	100.0	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-
E'パート×パート(短)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F無業×無業	2	2	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-

【現在家庭類型×世帯年収_小学生児童】

上段:度数 下段:%	合計	200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全体	944	38	33	48	99	297	147	147	10
	100.0	4.0	3.5	5.1	10.5	31.5	15.6	15.6	1.1
Aひとり親家庭	87	29	-	6	11	11	7	2	1
	100.0	33.3	-	6.9	12.6	12.6	8.0	2.3	1.1
Bフルタイム×フルタイム	235	1	2	11	16	48	80	-	-
	100.0	0.4	0.9	4.7	6.8	20.4	34.0	-	-
Cフルタイム×パートタイム	378	4	5	19	40	142	-	34	3
	100.0	1.1	1.3	5.0	10.6	37.6	-	9.0	0.8
C'フルタイム×パートタイム(短)	98	1	-	6	10	-	39	12	1
	100.0	1.0	-	6.1	10.2	-	39.8	12.2	1.0
D専業主婦(夫)	144	2	6	6	22	41	-	22	5
	100.0	1.4	4.2	4.2	15.3	28.5	-	15.3	3.5
Eパート×パート	2	1	-	-	-	1	-	-	-
	100.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-
E'パート×パート(短)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F無業×無業	-	-	-	-	-	-	-	-	-

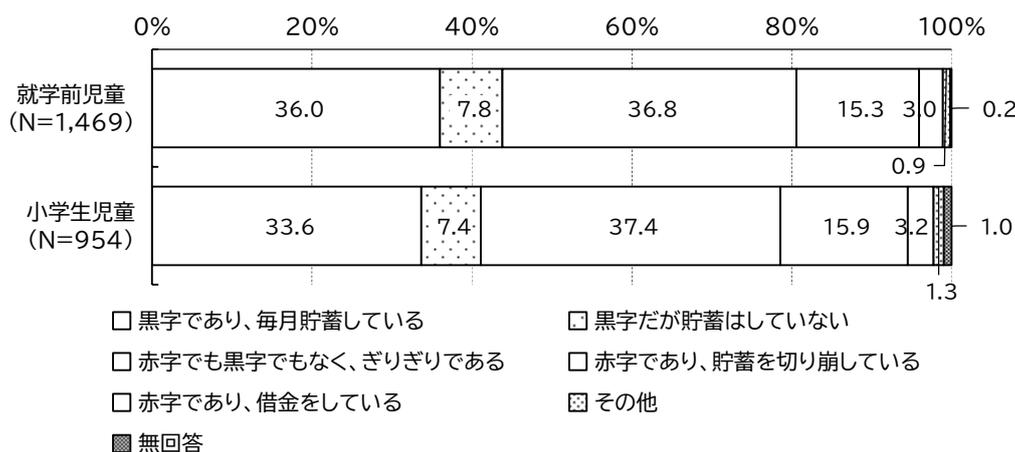
(8) 現在の家計について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

<単数回答>

(就学前児童調査・小学生児童調査…問8)

就学前児童・小学生児童ともに「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」がそれぞれ36.8%、37.4%と最も多く、次いで「黒字であり、毎月貯蓄している」が36.0%、33.6%となっている。

家庭類型別では、父母ともにフルタイムの世帯は「黒字であり、毎月貯蓄している」が多い。



【現在家庭類型×家計状況_就学前児童】

上段:度数 下段:%	合計	黒字であり、毎月貯蓄している	黒字だが貯蓄はしていない	赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	赤字であり、貯蓄を切り崩している	赤字であり、借金をしている	その他	無回答
全体	1448 100.0		114 7.9	532 36.7	222 15.3	42 2.9	13 0.9	3 0.2
Aひとり親家庭	69 100.0	8 11.6	4 5.8	30 43.5		4 5.8	3 4.3	-
Bフルタイム×フルタイム	486 100.0	239 49.2	40 8.2		43 8.8	12 2.5	3 0.6	2 0.4
Cフルタイム×パートタイム	326 100.0		31 9.5	125 38.3	49 15.0	12 3.7	1 0.3	-
C'フルタイム×パートタイム(短)	177 100.0		8 4.5	86 48.6	26 14.7	7 4.0	2 1.1	-
D専業主婦(夫)	386 100.0		31 8.0	142 36.8	83 21.5	6 1.6	4 1.0	1 0.3
Eパート×パート	2 100.0			2 100.0				
E'パート×パート(短)								
F無業×無業	2 100.0				1 50.0	1 50.0		

【現在家庭類型×家計状況_小学生児童】

上段:度数 下段:%	合計	黒字であり、毎月貯蓄している	黒字だが貯蓄はしていない	赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	赤字であり、貯蓄を切り崩している	赤字であり、借金をしている	その他	無回答
全体	944 100.0		70 7.4	354 37.5	149 15.8	31 3.3	12 1.3	8 0.8
Aひとり親家庭	87 100.0	16 18.4	2 2.3	37 42.5		8 9.2		
Bフルタイム×フルタイム	235 100.0	117 49.8	17 7.2		25 10.6	6 2.6	2 0.9	
Cフルタイム×パートタイム	378 100.0		31 8.2	156 41.3	55 14.6	12 3.2	6 1.6	4 1.1
C'フルタイム×パートタイム(短)	98 100.0		7 7.1	40 40.8	15 15.3	1 1.0	2 2.0	
D専業主婦(夫)	144 100.0		13 9.0	52 36.1	30 20.8	3 2.1	2 1.4	4 2.8
Eパート×パート	2 100.0			1 50.0		1 50.0		
E'パート×パート(短)								
F無業×無業								

3. 子どもの育ちを巡る環境についてうかがいます

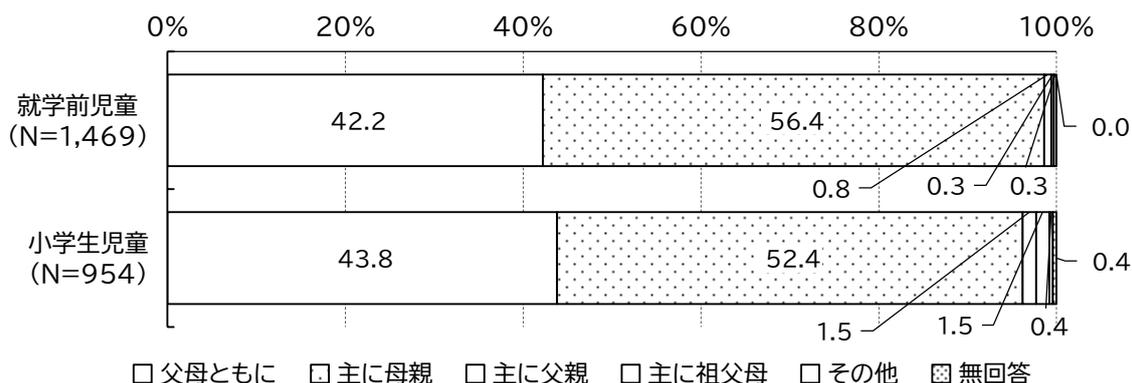
(9) お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

<単数回答>

(就学前児童調査・小学生児童調査…問9)

就学前児童、小学生児童ともに「主に母親」が5割を超えている。

父親の1日あたりの就労状況別では、就労時間が8時間までは「父母ともに」が多く、9時間以上になると「主に母親」が多くなっている。



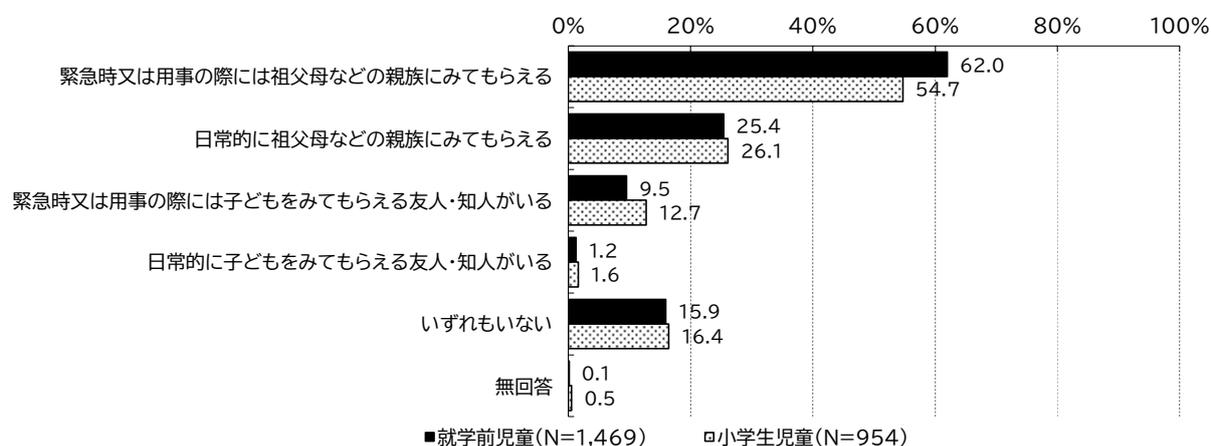
【父親の1日あたりの就労時間×子育てを主に行っている人 就学前児童】

上段:度数 下段:%	合計	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
全体	1375 100.0		758 55.1	11 0.8	2 0.1	2 0.1	-
1時間	-	-	-	-	-	-	-
2時間	-	-	-	-	-	-	-
3時間	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-
4時間	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
5時間	5 100.0	2 40.0	3 60.0	-	-	-	-
6時間	8 100.0	3 37.5	5 62.5	-	-	-	-
7時間	17 100.0	10 58.8	-	-	-	-	-
8時間	596 100.0	305 51.2	-	8 1.3	-	2 0.3	-
9時間	179 100.0	-	99 55.3	-	-	-	-
10時間	313 100.0	-	201 64.2	2 0.6	1 0.3	-	-
11時間	95 100.0	-	62 65.3	-	-	-	-
12時間	75 100.0	-	51 68.0	-	-	-	-
13時間以上	85 100.0	-	48 56.5	1 1.2	1 1.2	-	-

(10) 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。〈複数回答〉

(就学前児童調査・小学生児童調査…問 10)

就学前児童・小学生児童ともに「緊急時又は用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が最も多く、それぞれ 62.0%、54.7%となっている。次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が 25.4%、26.1%、「いずれもない」が 15.9%、16.4%となっている。

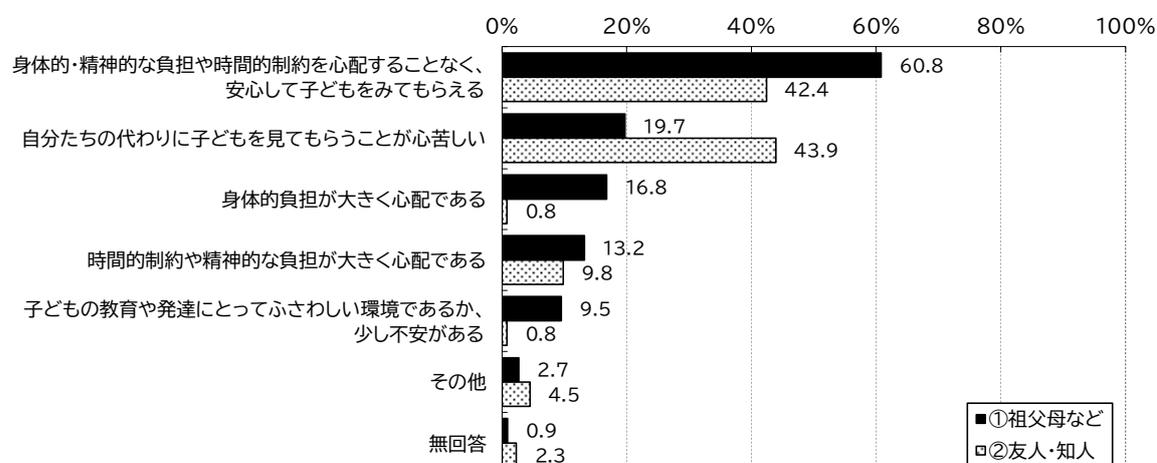


(11) お子さんを見てもらっている状況についてお答えください。〈複数回答〉

(小学生児童調査…問 10-1)

「①祖父母など」では「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」が 60.8%と最も多く、次いで「自分たちの代わりに子どもを見てもらうことが心苦しい」が 19.7%、「身体的負担が大きく心配である」が 16.8%となっている。

「②友人・知人」では「自分たちの代わりに子どもを見てもらうことが心苦しい」が 43.9%と最も多く、次いで「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」が 42.4%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 9.8%となっている。



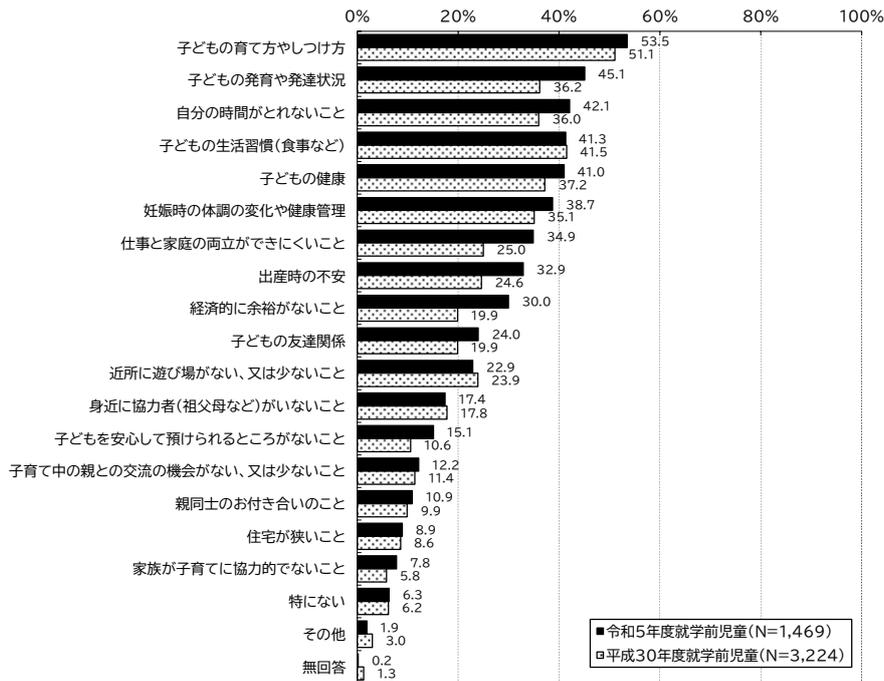
(12) 妊娠、出産、子育てを通じて、困ったことや悩んだことはありますか

＜複数回答＞

(就学前児童調査…問 11)

「子どもの育て方やしつけ方」が53.5%と最も多く、次いで「子どもの発育や発達状況」が45.1%、「自分の時間がとれないこと」が42.1%となっている。

前回調査時と比べると、「子どもの発育や発達状況」「仕事と家庭の両立ができにくいこと」「経済的に余裕がないこと」が増加している。



おおむね「子どもの育て方やしつけ方」が多く、世帯年収が200万円未満、200～300万円未満は「経済的に余裕がないこと」が多い。

【世帯年収×妊娠、出産、子育てを通じて、困ったことや悩んだこと】

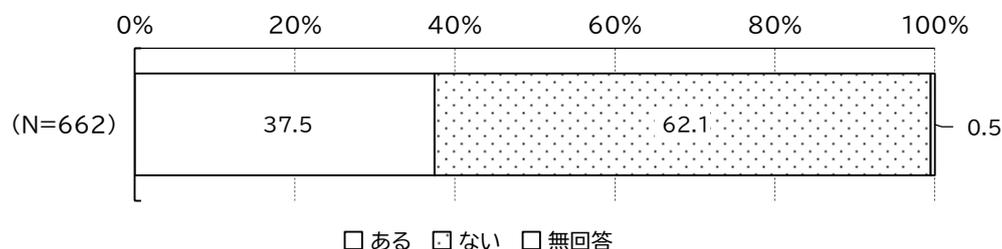
上段：度数 下段：%	合計	妊娠時の体調 の変化や健康 管理	出産時の不安	子どもの健康	子どもの発育 や発達状況	子どもの生活 習慣(食事な ど)	子どもの育て 方やしつけ方	子どもの友達 関係	自分の時間が とれないこと	仕事と家庭の 両立ができに くいこと	家族が子育て に協力的でない こと	無回答
全体	1462	565	481	599	604	780	352	616	508	114		
200万円未満	42	12	14	12	17	14	3	12	10	1		
200～300万円未満	55	17	18	24	26	26	17	21	18	7		
300～400万円未満	75	28	30	28	27	27	15	23	19	8		
400～500万円未満	204	86	69	82	88	103	53	87	73	15		
500～700万円未満	494	195	170	222	222	268	123	227	158	40		
700～1,000万円	447	175	137	176	171	240	95	184	172	28		
1,000万円以上	145	52	43	55	56	78	41	62	58	15		
合計	1462	565	481	599	604	780	352	616	508	114		
上段：度数 下段：%	合計	身近に協力者 (祖父母など) がないこと	経済的に余裕 がないこと	子どもを安心 して預けられ るところがない こと	親同士のお付 き合いのこと	近所に遊び場 がない、又は 少ないこと	住宅が狭いこ と	子育て中の親 との交流の機 会がない、又 は少ないこと	特にない	その他	無回答	
全体	1462	254	437	220	159	334	131	177	93	28	3	
200万円未満	42	6	25	2	4	3	4	3	4	-	1	
200～300万円未満	55	8	31	4	7	11	8	11	6	2	-	
300～400万円未満	75	10	33	14	6	14	7	8	7	-	-	
400～500万円未満	204	29	90	33	35	58	26	28	17	3	1	
500～700万円未満	494	76	166	77	44	130	48	61	22	8	-	
700～1,000万円	447	95	70	65	46	92	29	51	29	11	-	
1,000万円以上	145	28	16	25	17	26	9	15	8	4	1	
合計	1462	254	437	220	159	334	131	177	93	28	3	
上段：度数 下段：%	合計	経済的に余裕 がないこと	子どもを安心 して預けられ るところがない こと	親同士のお付 き合いのこと	近所に遊び場 がない、又は 少ないこと	住宅が狭いこ と	子育て中の親 との交流の機 会がない、又 は少ないこと	特にない	その他	無回答		
全体	1462	19.3	11.0	17.2	11.7	17.9	6.2	10.3	5.5	2.8	0.7	

(13) 「子どもの発育や発達状況」を選択した人

あなたは相談窓口を利用したことがありますか。＜単数回答＞

(就学前児童調査…問 11-1)

「ある」が37.5%、「ない」が62.1%となっている。

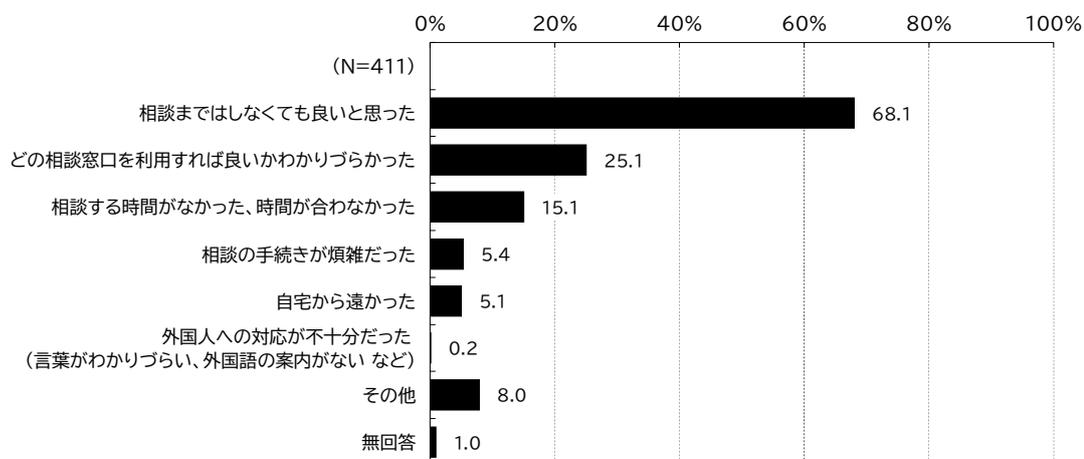


(14) 相談窓口を利用したことがない人

利用したことがない理由は何ですか。

(就学前児童調査…問 11-2)

「相談まではしなくても良いと思った」が68.1%と最も多く、次いで「どの相談窓口を利用すれば良いかわかりづらかった」が25.1%、「相談する時間がなかった、時間が合わなかった」が15.1%となっている。

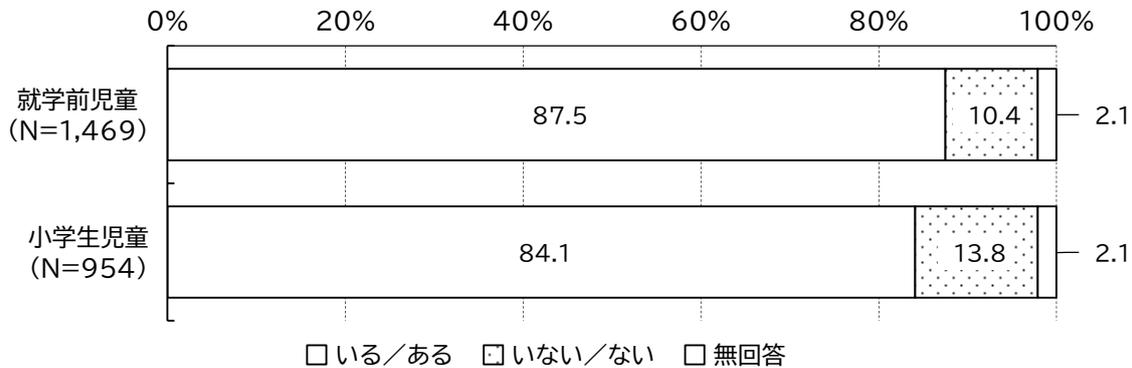


(15) お子さまの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。

<単数回答>

(就学前児童調査…問 12 小学生児童調査…問 11)

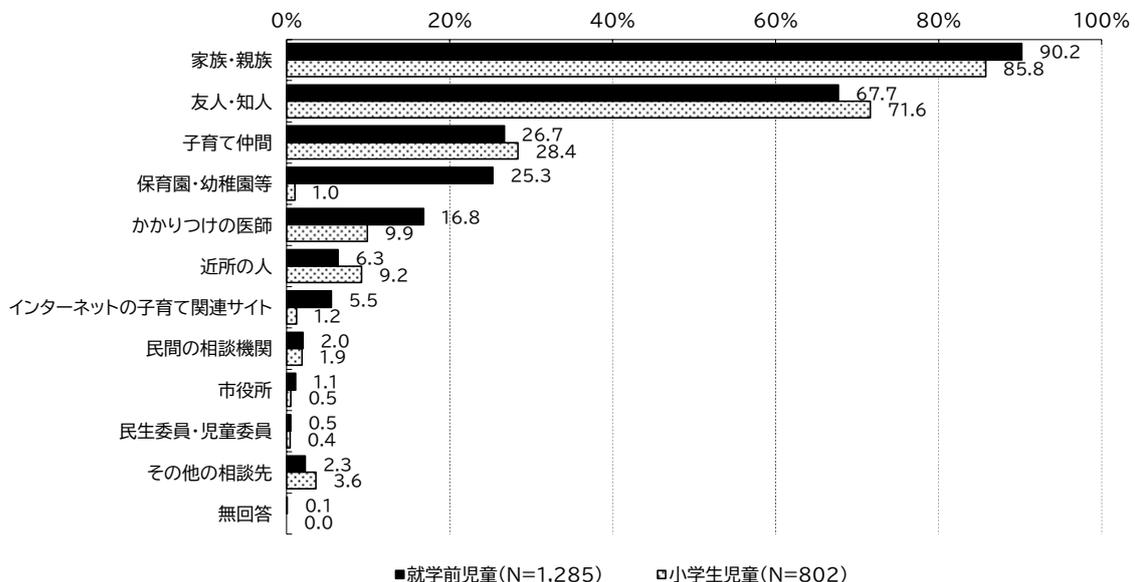
就学前児童・小学生児童ともに「いる／ある」がそれぞれ 87.5%、84.1%と最も多く、次いで「いない／ない」が 10.4%、13.8%となっている。



(16) 気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。<複数回答>

(就学前児童調査…問 12-1 小学生児童調査…問 11-1)

就学前児童・小学生児童ともに「家族・親族」がそれぞれ 90.2%、85.8%と最も多く、次いで「友人・知人」が 67.7%、71.6%、「子育て仲間」が 26.7%、28.4%となっている。



4. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

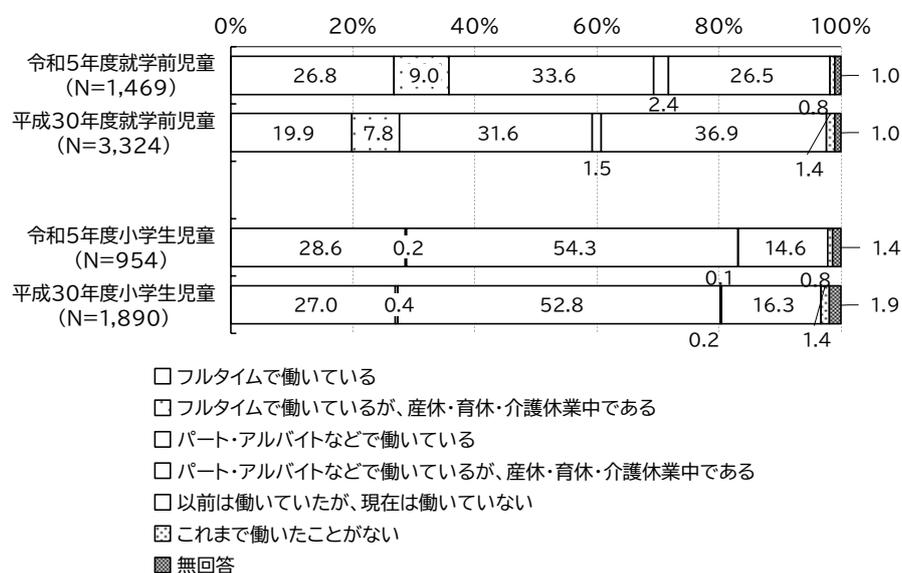
(17) お子さんの保護者の現在の就労状況について、①母親、②父親のそれぞれで当てはまる番号1つに○をつけてください。〈単数回答〉

(就学前児童調査…問 13 小学生児童調査…12)

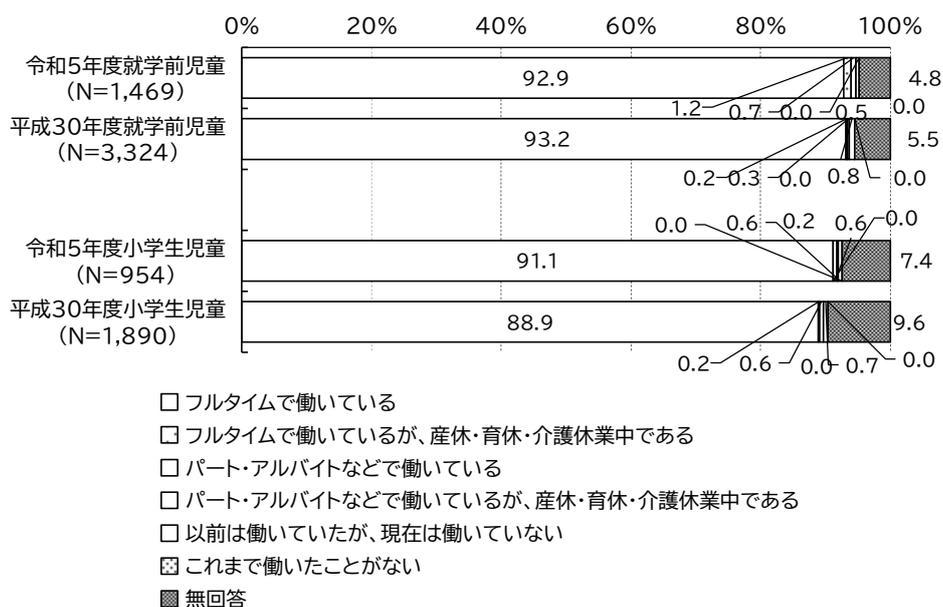
就学前児童の母親では「フルタイムで働いている」が26.8%であり、前回調査時の19.9%から増加している。小学生児童は28.6%であり、前回調査時の27.0%に比べてやや増加している。

父親については就学前児童・小学生児童ともに前回調査時と同様の傾向となっている。

【母親】



【父親】



就学前児童について、おおむね「B フルタイム×フルタイム」が多く、次いで0歳・1歳は「D 専業主婦（夫）」となっている。また、2歳は「D 専業主婦（夫）」が最も多い。3歳以上になると「B フルタイム×フルタイム」「C フルタイム×パートタイム」のいずれかの割合が多くなっている。

小学生児童について、いずれの学齢においても「C フルタイム×パート・アルバイト」が最も多く、次いで「B フルタイム×フルタイム」となっている。

【子どもの年齢×現在家庭類型 就学前児童】

上段：度数 下段：%	合計	Aひとり親家庭	Bフルタイム×フルタイム	Cフルタイム×パートタイム	C'フルタイム×パートタイム（短）	D専業主婦（夫）	Eパート×パート	E'パート×パート（短）	F無業×無業	無回答
全体	1466 100.0	69 4.7	486 33.2	326 22.2	177 12.1		2 0.1	-	2 0.1	21 1.4
0歳	249 100.0	4 1.6	114 45.8	27 10.8	15 6.0		-	-	-	6 2.4
1歳	217 100.0	8 3.7	84 38.7	38 17.5	12 5.5		-	-	-	4 1.8
2歳	199 100.0	6 3.0		45 22.6	19 9.5	64 32.2	1 0.5	-	-	1 0.5
3歳	246 100.0	14 5.7	73 29.7		31 12.6	61 24.8	-	-	-	4 1.6
4歳	247 100.0	14 5.7	72 29.1		41 16.6	47 19.0	1 0.4	-	2 0.8	3 1.2
5歳	308 100.0	23 7.5		86 27.9	59 19.2	57 18.5	-	-	-	3 1.0

【子どもの学齢×現在家庭類型 小学生児童】

上段：度数 下段：%	合計	Aひとり親家庭	Bフルタイム×フルタイム	Cフルタイム×パートタイム	C'フルタイム×パートタイム（短）	D専業主婦（夫）	Eパート×パート	E'パート×パート（短）	F無業×無業	無回答
全体	935 100.0	84 9.0		371 39.7	97 10.4	141 15.1	2 0.2	-	-	7 0.7
1年生	168 100.0	14 8.3		61 36.3	17 10.1	29 17.3	1 0.6	-	-	-
2年生	158 100.0	9 5.7		57 36.1	17 10.8	31 19.6	-	-	-	2 1.3
3年生	150 100.0	13 8.7		58 38.7	17 11.3	26 17.3	-	-	-	-
4年生	169 100.0	13 7.7		77 45.6	21 12.4	18 10.7	-	-	-	2 1.2
5年生	131 100.0	21 16.0		47 35.9	9 6.9	19 14.5	-	-	-	2 1.5
6年生	159 100.0	14 8.8		71 44.7	16 10.1	18 11.3	1 0.6	-	-	1 0.6

(18) 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を
 ①母親、②父親についてそれぞれ口内に数字でお答えください。

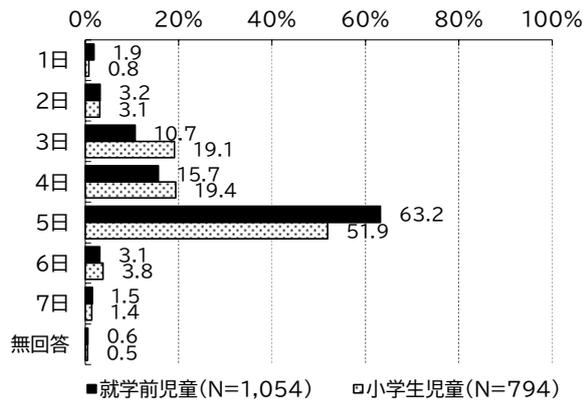
<数量回答>

(就学前児童調査…問 13-1 小学生児童調査…問 12-1)

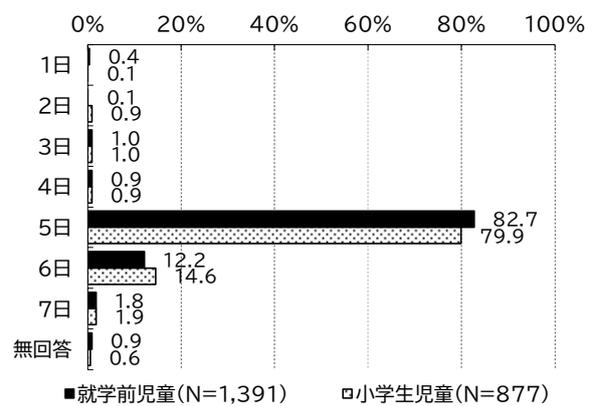
就労日数について、就学前児童・小学生児童ともに、母親・父親は「5日」が最も多い。次いで母親は「4日」、父親は「6日」となっている。

就労時間について、就学前児童・小学生児童ともに、母親・父親は「8時間」が最も多い。

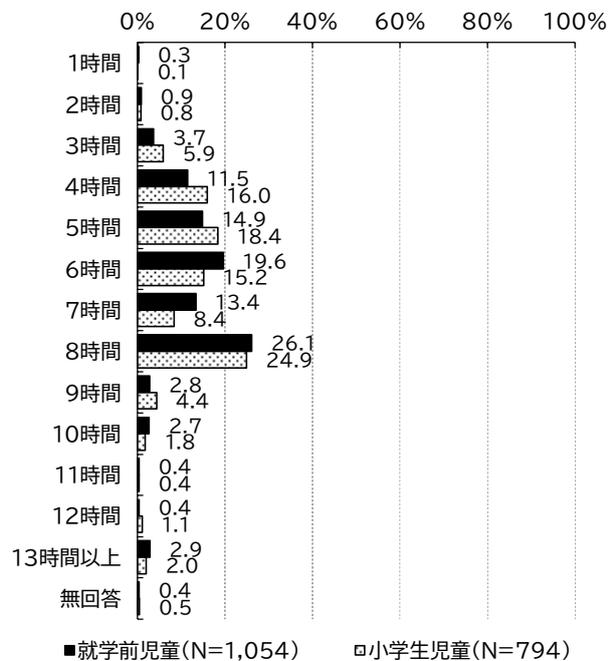
【1週当たりの就労日数_母親】



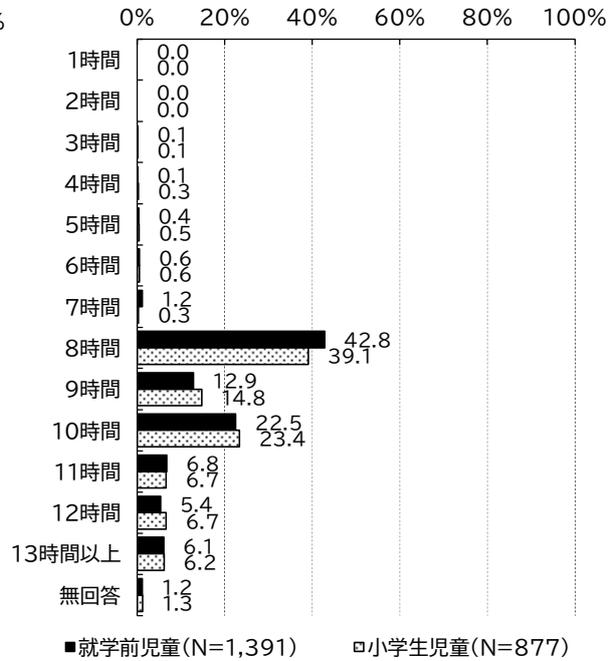
【1週当たりの就労日数_父親】



【1日当たりの就労時間_母親】



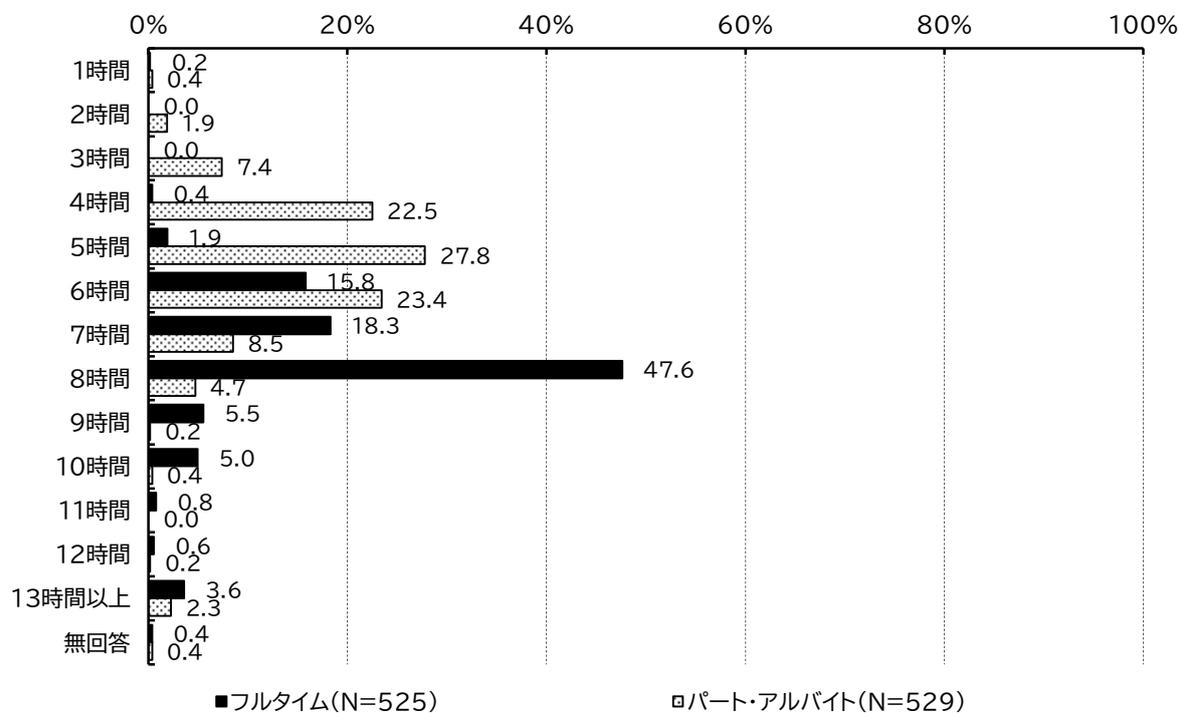
【1日当たりの就労時間_父親】



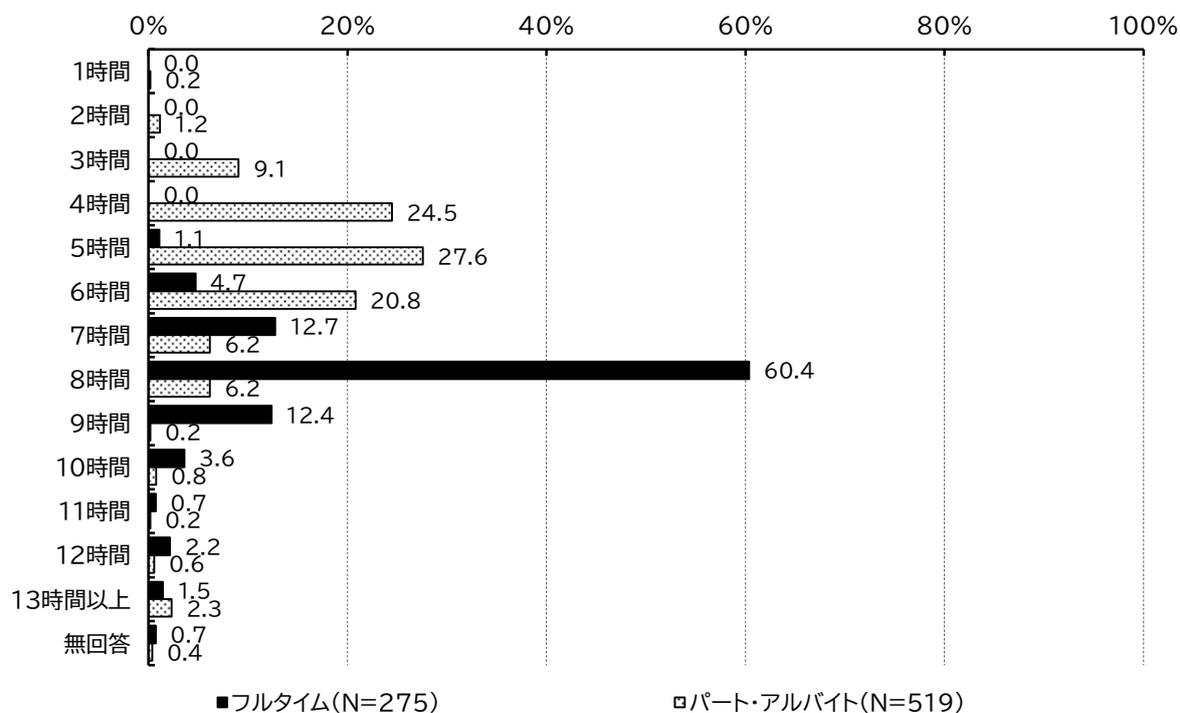
母親の就労状況について、就学前児童では「フルタイムで働いている」において「8時間」が最も多く、「パート・アルバイトなどで働いている」において「5時間」が最も多い。

小学生児童についても同様の傾向となっている。

【母親の就労状況（フルタイム・パートタイム）×1日当たりの就労時間_就学前児童】



【母親の就労状況（フルタイム・パートタイム）×1日当たりの就労時間_小学生児童】

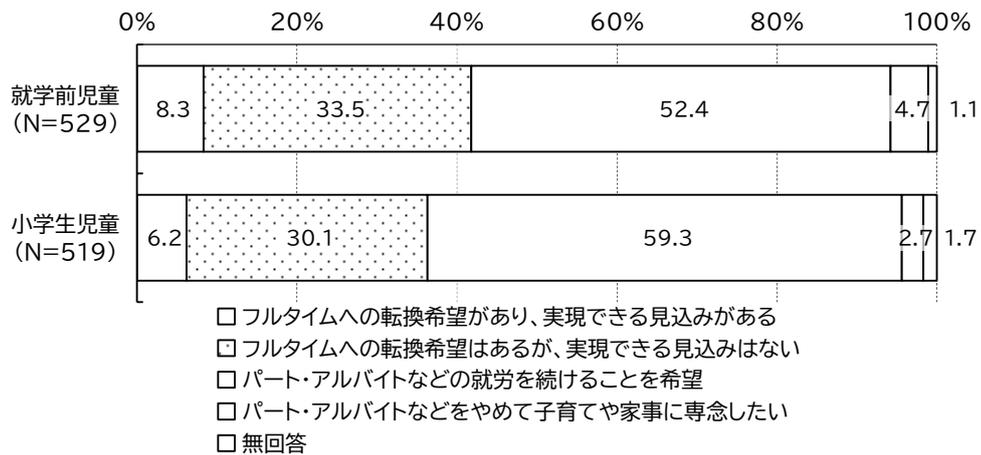


(19) フルタイムへの転換希望はありますか。＜単数回答＞

(就学前児童調査…問 14 小学生児童調査…問 13)

就学前児童・小学生児童ともに、母親は「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」が52.4%、59.3%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が33.5%、30.1%となっている。

【母親】



(20) 就労したいという希望はありますか。〈単数回答〉

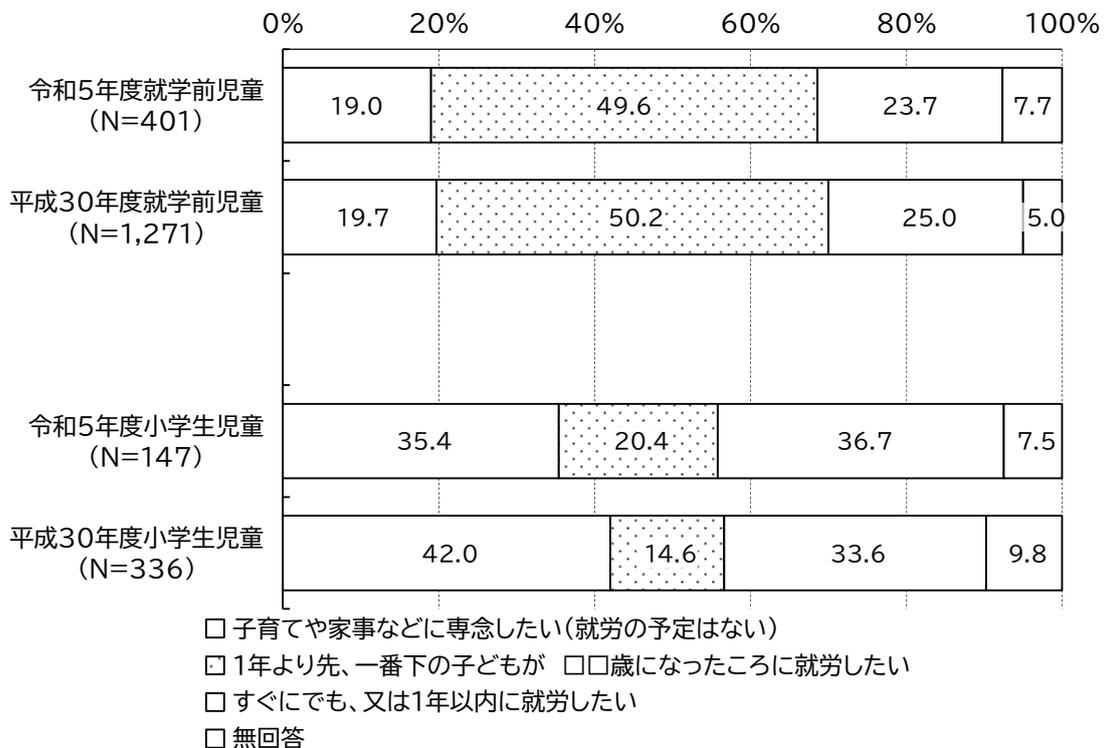
(就学前児童調査…問 15 小学生児童調査…問 14)

令和5年度における就学前児童の母親の就労希望について、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が49.6%と最も多く、次いで「すぐにでも、又は1年以内に就労したい」が23.7%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が19.0%となっており、前回調査時と比べて同様の傾向となっている。就労を希望する子どもの年齢について、就学前児童では「3歳」が37.2%と最も多く、次いで「7歳」が20.6%であり、前回調査時と同様の傾向となっている。

令和5年度における小学生児童の母親の就労希望では「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が35.4%となっているが、前回調査時の42.0%に比べて6.6ポイント減少した。一方、「すぐにでも、又は1年以内に就労したい」が36.7%であり、前回調査時の33.6%から3.1ポイント増加した。就労を希望する子どもの年齢について、小学生児童では「10歳」「13歳以降」がそれぞれ33.3%となっている。

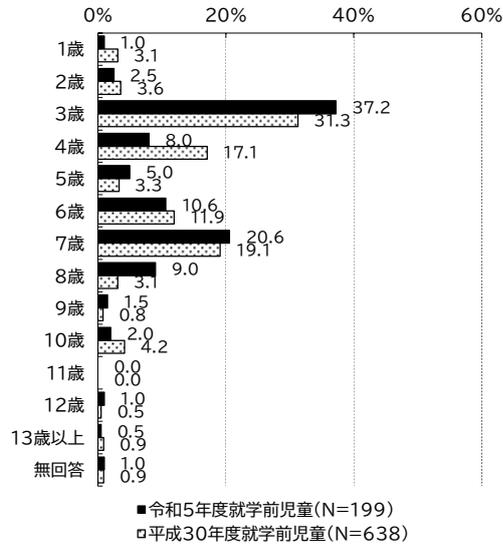
希望する就労形態は就学前児童・小学生児童ともに「パートタイム・アルバイト」がそれぞれ75.2%、83.3%と最も多く、就労日数は「3日」が最も多い。就労時間は、就学前児童では「5時間」が41.2%、小学生児童では「4時間」が41.4%となっている。

【母親】

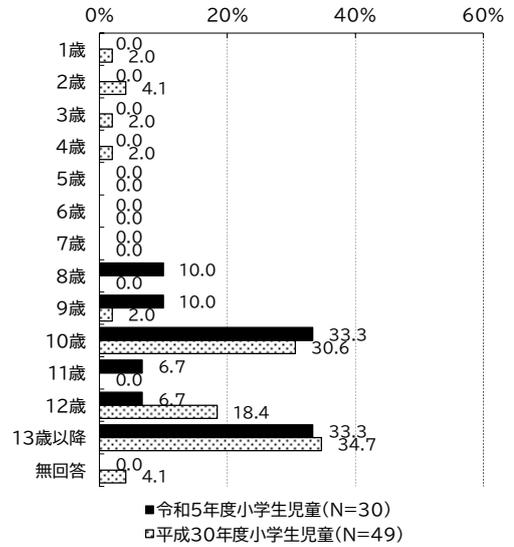


【就労を希望する子どもの年齢_母親】

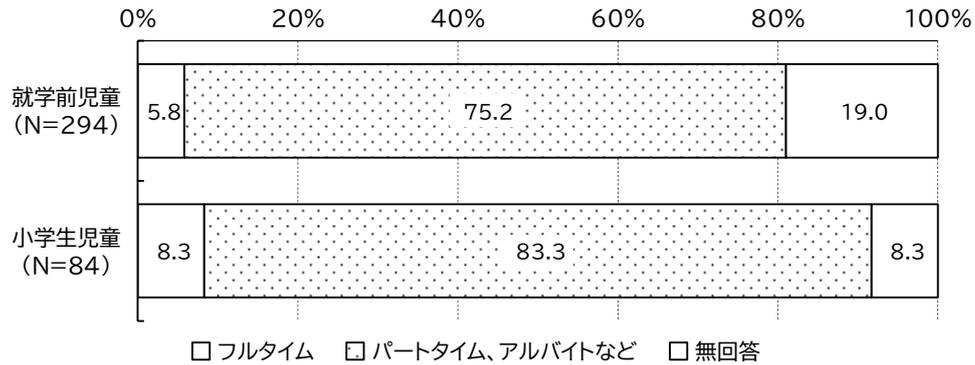
(就学前児童)



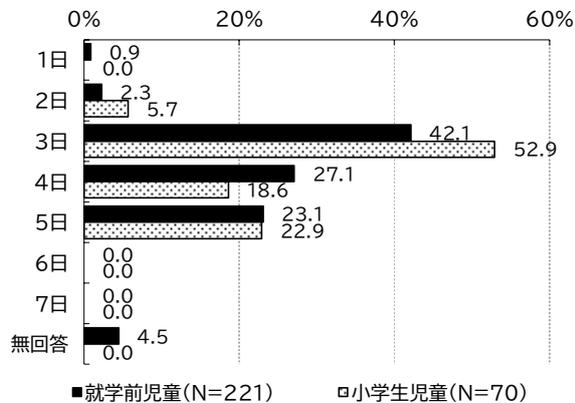
(小学生児童)



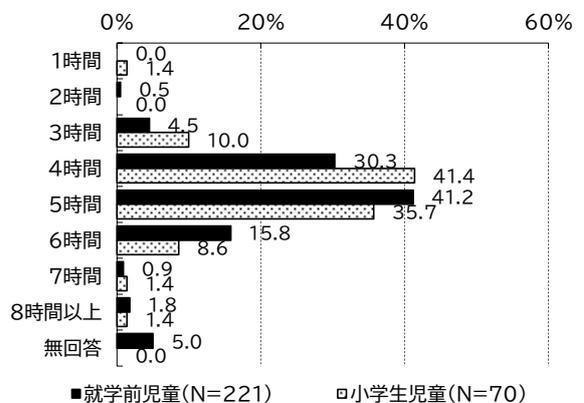
【希望する就労形態_母親】



【パートタイム、アルバイトなどの
1週当たりの就労日数_母親】



【パートタイム、アルバイトなどの
1日当たりの就労時間_母親】



5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について うかがいます

(21) お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。＜単数回答＞

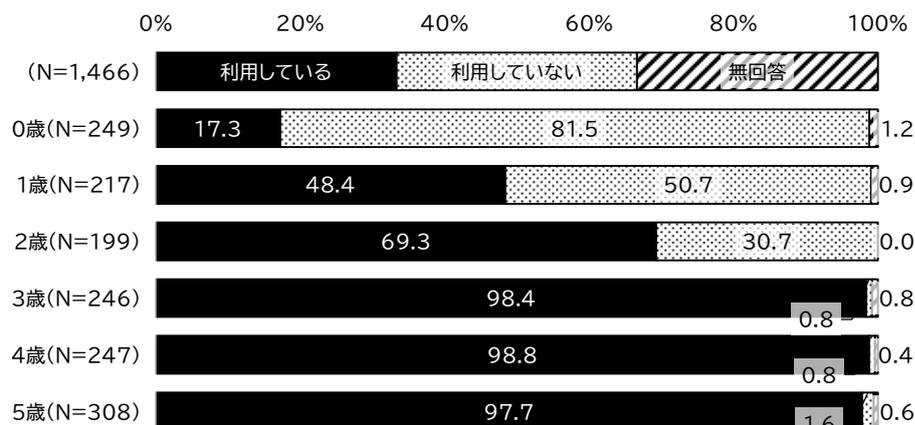
(就学前児童調査…問 16)

「利用している」が73.1%、「利用していない」が26.2%であり、前回調査時と比べて利用している割合が多くなっている。

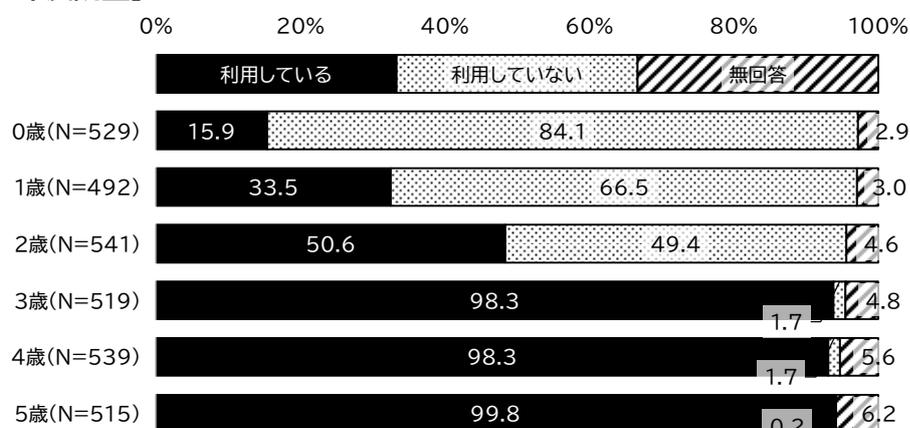
年齢別では、0～2歳において「利用している」が前回調査時と比べて増加している。



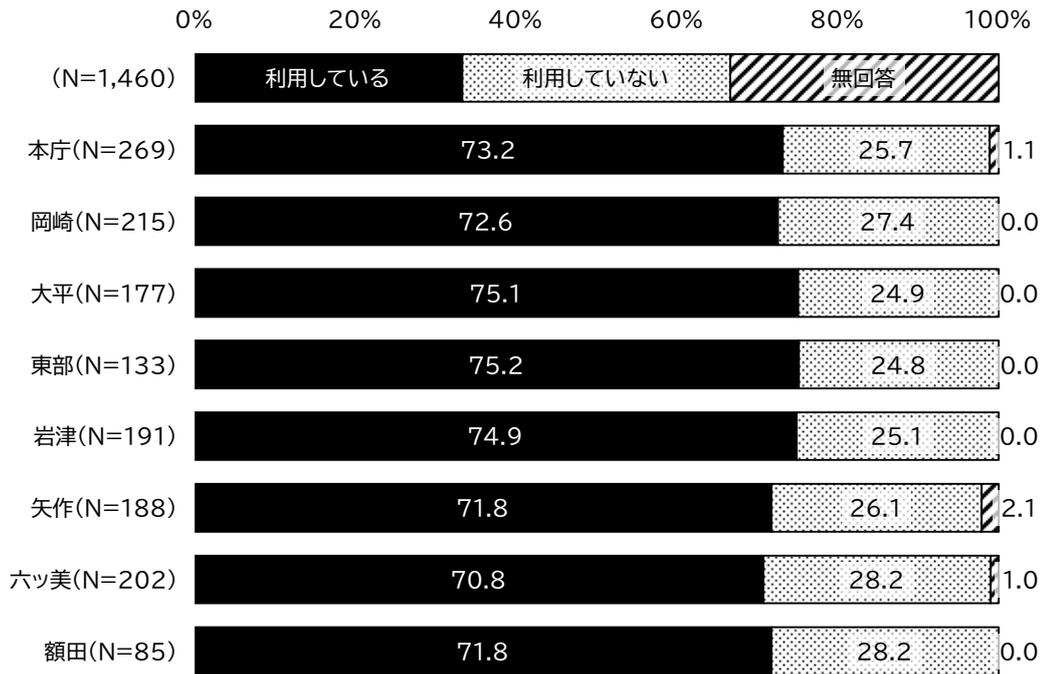
【年齢別_令和5年度調査】



【年齢別_平成30年度調査】



【区域別】

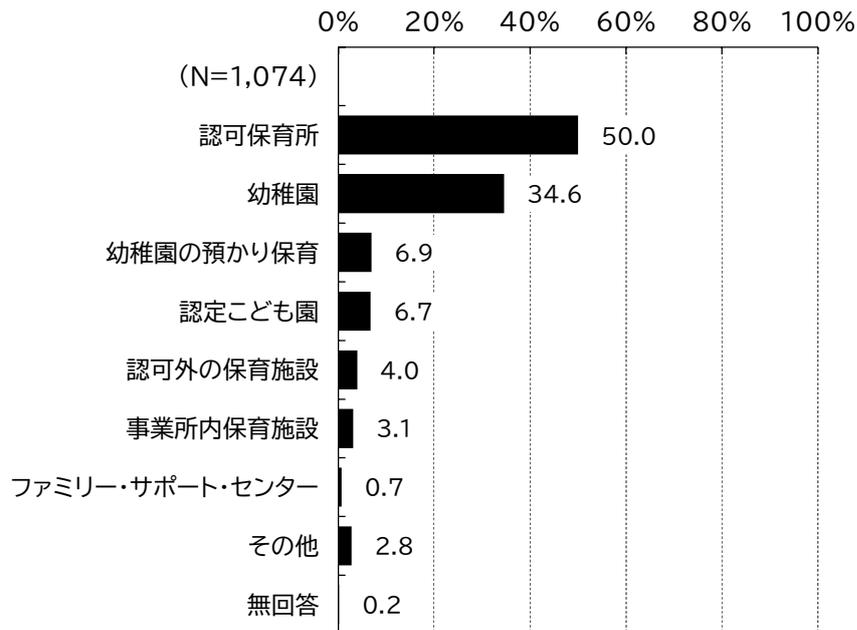


(22) 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。

<複数回答>

(就学前児童調査…問 16-1)

「認可保育所（県や市の認可を受けたもの）」が 50.0%と最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 34.6%、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」が 6.9%となっている。



利用している教育・保育事業の年齢別について、全ての年齢で「認可保育所（県や市の認可を受けたもの）」が最も多い。次いで、0歳と1歳は「認可外の保育施設」、2歳以上は「幼稚園（通常の就園時間の利用）」となっている。

現在家庭類型について、「Aひとり親家庭」「Bフルタイム×フルタイム」「Cフルタイム×パートタイム」は「認可保育所（県や市の認可を受けたもの）」が最も多く、「C'フルタイム×パートタイム（短）」「D専業主婦（夫）」は「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が最も多い。

【年齢別・区域別×平日の教育・保育事業の利用】

	上段:度数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の預 かり保育	認可保育所	認定こども 園	事業所内保 育施設	認可外の保 育施設	ファミ リー・サ ポート・セ ンター	その他	無回答
年齢別	全体	1073 100.0		74 6.9	537 50.0	72 6.7	33 3.1	43 4.0	7 0.7	30 2.8	2 0.2
	0歳	43 100.0	7 16.3	-	21 48.8	2 4.7	4 9.3		-	5 11.6	-
	1歳	105 100.0	5 4.8	3 2.9	74 70.5	3 2.9	9 8.6		-	3 2.9	-
	2歳	138 100.0		5 3.6	77 55.8	6 4.3	12 8.7	10 7.2	1 0.7	7 5.1	1 0.7
	3歳	242 100.0		21 8.7	115 47.5	16 6.6	2 0.8	5 2.1	2 0.8	8 3.3	-
	4歳	244 100.0		17 7.0	113 46.3	23 9.4	1 0.4	4 1.6	-	4 1.6	1 0.4
	5歳	301 100.0		28 9.3	137 45.5	22 7.3	5 1.7	4 1.3	4 1.3	3 1.0	-
	区域別	全体	1068 100.0		74 6.9	535 50.1	71 6.6	32 3.0	42 3.9	7 0.7	29 2.7
	本庁	197 100.0		18 9.1	90 45.7	12 6.1	3 1.5	10 5.1	1 0.5	8 4.1	-
	岡崎	156 100.0		18 11.5	70 44.9	9 5.8	6 3.8	10 6.4	1 0.6	3 1.9	-
	大平	133 100.0		9 6.8	74 55.6	5 3.8	3 2.3	3 2.3	1 0.8	4 3.0	1 0.8
	東部	100 100.0		1 1.0	67 67.0	1 1.0	3 3.0	6 6.0	-	1 1.0	-
	岩津	143 100.0	67 46.9	9 6.3		7 4.9	3 2.1	4 2.8	1 0.7	4 2.8	1 0.7
	矢作	135 100.0		5 3.7	72 53.3	14 10.4	4 3.0	3 2.2	2 1.5	4 3.0	-
	六ツ美	143 100.0		14 9.8	71 49.7	-	7 4.9	3 2.1	1 0.7	4 2.8	-
	額田	61 100.0	3 4.9	-	31 50.8		3 4.9	3 4.9	-	1 1.6	-

【現在家庭類型×平日の教育・保育事業の利用】

上段:度数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の預 かり保育	認可保育所	認定こども 園	事業所内保 育施設	認可外の保 育施設	ファミ リー・サ ポート・セ ンター	その他	無回答
全体	1061 100.0		74 7.0	531 50.0	71 6.7	32 3.0	43 4.1	7 0.7	28 2.6	2 0.2
Aひとり親家庭	58 100.0		2 3.4	33 56.9	3 5.2	4 6.9	3 5.2	-	1 1.7	-
Bフルタイム×フルタイム	364 100.0		19 5.2	282 77.5	13 3.6	12 3.3	18 4.9	4 1.1	9 2.5	1 0.3
Cフルタイム×パートタイム	289 100.0	30 10.4	19 6.6	197 68.2		14 4.8	12 4.2	-	4 1.4	1 0.3
C'フルタイム×パートタイム（短）	146 100.0	127 87.0		6 4.1	6 4.1	1 0.7	3 2.1	1 0.7	3 2.1	-
D専業主婦（夫）	201 100.0	155 77.1	9 4.5	12 6.0		1 0.5	7 3.5	2 1.0	11 5.5	-
Eパート×パート	1 100.0	-	-	1 100.0		-	-	-	-	-
E'パート×パート（短）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F無業×無業	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

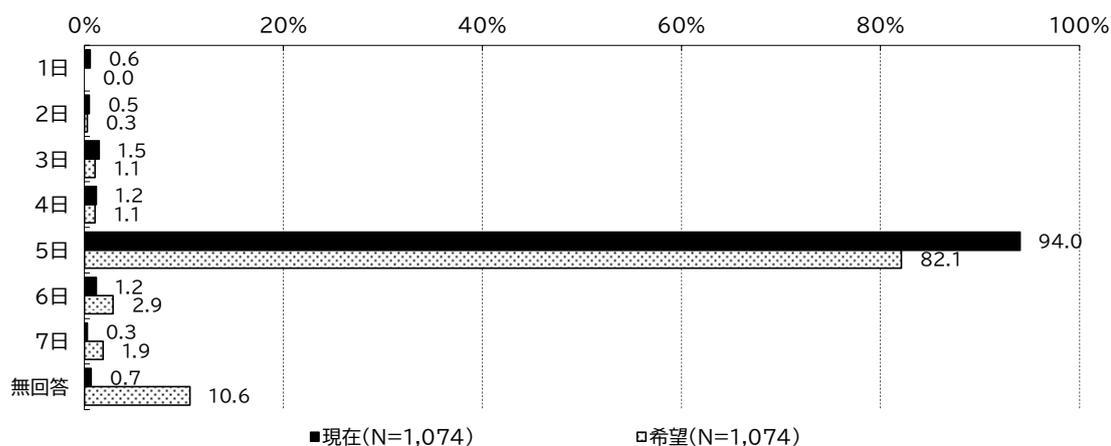
(23) 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

<数量回答>

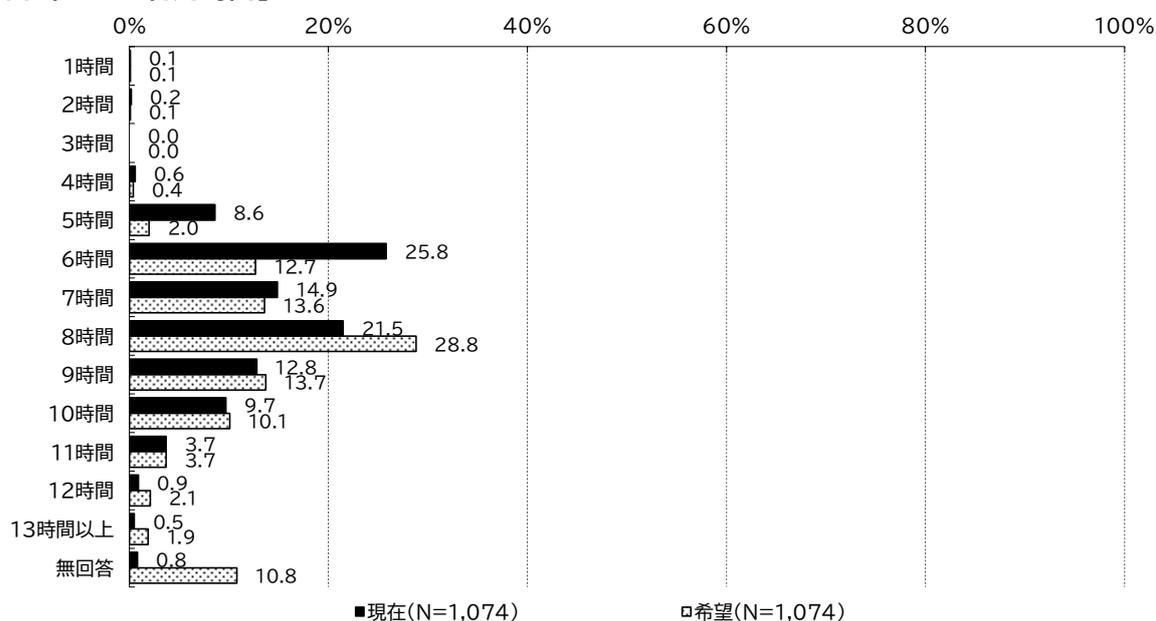
(就学前児童調査…問 16-2)

教育・保育事業における1週当たりの利用日数について、現在・希望の利用ともに「5日」が最も多く、それぞれ94.0%、82.1%となっている。1日当たりの利用時間について、現在の利用時間は「6時間」が25.8%と最も多い。また、希望の利用時間は「8時間」が28.8%と最も多い。

【1週当たりの利用日数】



【1日当たりの利用時間】



「定期的」に利用している事業別について、おおむね希望の利用時間が現在の利用時間よりも長い。

現在・潜在家庭類型別について、「Aひとり親家庭」「Bフルタイム×フルタイム」「Cフルタイム×パートタイム」は「8時間」が最も多く、「Cフルタイム×パートタイム(短)」「D専業主婦(夫)」は「6時間」が最も多い。

【「定期的」に利用している教育・保育事業×現在と希望の利用時間】

上段：度数 下段：%		間16-2 教育・保育の利用時間（現在）															
		合計	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間	13時間以上	無回答	
現在利用している教育・保育事業名×現在の利用時間	全体	1072 100.0	1 0.1	2 0.2	-	6 0.6	92 8.6	277 25.8	159 14.8	-	136 12.7	104 9.7	40 3.7	10 0.9	5 0.5	9 0.8	
	幼稚園	372 100.0	-	-	-	1 0.3	-	219 58.9	42 11.3	41 11.0	7 1.9	3 0.8	1 0.3	-	-	3 0.8	
	幼稚園の預かり保育	74 100.0	-	-	-	-	5 6.8	22 29.7	15 20.3	-	6 8.1	4 5.4	2 2.7	-	-	1 1.4	
	認可保育所	537 100.0	1 0.2	-	-	-	1 0.2	29 5.4	93 17.3	161 30.0	-	93 17.3	33 6.1	9 1.7	3 0.6	1 0.2	
	認定こども園	72 100.0	-	1 1.4	-	-	-	18 25.0	12 16.7	18 25.0	4 5.6	1 1.4	3 4.2	-	1 1.4	-	
	事業所内保育施設	33 100.0	-	1 3.0	-	-	8 24.2	2 6.1	8 24.2	3 9.1	-	3 9.1	1 3.0	1 3.0	-	-	-
	認可外の保育施設	43 100.0	-	-	-	-	-	5 11.6	5 11.6	10 23.3	8 18.6	1 2.3	1 2.3	-	-	4 9.3	
	ファミリー・サポート・センター	7 100.0	-	1 14.3	-	-	-	2 28.6	1 14.3	2 28.6	-	-	1 14.3	-	-	-	-
	その他	30 100.0	-	-	-	-	-	8 26.7	2 6.7	1 3.3	2 6.7	4 13.3	1 3.3	-	1 3.3	1 3.3	
	上段：度数 下段：%		間16-2 教育・保育の利用時間（希望）														
		合計	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間	13時間以上	無回答	
現在利用している教育・保育事業名×希望の利用時間	全体	1072 100.0	1 0.1	1 0.1	-	4 0.4	22 2.1	136 12.7	146 13.6	309 28.8	-	109 10.2	40 3.7	23 2.1	20 1.9	114 10.6	
	幼稚園	372 100.0	-	-	-	1 0.3	13 3.5	-	67 18.0	113 30.4	31 8.3	11 3.0	-	2 0.5	4 1.1	39 10.5	
	幼稚園の預かり保育	74 100.0	-	-	-	1 1.4	10 13.5	10 13.5	21 28.4	-	7 9.5	-	2 2.7	1 1.4	6 8.1		
	認可保育所	537 100.0	1 0.2	1 0.2	-	1 0.2	11 3.9	21 10.1	54 28.3	152 28.3	87 16.2	35 6.5	18 3.4	13 2.4	55 10.2		
	認定こども園	72 100.0	-	-	-	-	4 5.6	11 15.3	23 31.9	23 31.9	5 6.9	1 1.4	2 2.8	1 1.4	2 2.8	11 11.1	
	事業所内保育施設	33 100.0	-	-	-	-	1 3.0	5 15.2	5 15.2	7 21.2	4 12.1	1 3.0	1 3.0	-	-	2 6.1	
	認可外の保育施設	43 100.0	-	-	-	-	-	4 9.3	5 11.6	12 27.9	-	2 4.7	2 4.7	1 2.3	1 2.3	7 16.3	
	ファミリー・サポート・センター	7 100.0	-	-	-	-	-	-	1 14.3	3 42.9	1 14.3	1 14.3	-	-	-	1 14.3	
	その他	30 100.0	-	-	-	2 6.7	2 6.7	2 6.7	7 23.3	7 23.3	1 3.3	-	-	-	-	8 26.7	

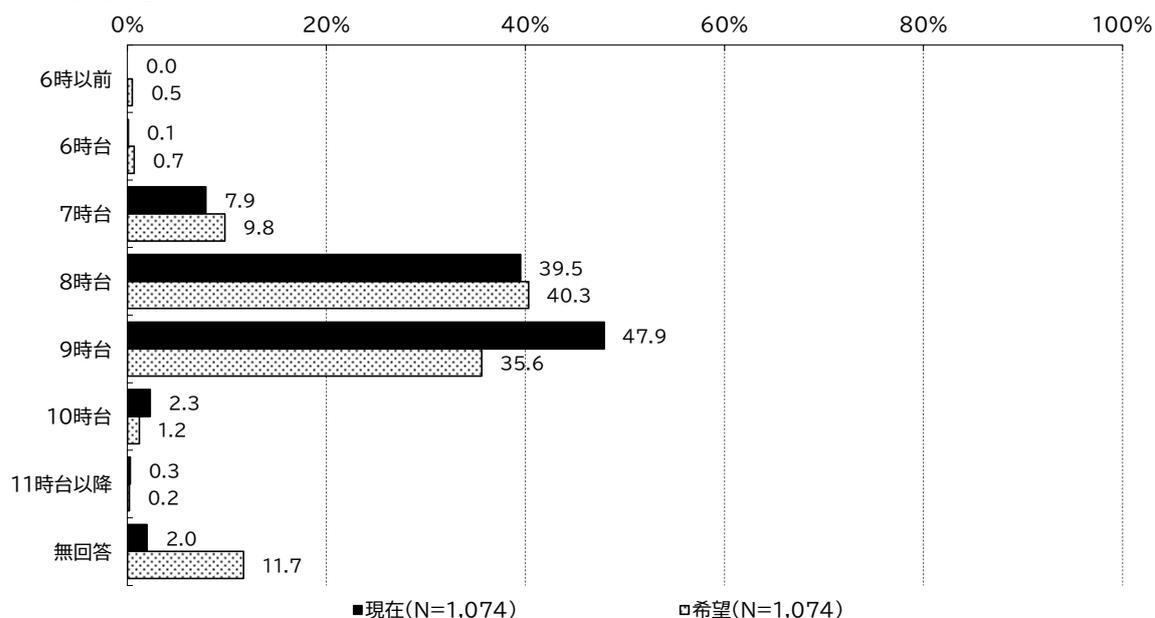
【現在・潜在家庭類型×1日あたりの利用時間】

上段：度数 下段：%		定期的にご利用している事業の利用時間														
		合計	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間	13時間以上	無回答
【現在家庭類型】	全体	1448 100.0	1 0.1	2 0.1	-	6 0.4	92 6.4	274 18.9	158 10.9	-	136 9.4	102 7.0	39 2.7	9 0.6	5 0.3	396 27.3
	Aひとり親家庭	69 100.0	-	1 1.4	-	-	2 2.9	11 15.9	9 13.0	13 18.8	-	4 5.8	5 7.2	-	-	12 17.4
	Bフルタイム×フルタイム	486 100.0	1 0.2	1 0.2	-	1 0.2	8 1.6	11 2.3	38 7.8	89 18.3	38 7.8	84 17.3	32 6.6	7 1.4	3 0.6	125 25.7
	Cフルタイム×パートタイム	326 100.0	-	-	-	-	12 3.7	44 13.5	44 13.5	101 31.0	35 10.7	19 4.0	2 0.6	2 0.6	2 0.6	38 11.7
	Dフルタイム×パートタイム(短)	177 100.0	-	-	-	-	-	89 50.3	18 10.2	18 10.2	13 7.3	2 1.1	-	-	-	34 19.2
	E専業主婦(夫)	386 100.0	-	-	-	-	5 1.3	118 30.6	16 4.1	11 2.8	11 2.8	1 0.3	-	-	-	186 48.2
	Fパート×パート	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0
	Gパート×パート(短)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	H無業×無業	2 100.0	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-
	【潜在家庭類型】	全体	1448 100.0	1 0.1	2 0.1	-	6 0.4	92 6.4	274 18.9	158 10.9	-	136 9.4	102 7.0	39 2.7	9 0.6	5 0.3
Aひとり親家庭		69 100.0	-	1 1.4	-	-	2 2.9	11 15.9	9 13.0	13 18.8	-	4 5.8	5 7.2	-	-	12 17.4
Bフルタイム×フルタイム		535 100.0	1 0.2	1 0.2	-	1 0.2	9 1.7	18 3.4	45 8.4	100 18.7	86 16.1	32 6.0	9 1.7	3 0.6	138 25.8	
Cフルタイム×パートタイム		308 100.0	-	-	-	-	11 3.6	47 15.3	47 15.3	84 27.3	30 9.7	11 3.6	2 0.6	2 0.6	53 17.2	
Dフルタイム×パートタイム(短)		196 100.0	-	-	-	-	-	98 50.0	21 10.7	21 10.7	11 5.6	2 1.0	-	-	-	37 18.9
E専業主婦(夫)		336 100.0	-	-	-	-	5 1.5	99 29.5	15 4.5	19 5.7	19 5.7	-	-	-	-	155 46.1
Fパート×パート		2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0
Gパート×パート(短)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H無業×無業		2 100.0	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-

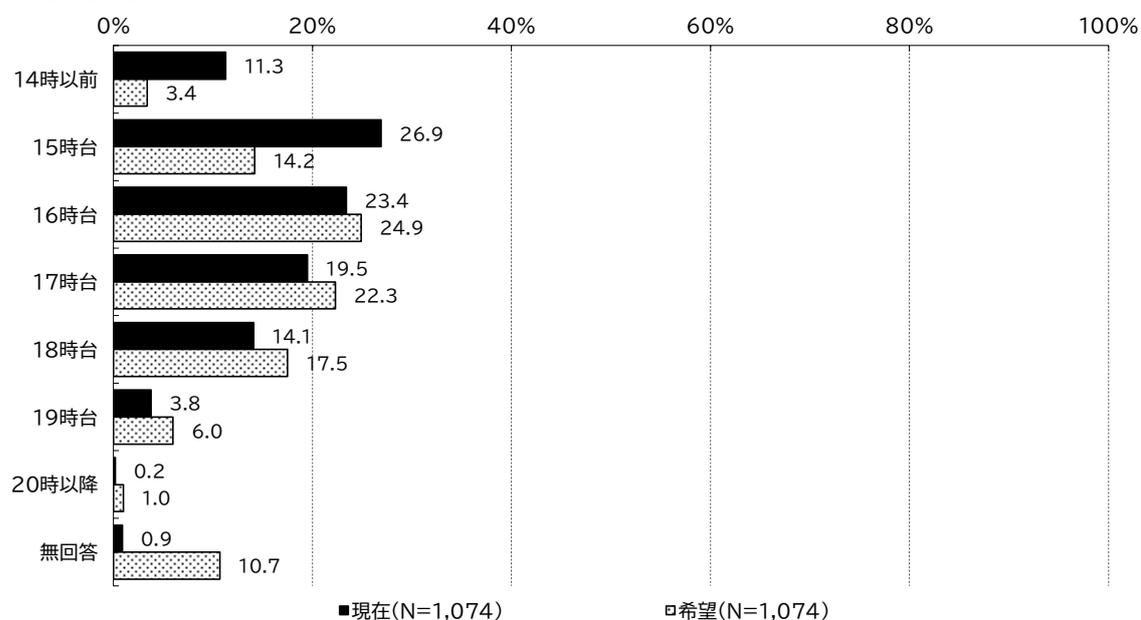
現在の利用開始時間については、「9時台」が47.9%と最も多く、ついで「8時台」が39.5%となっている。希望時間は「8時台」が40.3%と最も多く、次いで「9時台」が35.6%となっている。

現在の利用終了時間については、「15時台」が26.9%と最も多く、次いで「16時台」が23.4%となっており、希望時間は「16時台」が24.9%と最も多く、「17時台」が22.3%となっている。

【利用開始時間】



【利用終了時間】



「定期的」に利用している事業について、現在の利用開始時間は「9時台」が多い傾向であるのに対し、希望は「8時台」が多い傾向となっている。

また、現在の利用終了時間は「15時台」「16時台」が多い傾向であるのに対し、希望は「16時台」以降が多い。特に認可保育所は、現在の「16時台」に対して希望は「18時台」となっている。

【「定期的」に利用している教育・保育事業×現在と希望の利用開始時間】

上段：度数		問16-2 教育・保育の開始時間（現在）									
下段：%		合計	6時以前	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台以降	無回答	
問16-1 利用している教育・保育事業名×現在の利用開始時間	全体	1072	-	1	85		513	25	3	22	
		100.0	-	0.1	7.9		47.9	2.3	0.3	2.1	
	幼稚園	372	-	1	2		279	10	-	9	
		100.0	-	0.3	0.5		75.0	2.7	-	2.4	
	幼稚園の預かり保育	74	-	-	3		38	1	-	3	
		100.0	-	-	4.1		51.4	1.4	-	4.1	
	認可保育所	537	-	-	75	298		1	-	5	
		100.0	-	-	14.0	55.5		0.2	-	0.9	
	認定こども園	72	-	-	3		39	1	1	2	
		100.0	-	-	4.2		54.2	1.4	1.4	2.8	
	事業所内保育施設	33	-	-	4	14			3	1	3
		100.0	-	-	12.1	42.4			9.1	3.0	9.1
認可外の保育施設	43	-	-	2		22	3	1	3		
	100.0	-	-	4.7		51.2	7.0	2.3	7.0		
ファミリー・サポート・センター	7	-	-	1	2	3	-	1	-		
	100.0	-	-	14.3	28.6	42.9	-	14.3	-		
その他	30	-	-	-	-	11	-	-	1		
	100.0	-	-	-	-	36.7	-	-	3.3		
上段：度数		問16-2 教育・保育の開始時間（希望）									
下段：%		合計	6時以前	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台以降	無回答	
問16-1 利用している教育・保育事業名×希望の利用開始時間	全体	1072	5	8	105	433		13	2	124	
		100.0	0.5	0.7	9.8	40.4		1.2	0.2	11.6	
	幼稚園	372	-	-	9		199	3	1	44	
		100.0	-	-	2.4		53.5	0.8	0.3	11.8	
	幼稚園の預かり保育	74	1	-	7	30		1	-	7	
		100.0	1.4	-	9.5	40.5		1.4	-	9.5	
	認可保育所	537	4	6	83	258		1	-	58	
		100.0	0.7	1.1	15.5	48.0		0.2	-	10.8	
	認定こども園	72	-	2		27	27	2	-	10	
		100.0	-	2.8		37.5	37.5	2.8	-	13.9	
	事業所内保育施設	33	-	1	4	14		1	-	4	
		100.0	-	3.0	12.1	42.4		3.0	-	12.1	
認可外の保育施設	43	-	-	4	17		1	-	6		
	100.0	-	-	9.3	39.5		2.3	-	14.0		
ファミリー・サポート・センター	7	-	-	1	3	2	-	1	-		
	100.0	-	-	14.3	42.9	28.6	-	14.3	-		
その他	30	-	-	1	8	6	-	-	8		
	100.0	-	-	3.3	26.7	20.0	-	-	26.7		

【「定期的」に利用している教育・保育事業×現在と希望の利用終了時間】

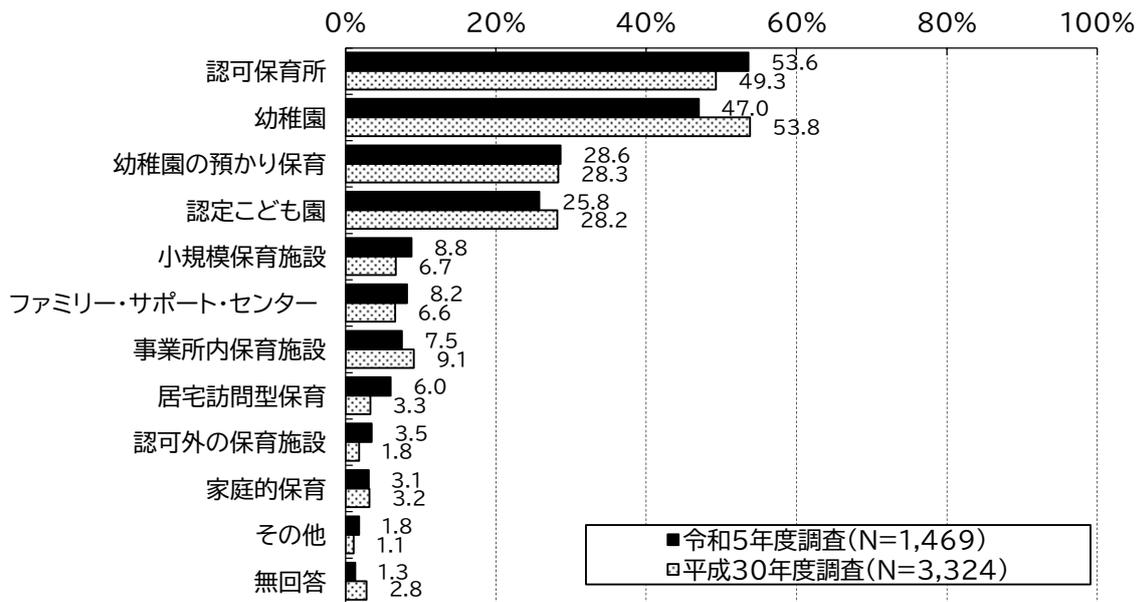
上段：度数		問16-2 教育・保育の終了時間（現在）								
下段：%		合計	14時以前	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答
問16-1 利用している教育・保育事業名×現在の利用終了時間	全体	1072	121	289		208	151	41	2	10
		100.0	11.3	27.0		19.4	14.1	3.8	0.2	0.9
	幼稚園	372		216	37	26	7	6	1	4
		100.0		58.1	9.9	7.0	1.9	1.6	0.3	1.1
	幼稚園の預かり保育	74	11	23		14	4	5	1	1
		100.0	14.9	31.1		18.9	5.4	6.8	1.4	1.4
	認可保育所	537	6	36	177		126	33	-	2
		100.0	1.1	6.7	33.0		23.5	6.1	-	0.4
	認定こども園	72		15	27	6	6	-	1	-
		100.0		20.8	37.5	8.3	8.3	-	1.4	-
	事業所内保育施設	33	5	10	4	5		1	1	1
		100.0	15.2	30.3	12.1	15.2		3.0	3.0	3.0
認可外の保育施設	43		7	7	12	6	-	-	3	
	100.0		16.3	16.3	27.9	14.0	-	-	7.0	
ファミリー・サポート・センター	7	1	2	-	-	2	2	-	-	
	100.0	14.3	28.6	-	-	28.6	28.6	-	-	
その他	30		11	2	4	4	1	-	1	
	100.0		36.7	6.7	13.3	13.3	3.3	-	3.3	
上段：度数		問16-2 教育・保育の終了時間（希望）								
下段：%		合計	14時以前	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答
問16-1 利用している教育・保育事業名×希望の利用終了時間	全体	1072	36	153	267		188	64	11	113
		100.0	3.4	14.3	24.9		17.5	6.0	1.0	10.5
	幼稚園	372	18	109	77		26	8	-	39
		100.0	4.8	29.3	20.7		7.0	2.2	-	10.5
	幼稚園の預かり保育	74	3	6	21	14	7	-	-	6
		100.0	4.1	8.1	28.4	18.9	9.5	-	-	8.1
	認可保育所	537	9	29	111		143	51	10	54
		100.0	1.7	5.4	20.7		26.6	9.5	1.9	10.1
	認定こども園	72	4		31	9	6	1	1	8
		100.0	5.6		43.1	12.5	8.3	1.4	1.4	11.1
	事業所内保育施設	33	2	7		7	7	3	-	3
		100.0	6.1	21.2		21.2	21.2	9.1	-	9.1
認可外の保育施設	43	1	5		14	4	4	-	6	
	100.0	2.3	11.6		32.6	9.3	9.3	-	14.0	
ファミリー・サポート・センター	7	-	-	2	1	1	2	1	-	
	100.0	-	-	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3	-	
その他	30	2		3	7	4	-	-	8	
	100.0	6.7		10.0	23.3	13.3	-	-	26.7	

(24) 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。＜複数回答＞

(就学前児童調査…問17)

「認可保育所（県や市の認可を受けたもの）」が53.6%と最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が47.0%であり、また、年齢別について、0歳～3歳は「認可保育所」、4歳・5歳は「幼稚園」が最も多い。

前回調査時と比べて「幼稚園」が減少し、「認可保育所」が多くなっている。



【年齢別・区域別×「定期的に」に利用したい教育・保育事業】

	上段:度数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
年齢別	全体	1466 100.0	418 28.5	787 53.7	379 25.9	130 8.9	45 3.1	110 7.5	52 3.5	88 6.0	120 8.2	26 1.8	19 1.3	
	0歳	249 100.0	68 27.3	164 65.9	98 39.4	32 12.9	11 4.4	25 10.0	16 6.4	18 7.2	21 8.4	6 2.4	3 1.2	
	1歳	217 100.0	50 23.0	138 63.6	62 28.6	24 11.1	4 1.8	14 6.5	11 5.1	10 4.6	17 7.8	2 0.9	3 1.4	
	2歳	199 100.0	62 31.2	104 52.3	44 22.1	24 12.1	5 2.5	18 9.0	7 3.5	15 7.5	14 7.0	5 2.5	2 1.0	
	3歳	246 100.0	74 30.1	122 49.6	53 21.5	16 6.5	9 3.7	17 6.9	10 4.1	19 7.7	22 8.9	5 2.0	2 0.8	
	4歳	247 100.0	117 47.4	73 29.6		56 22.7	15 6.1	9 3.6	19 7.7	5 2.0	9 3.6	18 7.3	5 2.0	4 1.6
	5歳	308 100.0	146 47.4	91 29.5		66 21.4	19 6.2	7 2.3	17 5.5	3 1.0	17 5.5	28 9.1	3 1.0	5 1.6
	全体	1460 100.0	418 28.6	781 53.5	376 25.8	129 8.8	44 3.0	110 7.5	52 3.6	88 6.0	119 8.2	26 1.8	19 1.3	
	区域別	本庁	269 100.0	141 52.4	86 32.0		65 24.2	25 9.3	8 3.0	23 8.6	20 7.4	12 4.5	20 7.4	5 1.9
岡崎		215 100.0	120 55.8	82 38.1		53 24.7	13 6.0	7 3.3	17 7.9	10 4.7	22 10.2	26 12.1	- -	2 0.9
大平		177 100.0		53 29.9	103 58.2	43 24.3	15 8.5	1 0.6	15 8.5	- -	8 4.5	13 7.3	5 2.8	2 1.1
東部		133 100.0		27 20.3	89 66.9	29 21.8	9 6.8	4 3.0	8 6.0	5 3.8	7 5.3	9 6.8	3 2.3	2 1.5
岩津		191 100.0	104 54.5	59 30.9		45 23.6	11 5.8	7 3.7	12 6.3	4 2.1	12 6.3	13 6.8	3 1.6	1 0.5
矢作		188 100.0		50 26.6	102 54.3	44 23.4	22 11.7	8 4.3	16 8.5	4 2.1	9 4.8	19 10.1	3 1.6	4 2.1
六ヶ美		202 100.0		52 25.7	110 54.5	59 29.2	23 11.4	4 2.0	15 7.4	5 2.5	10 5.0	13 6.4	6 3.0	1 0.5
額田		85 100.0	14 16.5	9 10.6		51 60.0	11 12.9	5 5.9	4 4.7	4 4.7	8 9.4	6 7.1	1 1.2	3 3.5

潜在家庭類型別について、「C'フルタイム×パートタイム（短）」「D 専業主婦（夫）」は「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が最も多く、「A ひとり親家庭」「B フルタイム×フルタイム」「C フルタイム×パートタイム」では「認可保育所（県や市の認可を受けたもの）」が最も多い。

【潜在家庭類型×定期的な教育・保育事業の利用希望】

上段：度数 下段：%	合計	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	1448 100.0	416 28.7	780 53.9	377 26.0	129 8.9	44 3.0	109 7.5	52 3.6	86 5.9	119 8.2	26 1.8	18 1.2	
Aひとり親家庭	69 100.0	18 26.1	47 68.1	13 18.8	4 5.8	2 2.9	7 10.1	1 1.4	5 7.2	8 11.6	2 2.9	-	
Bフルタイム×フルタイム	535 100.0	140 26.2	128 23.9	395 73.8	50 9.3	20 3.7	43 8.0	28 5.2	39 7.3	55 10.3	11 2.1	9 1.7	
Cフルタイム×パートタイム	308 100.0	94 30.5	71 23.1	224 72.7	36 11.7	7 2.3	30 9.7	14 4.5	14 4.5	18 5.8	1 0.3	4 1.3	
C'フルタイム×パートタイム（短）	196 100.0	158 80.6	-	27 13.8	25 12.8	12 6.1	4 2.0	10 5.1	3 1.5	8 4.1	15 7.7	3 1.5	2 1.0
D専業主婦（夫）	336 100.0	258 76.8	-	87 25.9	93 27.7	27 8.0	11 3.3	19 5.7	6 1.8	20 6.0	23 6.8	8 2.4	3 0.9
Eパート×パート	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-
E'パート×パート（短）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F無業×無業	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(25) 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。＜単数回答＞

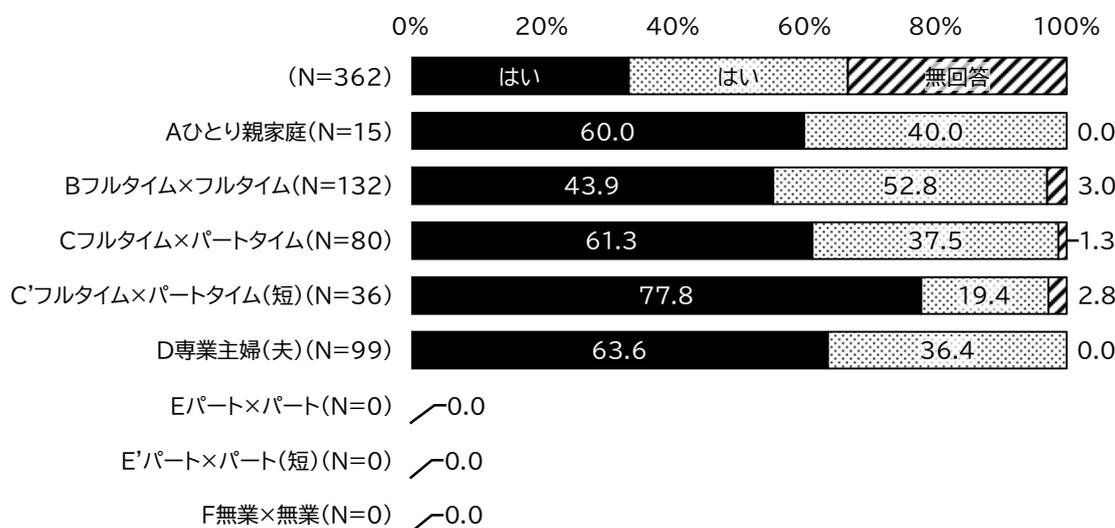
（就学前児童調査…問 17-1）

「はい」が61.4%、「いいえ」が36.7%となっている。

潜在家庭類型別では、「B フルタイム×フルタイム」以外は6割以上となっている。



【潜在家庭類型×幼稚園の利用意向】



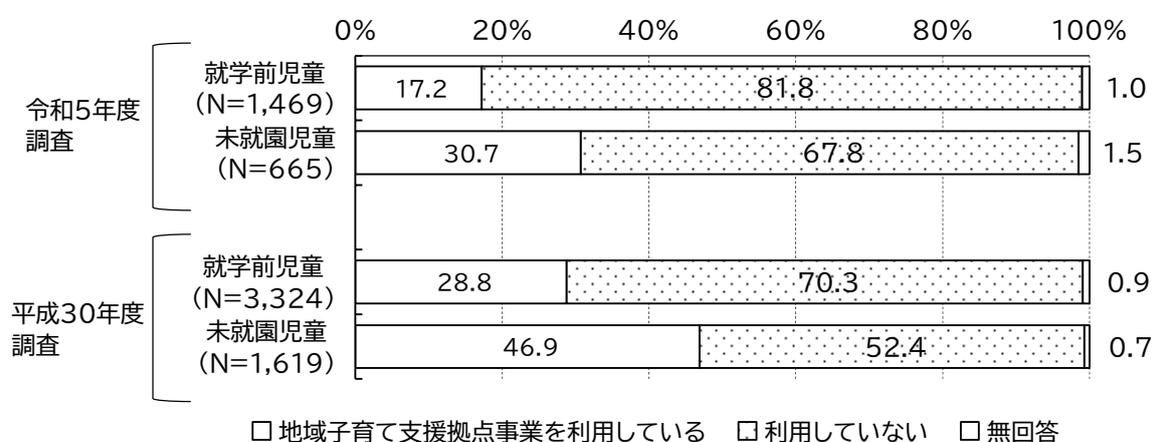
6. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

(26) お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場（地域交流センター、げんき館などのプレイルーム）」「子育て支援センター」などと呼ばれています）を利用していますか。〈単数回答・数量回答〉

（就学前児童調査…問 18）

「地域子育て支援拠点事業を利用している」が就学前児童について 17.2%、未就園児童（0～2歳）について 30.7%であり、いずれも前回調査時と比べて減少している。

近年の新型コロナウイルス感染症による影響を受けたことで、前回調査時と比べて利用意向が減少していると推察される。



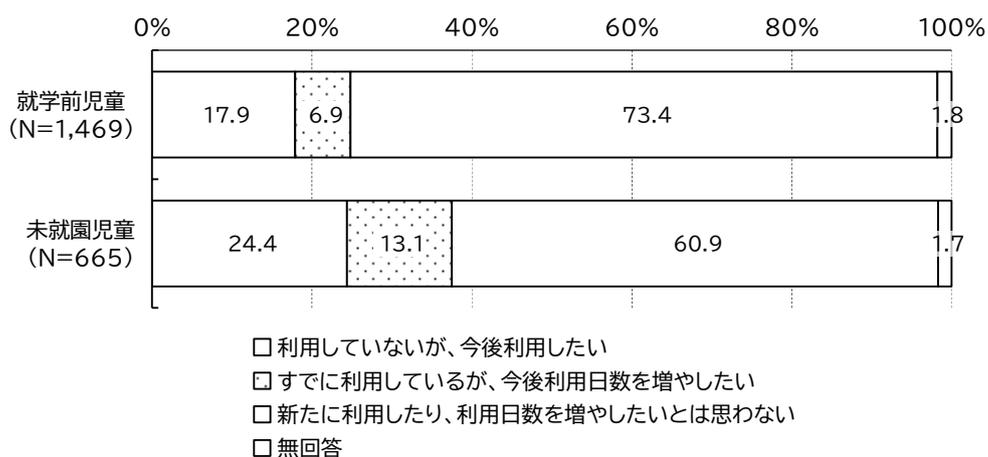
【1週当たり利用日数、又は1か月当たり利用回数 未就園児童】

未就園児	1週当たりの利用日数 (N=204)		未就園児	1か月当たりの利用回数 (N=204)	
	件数	%		回数	件数
1日	44	21.6	1回	65	31.9
2日	17	8.3	2回	38	18.6
3日	12	5.9	3回	17	8.3
4日	2	1.0	4回	17	8.3
5日以上	1	0.5	5回以上	26	12.7
無回答	128	62.7	無回答	41	20.1

(27) 今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。＜単数回答・数量回答＞

(就学前児童調査…問 19)

就学前児童について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が73.4%と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が17.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が6.9%となっている。未就園児童も同様の傾向となっているが、「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が就学前児童全体に比べて多い。



【1週当たり利用日数、又は1か月当たり利用回数_未就園児童】

未就園児童の1週当たりの利用希望回数	利用していないが、今後利用したい (N=162)		すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい (N=87)	
	件数	%	件数	%
1日	55	34.0	23	26.4
2日	28	17.3	20	23.0
3日	15	9.3	14	16.1
4日	2	1.2	1	1.1
5日以上	3	1.9	4	4.6
無回答	59	36.4	25	28.7

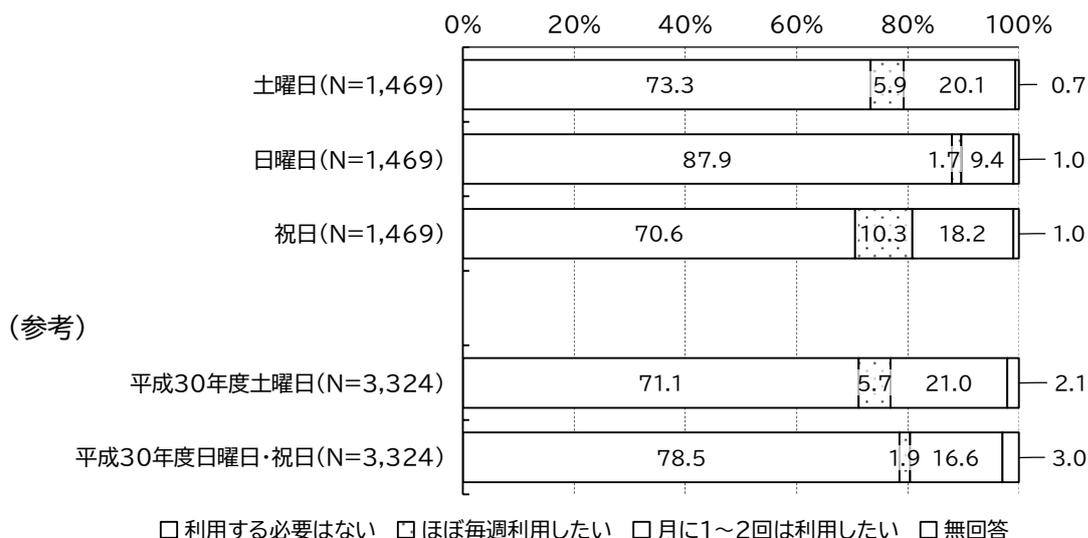
未就園児童の1か月当たりの利用希望回数	利用していないが、今後利用したい (N=162)		すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい (N=87)	
	件数	%	件数	%
1回	23	14.2	1	1.1
2回	23	14.2	10	11.5
3回	19	11.7	6	6.9
4回	18	11.1	5	5.7
5回以上	43	26.5	28	32.2
無回答	36	22.2	37	42.5

7. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

(28) お子さんについて、土曜日、日曜日、祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。＜単数回答・数量回答＞

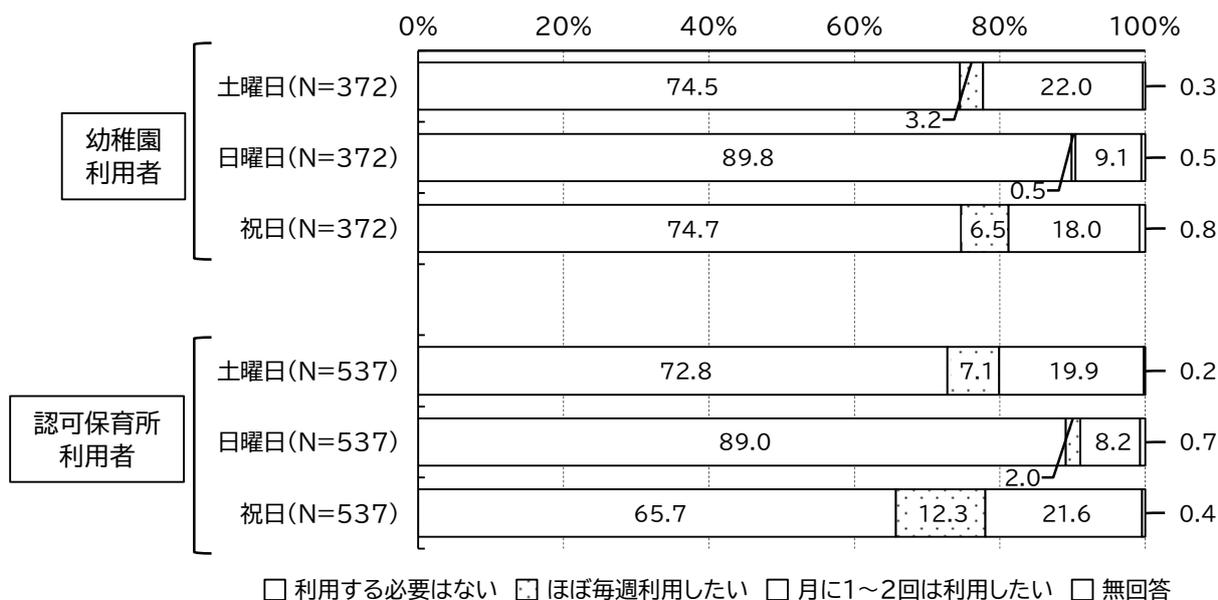
(就学前児童調査…問 20)

土曜日・日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が最も多い。認可保育所利用者における祝日の定期的な利用希望が 33.9%となっている。

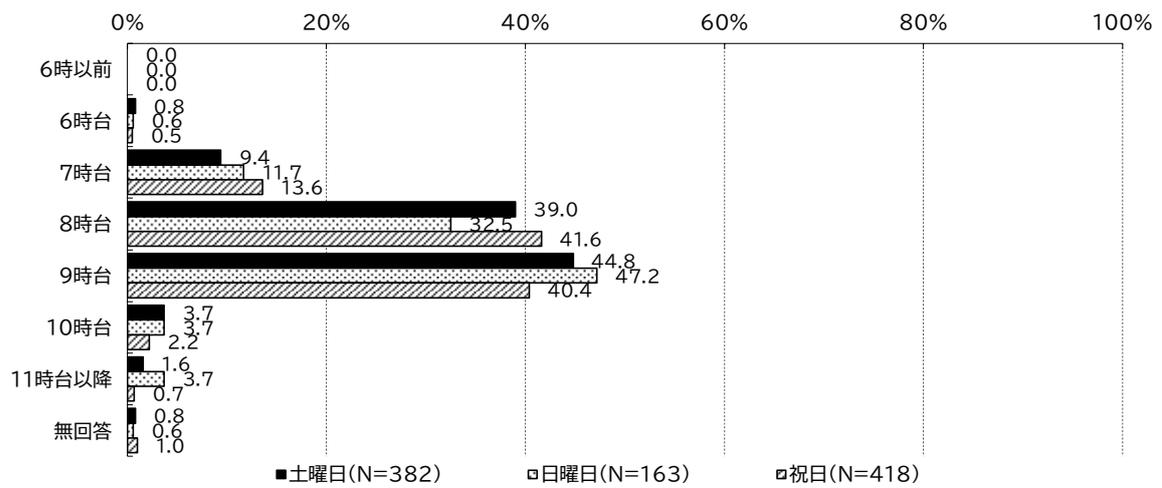


※前回調査では「日曜日・祝日」となっている。

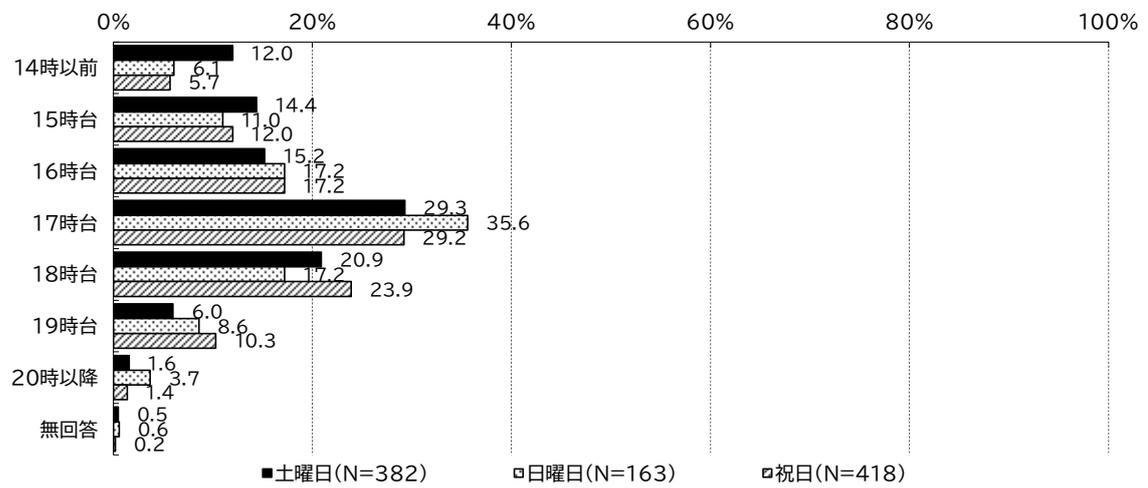
【幼稚園・認可保育所の利用状況別】



【利用したい時間帯（利用開始時間）】



【利用したい時間帯（利用終了時間）】

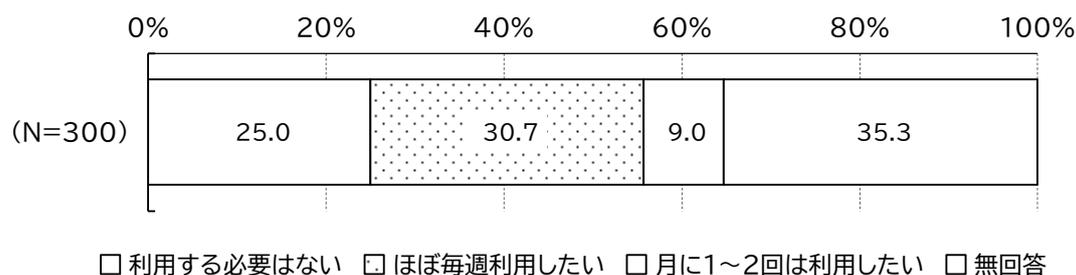


(29) 定期的に幼稚園を利用している人

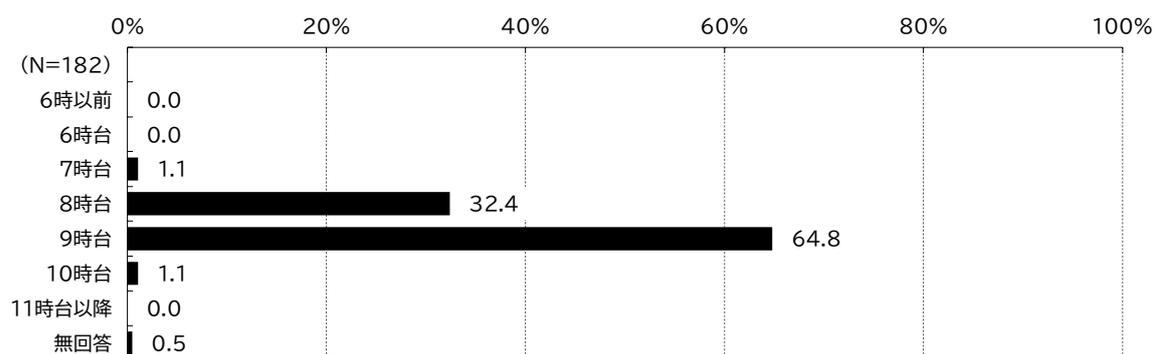
お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。＜単数回答・数量回答＞

(就学前児童調査…問 21)

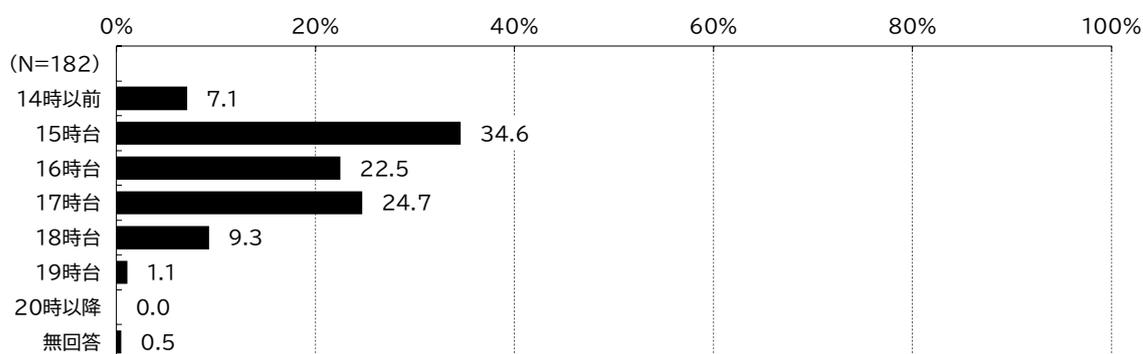
「ほぼ毎週利用したい」が30.7%、「利用する必要はない」が25.0%となっている。
 利用開始時間は「9時台」が64.8%と最も多く、次いで「8時台」が32.4%となっている。
 利用終了時間は「15時台」が34.6%と最も多く、次いで「17時台」が24.7%となっている。



【利用したい時間帯_利用開始時間】



【利用したい時間帯_利用終了時間】



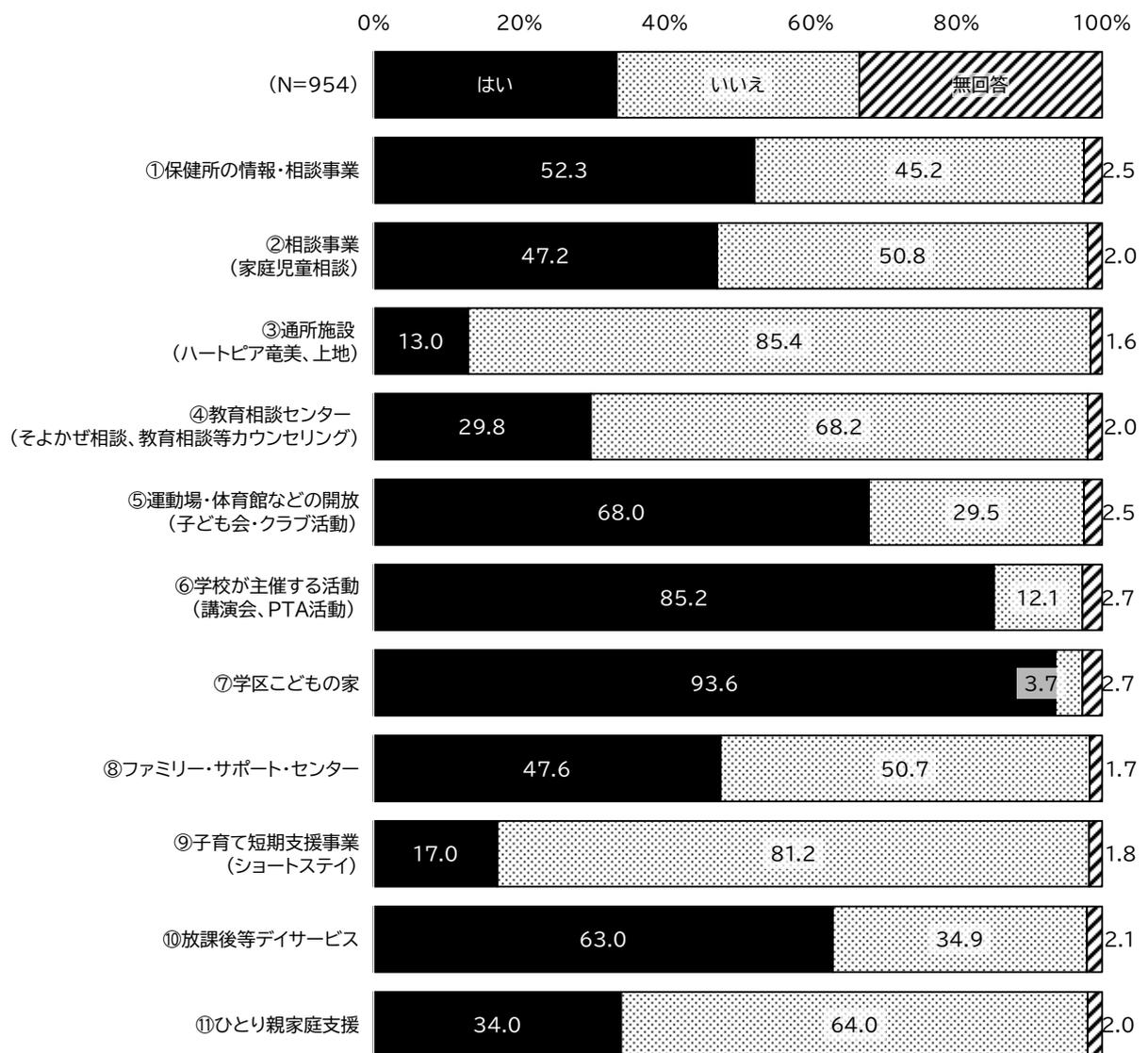
8. 子育てサービスの認知度についてうかがいます

(30) 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。

(小学生児童調査…問 15)

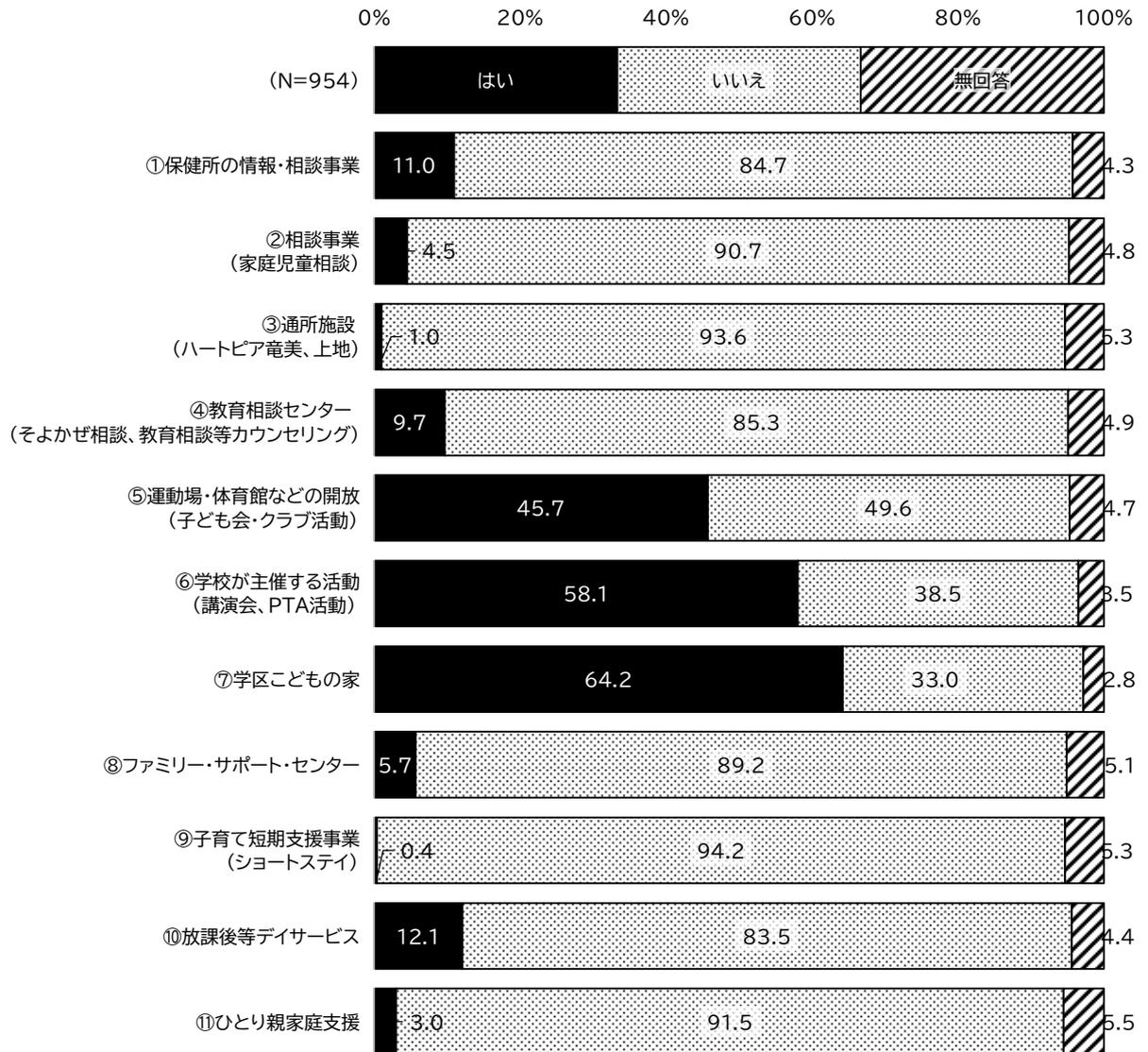
知っている事業について、「⑦学区こどもの家」が93.6%、「⑥学校が主催する活動（講演会、PTA活動）」が85.2%、「⑤運動場・体育館などの開放（子ども会・クラブ活動）」が68.0%となっている。

【A. 知っている】



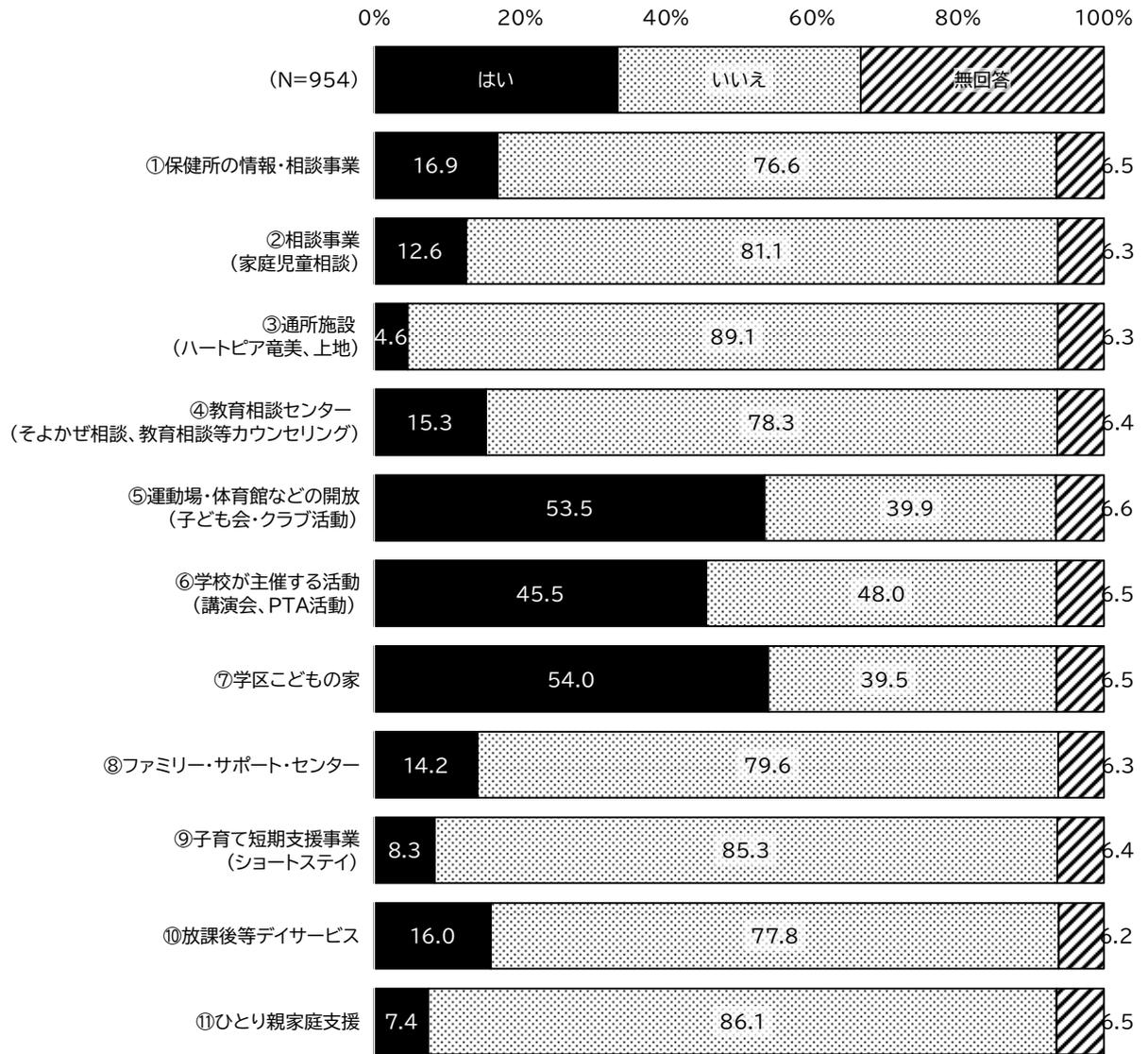
これまでに利用したことがある事業について、「⑦学区こどもの家」が64.2%、「⑥学校が主催する活動（講演会、PTA活動）」が58.1%、「⑤運動場・体育館などの開放（子ども会・クラブ活動）」が45.7%となっている。

【B. これまでに利用したことがある】



利用したい事業について、「⑦学区こどもの家」が54.0%、「⑤運動場・体育館などの開放（子ども会・クラブ活動）」が53.5%、「⑥学校が主催する活動（講演会、PTA活動）」が45.5%となっている。

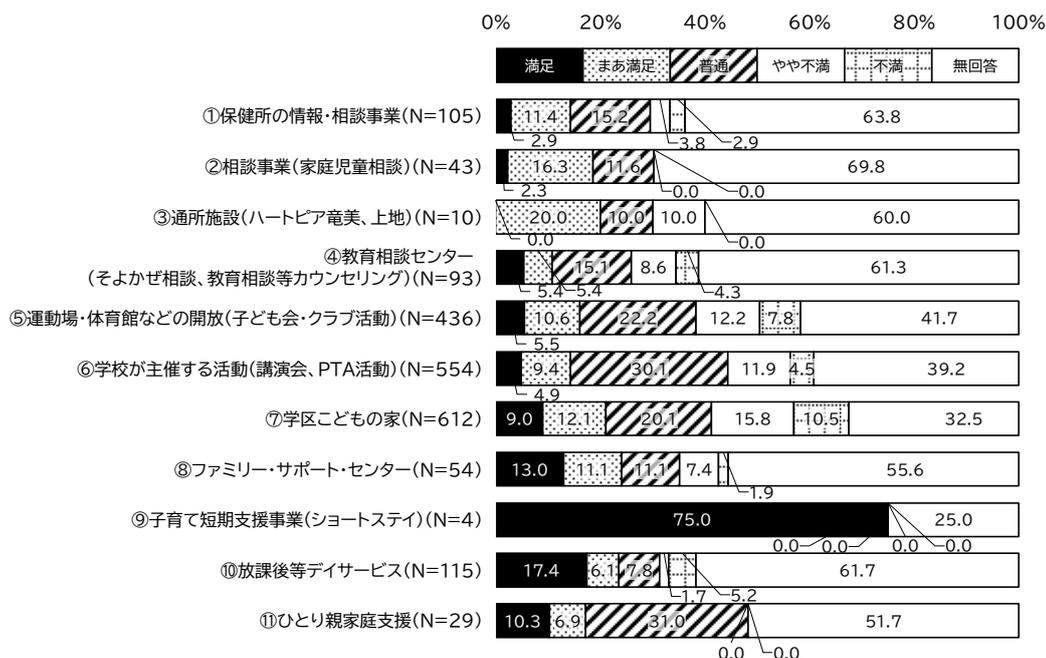
【C. 利用したい】



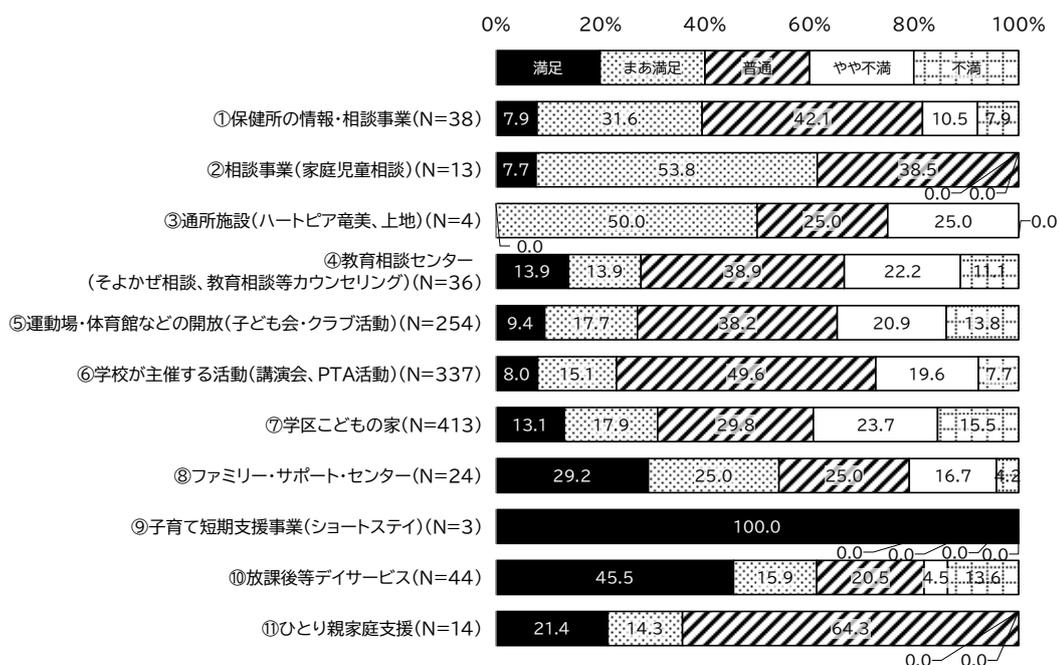
(32) これまでに利用したことがある事業で「はい」に○をつけたものについて、
利用した際の利用満足度をお答えください。

(小学生児童調査…問 17)

「⑨子育て短期支援事業（ショートステイ）」の満足度が75.0%と最も多い。また、「満足」と「まあ満足」の合計は「④教育相談センター（そよかぜ相談、教育相談等カウンセリング）」が10.8%となっている。その一方で、「不満」と「やや不満」の合計は「⑦学区子どもの家」が26.3%となっている。



(参考_「無回答」を除外)

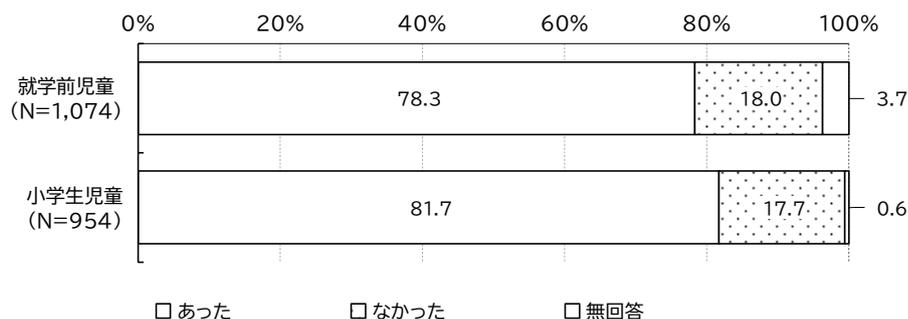


9. お子さんの病気の際の対応についてうかがいます（平日の教育・保育を利用する方のみ）

(33) この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。＜単数回答＞

（就学前児童調査…問 22 小学生児童調査…問 18）

就学前児童・小学生児童ともに「あった」がそれぞれ78.3%、81.3%、「なかった」が18.0%17.7%となっている。

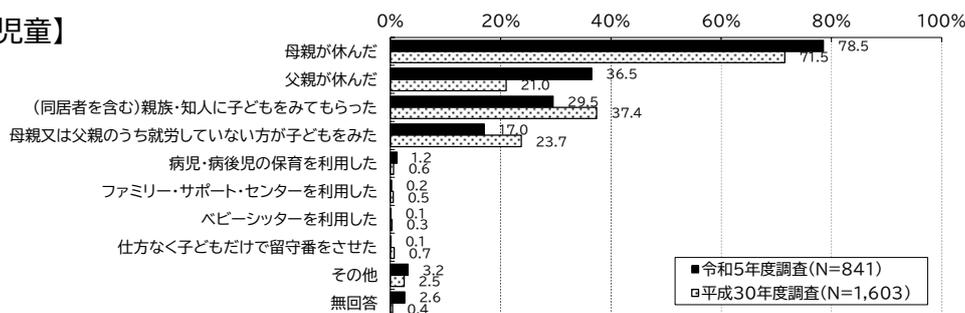


(34) お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法＜複数回答＞

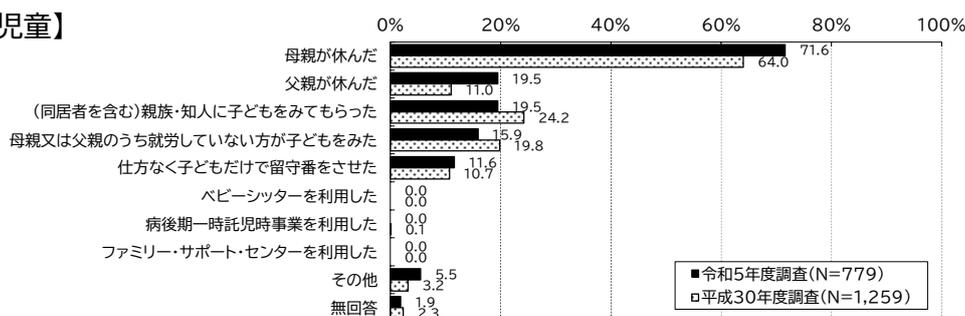
（就学前児童調査…問 22-1 小学生児童調査…問 18-1）

就学前児童・小学生児童ともに「母親が休んだ」がそれぞれ78.5%、71.6%と最も多い。次いで就学前児童は「父親が休んだ」が36.5%、小学生児童は「父親が休んだ」「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」がそれぞれ19.5%となっている。就学前児童、小学生児童ともに「父親が休んだ」割合が前回調査から増加している。

【就学前児童】



【小学生児童】



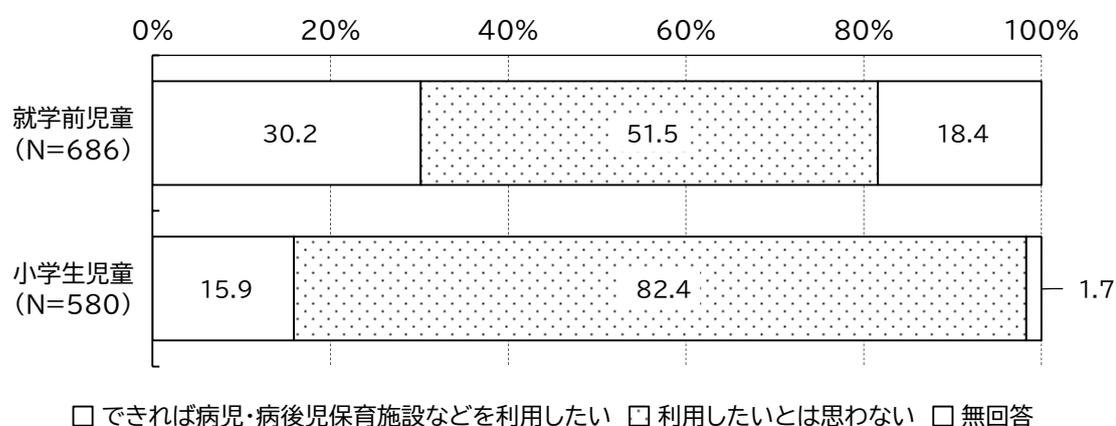
(35) 「できれば病児・病後児のための保育施設（小学生児童は病後期一時託児事業）などを利用したい」と思われましたか。＜単数回答＞

（就学前児童調査…問 22-2 小学生児童調査…問 18-2）

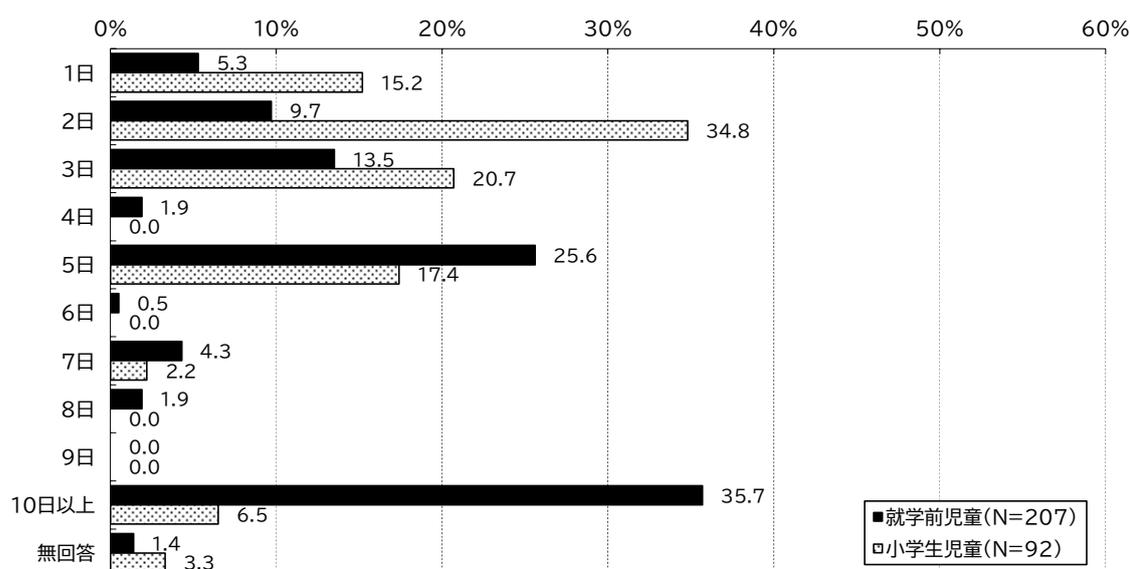
就学前児童・小学生児童ともに「利用したいとは思わない」がそれぞれ 51.5%、82.4%と最も多く、次いで「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が 30.2%、15.9%となっている。

利用希望日数について、就学前児童では「10日以上」が 35.7%と最も多く、次いで「5日」が 25.6%となっている。小学生児童では「2日」が 34.8%と最も多く、次いで「3日」が 20.7%となっている。

【利用意向】



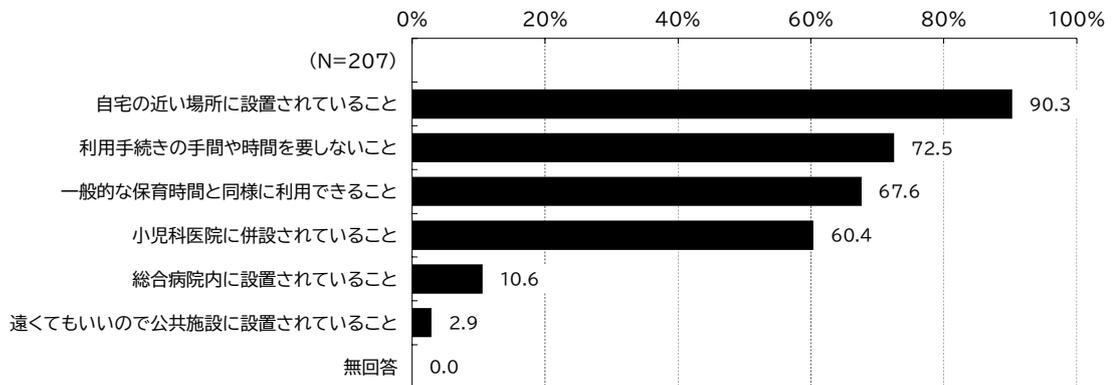
【利用希望日数】



(36) 病児・病後児保育施設について、希望する条件はありますか。＜複数回答＞

(就学前児童調査…問 22-3)

「自宅の近い場所に設置されていること」が90.3%と最も多く、次いで「利用手続きの手間や時間を要しないこと」が72.5%、「一般的な保育時間と同様に利用できること」が67.6%となっている。



10. お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます

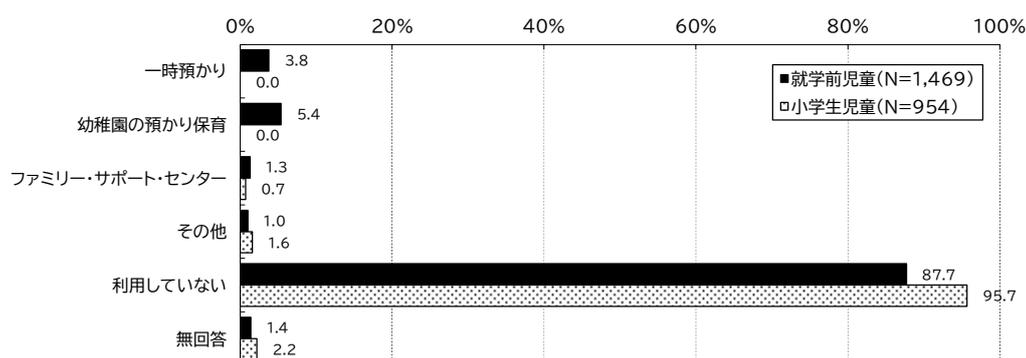
(37) お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労などの目的で不規則に利用している事業はありますか。

<複数回答・数量回答>

(就学前児童調査…問 23 小学生児童調査…問 19)

「利用していない」が就学前児童で 87.7%、小学生児童で 95.7%となっている。

【利用している事業】



※小学生児童は「一時預かり」「幼稚園の預り保育」の項目なし

【1年間の利用日数 就学前児童】

	一時預かり (N=56)		幼稚園の預り保育 (N=80)		ファミリー・サポート・センター (N=19)		その他 (N=15)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	1	1.8	6	7.5	6	31.6	1	6.7
2日	4	7.1	6	7.5	5	26.3	1	6.7
3日	0	0.0	9	11.3	0	0.0	0	0.0
4日	1	1.8	1	1.3	1	5.3	0	0.0
5日	2	3.6	10	12.5	1	5.3	2	13.3
6日	2	3.6	1	1.3	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	2	2.5	2	10.5	0	0.0
8日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	1	1.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	14	25.0	17	21.3	2	10.5	3	20.0
20～29日	12	21.4	4	5.0	0	0.0	2	13.3
30日以上	18	32.1	20	25.0	2	10.5	5	33.3
無回答	1	1.8	4	5.0	0	0.0	1	6.7

【1年間の利用日数 小学生児童】

	ファミリー・サポート・センター (N=7)		その他 (N=15)	
	件数	%	件数	%
1日	1	14.3	0	0.0
2日	1	14.3	1	6.7
3日	2	28.6	2	13.3
4日	0	0.0	0	0.0
5日	0	0.0	2	13.3
6日	0	0.0	1	6.7
7日	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0
10～19日	0	0.0	1	6.7
20～29日	0	0.0	1	6.7
30日以上	0	0.0	5	33.3
無回答	3	42.9	2	13.3

(38) お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

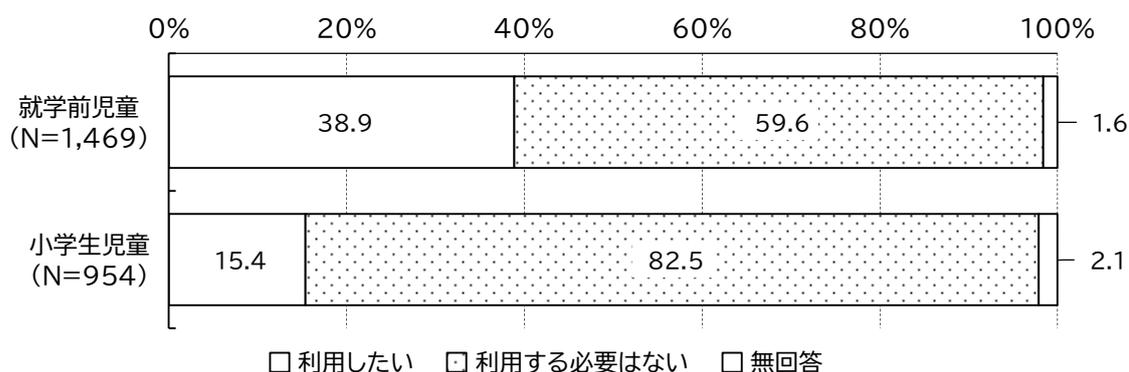
<単数回答・複数回答・数量回答>

(就学前児童調査…問 24 小学生児童調査…問 20)

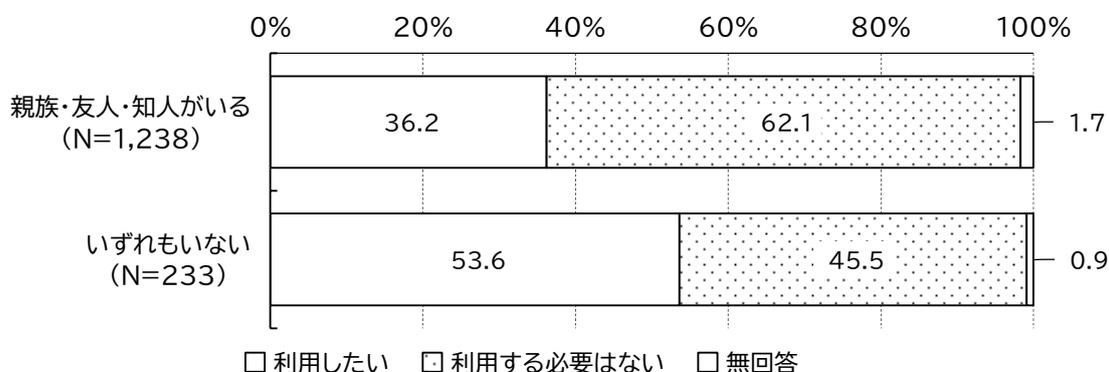
就学前児童・小学生児童ともに「利用する必要はない」がそれぞれ 59.6%、82.5%、「利用したい」が 38.9%、15.4%となっている。

また、就学前児童・小学生児童ともに、子どもをみてもらえる親族・友人・知人がいない人は「利用したい」が多い傾向にある。

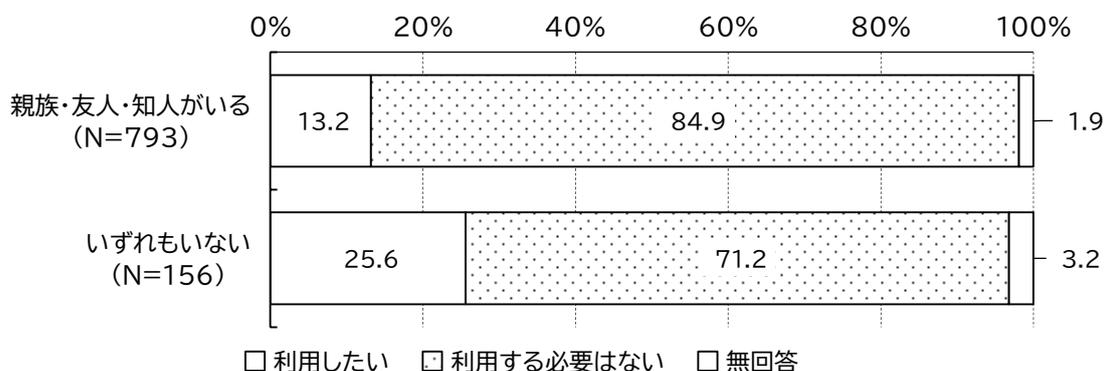
【利用意向】



【子どもをみてもらえる親族・友人・知人の有無_就学前児童】

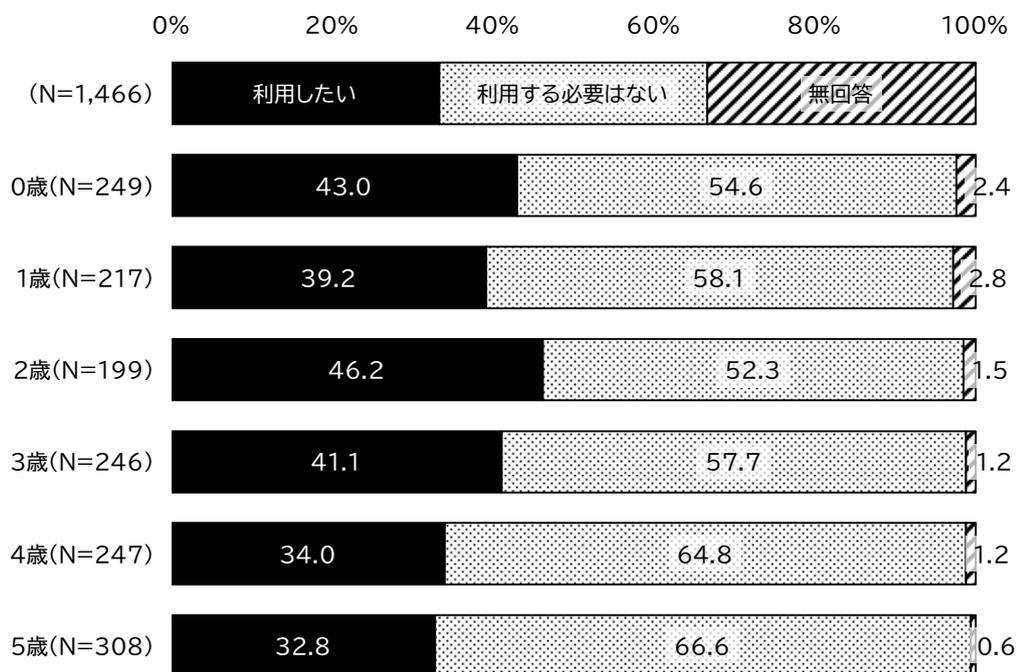


【子どもをみてもらえる親族・友人・知人の有無_小学生児童】

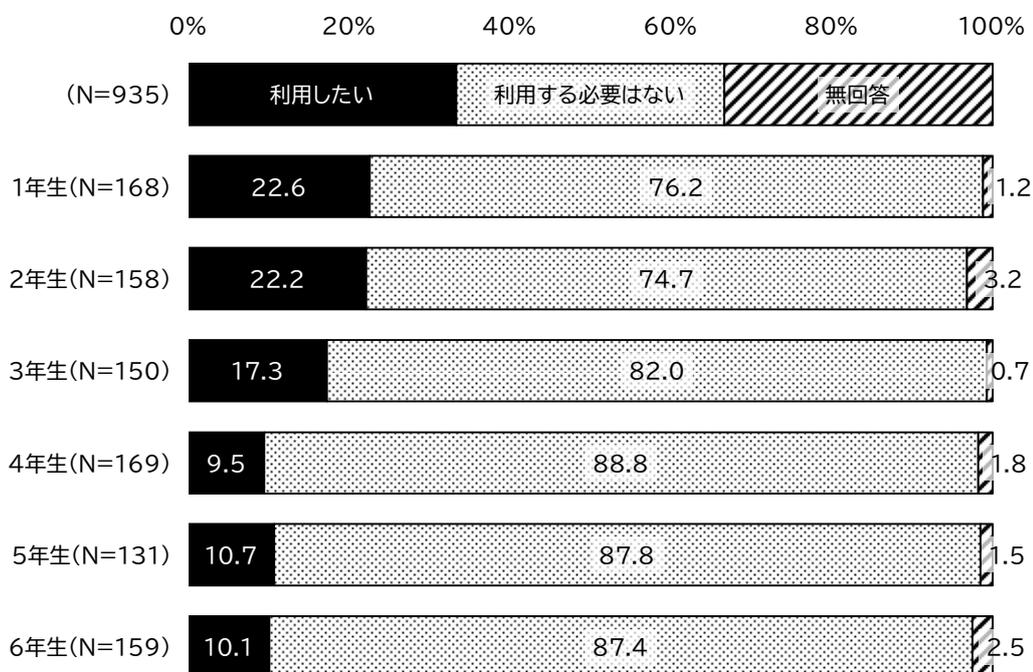


子どもの年齢別について、就学前児童では「4歳」「5歳」が3割台となっている。また、小学生児童は1年生・2年生が2割を超えている。

【子どもの年齢×利用意向_就学前児童】



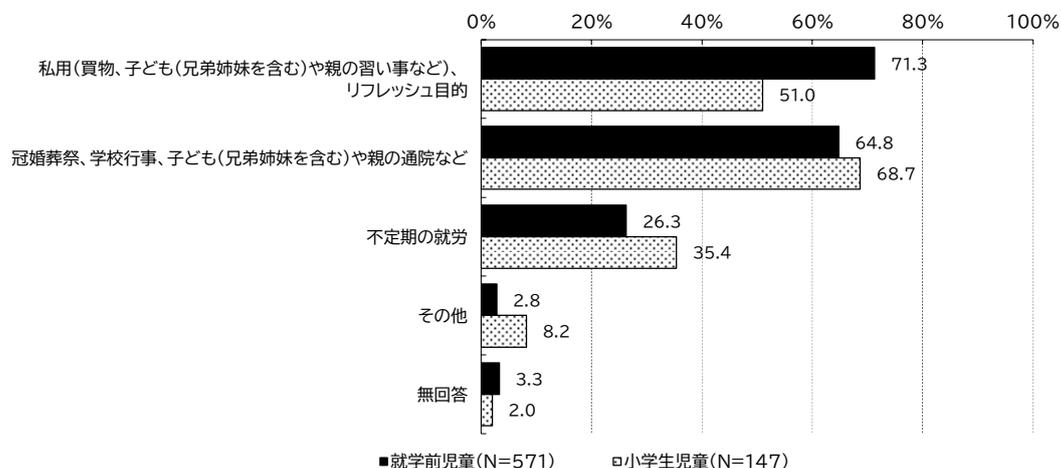
【子どもの学年×利用意向_小学生児童】



利用目的について、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」が就学前児童で64.8%、小学生児童で68.7%となっている。就学前児童では「私用、リフレッシュ目的」が小学生児童に比べて多い。

年間の利用希望日数について、就学前児童・小学生児童ともに「10～19日」が最も多い。

【利用目的】



【利用希望日数_就学前児童】

	年間合計 (N=571)		私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事など)、リフレッシュ目的 (N=407)		冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院など (N=370)		不定期の就労 (N=150)		その他 (N=16)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	5	0.9	9	2.2	13	3.5	5	3.3	0	0.0
2日	9	1.6	16	3.9	32	8.6	9	6.0	1	6.3
3日	12	2.1	31	7.6	43	11.6	15	10.0	0	0.0
4日	8	1.4	7	1.7	9	2.4	1	0.7	0	0.0
5日	43	7.5	68	16.7	98	26.5	28	18.7	4	25.0
6日	16	2.8	24	5.9	20	5.4	1	0.7	1	6.3
7日	11	1.9	5	1.2	12	3.2	2	1.3	1	6.3
8日	10	1.8	2	0.5	4	1.1	0	0.0	0	0.0
9日	2	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	184	32.2	156	38.3	106	28.6	49	32.7	4	25.0
20～29日	69	12.1	41	10.1	17	4.6	14	9.3	4	25.0
30日以上	96	16.8	47	11.5	14	3.8	23	15.3	0	0.0
無回答	106	18.6	1	0.2	2	0.5	3	2.0	1	6.3

【利用希望日数_小学生児童】

	年間合計 (N=147)		私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事など)、リフレッシュ目的 (N=75)		冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院など (N=101)		不定期の就労 (N=52)		その他 (N=12)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	3	2.0	5	6.7	11	10.9	2	3.8	1	0.1
2日	5	3.4	10	13.3	16	15.8	4	7.7	1	0.1
3日	10	6.8	14	18.7	17	16.8	8	15.4	2	0.2
4日	4	2.7	3	4.0	1	1.0	1	1.9	0	0.0
5日	22	15.0	11	14.7	27	26.7	8	15.4	1	0.1
6日	8	5.4	4	5.3	2	2.0	1	1.9	0	0.0
7日	4	2.7	3	4.0	5	5.0	3	5.8	0	0.0
8日	5	3.4	1	1.3	0	0.0	2	3.8	0	0.0
9日	2	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	36	24.5	18	24.0	17	16.8	8	15.4	1	0.1
20～29日	12	8.2	1	1.3	0	0.0	3	5.8	1	0.1
30日以上	16	10.9	5	6.7	1	1.0	6	11.5	3	0.3
無回答	20	13.6	0	0.0	4	4.0	6	11.5	2	0.2

(39) 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

<単数回答・複数回答・数量回答>

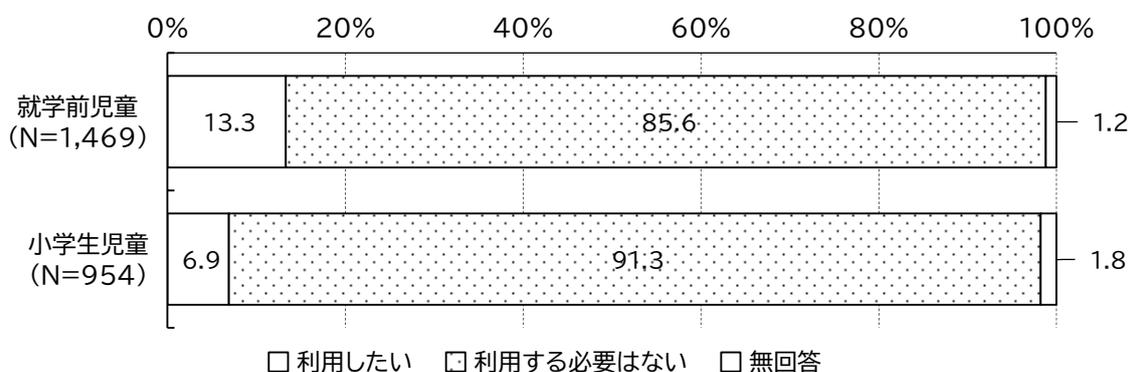
(就学前児童調査…問 25 小学生児童調査…問 21)

利用意向について、就学前児童では「利用する必要はない」が85.6%、「利用したい」が13.3%となっている。小学生児童では「利用する必要はない」が91.3%、「利用したい」が6.9%となっており、就学前児童に比べて利用する必要性が低い。

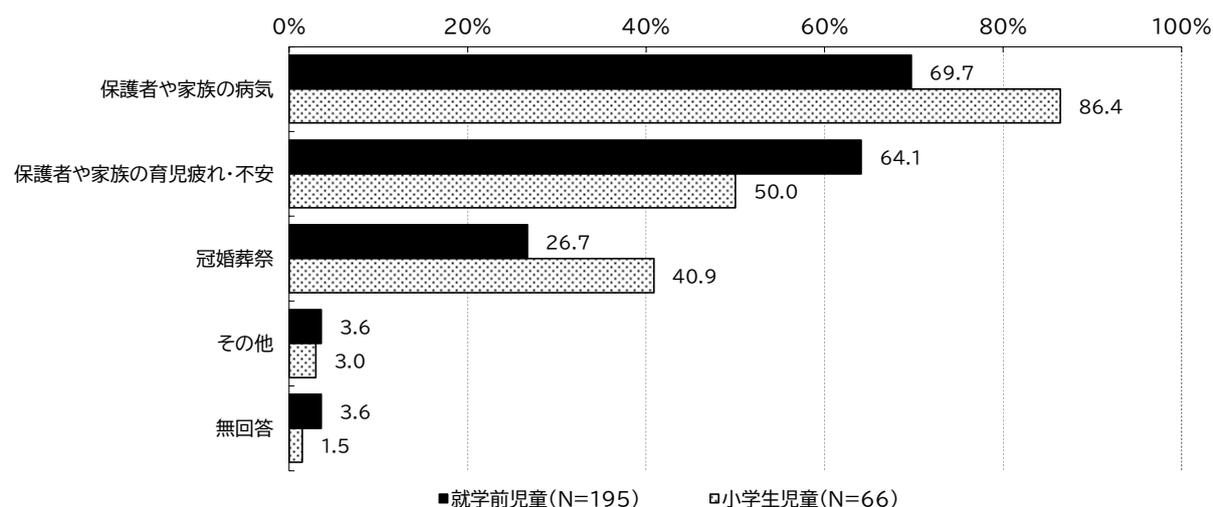
利用目的について、就学前児童・小学生児童ともに「保護者や家族の病気」が最も多く、それぞれ69.7%、86.4%となっている。次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」がそれぞれ64.1%、50.0%となっている。

年間の利用希望日数について、就学前児童・小学生児童ともに「10～19日」が最も多い。

【利用意向】



【利用目的】



【利用希望日数_就学前児童】

	年間合計 (N=195)		冠婚葬祭 (N=52)		保護者や家族の育児疲れ・不安 (N=125)		保護者や家族の病気 (N=136)		その他 (N=7)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	6	3.1	12	23.1	6	4.8	6	4.4	0	0.0
2日	3	1.5	14	26.9	12	9.6	11	8.1	0	0.0
3日	9	4.6	11	21.2	14	11.2	11	8.1	2	28.6
4日	6	3.1	1	1.9	1	0.8	3	2.2	0	0.0
5日	25	12.8	7	13.5	30	24.0	34	25.0	0	0.0
6日	6	3.1	1	1.9	6	4.8	4	2.9	0	0.0
7日	7	3.6	0	0.0	5	4.0	8	5.9	0	0.0
8日	4	2.1	0	0.0	0	0.0	2	1.5	0	0.0
9日	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	51	26.2	5	9.6	28	22.4	39	28.7	3	42.9
20～29日	17	8.7	0	0.0	13	10.4	3	2.2	0	0.0
30日以上	19	9.7	0	0.0	9	7.2	9	6.6	2	28.6
無回答	41	21.0	1	1.9	1	0.8	6	4.4	0	0.0

【利用希望日数_小学生児童】

	年間合計 (N=195)		冠婚葬祭 (N=27)		保護者や家族の育児疲れ・不安 (N=33)		保護者や家族の病気 (N=136)		その他 (N=7)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	1	1.5	8	29.6	4	12.1	6	10.5	0	0.0
2日	6	9.1	6	22.2	7	21.2	9	15.8	0	0.0
3日	8	12.1	5	18.5	6	18.2	12	21.1	0	0.0
4日	1	1.5	0	0.0	0	0.0	2	3.5	0	0.0
5日	5	7.6	5	18.5	5	15.2	8	14.0	0	0.0
6日	4	6.1	0	0.0	0	0.0	1	1.8	0	0.0
7日	3	4.5	2	7.4	3	9.1	6	10.5	0	0.0
8日	2	3.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	14	21.2	1	3.7	6	18.2	7	12.3	1	50.0
20～29日	4	6.1	0	0.0	0	0.0	1	1.8	1	50.0
30日以上	3	4.5	0	0.0	2	6.1	2	3.5	0	0.0
無回答	15	22.7	0	0.0	0	0.0	3	5.3	0	0.0

11. 放課後の過ごし方（就学前児童の場合は5歳以上）について

(40) 宛名のお子さんについて、小学生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

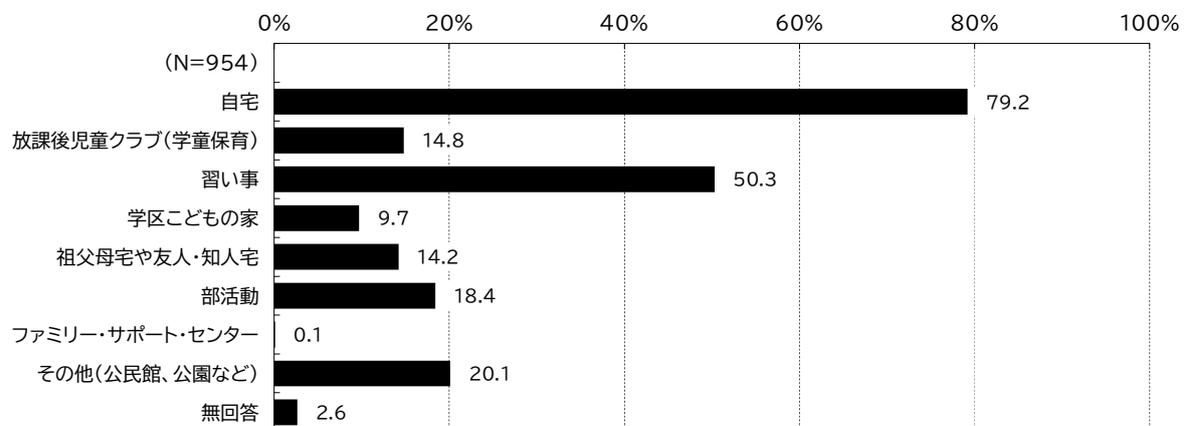
<複数回答・数量回答>

(就学前児童調査…問 26 小学生児童調査…問 22)

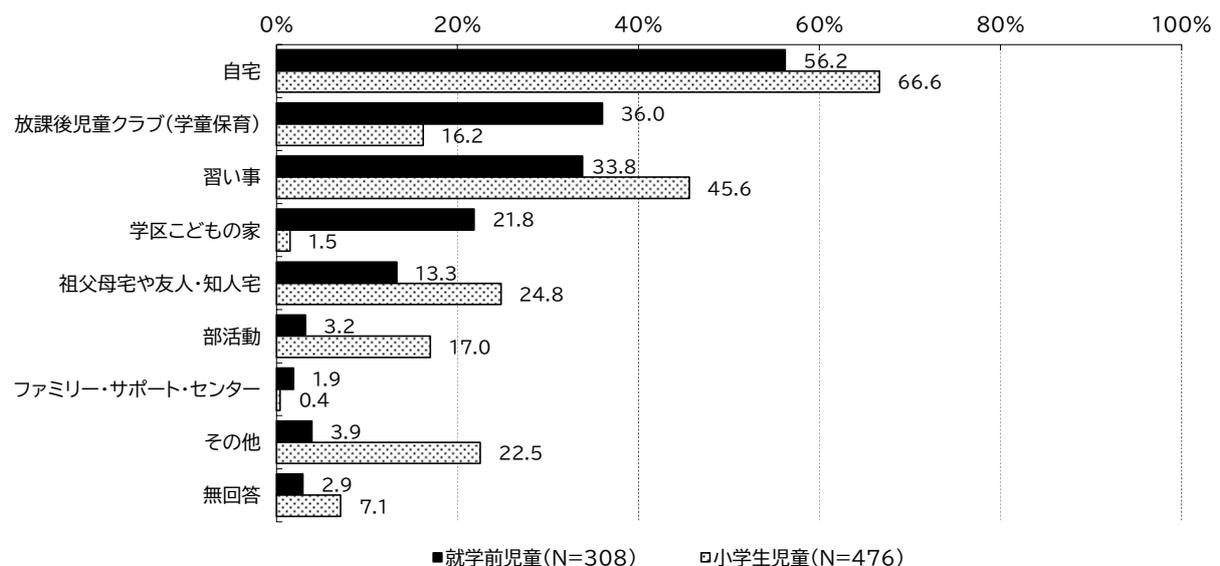
小学生児童における現在の過ごし方は「自宅」が79.2%と最も多く、次いで「習い事」が50.3%となっている。

低学年における希望の放課後の過ごし方は、就学前児童・小学生児童ともに「自宅」が最も多く、それぞれ56.2%、66.6%となっている。次いで、就学前児童では「放課後児童クラブ（学童保育）」が36.0%、小学生児童では「習い事」が45.6%となっている。

【現在の過ごし方（小学生児童）】



【希望の過ごし方_低学年】



潜在家庭類型別の放課後の希望の過ごし方について、「Bフルタイム×フルタイム」は「放課後児童クラブ（学童保育）」が就学前児童が73.0%、小学生児童が50.0%と最も多い。

【潜在家庭類型×希望の過ごし方（低学年）_就学前児童】

上段:度数 下段:%	合計	自宅	祖父母宅や 友人・知人 宅	習い事	部活動	放課後児童 クラブ(学 童保育)	学区こども の家	ファミ リー・サ ポート・セ ンター	その他	無回答
全体	305 100.0	170 55.7	41 13.4	102 33.4	10 3.3		66 21.6	6 2.0	12 3.9	9 3.0
Aひとり親家庭	23 100.0	11 47.8	4 17.4	8 34.8	1 4.3		5 21.7	-	-	2 8.7
Bフルタイム×フルタイム	89 100.0	18 20.2	14 15.7		3 3.4	65 73.0	16 18.0	3 3.4	1 1.1	1 1.1
Cフルタイム×パートタイム	75 100.0	45 60.0	11 14.7	20 26.7	1 1.3		23 30.7	1 1.3	4 5.3	1 1.3
C'フルタイム×パートタイム(短)	63 100.0	52 82.5	8 12.7		3 4.8	5 7.9	11 17.5	1 1.6	3 4.8	3 4.8
D専業主婦(夫)	55 100.0	44 80.0	4 7.3		2 3.6	4 7.3	11 20.0	1 1.8	4 7.3	2 3.6
Eパート×パート	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E'パート×パート(短)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F無業×無業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【潜在家庭類型×希望の過ごし方（低学年）_小学生児童】

上段:度数 下段:%	合計	自宅	祖父母宅や 友人・知人 宅	習い事	部活動	放課後児童 クラブ(学 童保育)	学区こども の家	ファミ リー・サ ポート・セ ンター	その他(公 民館、公園 など)	無回答
全体	474 100.0	316 66.7	77 16.2		7 1.5	117 24.7	80 16.9	2 0.4	107 22.6	34 7.2
Aひとり親家庭	36 100.0	14 38.9	4 11.1	10 27.8	1 2.8		4 11.1	-	5 13.9	4 11.1
Bフルタイム×フルタイム	142 100.0		32 22.5	51 35.9	2 1.4	71 50.0	21 14.8	1 0.7	16 11.3	7 4.9
Cフルタイム×パートタイム	171 100.0	133 77.8	26 15.2		3 1.8	28 16.4	36 21.1	1 0.6	44 25.7	12 7.0
C'フルタイム×パートタイム(短)	60 100.0	46 76.7	6 10.0		-	3 5.0	13 21.7	-	20 33.3	6 10.0
D専業主婦(夫)	65 100.0	53 81.5	9 13.8		1 1.5	2 3.1	6 9.2	-	22 33.8	5 7.7
Eパート×パート	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E'パート×パート(短)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F無業×無業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

1週当たりの利用希望日数について、就学前児童では「習い事」は「2日」が47.1%、「放課後児童クラブ（学童保育）」は「5日」が61.4%、「学区こどもの家」は「5日」が37.4%となっている。

小学生児童では「習い事」は「2日」が38.3%、「放課後児童クラブ（学童保育）」は「5日」が46.9%、「学区こどもの家」は「1日」が38.2%となっている。

【放課後の過ごし方（低学年）_就学前児童】

	自宅 (N=529)		祖父母宅や友人・知人宅 (N=160)		習い事 (N=333)		部活動 (N=44)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	36	6.8	58	36.3	116	34.8	10	22.7
2日	80	15.1	42	26.3	157	47.1	12	27.3
3日	90	17.0	20	12.5	48	14.4	9	20.5
4日	55	10.4	5	3.1	4	1.2	1	2.3
5日	240	45.4	33	20.6	8	2.4	9	20.5
6日	6	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	16	3.0	1	0.6	0	0.0	0	0.0
無回答	6	1.1	1	0.6	0	0.0	3	6.8

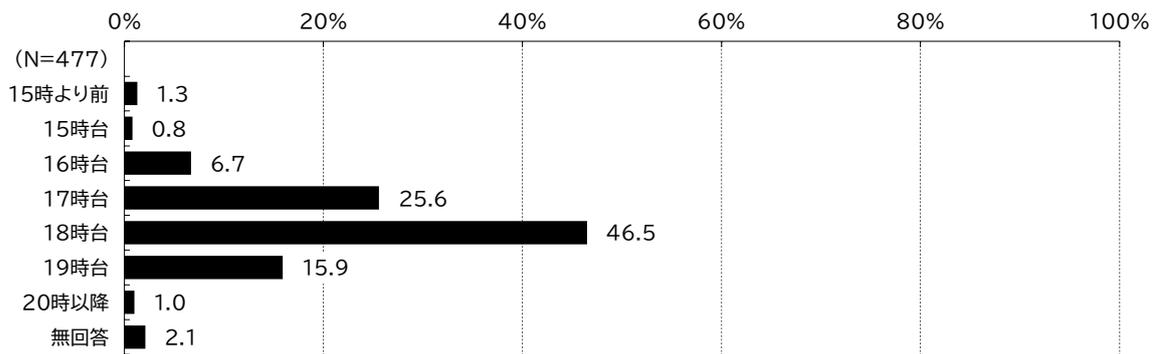
	放課後児童クラブ（学童保育） (N=477)		学区こどもの家 (N=230)		ファミリー・サポート・センター (N=10)		その他 (N=27)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	12	2.5	43	18.7	2	20.0	2	7.4
2日	35	7.3	48	20.9	2	20.0	9	33.3
3日	71	14.9	38	16.5	1	10.0	7	25.9
4日	55	11.5	13	5.7	1	10.0	0	0.0
5日	293	61.4	86	37.4	4	40.0	8	29.6
6日	9	1.9	1	0.4	0	0.0	1	3.7
7日	1	0.2	1	0.4	0	0.0	0	0.0
無回答	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0

【現在の過ごし方（低学年）_小学生児童】

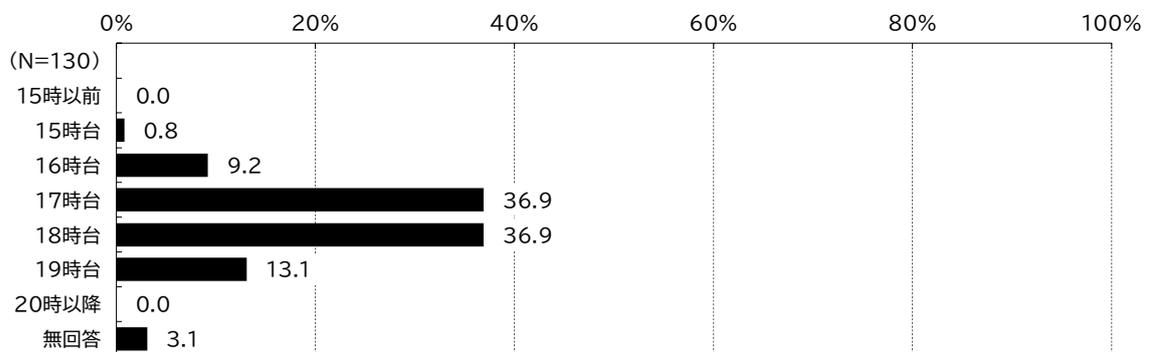
	自宅 (N=352)		祖父母宅や友人・知人宅 (N=86)		習い事 (N=248)		部活動 (N=14)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	52	14.8	43	50.0	64	25.8	3	21.4
2日	74	21.0	18	20.9	95	38.3	4	28.6
3日	61	17.3	6	7.0	44	17.7	4	28.6
4日	36	10.2	2	2.3	22	8.9	0	0.0
5日	97	27.6	11	12.8	8	3.2	1	7.1
6日	3	0.9	1	1.2	3	1.2	0	0.0
7日	16	4.5	1	1.2	0	0.0	0	0.0
無回答	13	3.7	4	4.7	12	4.8	2	14.3

	放課後児童クラブ（学童保育） (N=130)		学区こどもの家 (N=89)		ファミリー・サポート・センター (N=3)		その他 (N=117)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	8	6.2	34	38.2	1	33.3	49	41.9
2日	11	8.5	27	30.3	0	0.0	36	30.8
3日	25	19.2	8	9.0	1	33.3	14	12.0
4日	22	16.9	9	10.1	0	0.0	6	5.1
5日	61	46.9	9	10.1	1	33.3	9	7.7
6日	0	0.0	1	1.1	0	0.0	0	0.0
7日	1	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	2	1.5	1	1.1	0	0.0	3	2.6

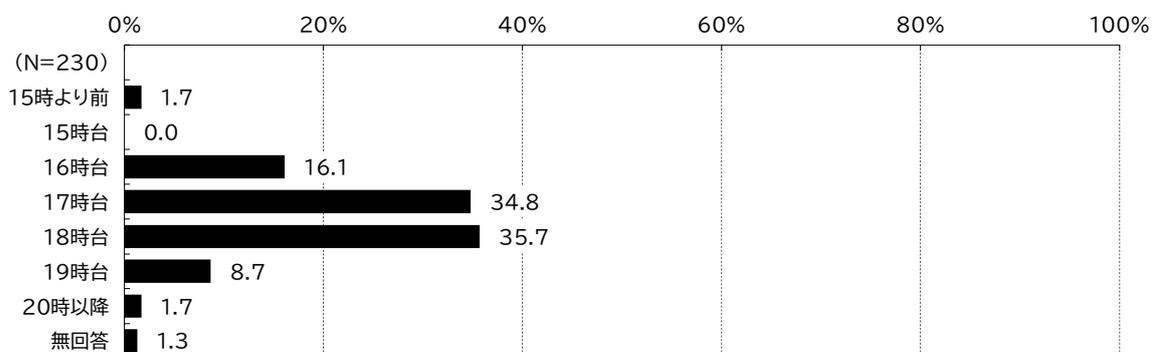
【放課後児童クラブの利用希望時間（低学年）_就学前児童】



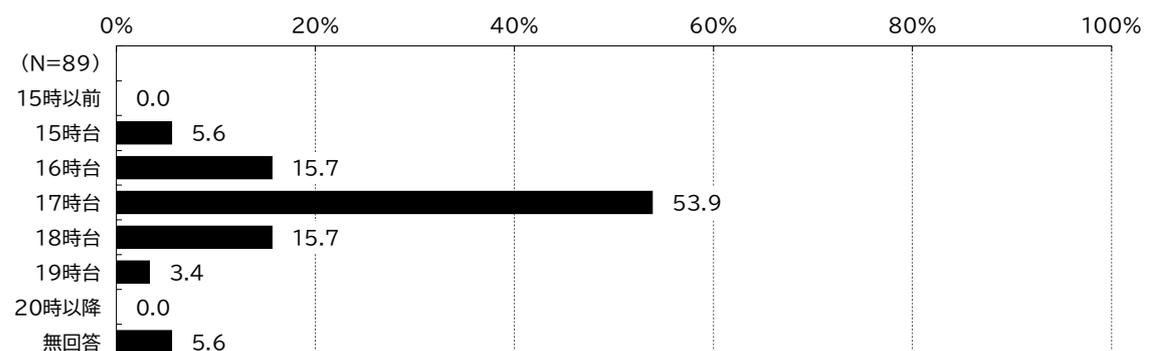
【放課後児童クラブの利用希望時間（低学年）_小学生児童】



【学区子どもの家の利用希望時間（低学年）_就学前児童】



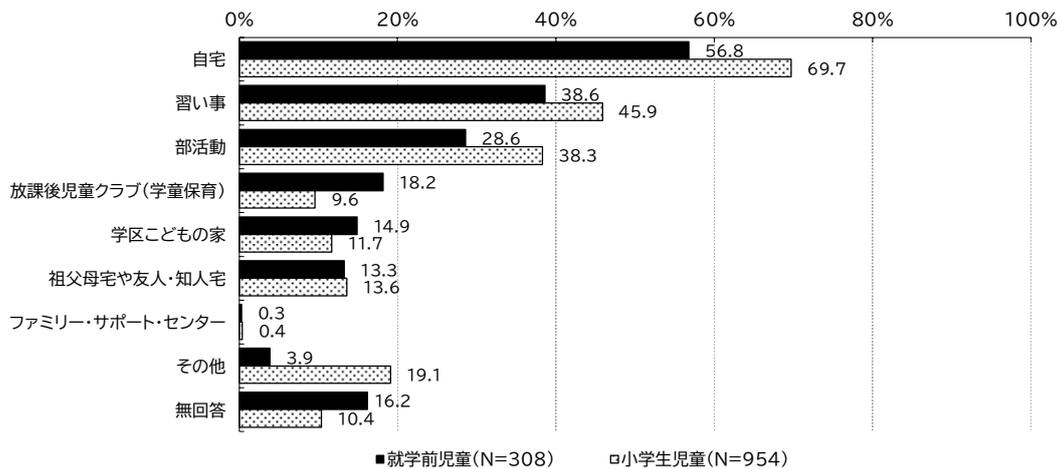
【学区子どもの家の利用希望時間（低学年）_小学生児童】



小学校高学年での放課後に過ごさせたい場所について、就学前児童・小学生児童ともに「自宅」が最も多く、それぞれ56.8%、69.7%となっている。また、低学年時と比べて、放課後児童クラブの割合が低くなっている。

潜在家庭類型別の希望の過ごし方について、就学前児童・小学生児童ともに「自宅」が最も多く、次いで「習い事」となっているが、就学前児童の「Bフルタイム×フルタイム」は、「放課後児童クラブ（学童保育）」、「Cフルタイム×パートタイム」は、「部活動」となっている。

【希望の過ごし方_高学年】



【潜在家庭類型×希望の過ごし方（高学年）_就学前児童】

上段:度数 下段:%	合計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	部活動	放課後児童クラブ(学童保育)	学区こどもの家	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	305 100.0	173 56.7	41 13.4		87 28.5	56 18.4	46 15.1	1 0.3	12 3.9	49 16.1
Aひとり親家庭	23 100.0	11 47.8	6 26.1		8 34.8	3 13.0	3 13.0	-	2 8.7	5 21.7
Bフルタイム×フルタイム	89 100.0	40 44.9	12 13.5	27 30.3	13 14.6		16 18.0	1 1.1	1 1.1	16 18.0
Cフルタイム×パートタイム	75 100.0	45 60.0	9 12.0	24 32.0		13 17.3	12 16.0	-	2 2.7	11 14.7
C'フルタイム×パートタイム(短)	63 100.0	37 58.7	8 12.7		19 30.2	5 7.9	8 12.7	-	3 4.8	13 20.6
D専業主婦(夫)	55 100.0	40 72.7	6 10.9		22 40.0	3 5.5	7 12.7	-	4 7.3	4 7.3
Eパート×パート	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E'パート×パート(短)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F無業×無業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【潜在家庭類型×希望の過ごし方（高学年）_小学生児童】

上段:度数 下段:%	合計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	部活動	放課後児童クラブ(学童保育)	学区こどもの家	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)	無回答
全体	944 100.0	661 70.0	129 13.7		361 38.2	89 9.4	112 11.9	4 0.4	179 19.0	96 10.2
Aひとり親家庭	87 100.0	56 64.4	10 11.5		27 31.0	14 16.1	11 12.6	-	13 14.9	7 8.0
Bフルタイム×フルタイム	266 100.0	165 62.0	45 16.9		96 36.1	48 18.0	34 12.8	3 1.1	41 15.4	25 9.4
Cフルタイム×パートタイム	367 100.0	275 74.9	43 11.7		149 40.6	17 4.6	47 12.8	-	66 18.0	39 10.6
C'フルタイム×パートタイム(短)	111 100.0	83 74.8	14 12.6		44 39.6	6 5.4	15 13.5	1 0.9	31 27.9	10 9.0
D専業主婦(夫)	111 100.0	80 72.1	17 15.3		44 39.6	4 3.6	5 4.5	-	28 25.2	15 13.5
Eパート×パート	2 100.0	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-
E'パート×パート(短)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F無業×無業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

利用希望日数について、就学前児童では「習い事」は「2日」が48.8%、「放課後児童クラブ（学童保育）」は「5日」が55.4%、「学区こどもの家」は「5日」が32.0%となっている。

小学生児童では「習い事」は「2日」が39.7%、「放課後児童クラブ（学童保育）」は「5日」が44.6%、「学区こどもの家」は「2日」が36.6%となっている。

【放課後の過ごし方（高学年）_就学前児童】

	自宅 (N=606)		祖父母宅や友人・知人宅 (N=163)		習い事 (N=430)		部活動 (N=362)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	60	9.9	65	39.9	110	25.6	42	11.6
2日	132	21.8	41	25.2	210	48.8	81	22.4
3日	102	16.8	19	11.7	85	19.8	126	34.8
4日	38	6.3	4	2.5	14	3.3	39	10.8
5日	255	42.1	33	20.2	11	2.6	69	19.1
6日	2	0.3	0	0.0	0	0.0	1	0.3
7日	12	2.0	1	0.6	0	0.0	2	0.6
無回答	5	0.8	0	0.0	0	0.0	2	0.6

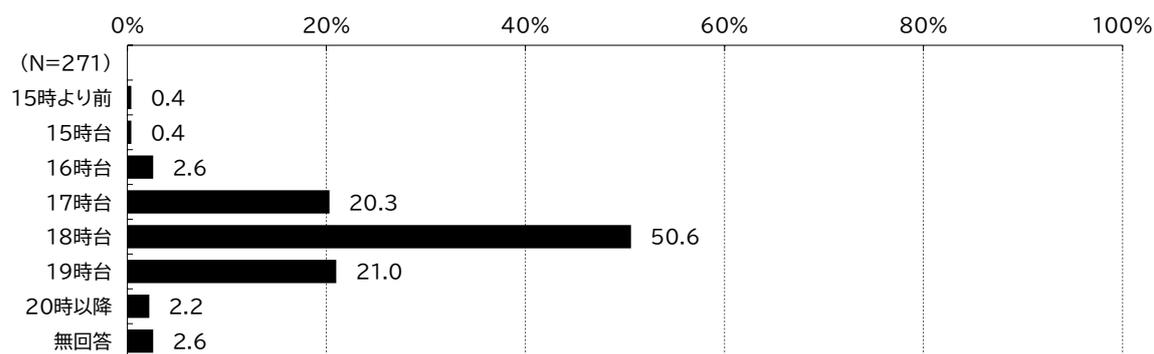
	放課後児童クラブ（学童保育） (N=271)		学区こどもの家 (N=200)		ファミリー・サポート・センター (N=6)		その他 (N=21)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	13	4.8	38	19.0	2	33.3	1	4.8
2日	45	16.6	44	22.0	0	0.0	5	23.8
3日	39	14.4	47	23.5	0	0.0	5	23.8
4日	15	5.5	5	2.5	0	0.0	0	0.0
5日	150	55.4	64	32.0	4	66.7	9	42.9
6日	6	2.2	1	0.5	0	0.0	1	4.8
7日	1	0.4	1	0.5	0	0.0	0	0.0
無回答	2	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0

【放課後の過ごし方（高学年）_小学生児童】

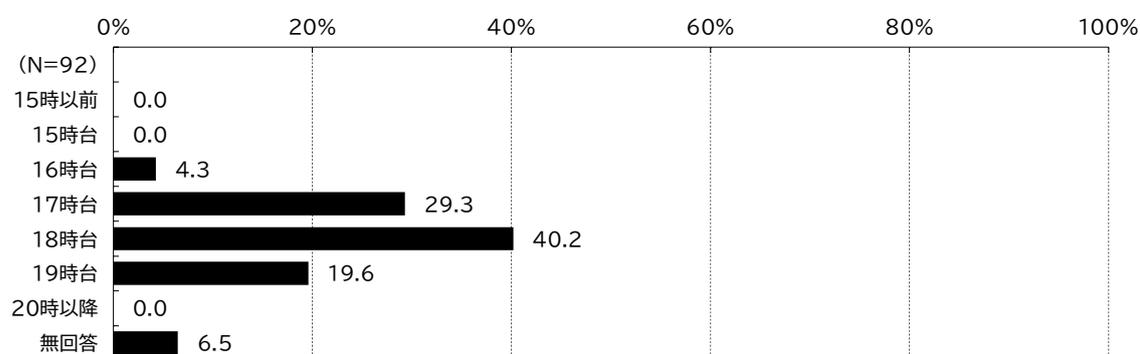
	自宅 (N=171)		祖父母宅や友人・知人宅 (N=130)		習い事 (N=438)		部活動 (N=365)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	1	0.6	60	46.2	99	22.6	27	7.4
2日	7	4.1	30	23.1	174	39.7	129	35.3
3日	9	5.3	14	10.8	93	21.2	138	37.8
4日	8	4.7	2	1.5	42	9.6	48	13.2
5日	112	65.5	14	10.8	16	3.7	21	5.8
6日	2	1.2	2	1.5	8	1.8	1	0.3
7日	26	15.2	1	0.8	0	0.0	0	0.0
無回答	6	3.5	7	5.4	6	1.4	1	0.3

	放課後児童クラブ（学童保育） (N=92)		学区こどもの家 (N=112)		ファミリー・サポート・センター (N=4)		その他 (N=182)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	5	5.4	34	30.4	3	75.0	80	44.0
2日	17	18.5	41	36.6	0	0.0	58	31.9
3日	14	15.2	10	8.9	0	0.0	21	11.5
4日	7	7.6	3	2.7	0	0.0	10	5.5
5日	41	44.6	19	17.0	1	25.0	11	6.0
6日	2	2.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	1	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	5	5.4	5	4.5	0	0.0	2	1.1

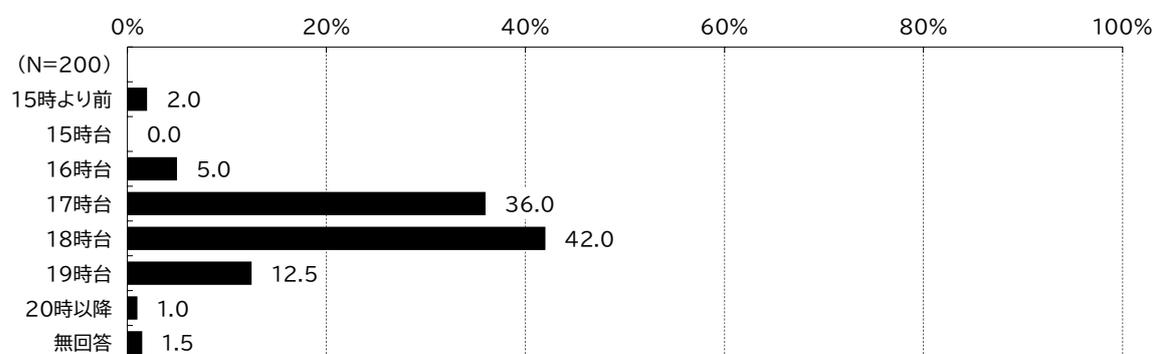
【放課後児童クラブの利用希望時間（高学年）_就学前児童】



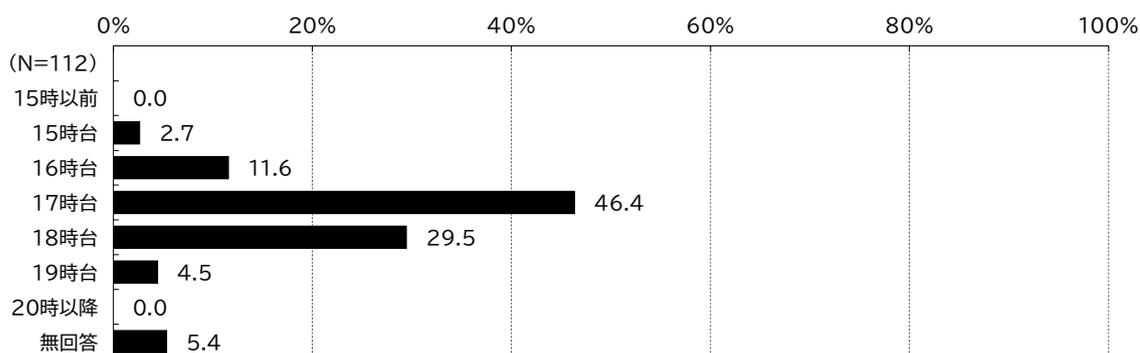
【放課後児童クラブの利用希望時間（高学年）_小学生児童】



【学区子どもの家の利用希望時間（高学年）_就学前児童】



【学区子どもの家の利用希望時間（高学年）_小学生児童】



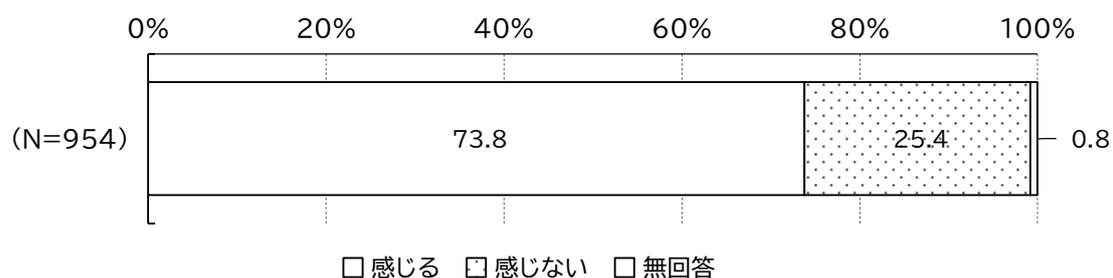
(41) 小学生の子どもが家で1人又はきょうだいだけで過ごすことに不安を感じますか。〈単数回答・数量回答〉

(小学生児童調査…問 23)

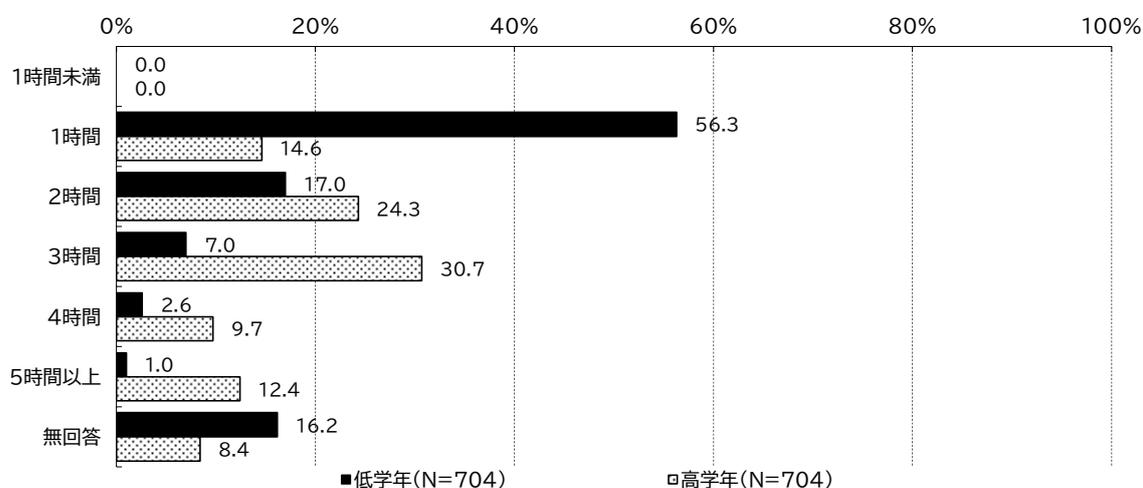
「感じる」が73.8%、「感じない」が25.4%となっている。

留守番させることに不安を感じる時間について、低学年では「1時間」が56.3%と最も多く、次いで「2時間」が17.0%、「3時間」が7.0%となっている。

高学年では「3時間」が30.7%と最も多く、次いで「2時間」が24.3%、「1時間」が14.6%となっている。



【留守番させることに不安を感じる時間】



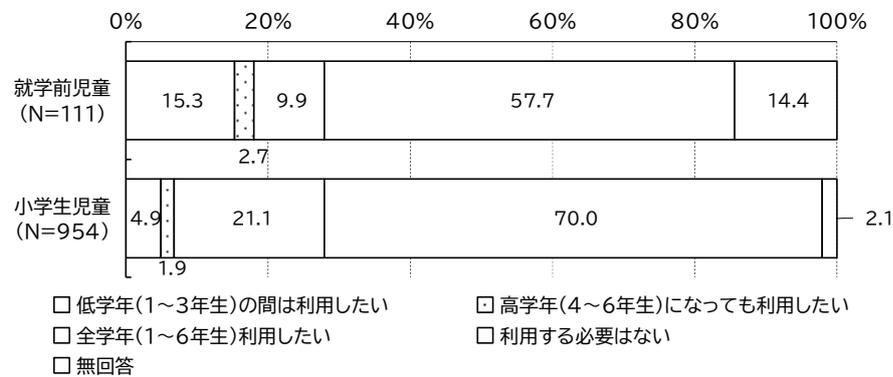
(42) お子さんについて、土曜日、祝日、長期休暇（夏休み・冬休みなど）に、
放課後児童クラブの利用希望はありますか。＜単数回答・数量回答＞

(就学前児童調査…問 26-1 小学生児童調査…問 24)

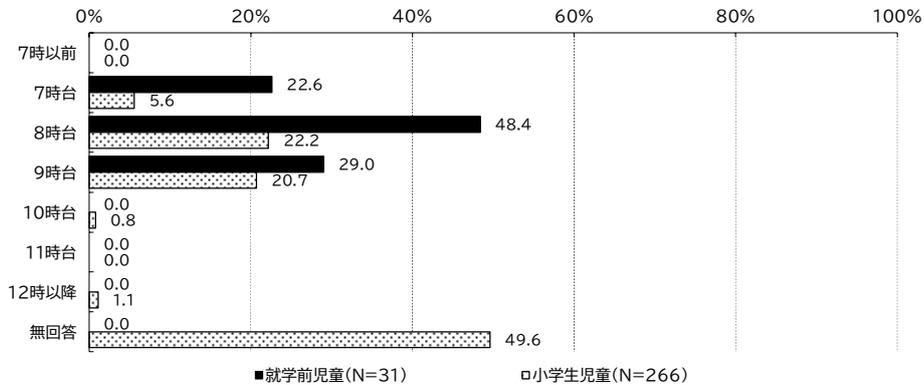
土曜日の利用について、就学前児童・小学生児童ともに「利用する必要はない」が最も多く、それぞれ57.7%、70.0%となっている。次いで就学前児童は「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が15.3%、小学生児童は「全学年（1～6年生）利用したい」が21.1%となっている。

利用開始希望時間について、就学前児童・小学生児童ともに「8時台」が最も多く、次いで「9時台」となっている。利用終了希望時間について、就学前児童は「18時台」、小学生児童は「17時台」が最も多い。

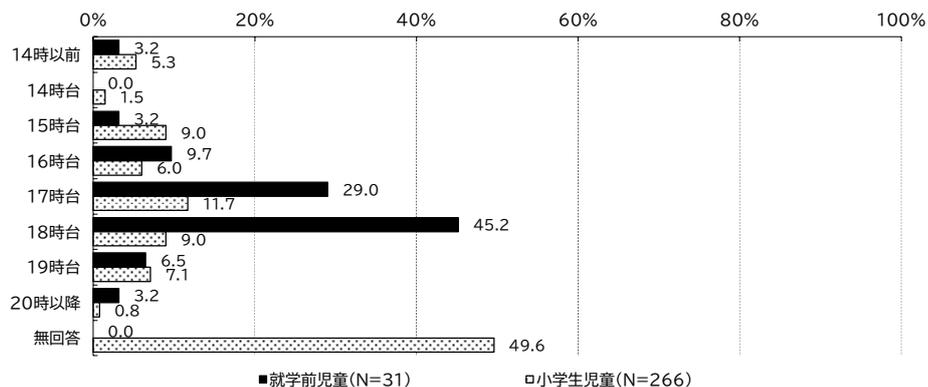
【土曜日】



【利用開始時間_土曜日】



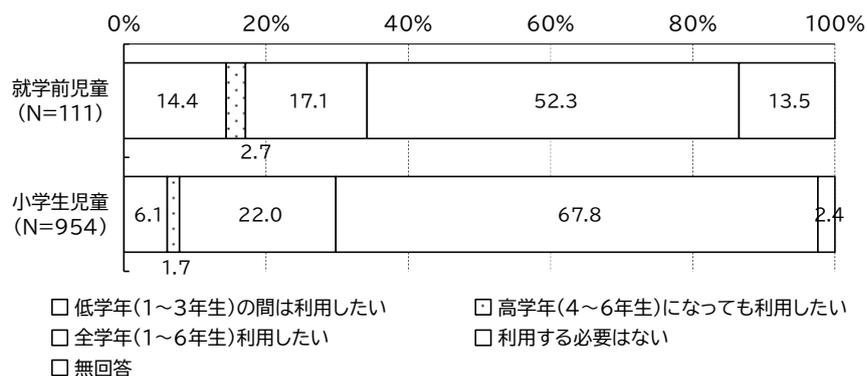
【利用終了時間_土曜日】



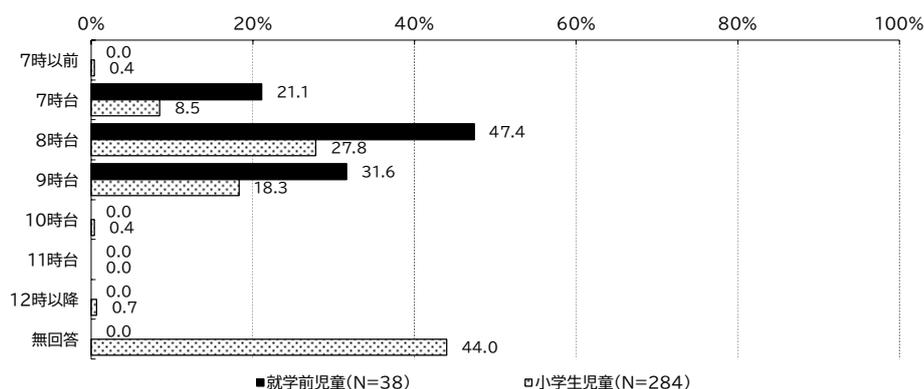
祝日の利用について、就学前児童・小学生児童ともに「利用する必要はない」が最も多く、それぞれ52.3%、67.8%となっている。「全学年（1～6年生）利用したい」がそれぞれ17.1%、22.0%となっている。

利用開始希望時間について、就学前児童・小学生児童ともに「8時台」が最も多く、次いで「9時台」となっている。利用終了希望時間について、就学前児童は「18時台」、小学生児童は「17時台」が最も多い。

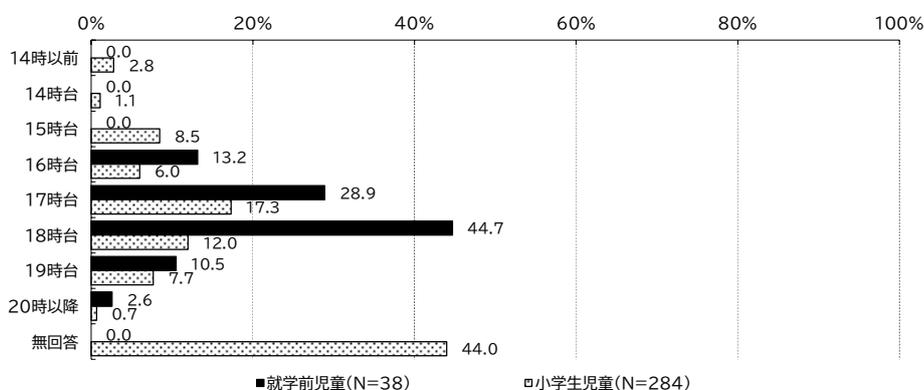
【祝日】



【利用開始時間_祝日】



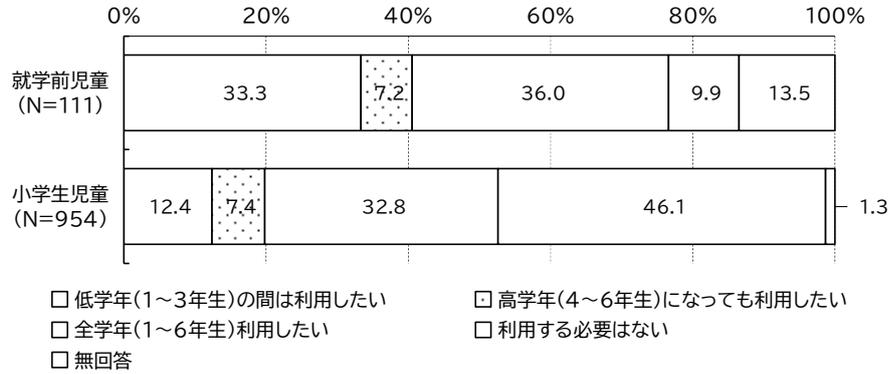
【利用終了時間_祝日】



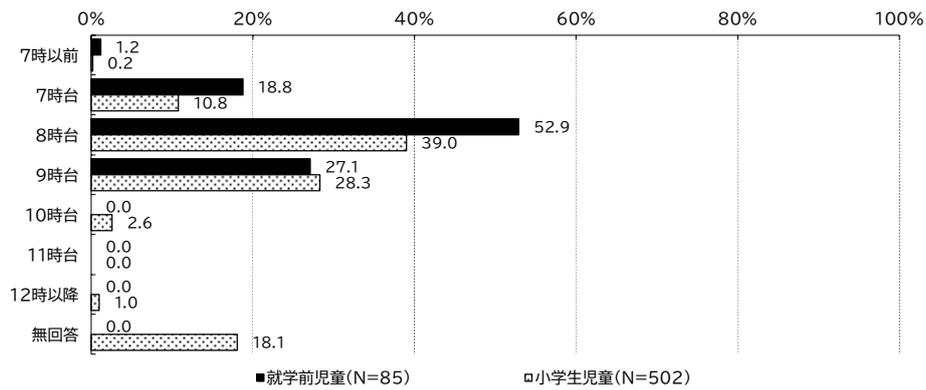
長期休暇（夏休み・冬休みなど）の利用について、「全学年利用したい」とする人の割合が、就学前児童で36.0%、小学生児童で32.8%となっている。

利用開始希望時間について、就学前児童・小学生児童ともに「8時台」が最も多く、次いで「9時台」となっている。利用終了希望時間について、就学前児童は「18時台」、小学生所同は「17時台」が最も多い。

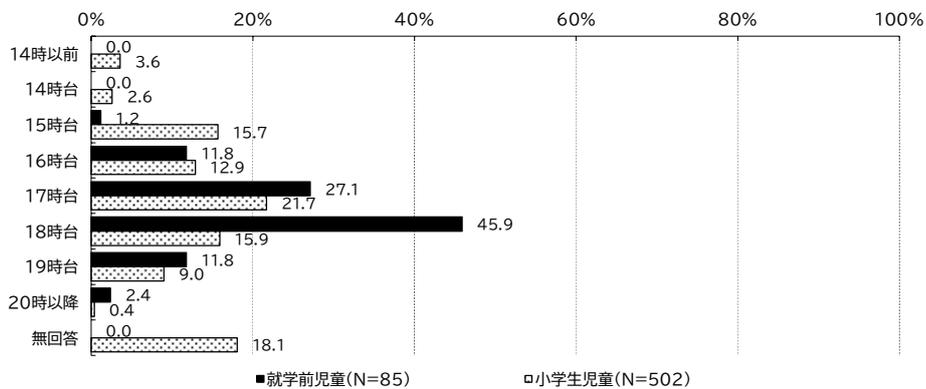
【長期休暇（夏休み・冬休みなど）】



【利用開始時間】



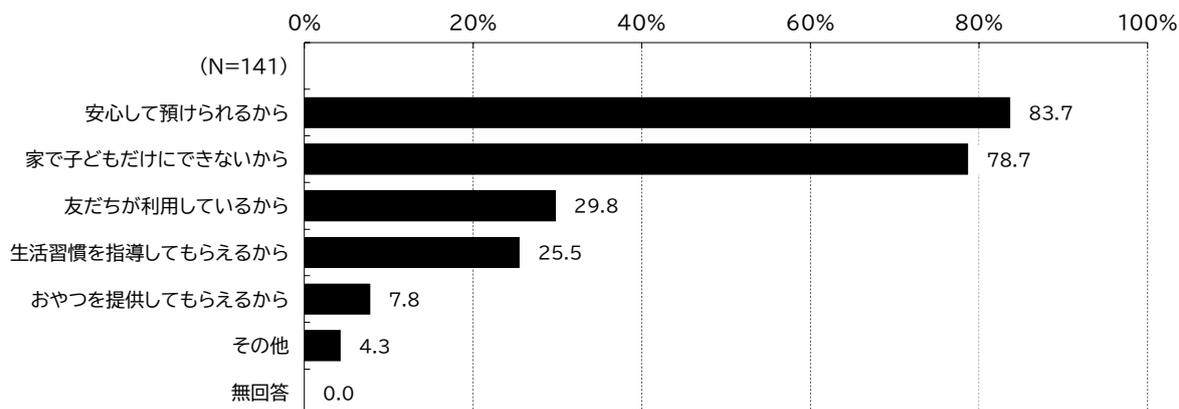
【利用終了時間】



(43) 放課後児童クラブを利用する理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。＜複数回答＞

(小学生児童調査…問 25)

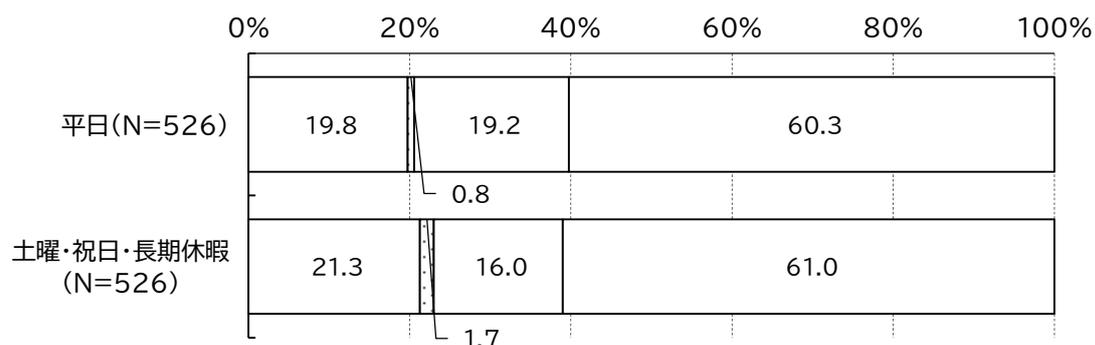
「安心して預けられるから」が83.7%と最も多く、次いで「家で子どもだけにできないから」が78.7%、「友だちが利用しているから」が29.8%となっている。



(44) お住まいの学区の放課後児童クラブが利用できない場合、他の学区の放課後児童クラブを利用したいと思いますか。＜単数回答＞

(小学生児童調査…問 25-1)

「近隣学区であれば利用したい」とする人の割合が、平日で19.8%、土曜・祝日・長期休暇で21.3%となっている。

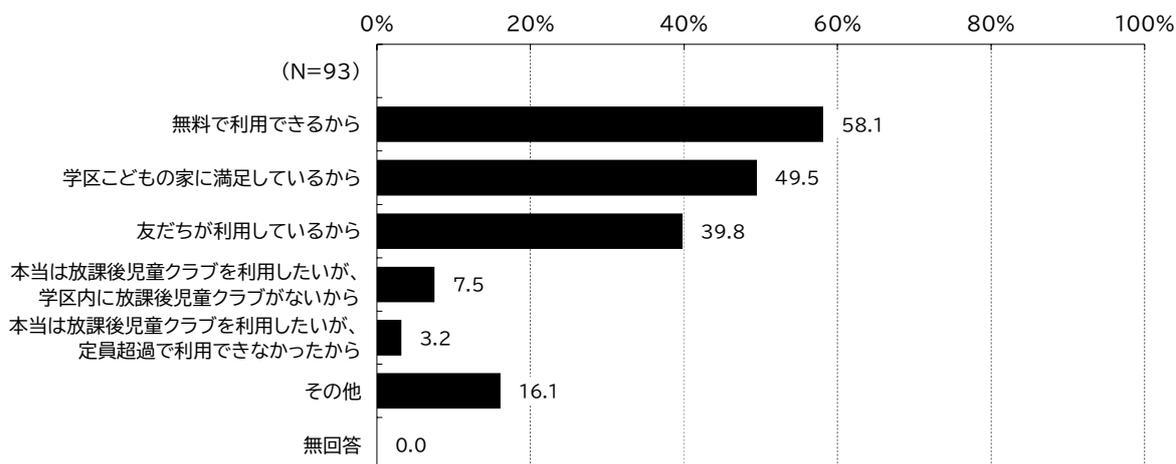


- 近隣学区であれば利用したい
 距離にかかわらず利用したい
 他の学区ならば利用しない
 無回答

(45) 学区こどもの家を利用する理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。＜複数回答＞

(小学生児童調査…問 26)

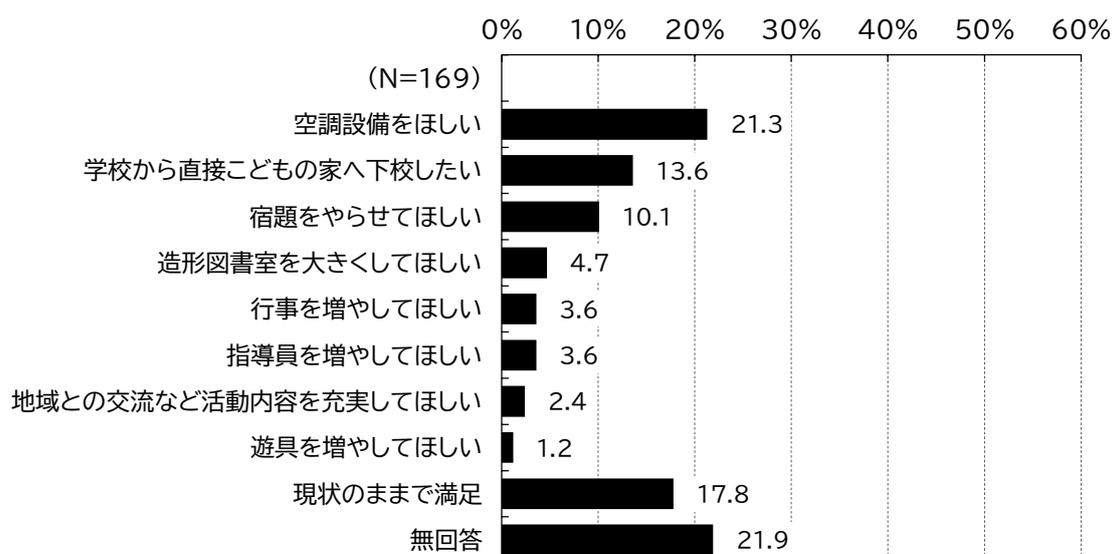
「無料で利用できるから」が58.1%と最も多く、次いで「学区こどもの家に満足しているから」が49.5%、「友だちが利用しているから」が39.8%となっている。



(46) お子さんが学区こどもの家を利用するに当たり、こどもの家の機能として望むものを、当てはまる番号1つに○をつけてください。＜単数回答＞

(小学生児童調査…問 26-1)

「空調設備をほしい」が21.3%と最も多く、次いで「現状のままで満足」が17.8%、「学校から直接こどもの家へ下校したい」が13.6%となっている。



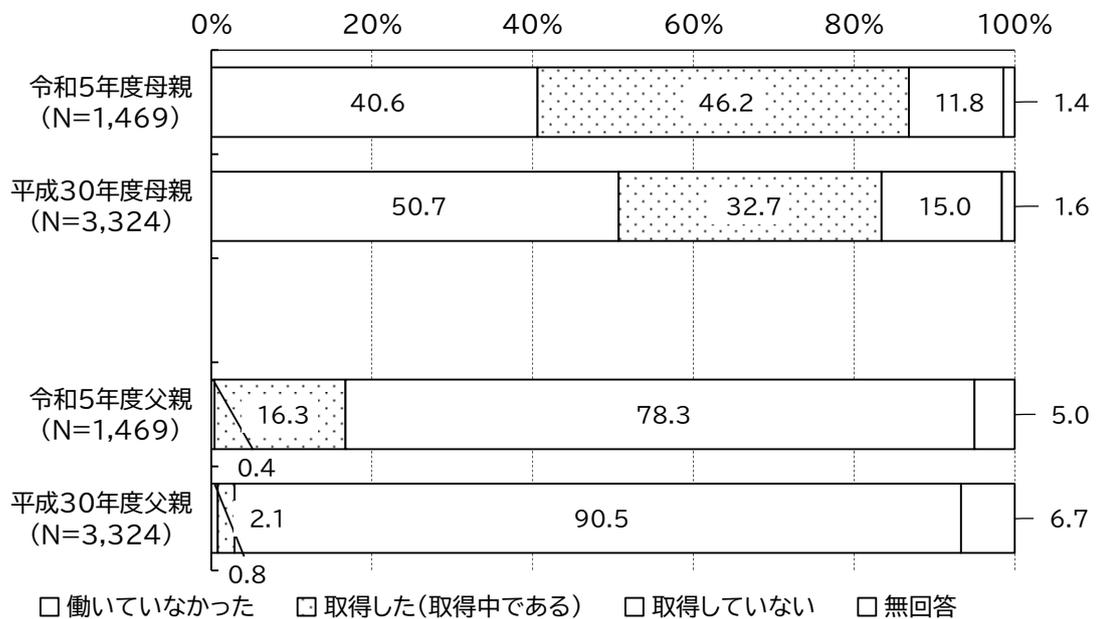
12. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます

(47) お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。〈単数回答〉

(就学前児童調査…問 27)

令和5年度の母親は「取得した（取得中である）」が46.2%であり、前回調査時の32.7%に比べて13.5ポイント増加した。

令和5年度の父親は「取得した（取得中である）」が16.3%であり、母親に比べて依然低い水準となっているが、前回調査時の2.1%に比べて14.2ポイント増加した。また、「取得していない」が78.3%であり、前回調査時の90.5%に比べて12.2ポイント減少した。

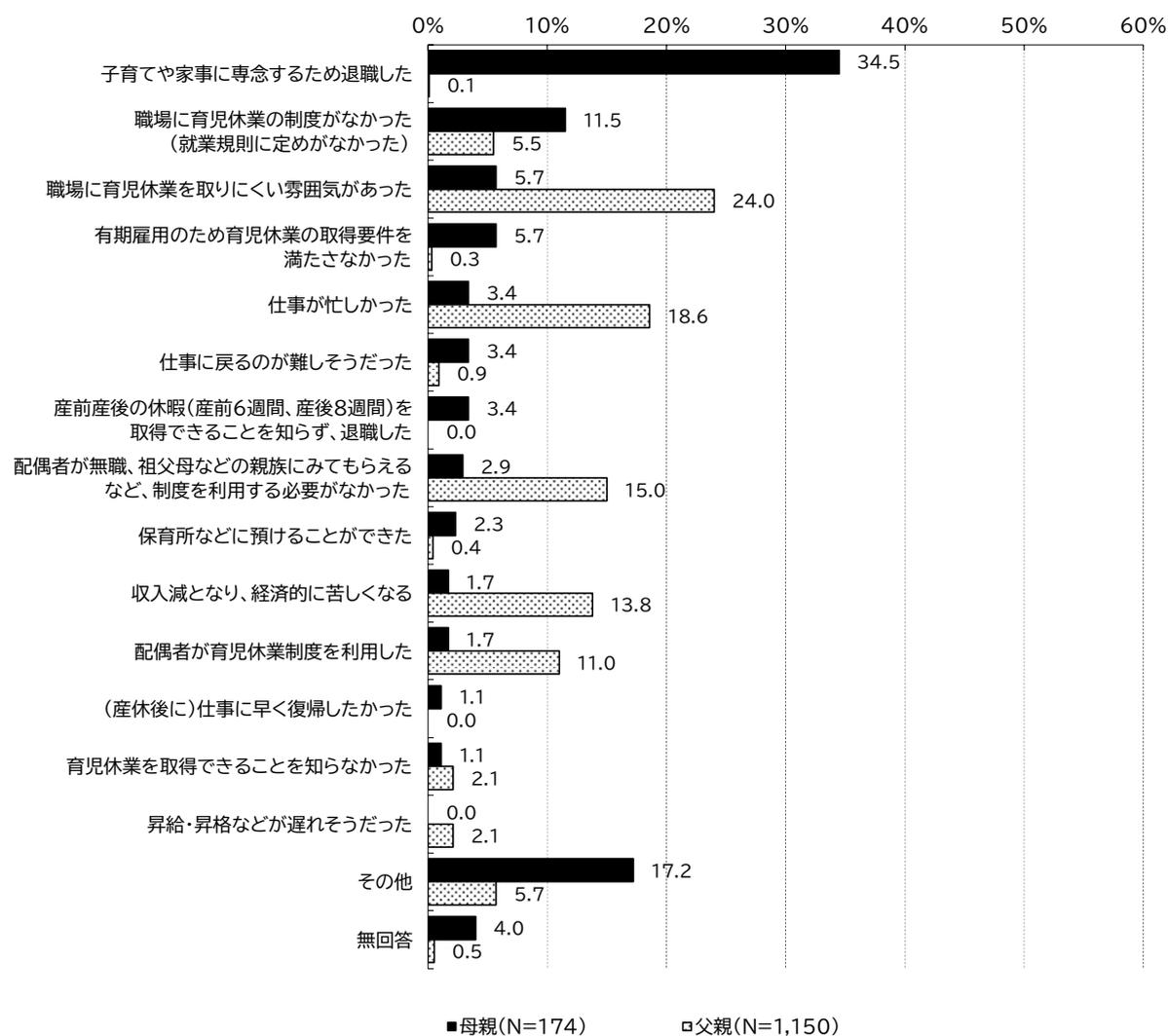


(48) 育児休業を取得していない理由<複数回答>

(就学前児童調査…問 27-1)

母親は「子育てや家事に専念するため退職した」が34.5%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が11.5%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がそれぞれ5.7%となっている。

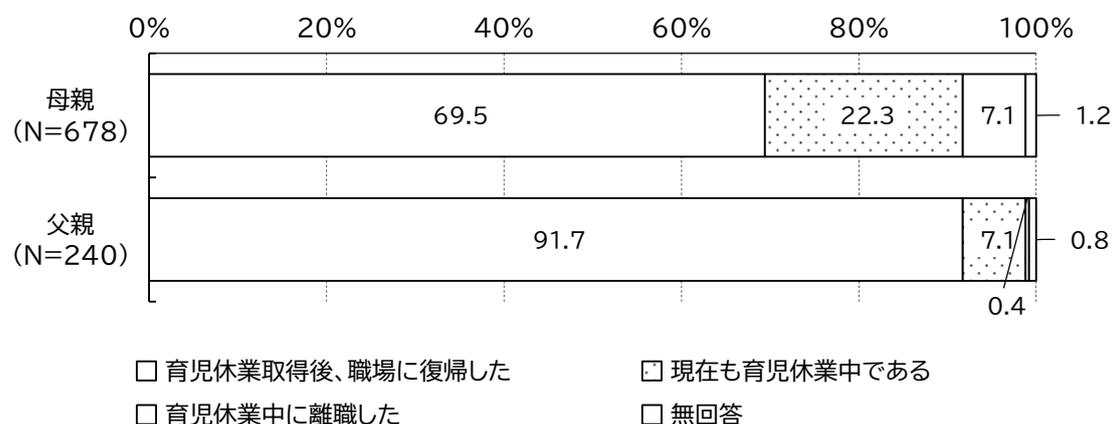
父親は「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が24.0%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が18.6%、「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が15.0%となっている。



(49) 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。〈単数回答〉

(就学前児童調査…問 27-2)

母親・父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」がそれぞれ 69.5%、91.7%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 22.3%、7.1%、「育児休業中に離職した」が 7.1%、0.4%となっている。



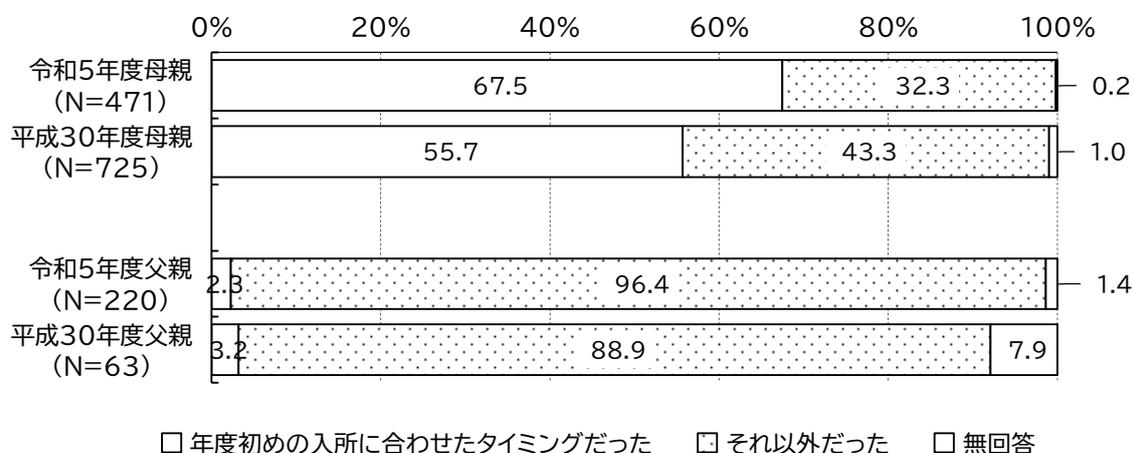
(50) 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。〈単数回答〉

(就学前児童調査…問 27-3)

母親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 67.5%、「それ以外だった」が 32.3%となっている。

父親は「それ以外だった」が 96.4%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 2.3%となっている。

前回調査時と比べて、母親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が多くなっている。



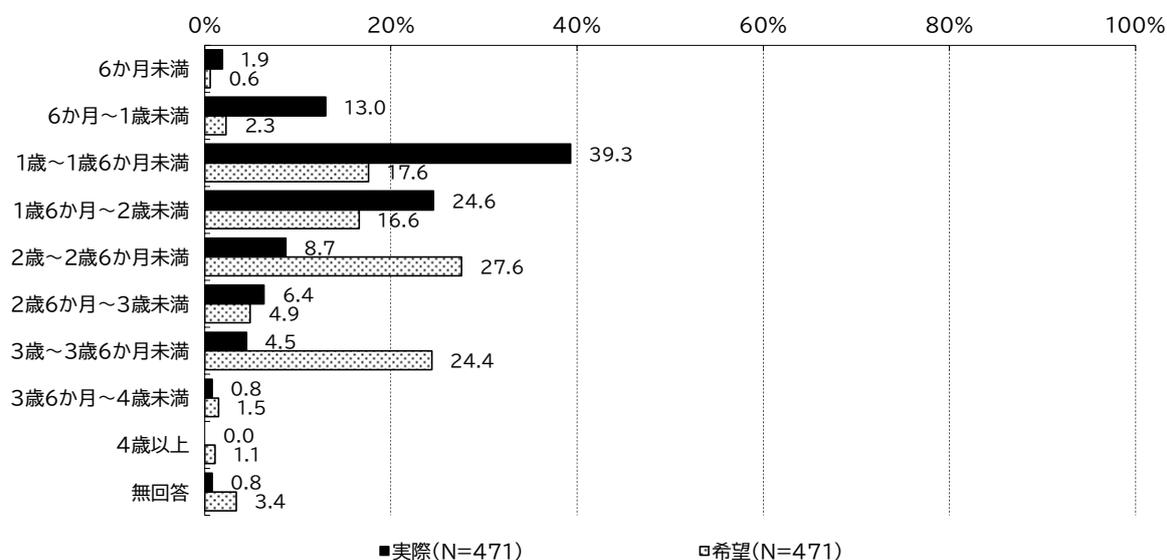
(51) 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。〈数量回答〉

(就学前児童調査…問 27-4)

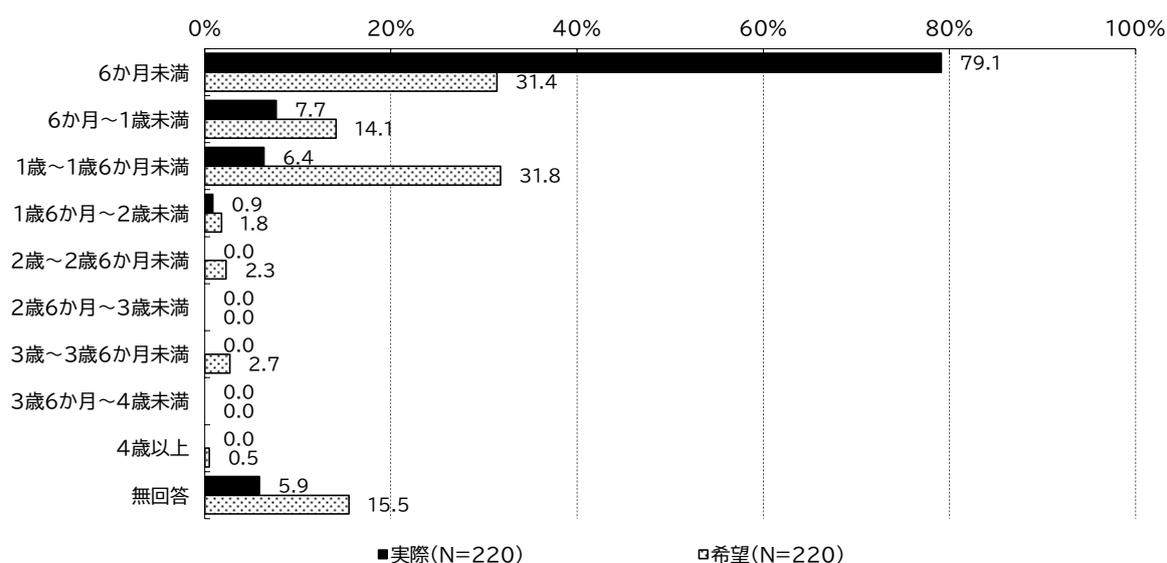
母親について、希望は「2歳～2歳6か月未満」が27.6%と最も多く、次いで「3歳～3歳6か月未満」が24.4%となっている。それに対して、実際は「1歳～1歳6か月未満」が39.3%と最も多く、次いで「1歳6か月～2歳未満」が24.6%となっており、2歳未満で復帰した割合の合計は78.8%である。

父親について、希望は「1歳～1歳6か月未満」が31.8%と最も多く、次いで「6か月未満」が31.4%となっている。それに対して、実際は「6か月未満」が79.1%と最も多い。

【母親】



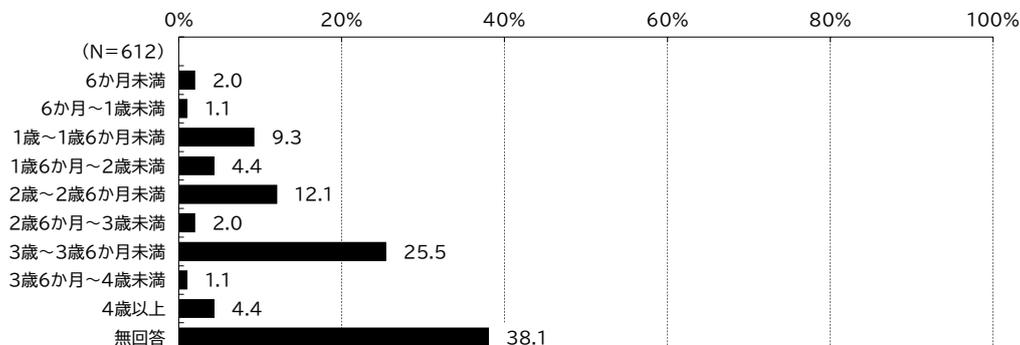
【父親】



(52) お勤め先の制度内容にかかわらず、子育ての観点から、お子さんが何歳何か月まで育児休業を取得できるのが理想だと考えますか。〈数量回答〉

(就学前児童調査…問 27-5)

育児休業を取得できる理想の年齢について、「3歳～3歳6か月未満」が25.5%と最も多い。



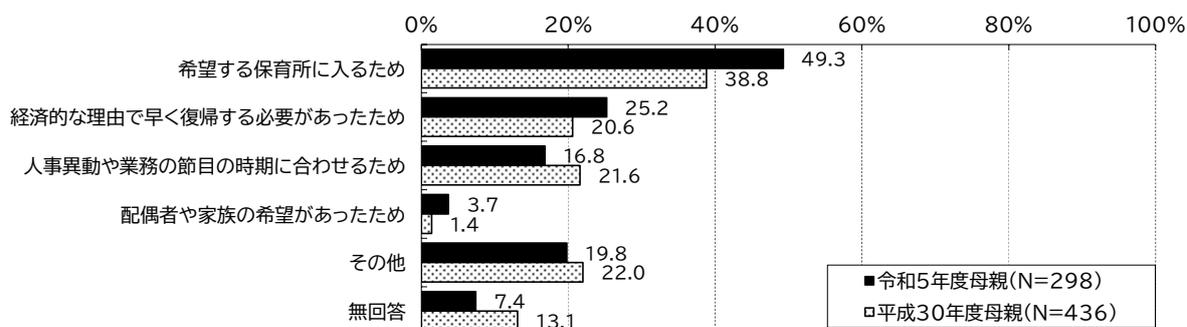
(53) 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。〈複数回答〉

(就学前児童調査…問 27-6)

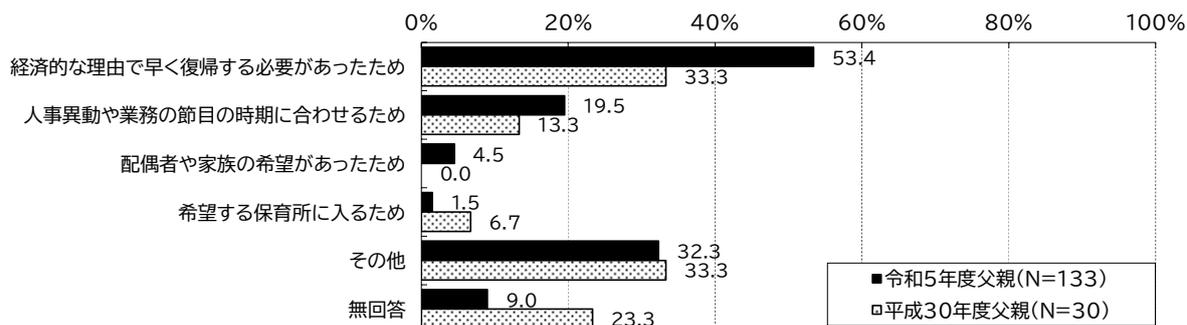
希望より早く復帰した母親は、「希望する保育所に入るため」が49.3%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が25.2%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が16.8%となっている。

希望より早く復帰した父親は、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が53.4%と最も多い。

【「希望」より早く復帰した方_母親】

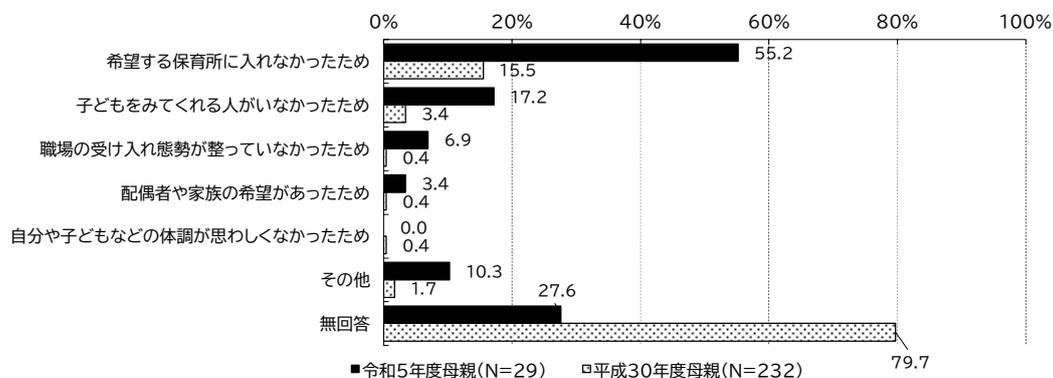


【「希望」より早く復帰した方_父親】



希望より遅く復帰した母親は、「希望する保育所に入れなかったため」が55.2%と最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が17.2%となっている。これらは前回調査時と比べて大幅に増加している。

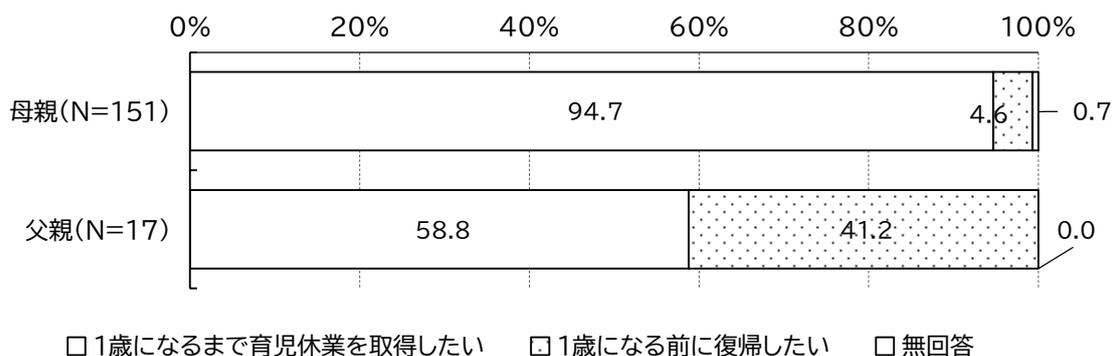
【「希望」より遅く復帰した方_母親】



(54) お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。又は、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。＜単数回答＞

(就学前児童調査…問 27-7)

母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」が94.7%、「1歳になる前に復帰したい」が4.6%となっている。

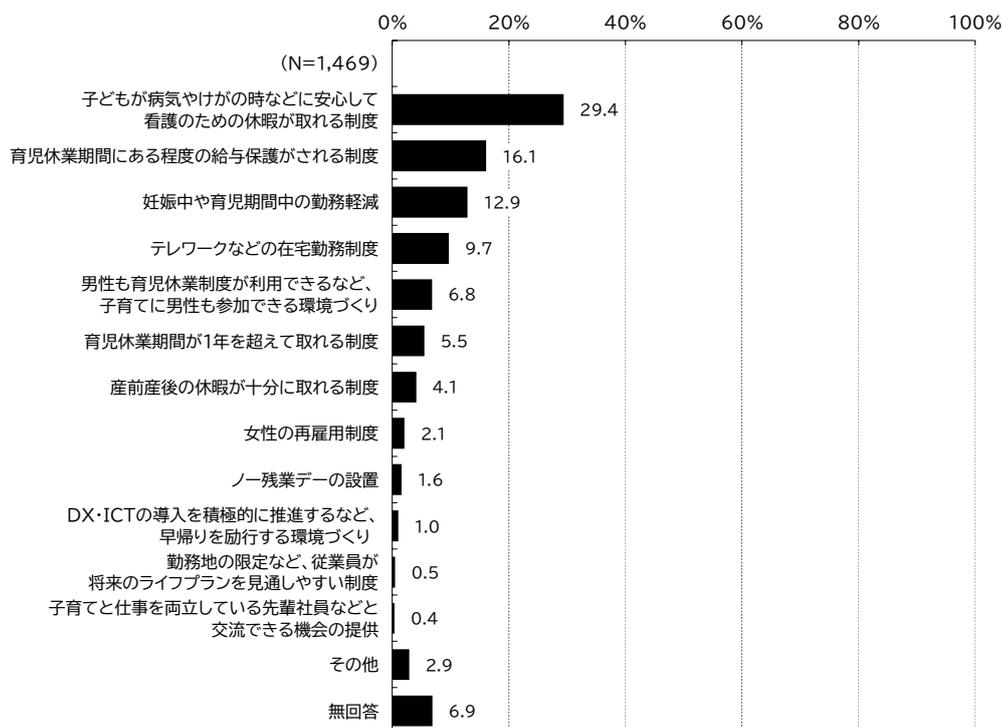


(55) 子育てと仕事の両立のために、職場にどのようなことを望みますか。

<複数回答>

(就学前児童調査…問 28)

「子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇が取れる制度」が29.4%と最も多く、次いで「育児休業期間にある程度の給与保護がされる制度」が16.1%、「妊娠中や育児期間中の勤務軽減」が12.9%となっている。



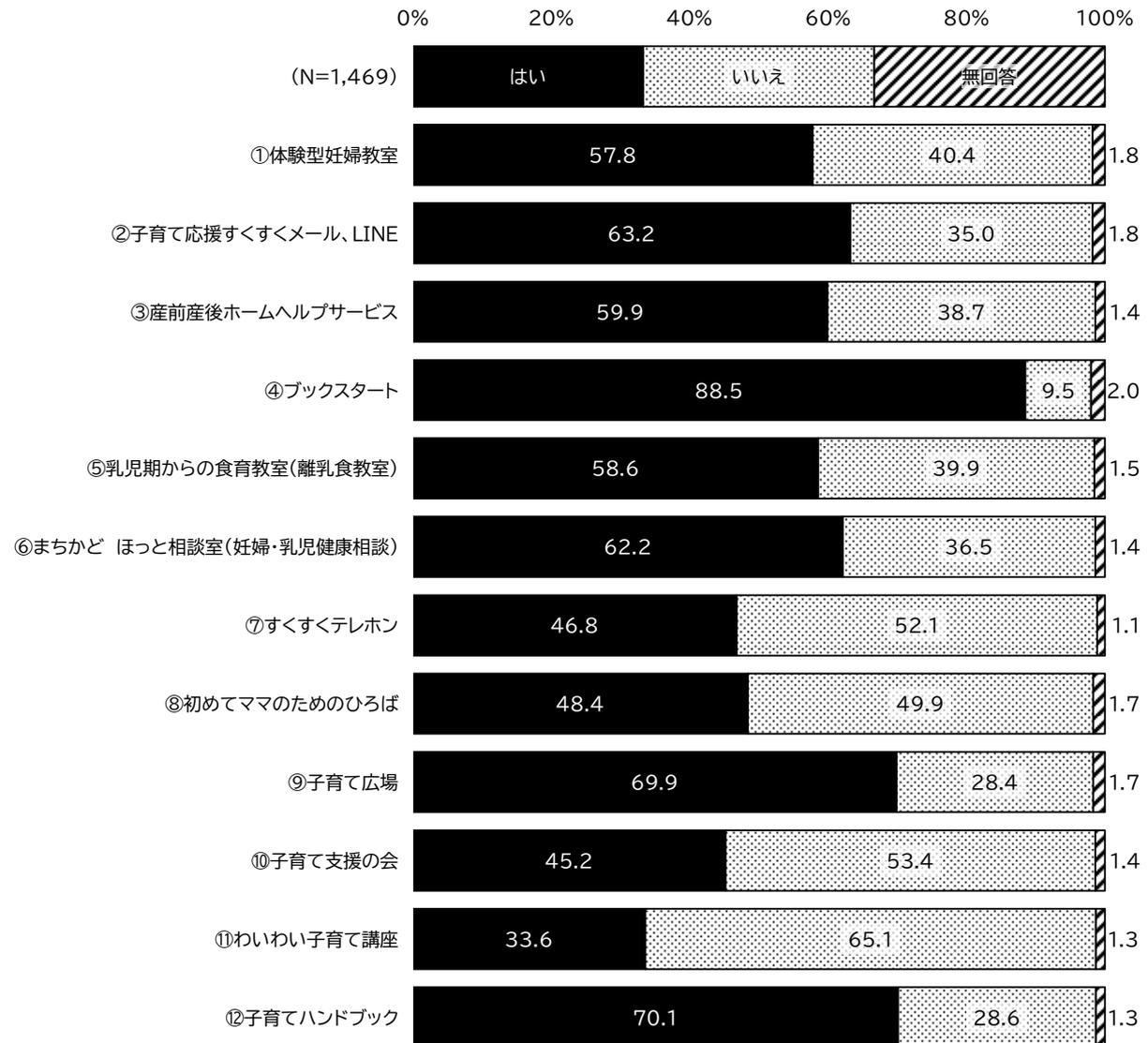
13. 子育て全般についてうかがいます

(56) 下記の事業ごとに、A～Cのすべてについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。<単数回答>

(就学前児童調査…問 29)

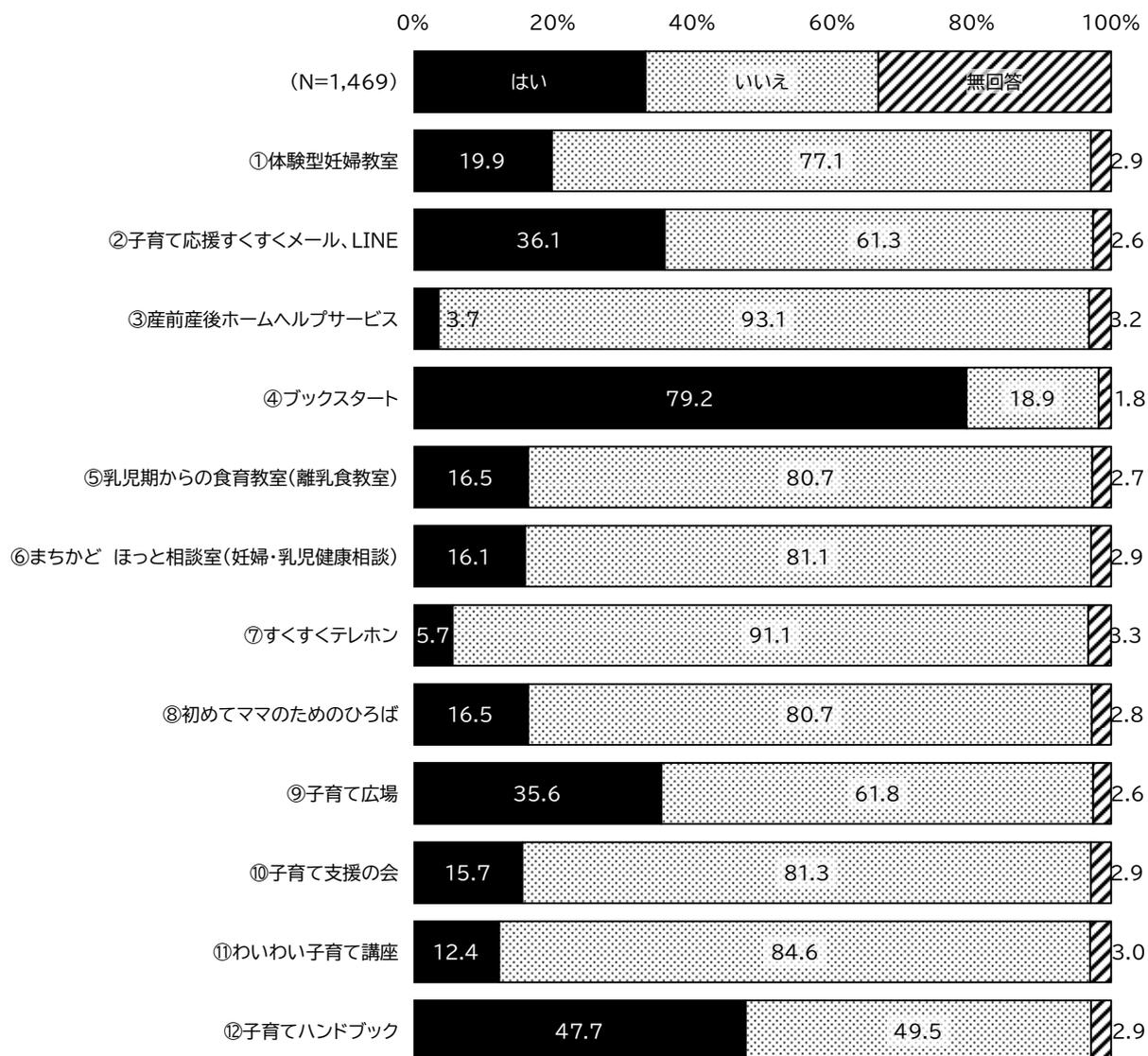
知っている事業について、「④ブックスタート」が88.5%、「⑫子育てハンドブック」が70.1%、「⑨子育て広場」が69.9%となっている。

【A. 知っている】



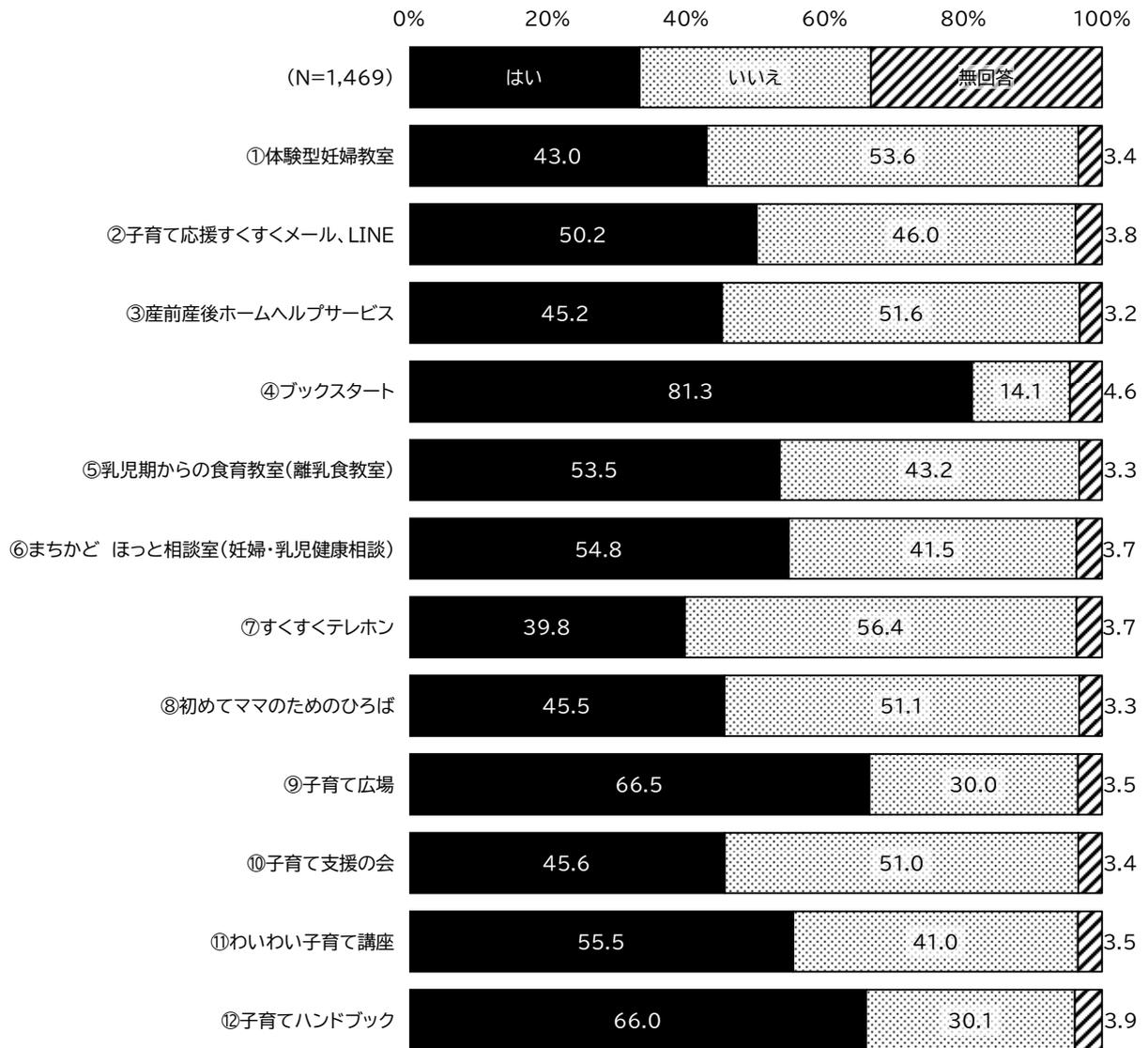
これまでに利用したことがある事業について、「④ブックスタート」が79.2%、「⑫子育てハンドブック」が47.7%、「②子育て応援すくすくメール、LINE」が36.1%となっている。

【B. これまでに利用したことがある】



利用したい事業について、「④ブックスタート」が81.3%、「⑨子育て広場」が66.5%、「⑫子育てハンドブック」が66.0%となっている。

【C. 利用したい】



(57) (ひとり親家庭の保護者) 下記の事業ごとに、A～Cのすべてについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。〈単数回答〉

(就学前児童調査…問 30 小学生児童調査…問 16)

「知っている」事業については、就学前児童ではおおむね4割を超えているが、「②-4 子どもに関する相談」が31.4%となっている。小学生児童では「②-1 就労に関する相談」が41.4%となっており、その他は3割程度となっている。

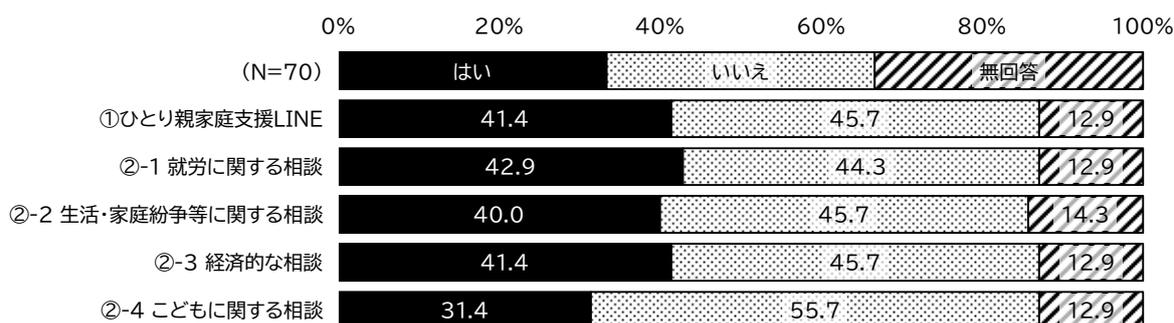
「これまでに利用したことがある」事業については、就学前児童では「①ひとり親家庭支援LINE」が30.0%と最も多く、小学生児童も同様であるが、その割合は13.8%である。

「利用したい」事業については、就学前児童では「①ひとり親家庭支援LINE」が58.6%と最も多く、次いで「②-3 経済的な相談」が57.1%、「②-4 子どもに関する相談」が47.1%となっている。小学生児童では、「②-3 経済的な相談」「②-4 子どもに関する相談」がそれぞれ47.1%となっており、次いで「①ひとり親家庭支援LINE」が46.0%となっている。

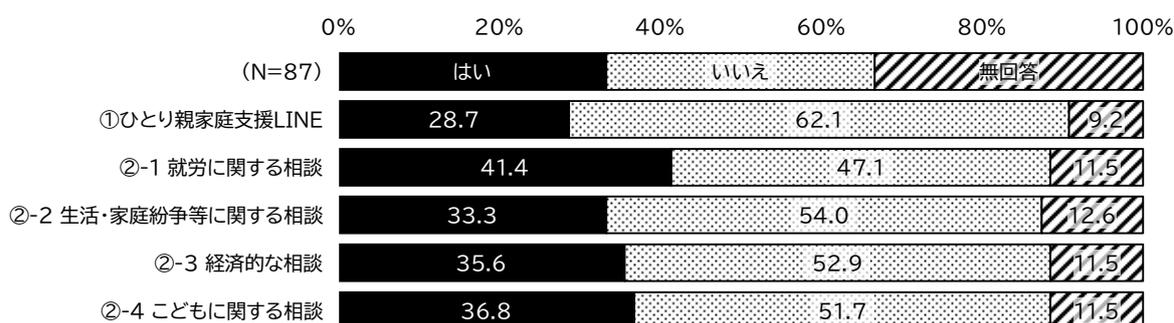
就学前児童の方が小学生児童より事業の認知度、利用割合、利用希望が高い傾向にある。

【A. 知っている】

(就学前児童)

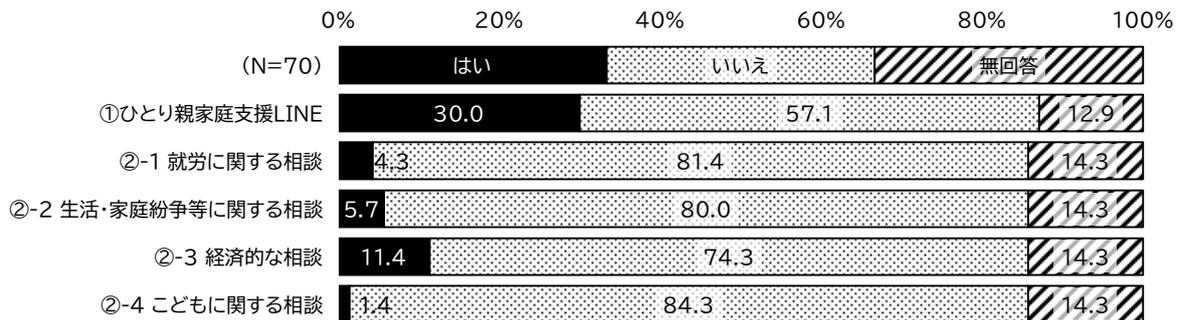


(小学生児童)

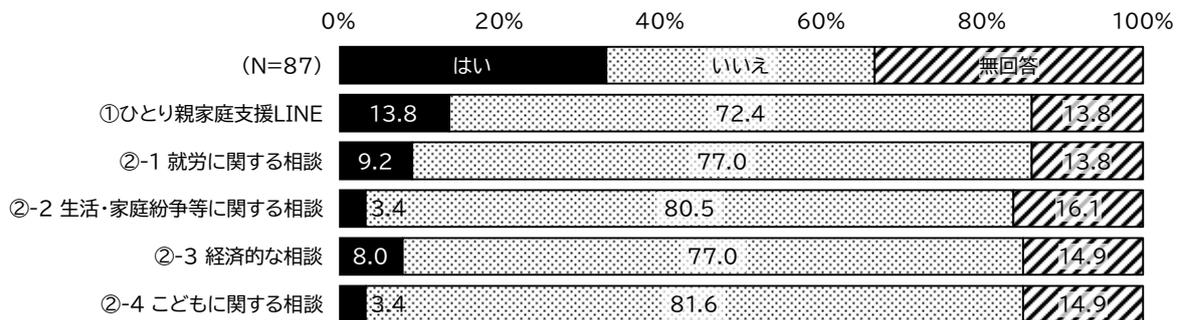


【B. これまでに利用したことがある】

(就学前児童)

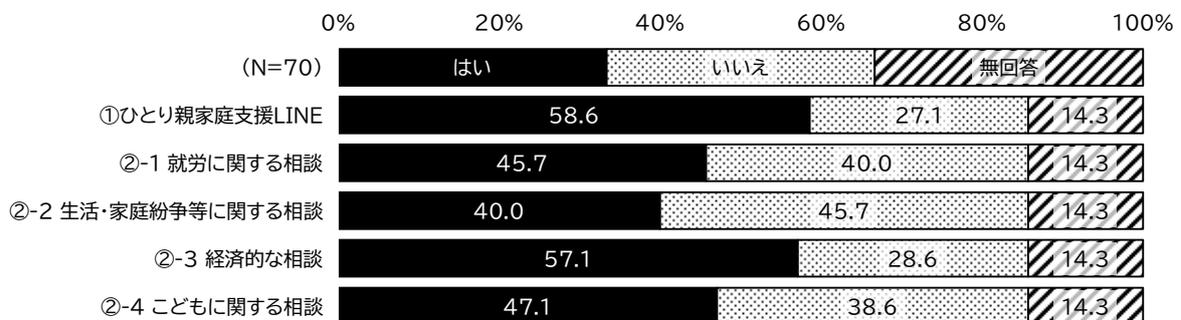


(小学生児童)

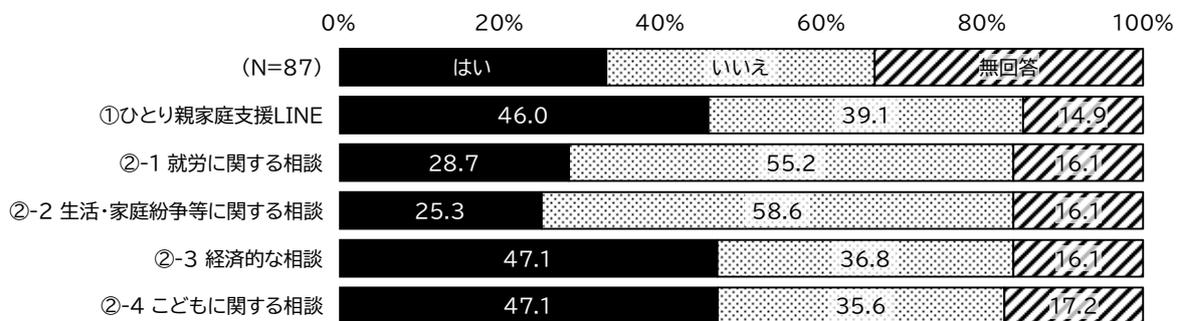


【C. 利用したい】

(就学前児童)



(小学生児童)



(58) 岡崎市における以下のような分野について満足していますか。〈単数回答〉

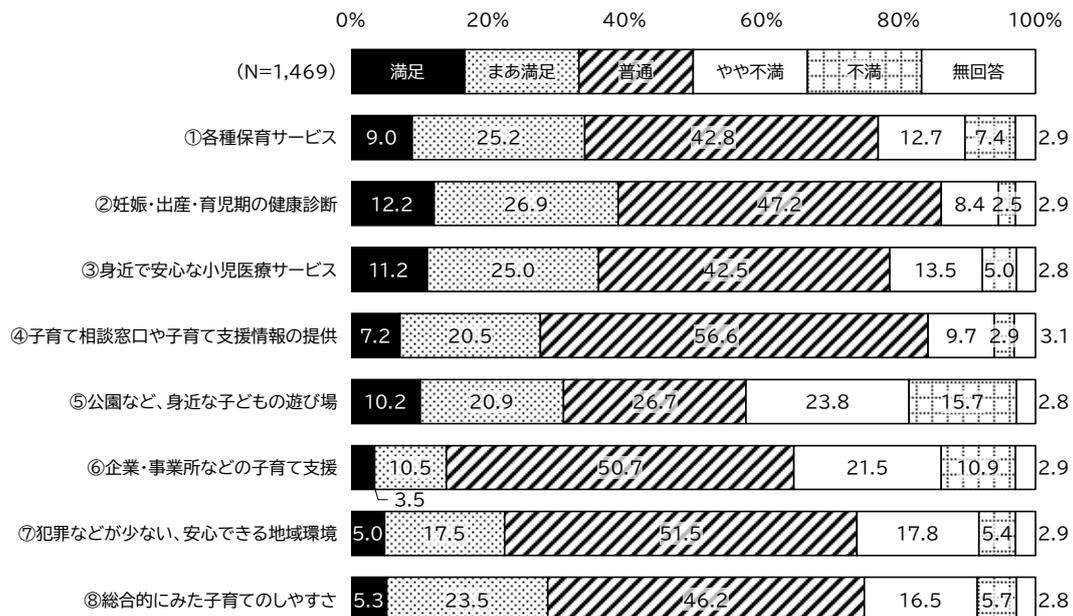
(就学前児童調査…問 31 小学生児童調査…問 27)

就学前児童について、「満足」と「まあ満足」の合計は「②妊娠・出産・育児期の健康診断」が39.1%、小学生児童については「②学校などでの健康診断」が43.1%と最も多い。

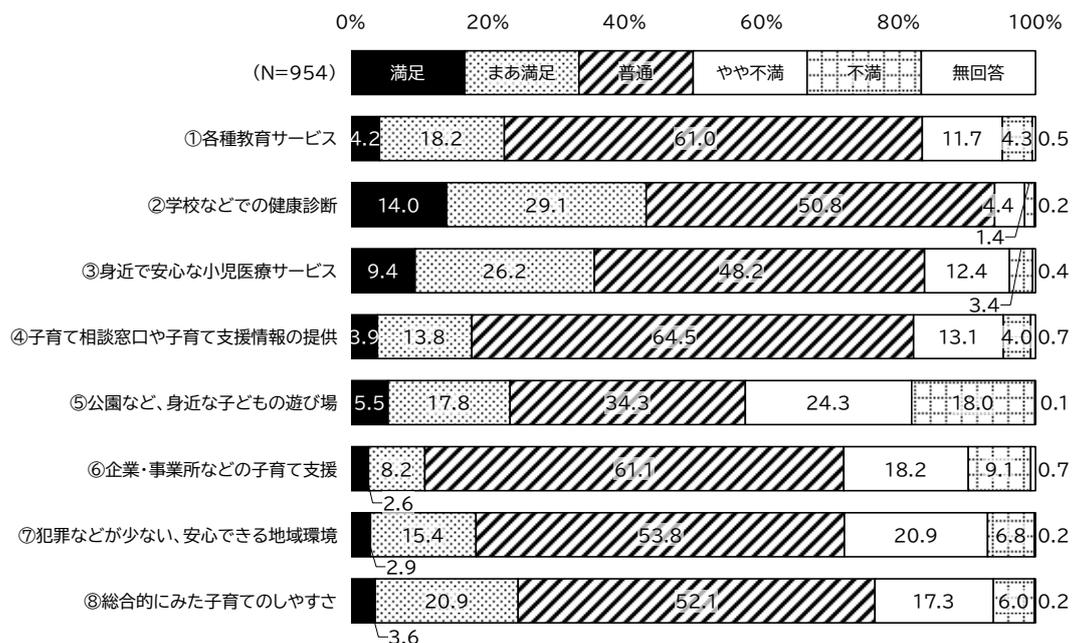
その一方で、「不満」と「やや不満」の合計は、就学前児童・小学生児童ともに「⑤公園など、身近な子どもの遊び場」がそれぞれ39.5%、42.3%となっている。

就学前児童・小学生児童ともに、前回調査時と比べて同様の傾向となっているが、各項目の「満足」と「まあ満足」の合計が減少している。

【就学前児童】



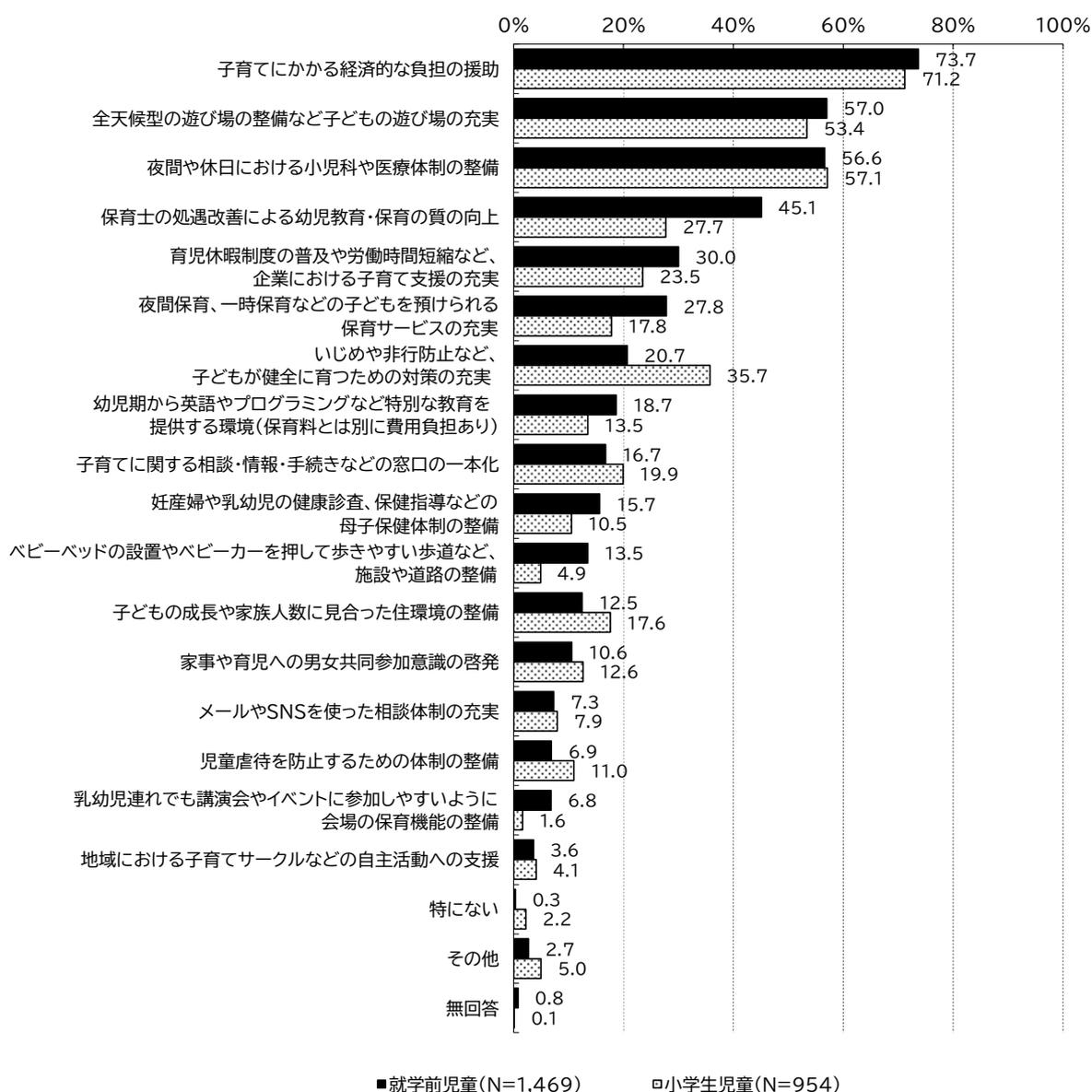
【小学生児童】



(59) 子どもを安心して産み育てられる環境のために、市に対してどのような施策を期待しますか。＜複数回答＞

(就学前児童調査…問 32 小学生児童調査…問 28)

「子育てにかかる経済的な負担の援助」が就学前児童で73.7%、小学生児童で71.2%と最も多い。「全天候型の遊び場の整備など子どもの遊び場の充実」が就学前児童で57.0%、小学生児童で53.4%、「夜間や休日における小児科や医療体制の整備」が就学前児童で56.6%、小学生児童で57.1%となっている。

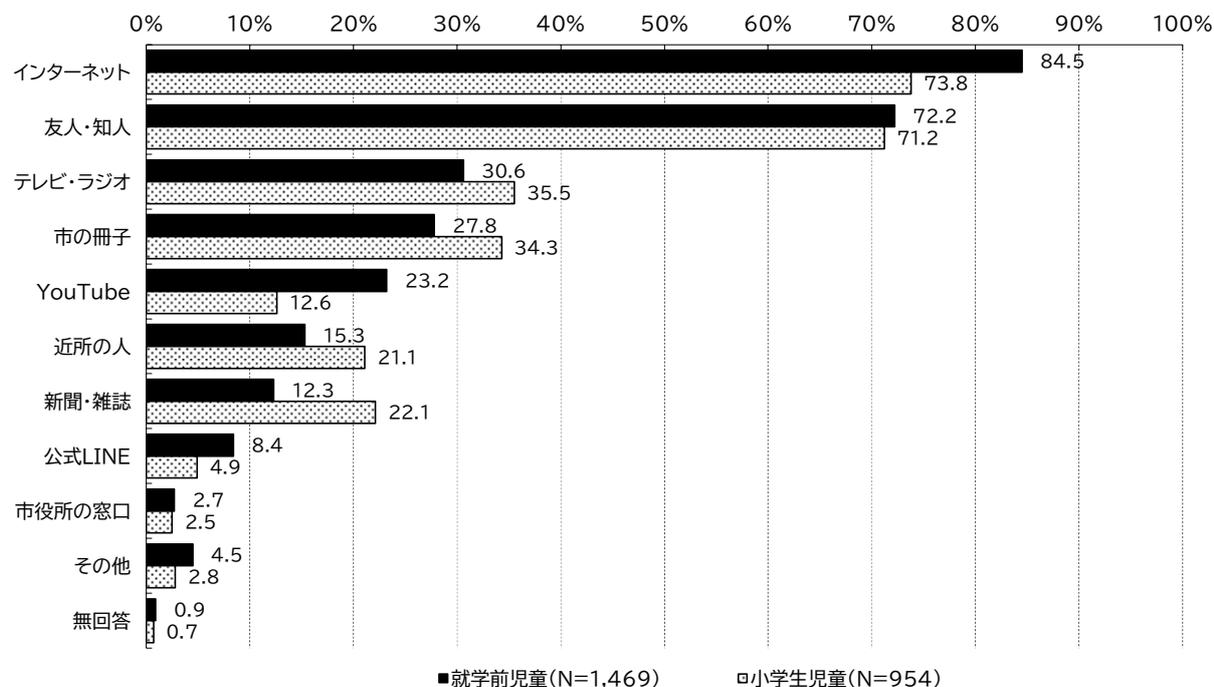


(60) あなたは、どのような方法で子育てに関する情報を収集していますか。

<複数回答>

(就学前児童調査…問 33 小学生児童調査…問 29)

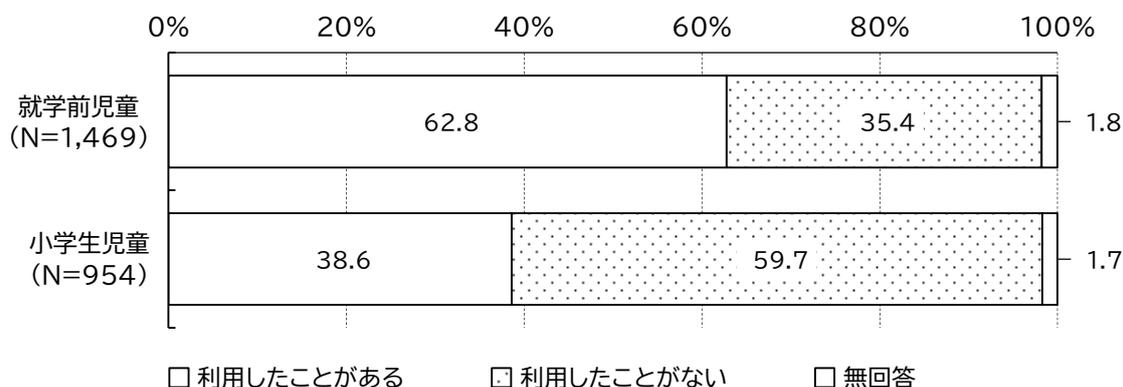
就学前児童・小学生児童ともに「インターネット」が最も多く、それぞれ84.5%、73.8%となっている。次いで「友人・知人」がそれぞれ72.2%、71.2%となっている。



(62) あなたは、インターネットやアプリを使った子育てサービスを利用したことがありますか。<単数回答>

(就学前児童調査…問 34 小学生児童調査…問 30)

就学前児童では「利用したことがある」が62.8%であるのに対し、小学生児童は「利用したことがない」が59.7%となっている。



就学前児童の自由回答

区分	主な意見内容		件数	
保育サービスの関すること	保育所	施設数・定員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 低年齢児（0～2歳児）の希望者が入園できるようにしてほしい。 ▶ 復職のタイミング（年度途中入園）により入園が難しい。 ▶ 兄弟姉妹で別の園とならないようにしてほしい。 	40
		保育環境・条件	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 下の子の育休中でも保育を利用できるようにしてほしい。 ▶ 仕事が休みの時も保育園を利用できるようにしてほしい。 ▶ おむつの園での廃棄、サブスクサービスがとてもよい。 ▶ 短時間パートでも預けられるなど、保育園に預けられる条件を緩和してほしい。 	62
		保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 保育の場の虐待防止策を講じてほしい。 ▶ 保育士の処遇改善と数の確保をお願いします。 ▶ 保育園で習い事ができるとよい。 ▶ 布団やタオルなど持ち帰りが多すぎる。 	62
		土曜・祝日保育	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 祝日に利用できる保育園の拡充をしてほしい。 ▶ 普段通園している園での祝日保育を実施してほしい。 	16
		一時保育	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 一時保育の利用方法が煩雑で、1か月前までの申請など利用しにくい。 ▶ もっと気軽に預けられるサービスがあるといい。 ▶ 障がいの有無に関係なく、誰でも預かり保育が利用できるようにしてほしい。 	42
		病児保育	<ul style="list-style-type: none"> ▶ もっと数が増えて、自宅の近くにあるといい。 ▶ 仕事に間に合うような、早い時間から預かってほしい。 	10
		保育料	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 認可外保育所の保育料が高い。 ▶ 0～2歳児の保育料も無料にしてほしい。 ▶ 多子世帯の保育料軽減をしてほしい。 	17
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 父母の会の活動などの負担を減らしてほしい。 	4
	こども園	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市内各地域にバランスよくこども園を配置してほしい。 ▶ こども園の延長保育を当日にも申込みできるようにしてほしい。 	10	
	幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 長期休暇（夏休み等）の預かりを増やしてほしい。 ▶ 幼稚園の先生の不足を感じる。 ▶ ルールの緩和や回数の増など、預かり保育の充実を希望する。 	22	
放課後の過ごし方に関すること	学童保育	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 希望する人が全員利用できるようにしてほしい。 ▶ 学童での食事の提供などサービスの充実をしてほしい。 ▶ 祝日の保育や長期休暇のみの預かりなど保育の拡充を図ってほしい。 ▶ 多子世帯の育成料軽減を希望する。 ▶ 学区により、学童保育がない等地域格差がある。 	39	
	こどもの家	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 全ての学区でかばん下校ができるようにしてほしい。 ▶ レクリエーション室にもエアコンをつけてほしい。 	9	

区分	主な意見内容		件数	
放課後の過ごし方に関する事	その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 両親がフルタイムで働いていても習い事に通えるよう、送迎のフォローがあるとよい。 ▶ 学校の教室、運動場、体育館などを放課後に開放し、子どもたちが利用できるようにしてほしい。 	7	
	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学区を見直してほしい。 ▶ 部活動のあり方について（無くしてほしい、増やしてほしい、地域移行に関するブロック分けなど） ▶ 教員の処遇改善をしてほしい。 ▶ 無農薬野菜の使用やアレルギー対応など給食の充実をしてほしい。 ▶ PTA、旗当番などの制度を見直してほしい。 	26	
教育に関する事	教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ▶ スクールバスを導入してほしい。 ▶ 体育館にエアコンを設置してほしい。 ▶ トイレ環境の改善をしてほしい。 	13	
	教育費	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 給食費の無償化をしてほしい。 ▶ 制服やかばんなど入学時にかかる経費の補助をしてほしい。 ▶ 高校までの教育費無償化を希望する。 	21	
子育て環境に関する事	公園	数	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 他市に比べて公園の数が少ない。 ▶ 広い公園が少ない。 ▶ 近くに公園がない。 	69
		設備	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公園に駐車場を整備してほしい。 ▶ 遊具の充実や定期的な整備をしてほしい。 ▶ 遊具が古い、草が伸びているなど利用しづらい。 ▶ 安心して利用できるトイレを整備してほしい。 ▶ フェンスの設置などの安全対策をしてほしい。 	86
	遊び場	屋内施設	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 雨天時にも体を動かして遊べる施設が欲しい。 ▶ 小学生と未就学児と一緒に遊べる屋内施設があると、兄弟そろって遊ぶことができる。 	98
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 南公園の改修期間が長い。 ▶ 温水プールを作してほしい。 ▶ 水あそび場があるとよい。 	48
	安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 小さな子どもやベビーカーが通りやすい道路（歩道）にしてほしい。 ▶ 道路幅が狭い。 ▶ 防犯カメラの設置など犯罪防止の対策をしてほしい。 	26	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 商業施設などにベビーコーナー、キッズコーナーを設置してほしい。 ▶ 男性がおむつ替えできるスペースを増やしてほしい。 ▶ 小さい駅にもエレベーターをつけてほしい。 	12	

区分	主な意見内容		件数
手当や助成に関する事	児童手当	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 児童手当を増やしてほしい。 ▶ 所得制限をなくしてほしい。 	18
	ひとり親	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 父子家庭への支援も充実させてほしい。 ▶ ひとり親の求職活動中の保育園利用に配慮してほしい。 	6
	医療費	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 18歳までの医療費を無償化してほしい。 ▶ インフルエンザのワクチン補助をしてほしい。 	16
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 習い事にかかる費用の助成をしてほしい。 ▶ おむつやおしりふきなど育児にかかる費用の助成をしてほしい。 ▶ 子育て世帯に対する減税などの助成をしてほしい。 ▶ Q U Oカードは使いにくいいため、他の方法での経済的支援を望む。 	47
子育て支援に関する事	相談	<ul style="list-style-type: none"> ▶ LINE やメールで子育て相談できるとよい。 ▶ 相談しても寄り添ってもらえない雰囲気がある。 ▶ もっと気軽に相談できる窓口を作って、知らせてほしい。 	18
	支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 子育て支援センターの数を増やしてほしい。 ▶ 子育て支援センターは乳児が多く、3歳以上のこどもは連れて行きづらい。 ▶ 土日でも利用できるようにしてほしい。 	23
	障がい児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 障がいを持つこどもが、そうでない子と同様に保育園を利用したり、サービスを受けられるようにしてほしい。 ▶ 療育を希望するこどもが多く、待ちが多い。 ▶ 療育を必要とするこどもの施設を増やしてほしい。 ▶ 療育に関する情報を得ることができ、必要なサービスを受けることができた。 	20
	イベント	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 無料で未就学児が集まるイベントが少ない。 ▶ 年齢の離れた兄弟がいるとイベントに参加しにくい。 ▶ 発達に心配があるこども向けのイベントも開催してほしい。 	9
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 父親が家事・育児に参画しやすい社会環境づくりをしてほしい。 ▶ 父子手帳はよい。 ▶ 多胎児に対する子育て支援をしてほしい。 	18
保健に関する事	健康診査	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 健診での医師や保健師は配慮ある対応をしてほしい。 ▶ 健診の回数を増やしてほしい。 ▶ 健診での待ち時間が長い。 	28
	医療体制	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 土曜日の午後の診療をしてくれる医院が増えるとよい。 ▶ 小児科の予約が取りにくい。 ▶ 小児科がない地域がある。 	34

区分	主な意見内容		件数
労働環境に関すること	職場の理解	<ul style="list-style-type: none"> ▶ こどもが病気の際に休むことに対する理解が浸透してほしい。 ▶ 休みがとりづらい職場で、子育てに積極的な参加ができない。 	14
	柔軟な働き方	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 人が足りないため、時短勤務を希望してもできない。 ▶ こどもの病気や学校関係の用事などのための休暇があるとよい。 ▶ 勤務時間や勤務日数など家庭の状況に応じて柔軟に変えていけるような職場環境になってほしい。 	20
	男性の育児休業	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 1～2週間ではなく、もっと長い期間育休を取ってほしい。 ▶ 男性が育休を取りやすくなるよう経済的支援をしてほしい。 	14
	労働時間	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 長時間労働のため、子育てに関わりたくても時間がない。 ▶ 父母ともに定時退社できれば、夫婦で助け合って子育てができる。 	9
行政に関すること	情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ホームページを分かりやすくしてほしい。 ▶ 資料や冊子の種類が多く、知りたい情報がすぐに見つからない。 ▶ こどもの遊び場やイベントなどの情報がほしい。 ▶ 保育園の情報を1つにまとめて発信してほしい。 	22
	手続き	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 保育園の申し込み方法等を見直してほしい。 ▶ 産後のサービスはネット手続きなど自宅でできるともっと利用しやすくなる。 ▶ 職員によって対応にバラつきがある。 	20
	子ども施策全般	<ul style="list-style-type: none"> ▶ キッズデイズはもっと柔軟な対応ができるようにしてほしい。 ▶ こども施策にもっと力を入れてほしい。 ▶ 将来を担うこどもたちのために税金を使ってほしい。 ▶ 岡崎市は充実している。 	27
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 図書館の本の貸し借りを他の施設でもできるようにしてほしい。 ▶ 公共施設のトイレ改修をしてほしい。 	5
その他	アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ▶ WEB回答をするためのIDが分かりづらい。 ▶ アンケートの結果を市政に反映させてほしい。 ▶ 設問に対する回答が当てはまらないものが多かった。選択肢を増やしてほしい。 	18

小学生児童の自由回答

区分	主な意見内容		件数	
保育サービスの関すること	保育環境・条件	<ul style="list-style-type: none"> ▶ こどもたちが安全安心に成長することができるよう、教育・保育環境の充実を希望する。 ▶ 祝日保育を実施してほしい。 	11	
	保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 保育や教育の質向上のためにも、保育士・教員の処遇改善と人員確保をしてほしい。 ▶ 保育士の不足で、支援が必要なこどもや延長保育などの対応ができていないと感じることがある。 	15	
	病児保育	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 利用登録のハードルが高く、利用しづらいイメージがある。 ▶ 利用できる時間が短いので、結局休みを取らないといけない。 	6	
放課後の過ごし方に関すること	学童保育	施設数	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 利用希望者がすべて利用できるよう施設数や定員を増やしてほしい。 ▶ 公立の児童育成センターがない学区があり、不公平を感じる。 	19
		内容・条件	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高学年の児童も預けられるようにしてほしい。 ▶ 長期休暇のみの預かりを実施してほしい。 ▶ 学童の中で習い事ができるようにしてほしい。また、習い事への送迎をしてほしい。 ▶ 遊ぶスペースの確保や、夏期のエアコンの整備をしてほしい。 ▶ お弁当や夕食のサービスがあるとよい。 	12
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 料金を無料にして（低くして）ほしい。 ▶ 料金を日割り計算できるようにしてほしい。 ▶ 名古屋市のトワイライトのように、学校の中での預かりを希望する。 	6
	こどもの家	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 宿題をさせてほしい。 ▶ 学区ごとにルールに違いがあり、できることが異なるため、統一してほしい。 ▶ 夏期は暑くてレクリエーション室が使いにくいことが多いため、エアコンの整備をしてほしい。 ▶ 開館時間を延ばしてほしい。 ▶ 指導員の質の向上を希望する。 	25	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学校や学童などから習い事への送迎システムを確立してほしい。 	6	
教育に関すること	学校教育	教育内容	<ul style="list-style-type: none"> ▶ スクールカウンセラーや相談室の設置など、こどもや親の心に寄り添う対策をしてほしい。 ▶ 環境学習や障がいに関する学習など、教科の学習以外の心を育む学習も取り入れてほしい。 ▶ 学校行事が多い。行事のたびに代休になるので、仕事を休むことになり対応に困っている。 ▶ タブレットをもっと活用してほしい。 ▶ 先生が忙しすぎる。人員を増やして、仕事を振り分けたり効率化したりしてほしい。 	57

区分	主な意見内容		件数	
教育に関すること	学校教育	学習	▶ 昔に比べて宿題が少なくなっているので、学力低下が心配。 ▶ 英語をもっと強化してほしい。 ▶ 性教育を充実させてほしい。	19
		部活動	▶ 部活動の地域移行の内容がよく理解できない。 ▶ 部活動を縮小しすぎ。遠方の地域への送迎が負担。	15
		教育環境	▶ 中学校の学区割を見直してほしい。 ▶ こどもだけの登下校が心配なので、スクールバスを導入してほしい。 ▶ 体育館への冷房設置を進めてほしい。 ▶ 学校施設やグラウンドを放課後に開放してほしい。	36
		教育費	▶ 入学時の制服や体操服、文具などの負担が大きいので、補助してほしい。 ▶ 額田中学の寮をなくした後のバスについて、利用料を無料にしてほしい。 ▶ 高校の教育費や給食費を無償化してほしい。	32
		その他	▶ F組の取組が良い。小学校にも設置してほしい。 ▶ 保護者がキッズデイズに合わせて休むことができるとは限らない。	11
子育て環境に関すること	公園	▶ 学区内に大きい公園がほしい。 ▶ 小学生がボール遊びをしたり走り回れるような公園がほしい。 ▶ 公園のトイレを整備、改修してほしい。 ▶ 除草やハチの巣の撤去など安心して遊べる環境にしてほしい。 ▶ 公園の遊具が古く、小学生が楽しんで遊べるものが少ない。	86	
	遊び場	▶ 屋内型アスレチックなど雨の日でも体を動かして遊べる場所がほしい。 ▶ 科学館やプラネタリウムなどの施設がほしい。 ▶ 室内プールを作してほしい。 ▶ 小さい子の遊び場はあるが、小学生以上が遊べる場所が少ない。	62	
	安全対策	道路	▶ 道路幅が狭く危ない。 ▶ 通学路に歩道の設置をするなど安全に通学できるようにしてほしい。 ▶ 街灯を増やしてほしい。	21
		その他	▶ 防犯設備を整備してほしい。 ▶ 自転車を利用する人のマナー向上を望む。	7
経済的支援に関すること	手当・助成	▶ 18歳までの医療費を無償化してほしい。 ▶ 児童手当、児童扶養手当等収入制限をなくしてほしい。 ▶ インフルエンザワクチンの補助をしてほしい。	43	
	その他	▶ 兄弟に年の差があることで、第3子以降の恩恵が受けられないのはおかしい。 ▶ 就学前より小学校入学後の方がお金がかかる。 ▶ 物価高騰に対する支援をしてほしい。	37	

区分	主な意見内容		件数	
子育て支援に関する事	ひとり親		<ul style="list-style-type: none"> ▶ ひとり親は経済的にだけでなく、時間や労力なども足りない。 ▶ 父子家庭への支援も検討してほしい。 ▶ ひとり親ではないが、配偶者を介護しながら子どもを育てている。子どもをヤングケアラーにしないためにも、そういう家庭への支援がほしい。 	11
	障がい児への対応		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 障がいのある子どもでものびのび遊べる場所がほしい。 ▶ 放課後デイサービスの時間を長くしてほしい。 ▶ 障がい児の成長に応じた情報が少ない。 	20
	地域	地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ▶ PTA や子ども会活動などを強制的にやらせないようにしてほしい。 ▶ 働く母親が増えている中、旗当番や地域活動などの負担が大きい。 	17
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ファミリーサポート事業にはとても助けられた。 ▶ 子ども食堂がもっと利用しやすくなるようにしてほしい。 	4
	その他		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 子育てサークルや地域の公民館等を利用した同年代の子どもとの交流会などが少ない。 ▶ 思春期の子どもや不登校の子どもに対する相談場所を増やしてほしい。 ▶ 悩んでいる人や相談相手のいない人に向けて情報発信など孤独にならない対策をしてほしい。 	15
保健に関する事	産前産後事業		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 産後うつ対策を強化してほしい。 ▶ 実家が近くになかったり、夫の仕事が忙しいなど1人で子育てしている母親への育児サポートを充実させてほしい。 	4
	小児科		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学区内に小児科がない。 ▶ 休日診療に小児科を増やしてほしい。 	10
労働環境に関する事	企業		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 長期休暇の時には子どもを一人にした良くないので、学校がある時だけ働ける職場があるとよい。 ▶ 子どもが小さくても働きやすい環境になってほしい。 ▶ 生活費、習い事、貯金などやりくりが大変なので、給与を上げてほしい。 	10
	その他		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 子どもを持つ親が子どもと過ごすために休むことが当然となるような社会になるよう働きかけをしてほしい。 ▶ 子どもが病気などの時、母親ばかりに負担をかけず、みんなで子どもを見守るような社会になってほしい。 	8
行政に関する事	情報提供		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 習い事の情報がほしい。 ▶ 市の支援にどんなメニューがあるか分からず、時間をかけて検索している。 ▶ 公園の遊具情報などをHPで紹介してほしい。 	4
	手続き		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高校生世代の医療費助成はありがたいが、手続きが煩雑。 ▶ 手続きのため、子連れで長時間待つのが大変である。 	4
	その他		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 山間部と市街地など整備の内容に違いがある。 ▶ 子育てしやすい環境や支援を望む。 ▶ 子どもたちが同世代、異世代と交流したり、ボランティアを体験したりできるような機会を設けてほしい。 	27

区分	主な意見内容		件数
その他	アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ▶ アンケートの目的が良く分からない。 ▶ ○○の人に対する設問、など条件がいろいろあって間違いやすい。 ▶ WEBアンケートに回答する際、間違いが修正できなかった。 	27
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 長期休暇中の昼食支援を希望する。 ▶ スーパーに有料でもよいので短時間の預かりがあると助かる。 ▶ 岡崎市は子育てがしやすく満足している。 	8

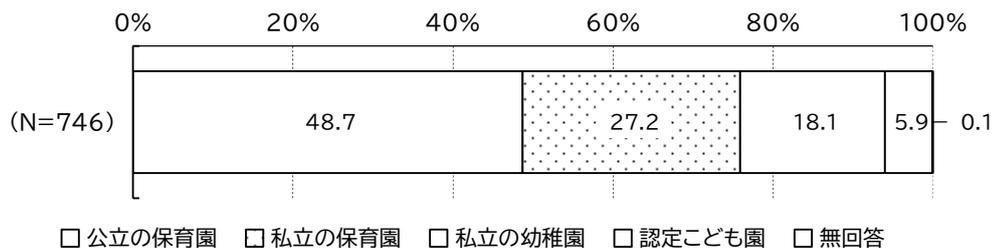
IV. 調査結果（保育園・幼稚園・認定こども園職員）

1. あなた自身についてうかがいます

（1）あなたの勤務地は次のうちどれですか。＜単数回答＞

（園職員調査…問1）

「公立の保育園」が48.7%、「私立の保育園」が27.2%、「私立の幼稚園」が18.1%、「認定こども園」が5.9%となっている。

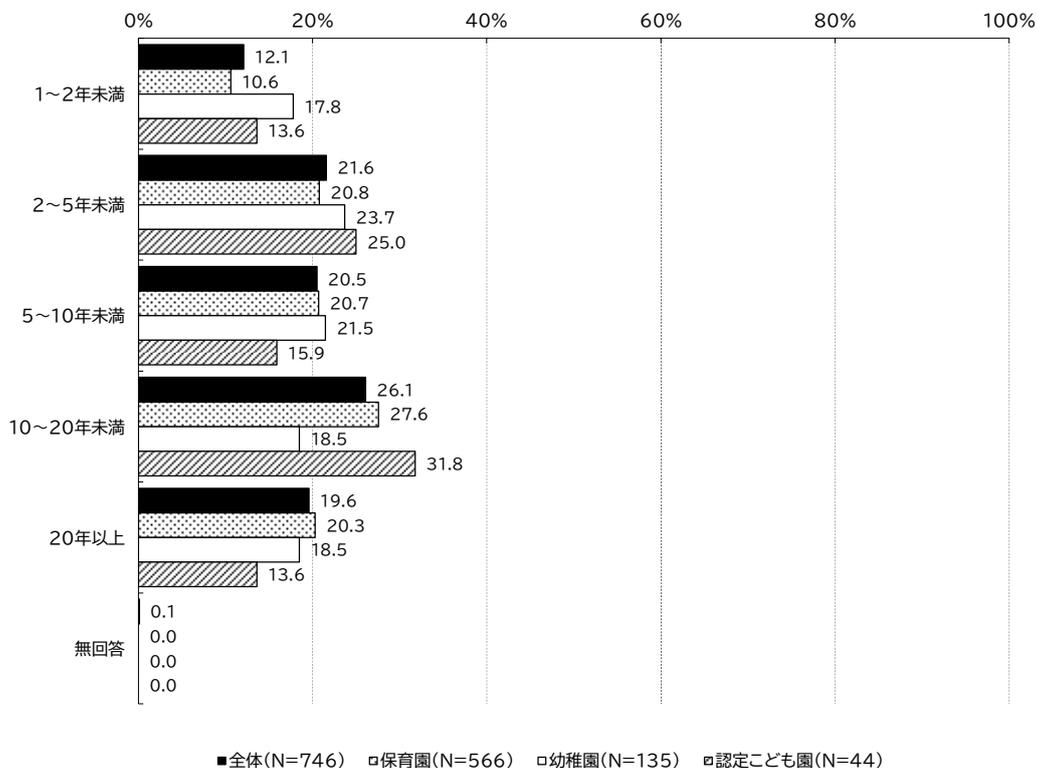


（2）保育園・幼稚園・認定こども園での保育経験年数は次のうちどれですか。

＜単数回答＞

（園職員調査…問2）

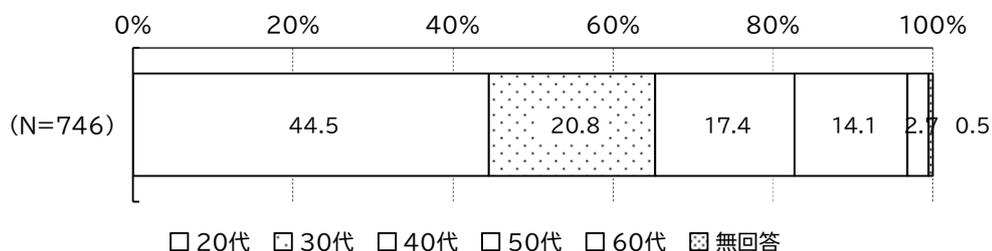
保育園・認定こども園について、「10～20年未満」がそれぞれ27.6%、31.8%、幼稚園は「2～5年未満」が23.7%と最も多い。



(3) 現在の年齢は、次のうちどれですか。〈単数回答〉

(園職員調査…問3)

「20代」が44.5%と最も多く、次いで「30代」が20.8%、「40代」が17.4%となっている。

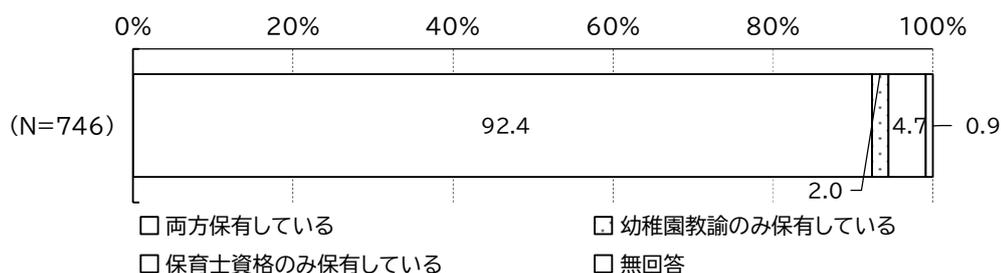


(4) 現在、幼稚園教諭免許及び保育士資格の両方を保有していますか。

〈単数回答〉

(園職員調査…問4)

「両方保有している」が92.4%と最も多く、次いで「保育士資格のみ保有している」が4.7%、「幼稚園教諭のみ保有している」が2.0%となっている。

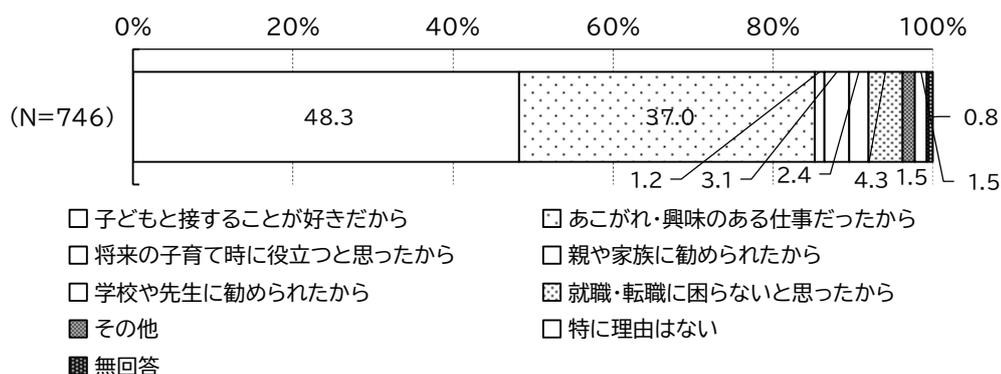


(5) あなたが幼稚園教諭免許や保育士資格を取得した理由は何ですか。

〈単数回答〉

(園職員調査…問5)

「子どもと接することが好きだから」が48.3%と最も多く、次いで「あこがれ・興味のある仕事だったから」が37.0%、「就職・転職に困らないと思ったから」が4.3%となっている。

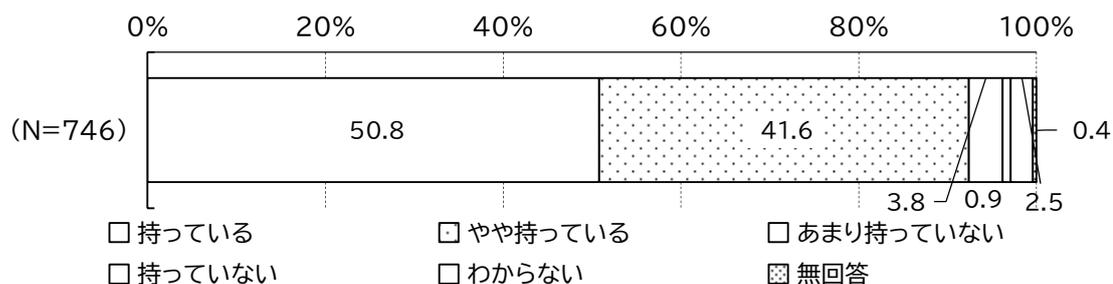


2. 仕事や職場の環境についてうかがいます

(6) 保育園・幼稚園・認定こども園の仕事にやりがいや充実感を持っていますか。〈単数回答〉

(園職員調査…問6)

「持っている」が50.8%と最も多く、次いで「やや持っている」が41.6%、「あまり持っていない」が3.8%となっている。



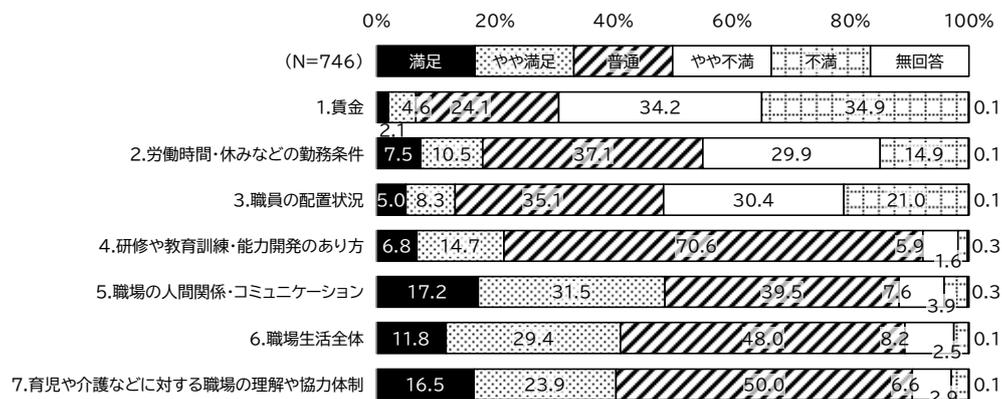
(7) 現在の仕事の満足度についてうかがいます。〈単数回答〉

(園職員調査…問7)

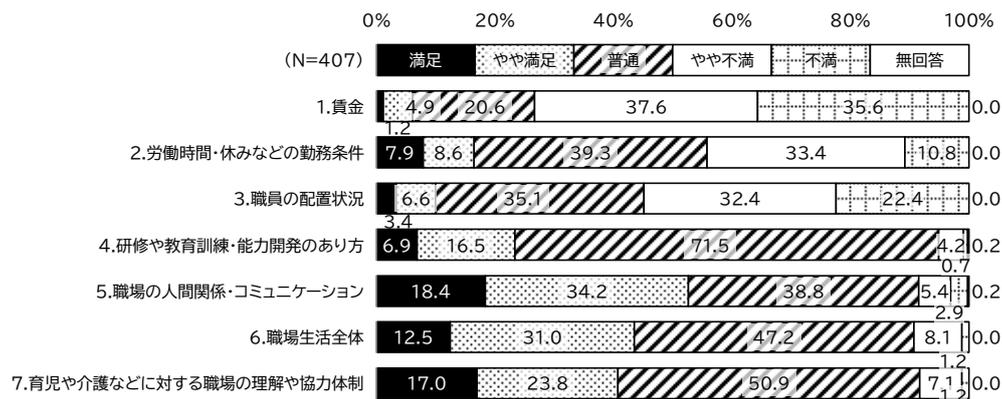
「満足」と「やや満足」の合計は、「5. 職場の人間関係・コミュニケーション」が48.7%と最も高い。その一方で、「1. 賃金」が6.7%となっている。

「職員の配置状況」では私立の方が公立に比べてやや多い。

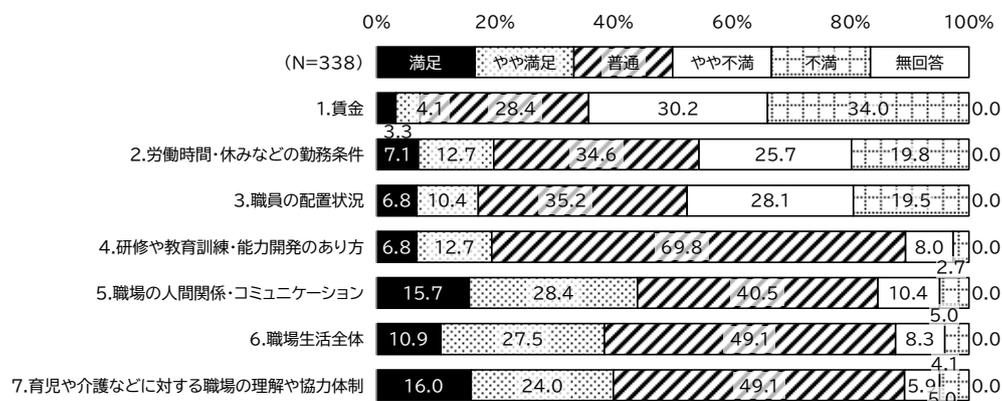
【全体】



【公立保育園・認定こども園】

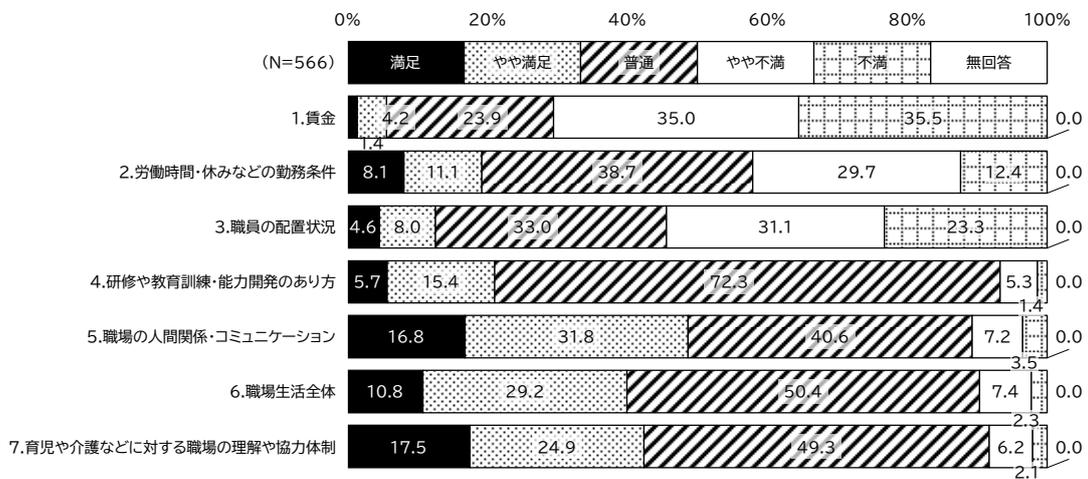


【私立保育園・幼稚園】

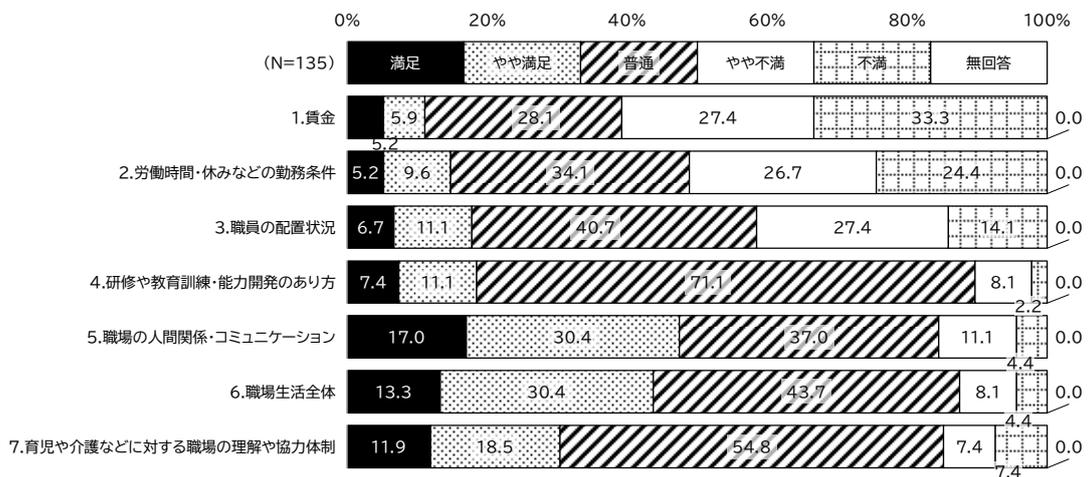


勤務地別について、認定こども園では「5. 職場の人間関係・コミュニケーション」がほかよりもやや高い。その一方で、「1. 賃金」の「不満」と「やや不満」が高い。

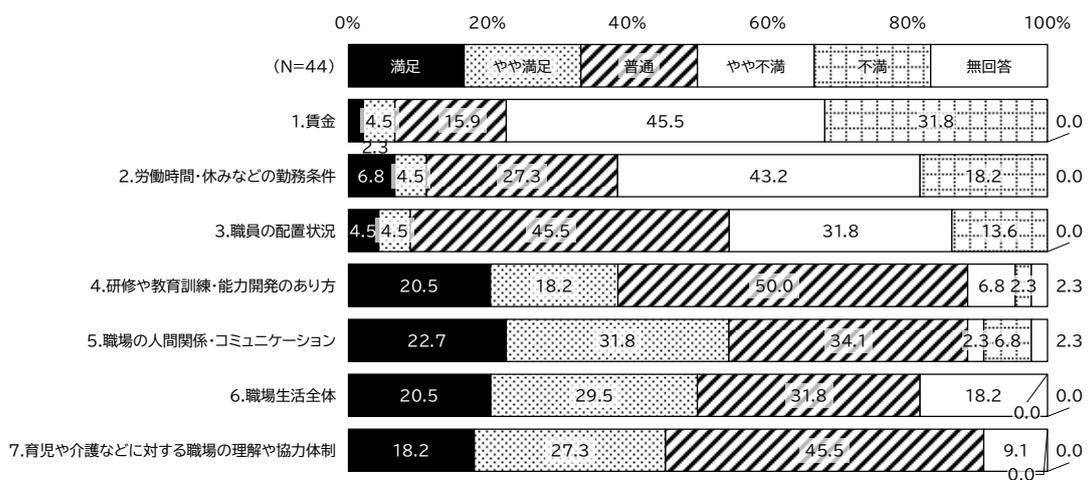
【保育園】



【幼稚園】



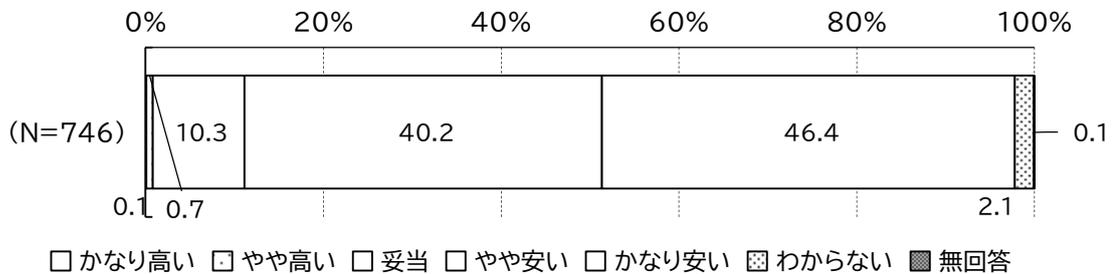
【認定こども園】



(8) 業務内容と比較した給与について、どう感じていますか。〈単数回答〉

(園職員調査…問9)

「かなり安い」が46.4%と最も多く、次いで「やや安い」が40.2%、「妥当」が10.3%となっている。

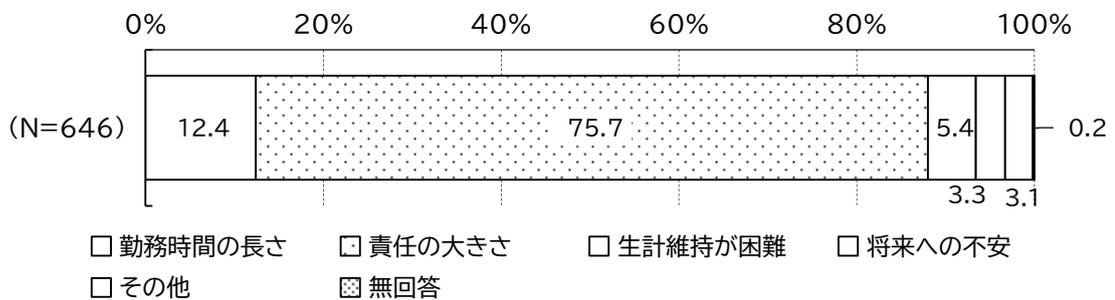


(9) (賃金が安い理由) そのように思われた最も大きな理由は何ですか。

〈単数回答〉

(園職員調査…問9-1)

「責任の大きさ」が75.7%と最も多く、次いで「勤務時間の長さ」が12.4%、「生計維持が困難」が5.4%となっている。

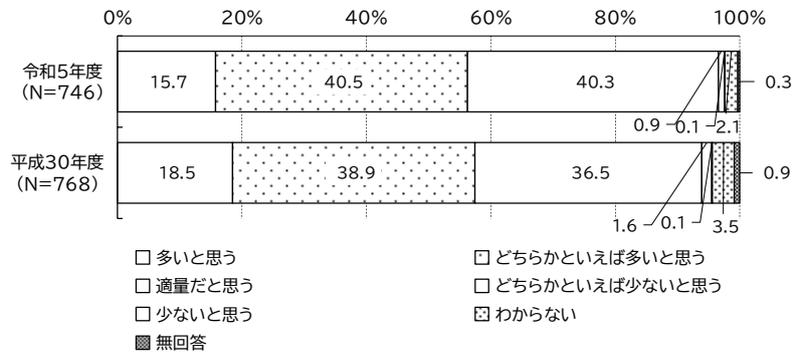


(10) あなたに任されている現在の業務量は適量だと思いますか。〈単数回答〉

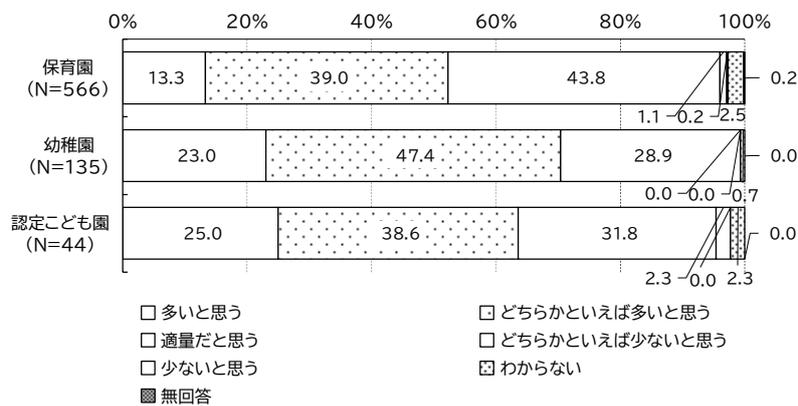
(園職員調査…問 10)

「どちらかといえば多いと思う」が40.5%と最も多く、次いで「適量だと思う」が40.3%、「多いと思う」が15.7%となっている。

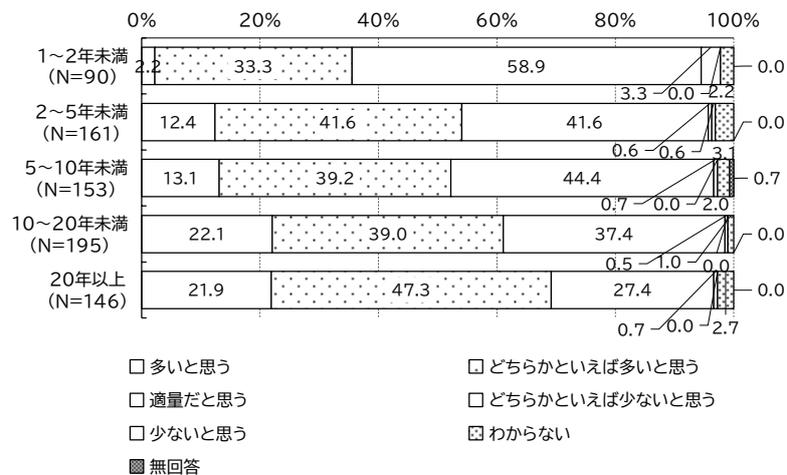
【全体】



【勤務地別】



【経験年数別】

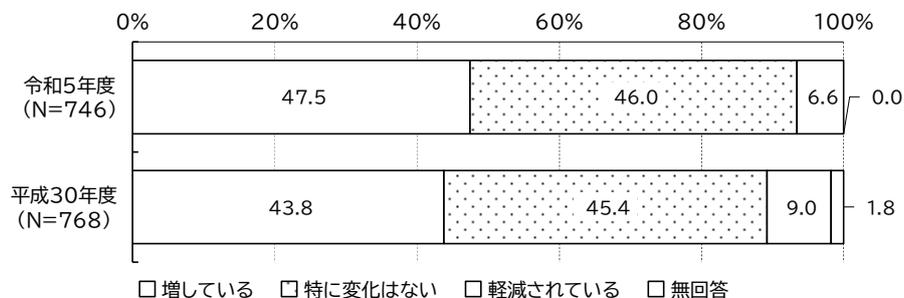


(11) ここ数年の間で、あなたの業務負担は増していますか。〈単数回答〉

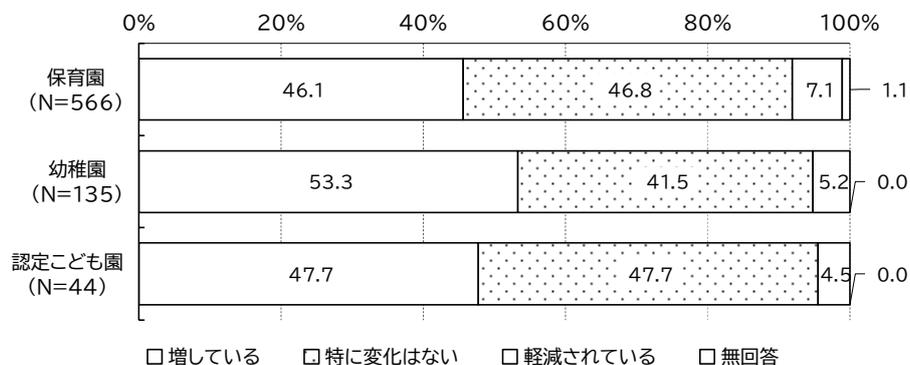
(園職員調査…問 11)

「増している」が47.5%と最も多く、次いで「特に変化はない」が46.0%、「軽減されている」が6.6%となっている。

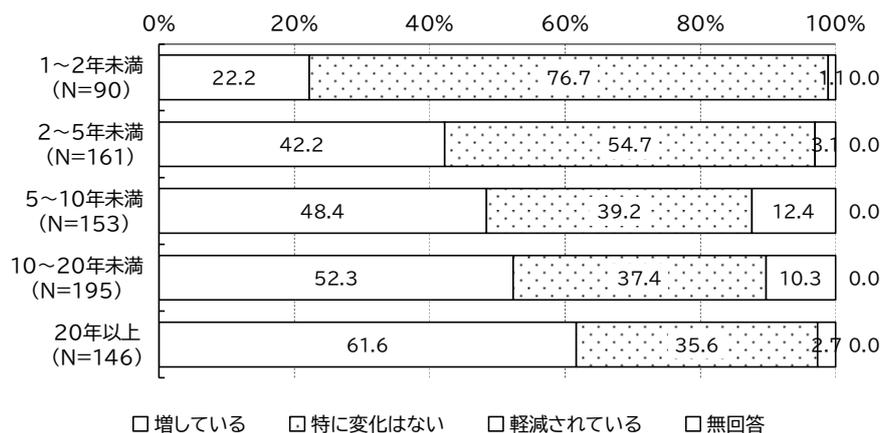
【全体】



【勤務地別】



【経験年数別】

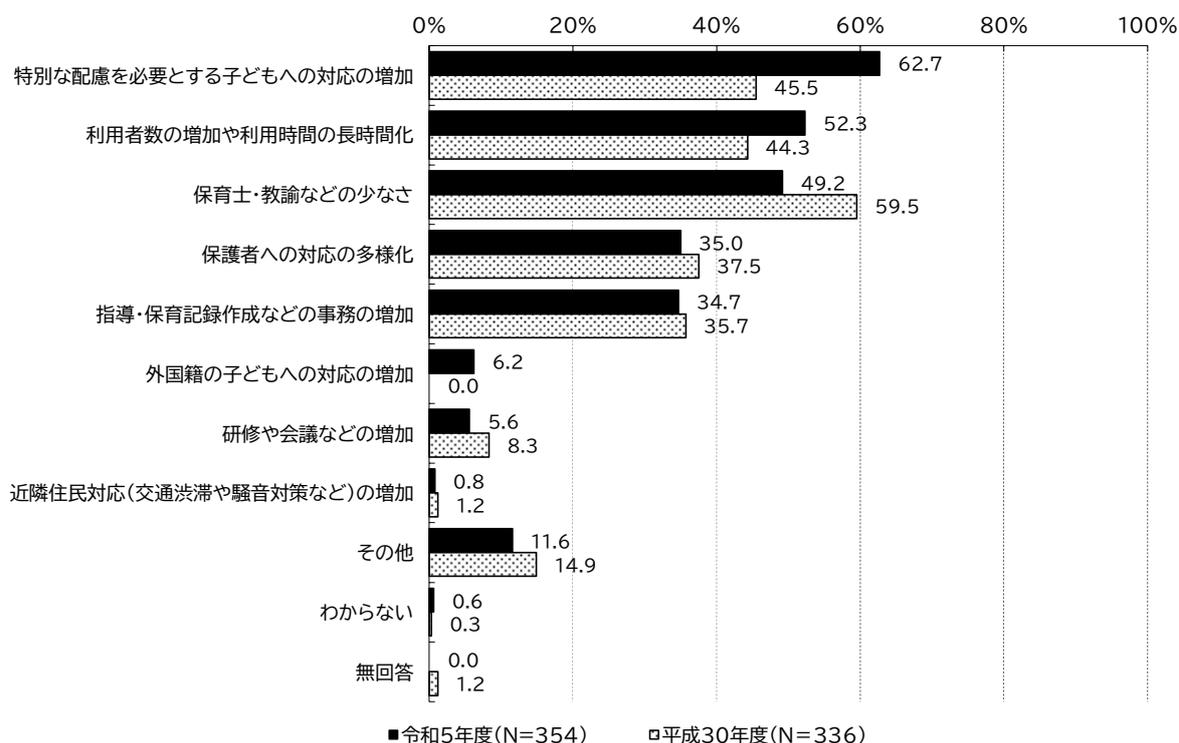


(12) 業務負担が増してきた原因は何だと思いますか。〈複数回答〉

(園職員調査…問 11-1)

「特別な配慮を必要とする子どもへの対応の増加」が62.7%と最も多く、次いで「利用者数の増加や利用時間の長時間化」が52.3%、「保育士・教諭などの少なさ」が49.2%となっている。

前回調査時と比べて、「保育士・教諭などの少なさ」が10.3ポイント減少したが、「特別な配慮を必要とする子どもへの対応の増加」が17.2ポイント増加した。

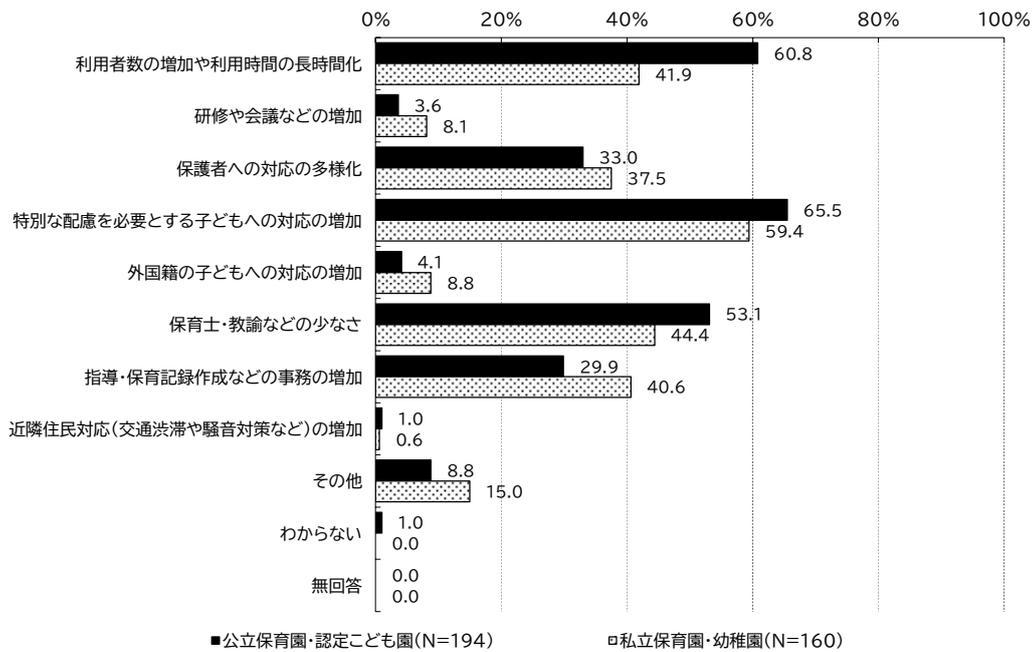


※平成30年度調査では「外国籍の子どもへの対応の増加」の選択肢なし。

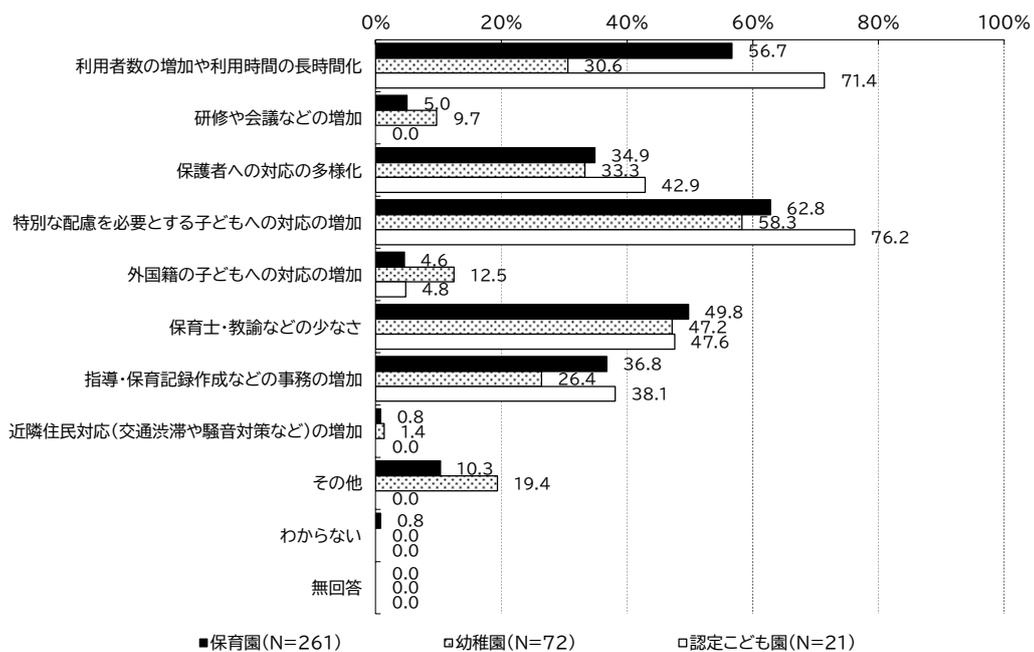
公立・私立ともに「特別な配慮を必要とする子どもへの対応の増加」「利用者数の増加や利用時間の長時間化」が多い。

勤務地別では「特別な配慮を必要とする子どもへの対応の増加」が全ての勤務地において最も多い。また、認定こども園は「利用者数の増加や利用時間の長時間化」が他の勤務地に比べて多い。

【公立・私立別】



【勤務地別】

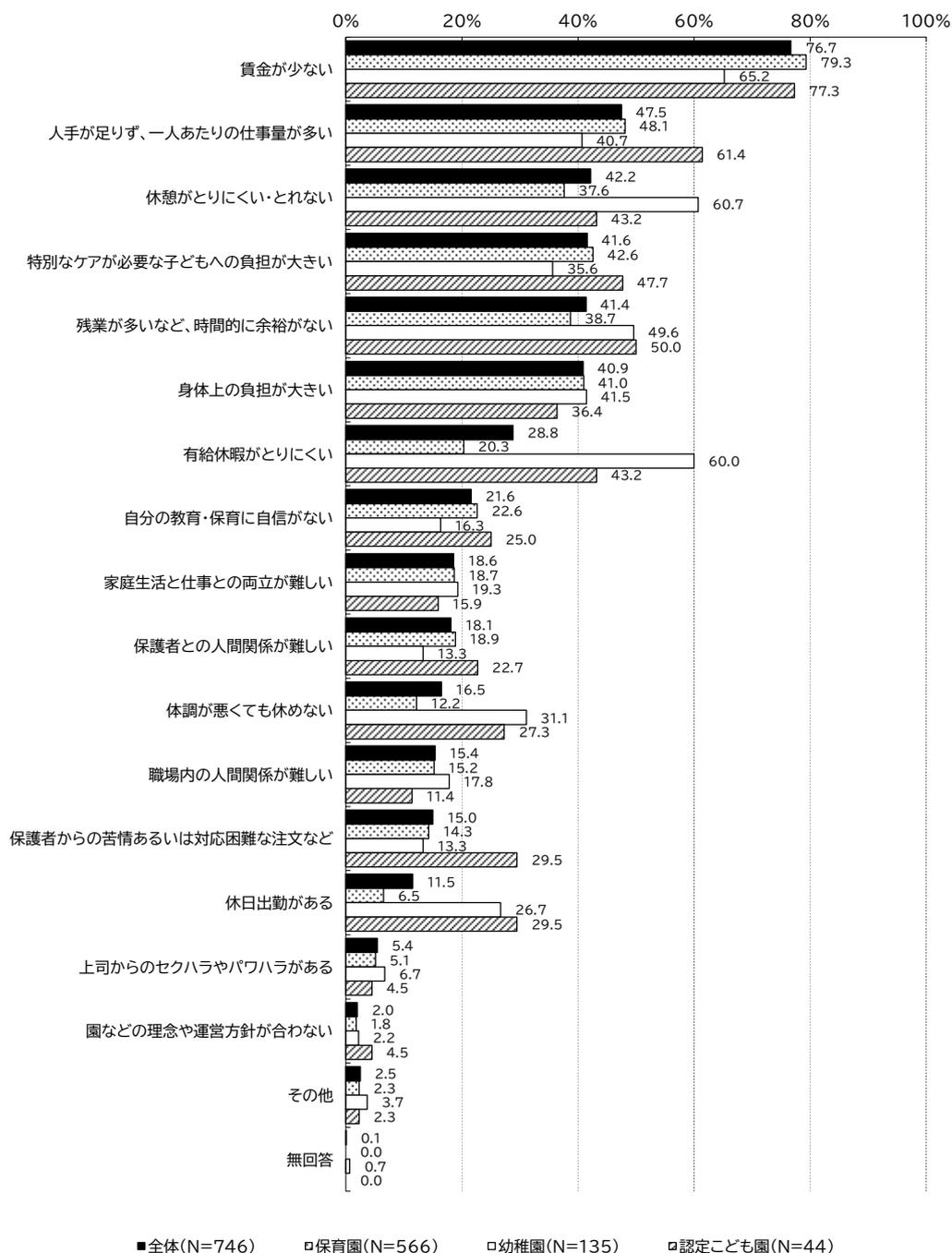


(13) 労働条件・仕事の負担に関して以下のような悩み・不満などはありますか。

<複数回答>

(園職員調査…問 12)

全体では「賃金が少ない」が76.7%と最も多く、次いで「人手が足りず、一人あたりの仕事量が多い」が47.5%、「休憩がとりにくい・とれない」が42.2%となっている。



(14) 今の職場に必要な改善策は何だと思いますか。〈複数回答〉

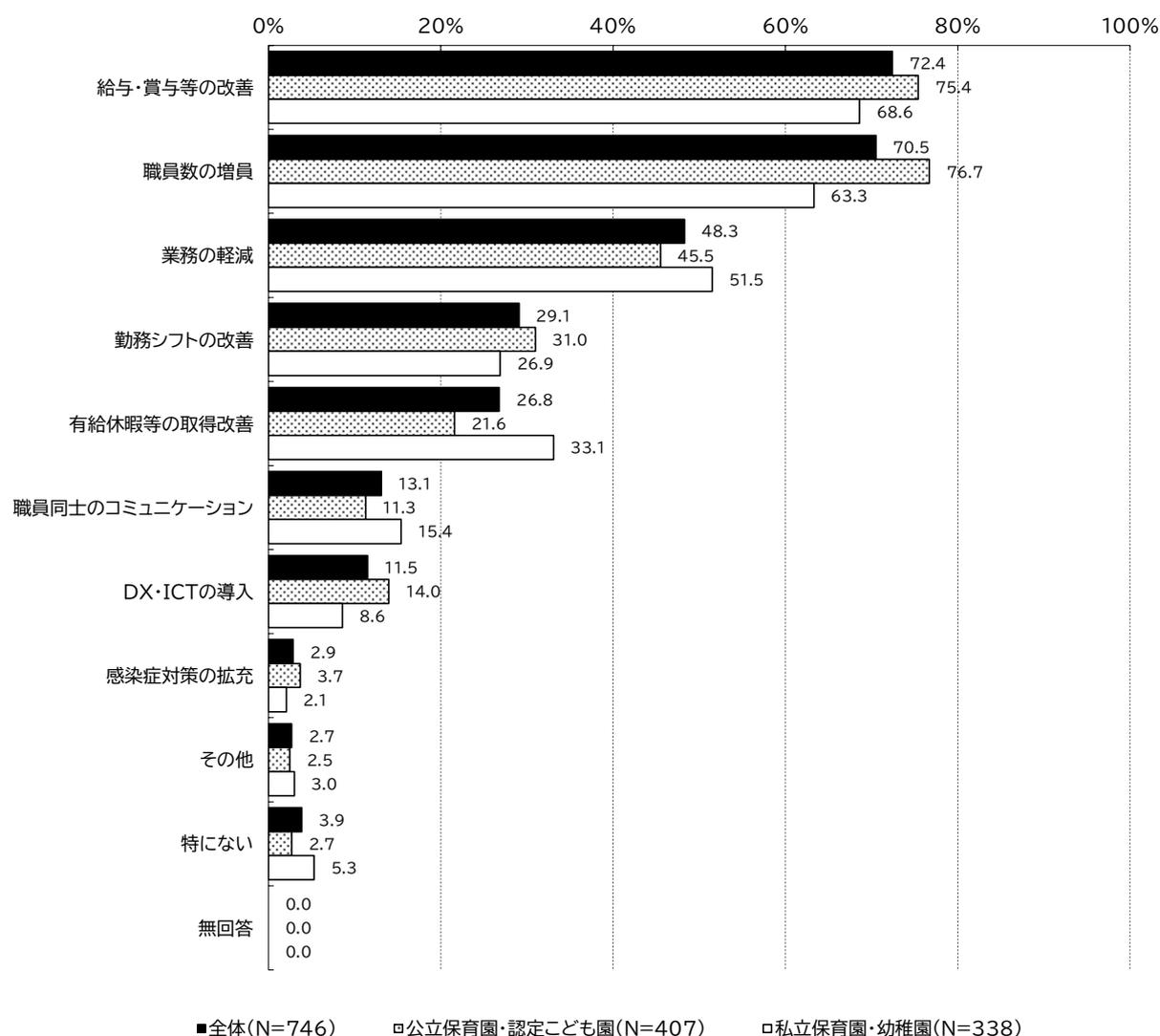
(園職員調査…問 13)

全体では「給与・賞与等の改善」が72.4%と最も多く、次いで「職員数の増員」が70.5%、「業務の軽減」が48.3%となっている。

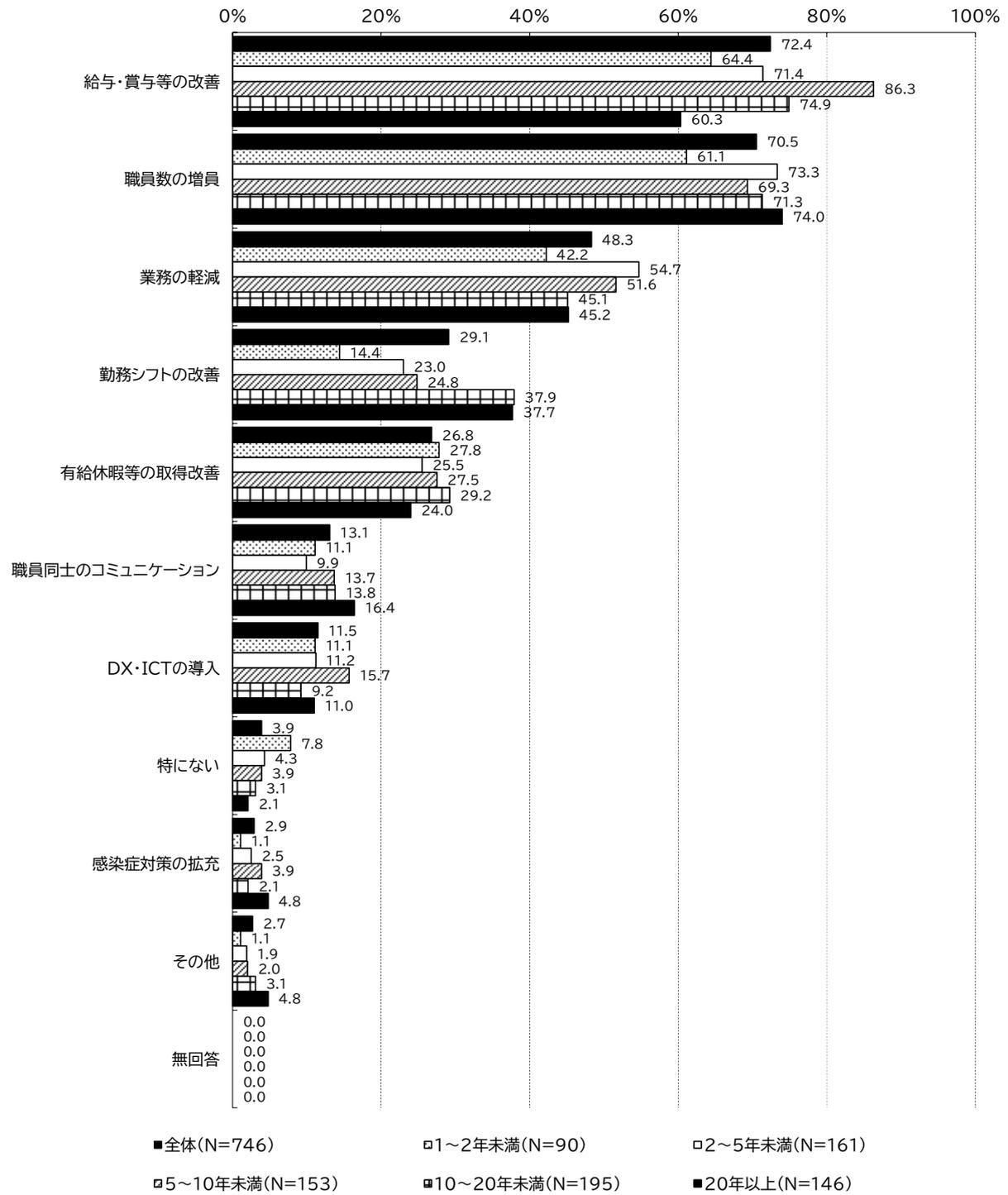
公立・私立別について、公立では「給与・賞与等の改善」や「職員数の増員」が私立に比べて多く、私立では「業務の軽減」「有給休暇等の取得改善」「職員同士のコミュニケーション」が公立に比べて多い。

経験年数別について、5～10年未満では「給与・賞与等の改善」が他の経験年数に比べて多く、10～20年未満および20年以上では、他の経験年数に比べて「勤務シフトの改善」が多い。

【公立・私立別】



【経験年数別】



(15) 今の施設について、改善が必要だと思う箇所や不足していると思うことは何ですか。〈複数回答〉

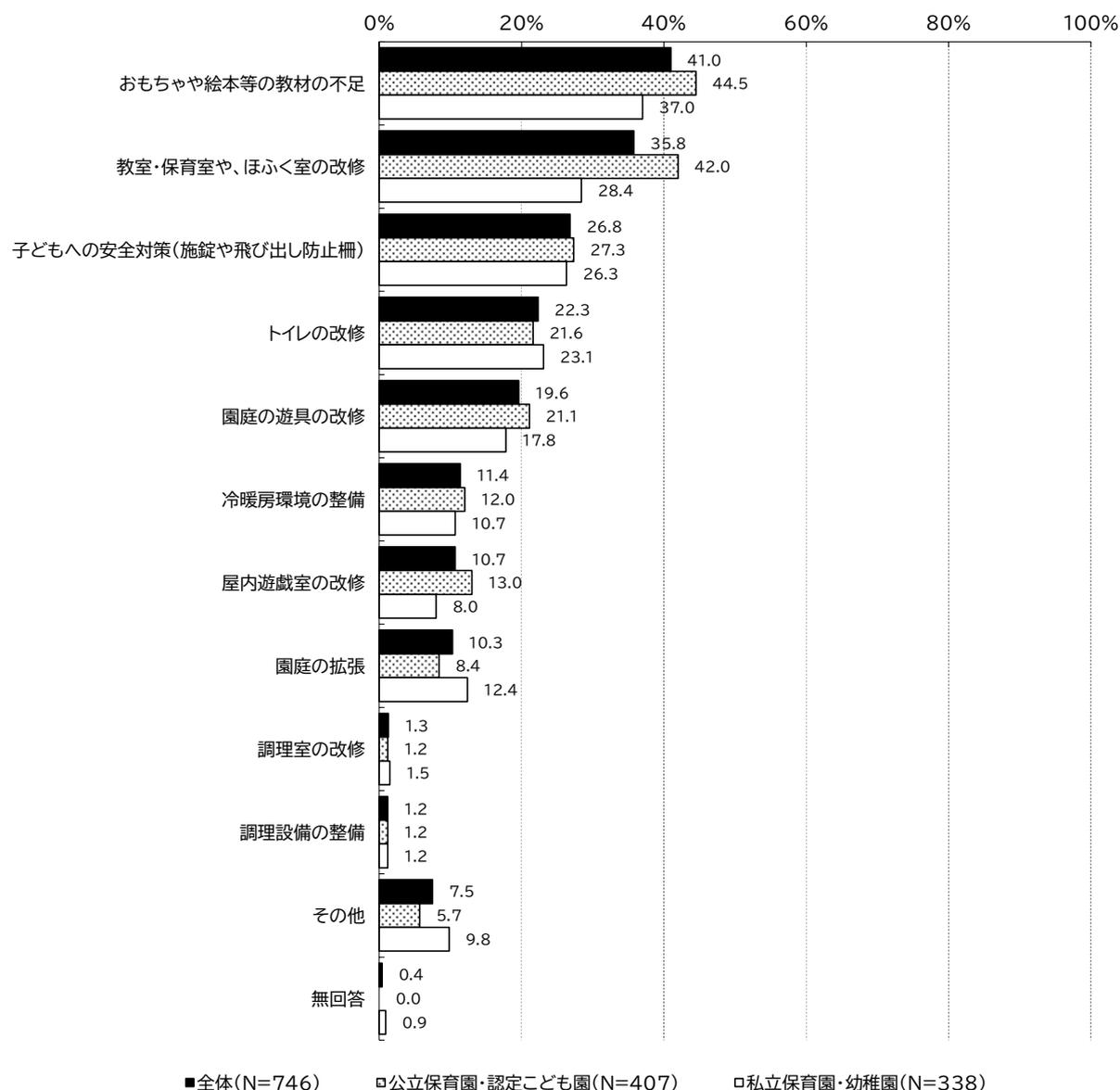
(園職員調査…問 14)

「おもちゃや絵本等の教材の不足」が41.0%と最も多く、次いで「教室・保育室や、ほふく室の改修」が35.8%、「子どもへの安全対策（施設や飛び出し防止柵）」が26.8%となっている。

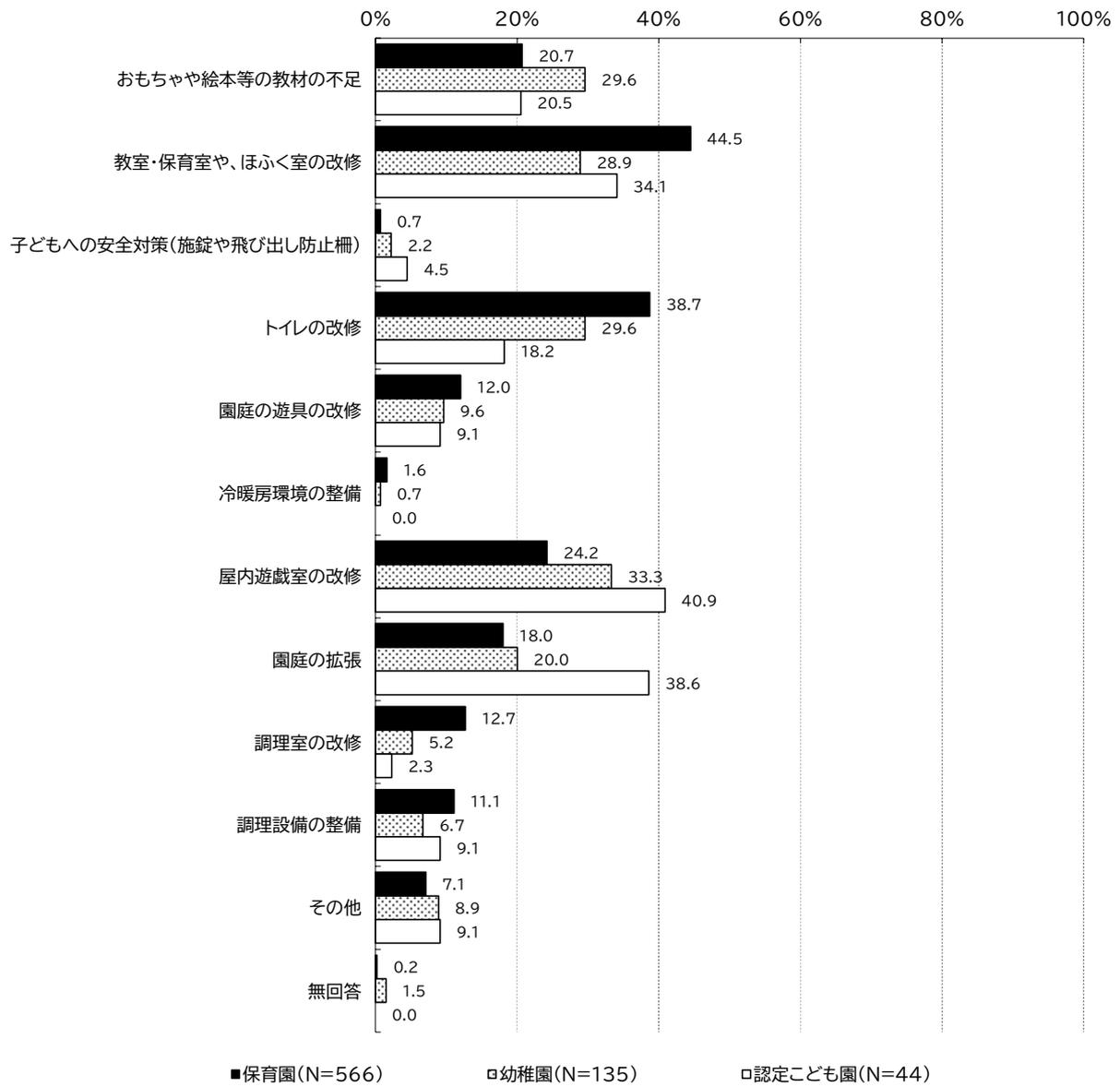
公立・私立別について、公立では「おもちゃや絵本等の教材の不足」「教室・保育室や、ほふく室の改修」が私立に比べてやや多く、私立では「トイレの改修」「園庭の拡張」が公立に比べてやや多い。

勤務地別について、保育園は「教室・保育室や、ほふく室の改修」「トイレの改修」、幼稚園は「おもちゃや絵本等の教材の不足」、認定こども園は「屋内遊戯室の改修」「園庭の拡張」が他の勤務地に比べて多い。

【公立・私立別】



【勤務地別】



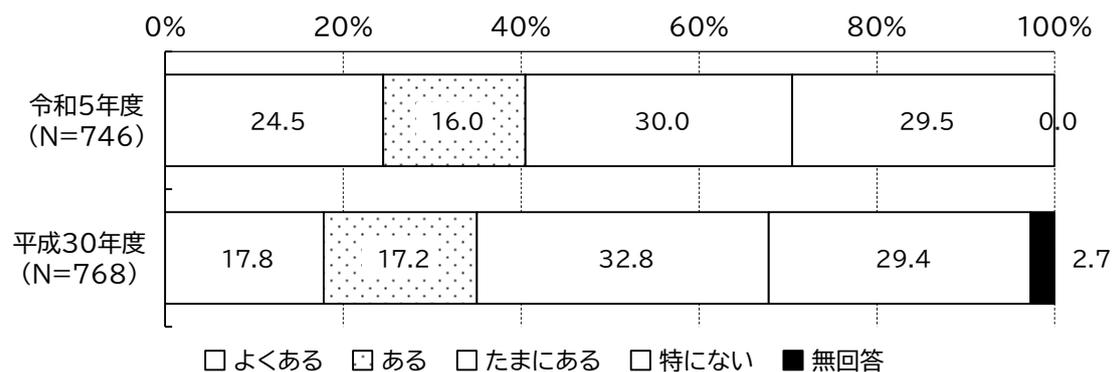
(16) 今の職場・施設をやめる、あるいは、保育園・幼稚園・認定こども園の仕事からの転職を考えたことはありますか。＜単数回答＞

(園職員調査…問 15)

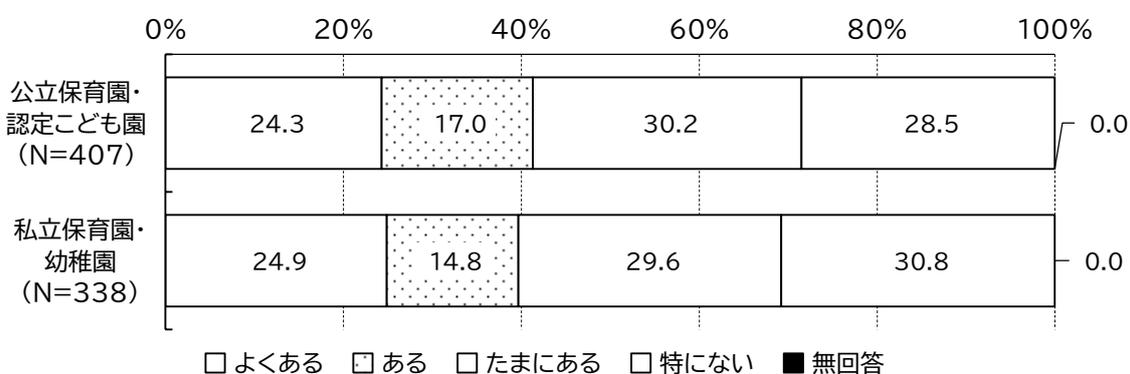
「よくある」「ある」の合計が40.5%であり、前回調査時と比べて「よくある」と「ある」の合計が多くなっている。

公立・私立別については、「よくある」「ある」の合計がおおむね同様の傾向となっている。

【全体】



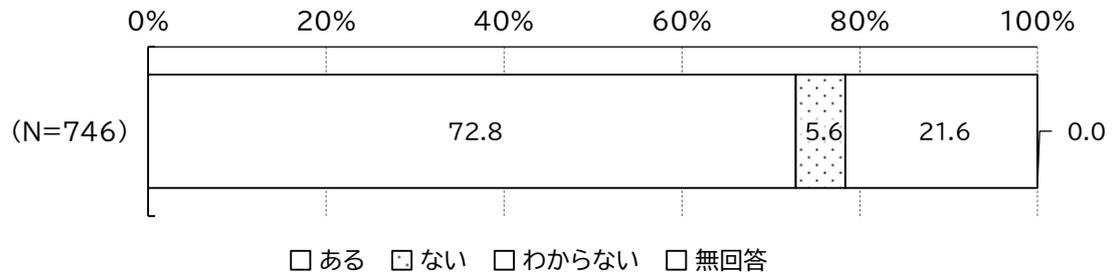
【公立・私立別】



(17) あなたは、自分の知識や専門性を高めるため、研修などへの参加意向はありますか。〈単数回答〉

(園職員調査…問 16)

「ある」が72.8%と最も多く、次いで「わからない」が21.6%、「ない」が5.6%となっている。



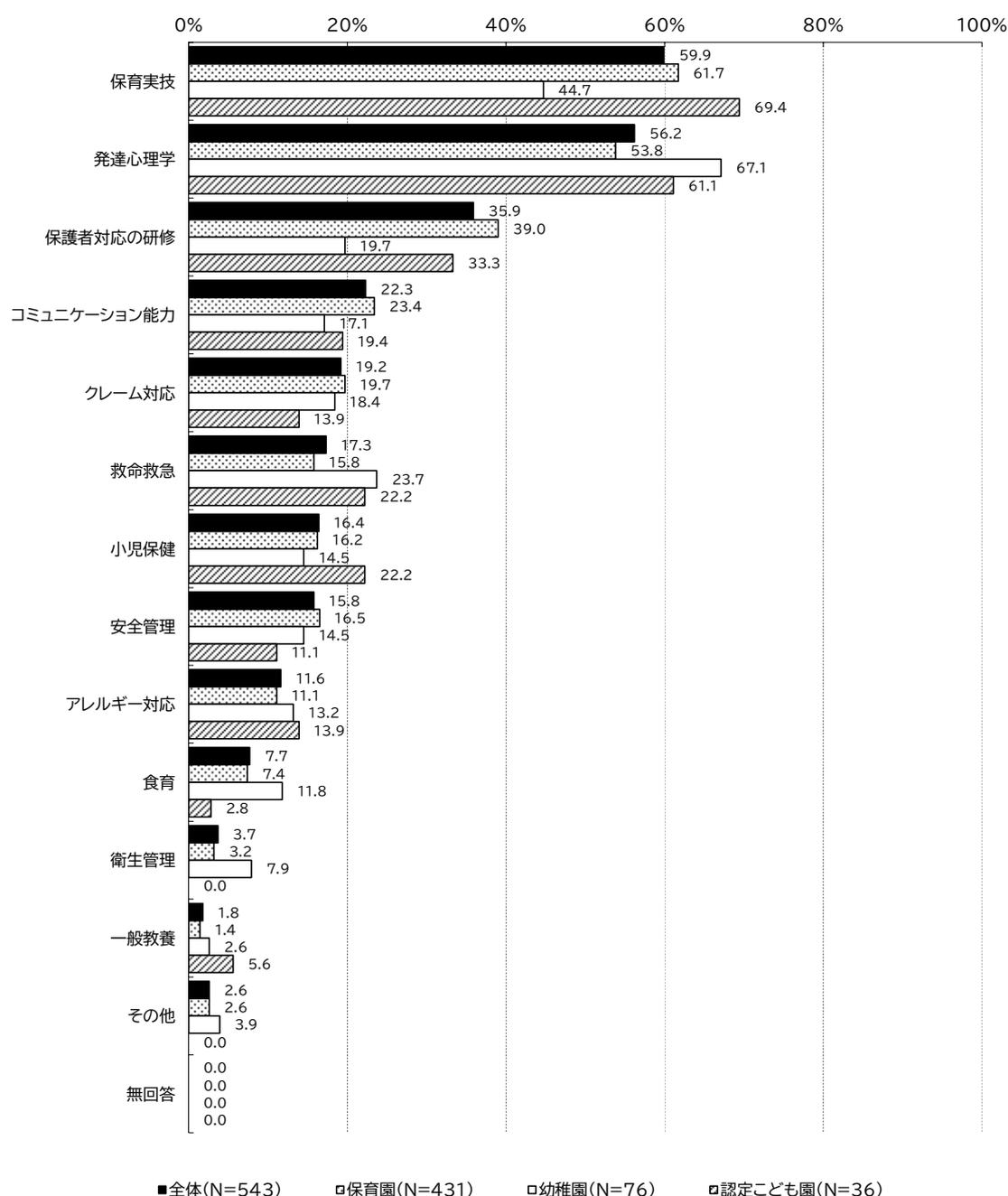
(18) 保育や幼児教育に関する研修では、どのような内容を希望しますか。

<複数回答>

(園職員調査…問 16-1)

全体では「保育実技」が59.9%と最も多く、次いで「発達心理学」が56.2%、「保護者対応の研修」が35.9%となっている。

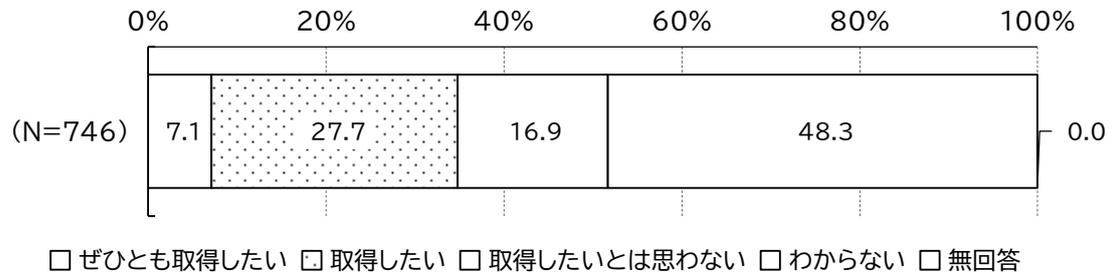
保育園は「保護者対応の研修」「コミュニケーション能力」「クレーム対応」、幼稚園は「発達心理学」「救命救急」「食育」「衛生管理」、認定こども園は「保育実技」「小児保健」「アレルギー対応」「一般教養」が他の勤務地に比べて多い。



(19) 2024年に「こども家庭ソーシャルワーカー」が創設される予定です。この資格に対する取得意欲はありますか。＜単数回答＞

(園職員調査…問17)

「わからない」が48.3%と最も多く、次いで「取得したい」が27.7%、「取得したいとは思わない」が16.9%となっている。



3. 保護者などの状況についてうかがいます

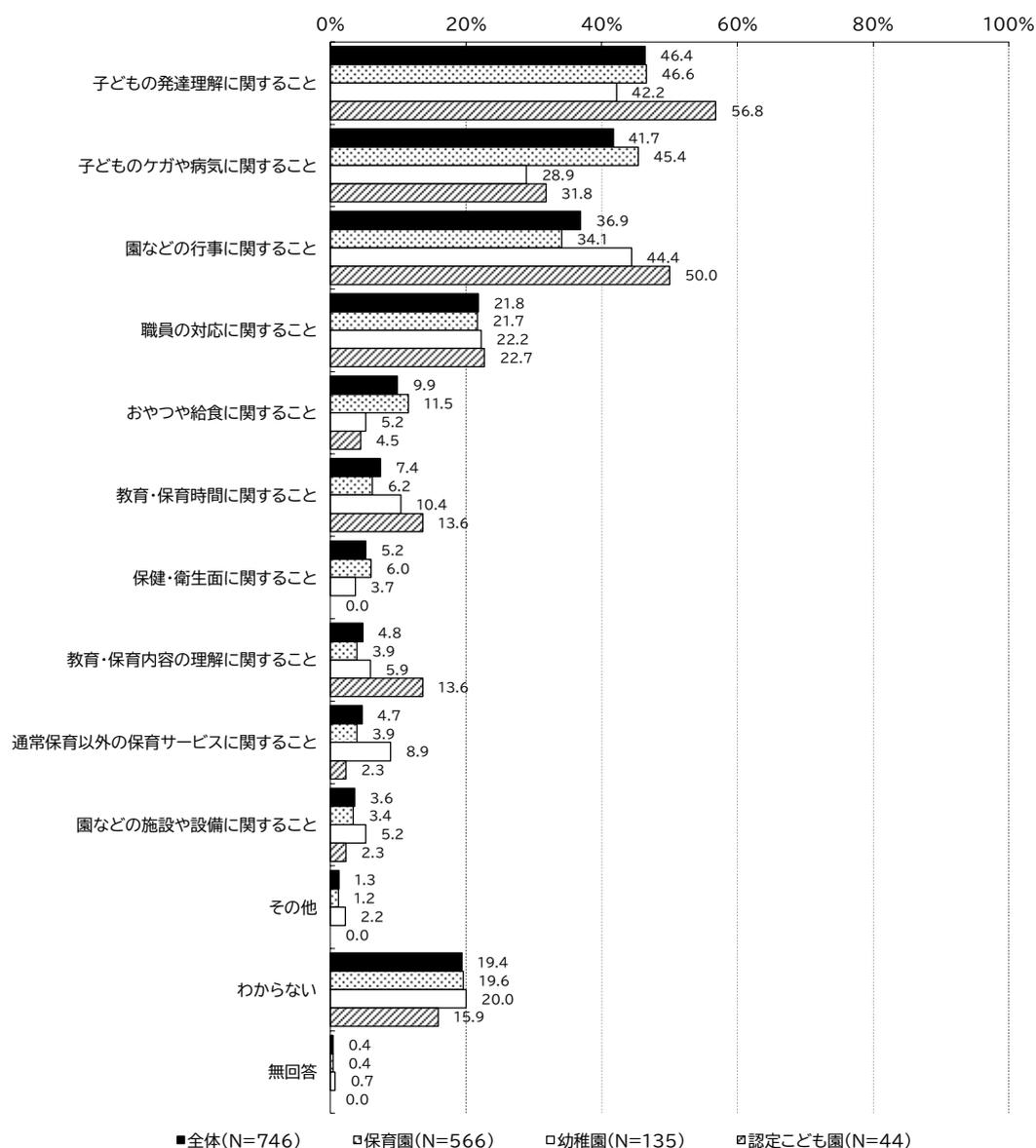
(20) 保護者から寄せられる要望としては、どのようなものが多いですか。

<複数回答>

(園職員調査…問 18)

全体では「子どもの発達理解に関すること」が46.4%と最も多く、次いで「子どものケガや病気に関すること」が41.7%、「園などの行事に関すること」が36.9%となっている。

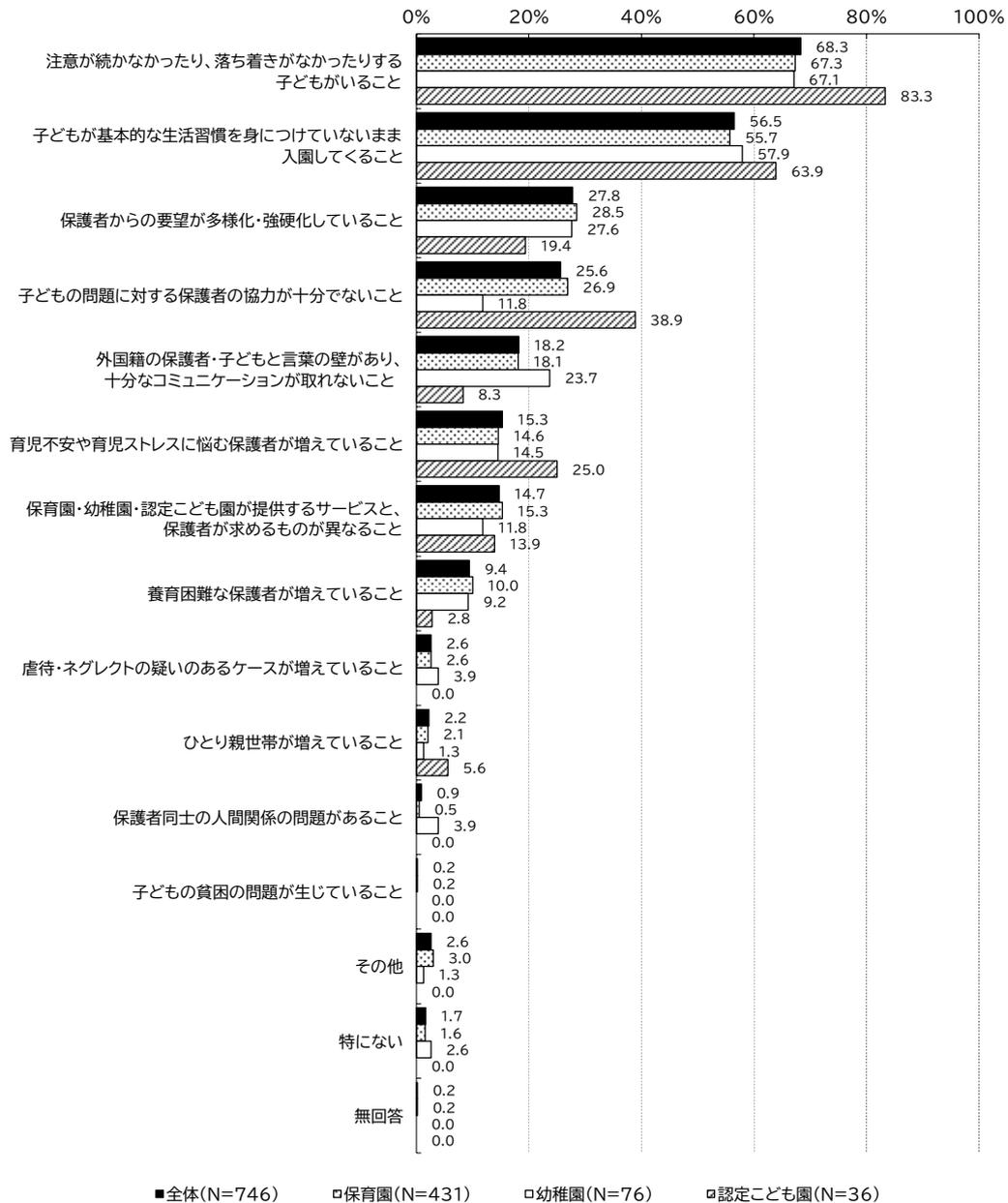
保育園は「子どものケガや病気に関すること」「おやつや給食に関すること」、幼稚園は「通常保育以外の保育サービスに関すること」、認定こども園は「子どもの発達理解に関すること」「園などの行事に関すること」「職員の対応に関すること」「教育・保育時間に関すること」「教育・保育内容の理解に関すること」が他の勤務地に比べて多い。



(21) 最近の保護者やその子どもにみられる状況について、特に問題だと思うことは何ですか。＜複数回答＞

(園職員調査…問 19)

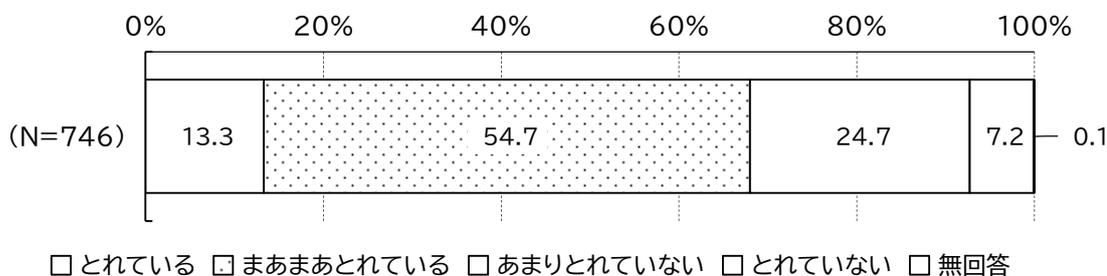
全体では「注意が続かなかったり、落ち着きがなくなったりする子どもがいること」が68.3%と最も多く、次いで「子どもが基本的な生活習慣を身につけていないまま入園してくること」が56.5%、「保護者からの要望が多様化・強硬化していること」が27.8%となっている。



(22) 自分の仕事と生活（趣味・家庭生活・余暇など）のバランスはとれていますか。＜単数回答＞

（園職員調査…問 20）

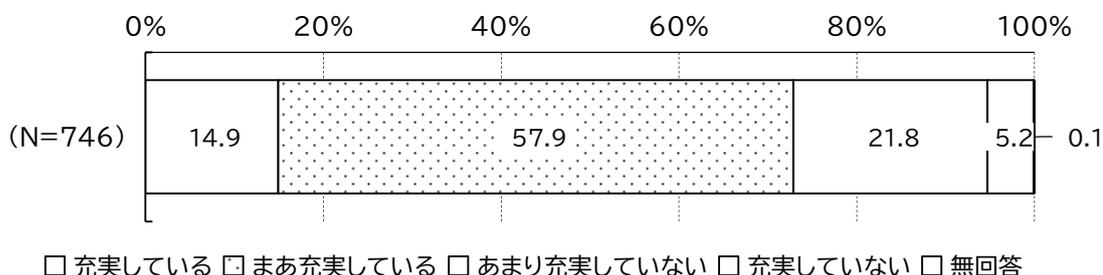
「まあまあとれている」が54.7%と最も多く、次いで「あまりとれていない」が24.7%、「とれている」が13.3%となっている。



(23) 自分の仕事と生活（趣味・家庭生活・余暇など）は両方充実していますか。＜単数回答＞

（園職員調査…問 21）

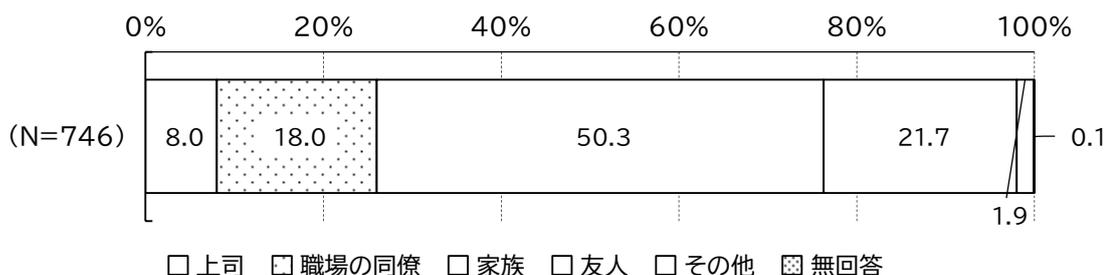
「まあ充実している」が57.9%と最も多く、次いで「あまり充実していない」が21.8%、「充実している」が14.9%となっている。



(24) あなたは困ったとき、誰に相談しますか。＜単数回答＞

（園職員調査…問 22）

「家族」が50.3%と最も多く、次いで「友人」が21.7%、「職場の同僚」が18.0%となっている。



保育園・幼稚園・認定こども園の自由回答

区分	主な意見内容		件数
処遇改善に関すること	業務量	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 生活発表会など行事に関する負担が大きい。 ▶ 仕事量が多く、家に持ち帰ることも多い。 ▶ 延長利用を希望する保護者が多くなり、保育士の負担が増加している。 ▶ 保育以外の負担が大きく、こどもたちと向き合えていないと感じる。 ▶ 手書きの書類が多く、事務作業が負担になっている。パソコンを利用できるように書類のデジタル化を図ってほしい。 	58
	人員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 配置基準を見直してほしい。 ▶ こどもの数だけでなく、年齢や特性など内容を見て職員配置を考えるようにしてほしい。 ▶ 人手不足にもかかわらず、保育ニーズに応えるため、朝晩の延長保育の受け入れをしており、保育士の負担が大きい状態である。 ▶ 人員が増加できればもっと余裕を持って働くことができる。 ▶ 事務を専門に担当する職員を設けてほしい。 	105
	給与・手当	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 保育士不足を解消するためにも給与を上げてほしい。 ▶ こどもの命を預かる責任ある仕事に対して給与が低すぎる。仕事の内容と給与が釣り合っていない。 ▶ 時間外手当や休日出勤手当が出ないことが多い。 ▶ 保育前の準備や終了後の会議などの時間も時間外勤務として手当を支給してほしい。 	113
	休暇	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 休みの日に園に行ったり、持ち帰りの仕事があるなど、しっかりと休暇が取れない。 ▶ 行事等で休日がつぶれてしまうのは仕方がないと思うが、代休や有休休暇をしっかりと取れるようにしてほしい。 ▶ 自分の体調が悪い時やこどもの病気などの時、気兼ねなく休めるようにしてほしい。 	36
	勤務時間	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 長時間労働が常態化している。 ▶ 休憩を1時間とることができない。また、休憩時間に事務仕事をすることも多く、休むことができない。 ▶ 延長保育利用者の増により勤務時間の負担が増えており、少しでも軽減してほしい。 	44
保育に関すること	保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 外国籍や障がいなど支援を必要とするこどもや家庭が増えており、対応が必要となっている。 ▶ こどもたちの成長に保育という形で携わることができることに喜びを感じる。 ▶ 保護者から保育以外の支援を求められることもあり、対応に苦慮している。 ▶ 近年「不適切保育」が話題となっているが、必要な措置であっても保護者によっては「不適切」と判断されることもあり、不安に思っている。 	74
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 16時以降の保育は業務委託をするなどしてほしい。 ▶ 保育という仕事が社会的に軽んじられているような気がする。 ▶ 保育の質を保つために、保育士のやる気ややりがいがだけに頼らないでほしい。 ▶ 本当に必要な保護者が延長保育を受けているか疑問に思うことがある。 	15
職場環境	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 園により延長保育の当番や細かい仕事のやり方などに違いがあり、慣れるのに時間を要する。 ▶ タイムカードを導入して、勤務時間をはっきりさせてほしい。 ▶ 現在は職員同士コミュニケーションがとりやすく、心の負担なく勤務ができている。 ▶ 要望や提案がしやすい環境にしてほしい。上司にいつでも何でも相談できる環境にしてほしい。 		45

区分	主な意見内容	件数
保育士支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 保育士も子どもを育てる母親であり、子どもを育てながら働き続ける環境づくりをしてほしい ▶ やりがいや夢を持って保育士という仕事に就いた若い人が辞めないような環境にしてほしい。 ▶ 保護者の保育ニーズや要望に応えることは大切であると思うが、保育士の負担を軽減すること、保育士の支援が置き去りにされている。保育士が不足して保育ができなくなったらどうするのかと強く思う。 ▶ 保育の仕事は楽しいが、研修や保育の勉強をする時間が取れないので、よりよい保育のためにも時間を作れるようにしてほしい。 	22
その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 保育士の男女比が均等になるとよいと思う。 ▶ 公私立の差をなくしてほしい。 ▶ 施設が老朽化している。予算に限りがあるのは理解できるが、乳幼児等の施設を特に改修してほしい。 ▶ キッズデイズや県民の日ホリデーなど小中学校等の休みはできたが、職場が休みにならないので、保育園も休みにならない。 ▶ 駐車料金の負担をなくしてほしい。 	76

V. 調査結果（事業所）

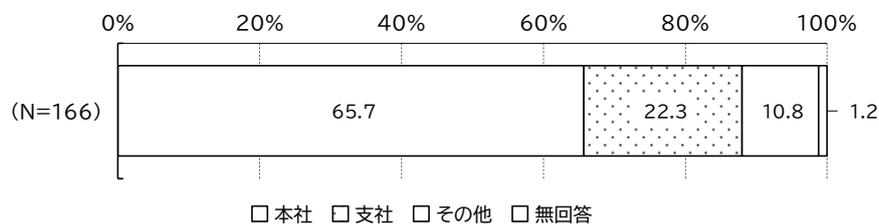
1. 貴事業所について

※今回の調査は、小規模事業所に偏らないよう規模の大きい事業所も含めている。そのため、同一設問に対する結果が前回調査時と大きく変わっている場合がある。その一方、事業規模別の比較ができるようになっている。

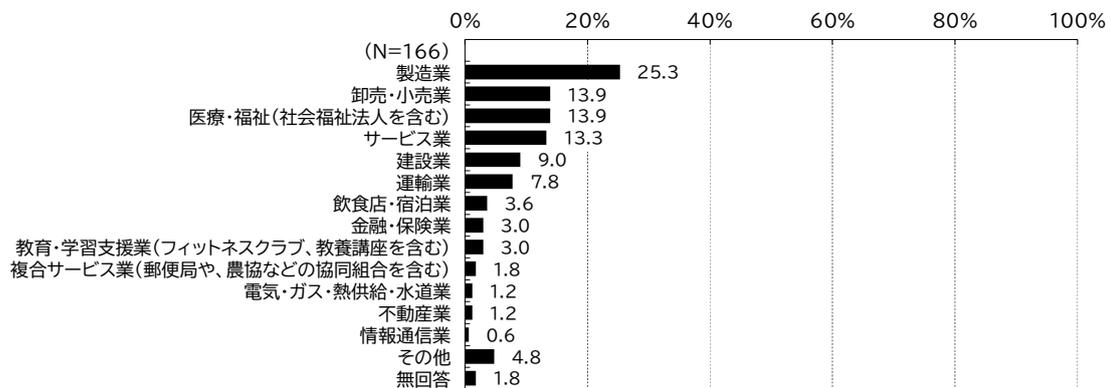
（1）貴事業所の概要についてお答えください。＜単数回答＞

（事業所調査…問2）

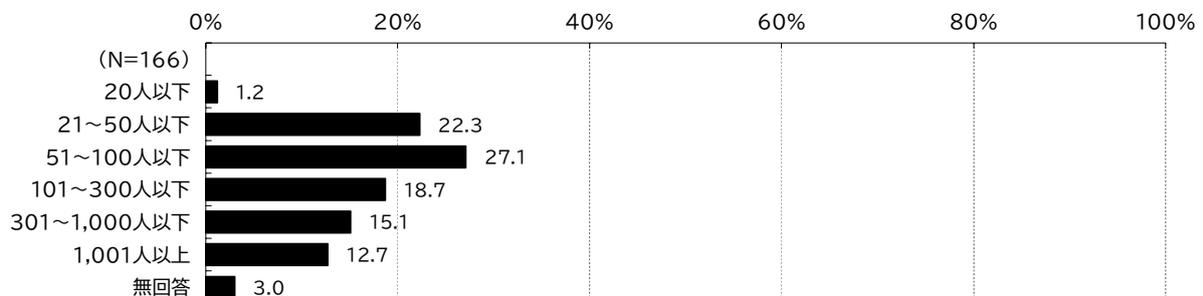
【事業所の組織】



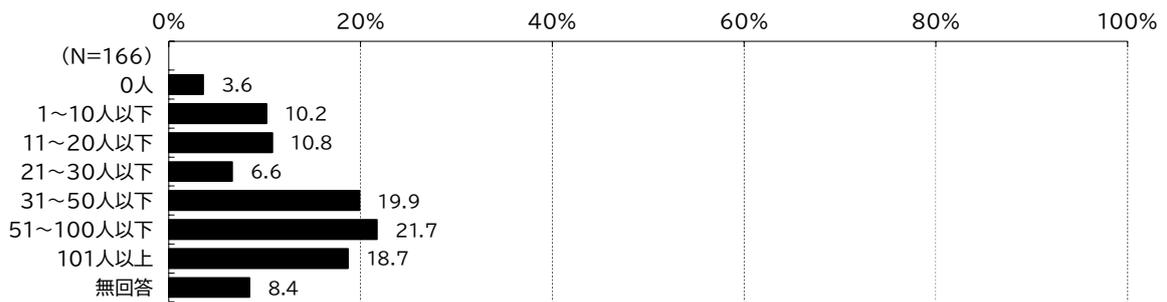
【企業の業種】



【従業員数_全社人数】



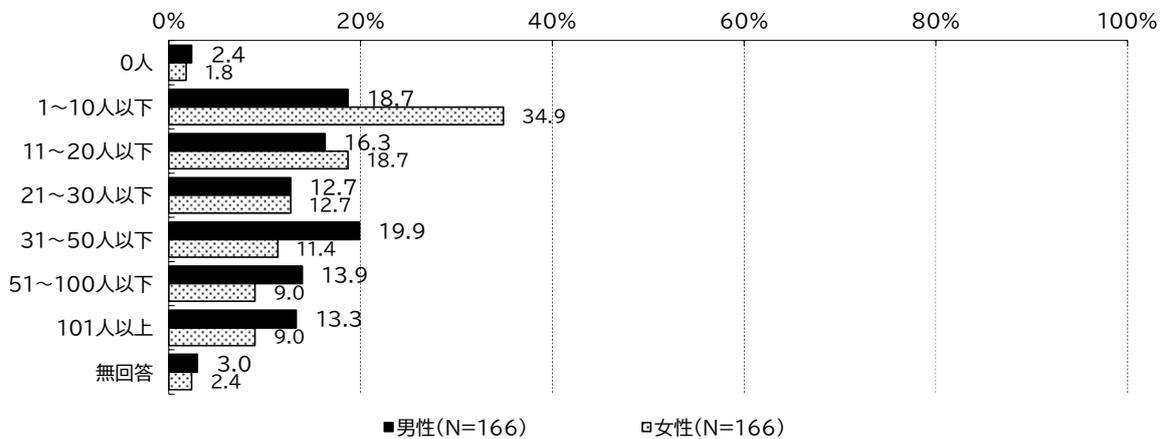
【従業員数_貴事業所（支社）人数】



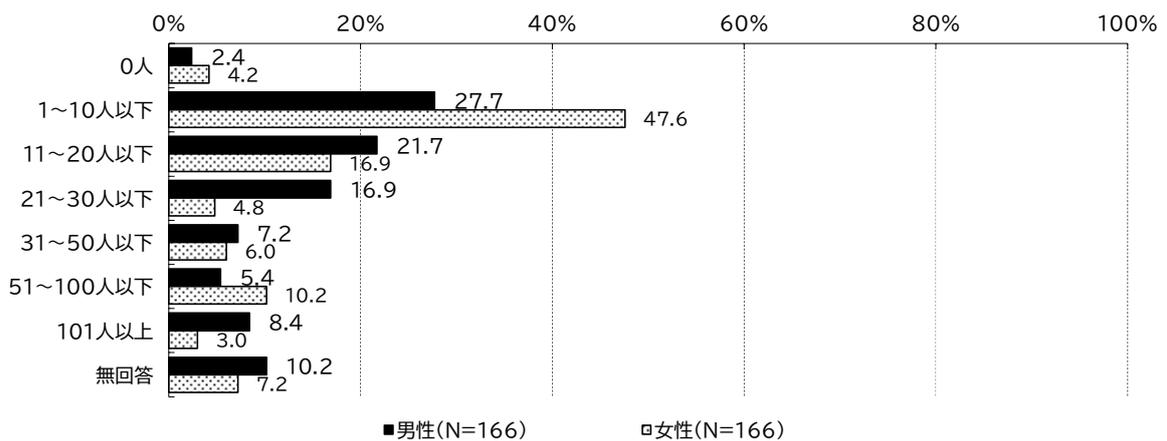
(2) 貴事業所の従業員の状況についてお答えください。〈数量回答〉

(事業所調査…問3)

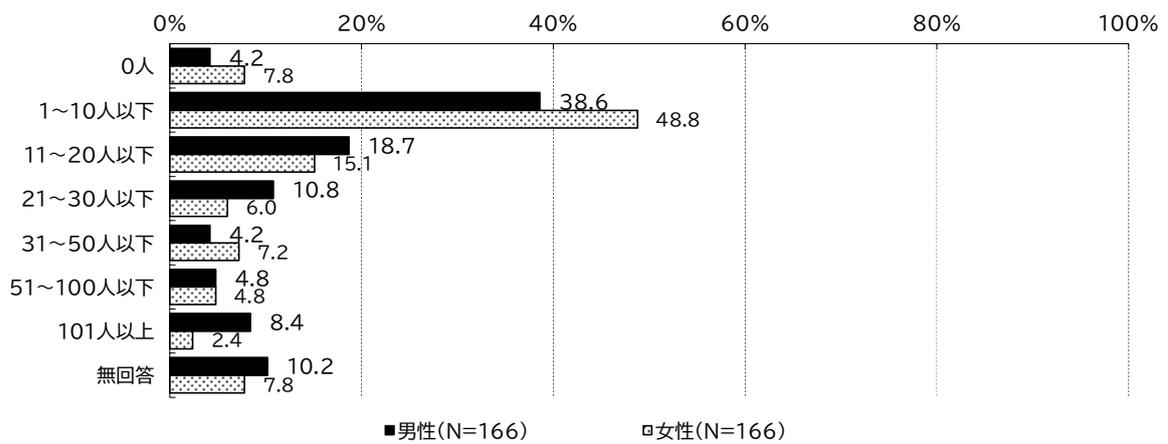
【男女別従業員数】



【従業員のうち配偶者がいる者（既婚者）】



【従業員のうち子どもがいる者】

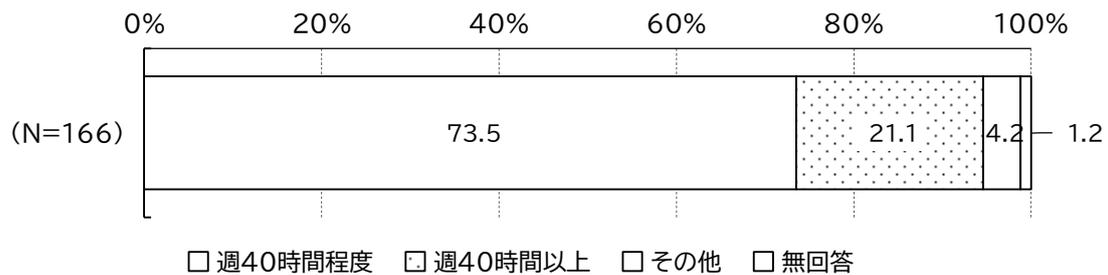


(3) 貴事業所における勤務の状況についてお答えください。

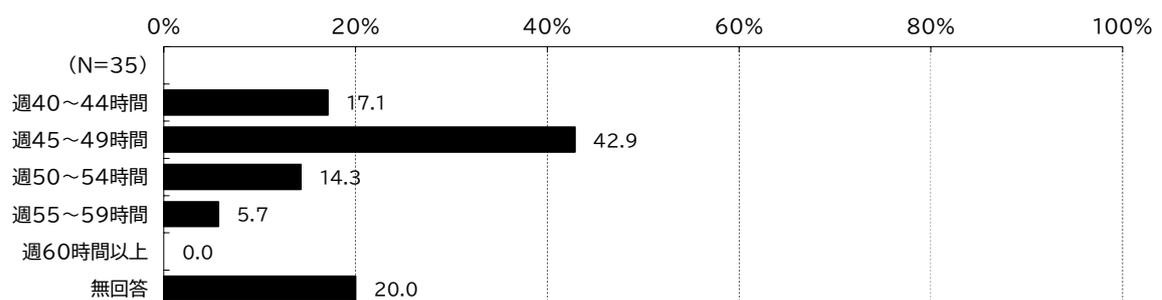
<単数回答・数量回答>

(事業所調査…問4)

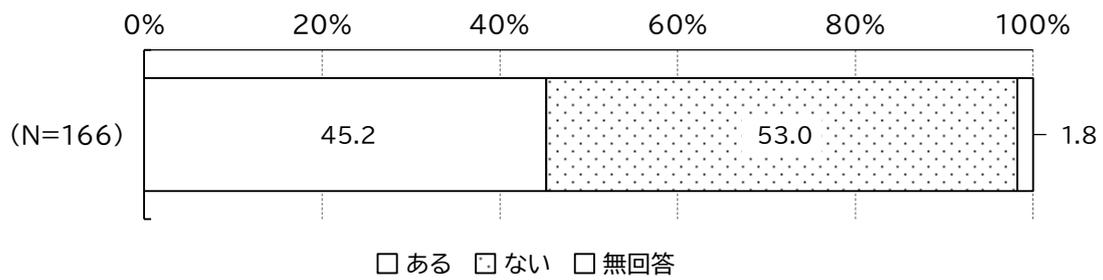
【平均的な従業員の労働時間】



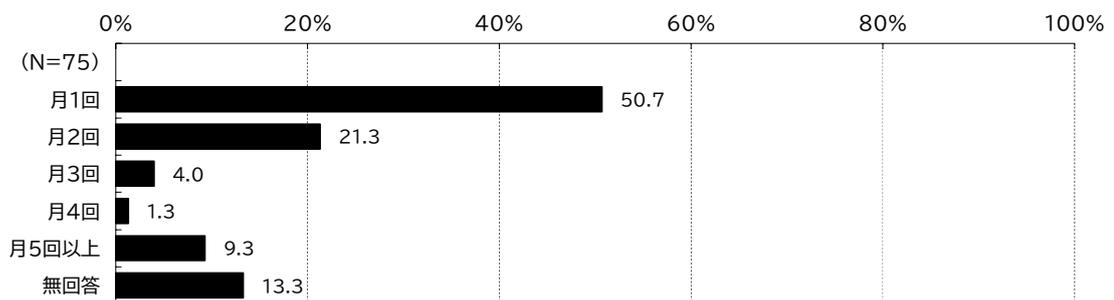
【週40時間以上である事業所の週の労働時間】



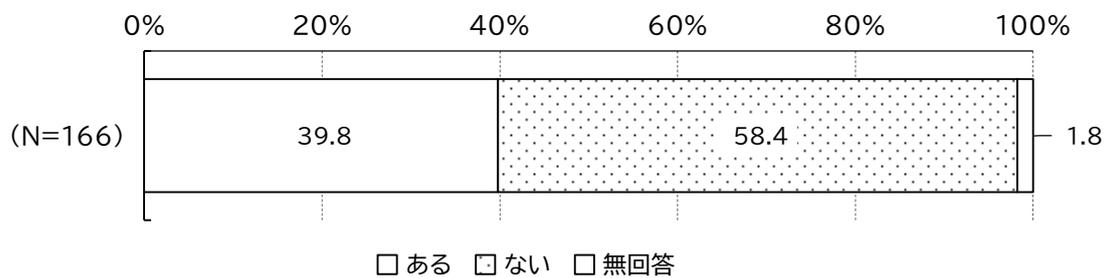
【休日勤務の有無】



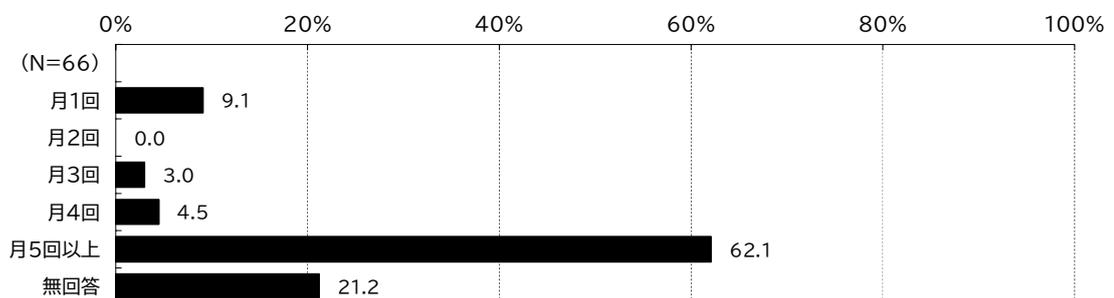
【休日勤務の回数】



【夜間勤務の有無】



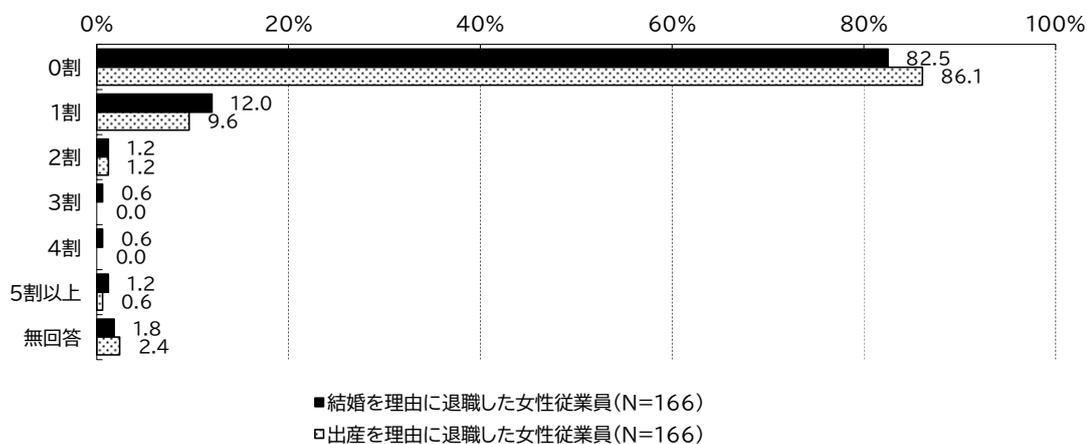
【夜間勤務の回数】



2. 貴事業所の退職・離職・再雇用の状況についてうかがいます

(4) 過去3年間に退職した女性従業員のうち、結婚や出産を理由に退職した従業員は何割程度を占めますか。〈数量回答〉

(事業所調査…問5)

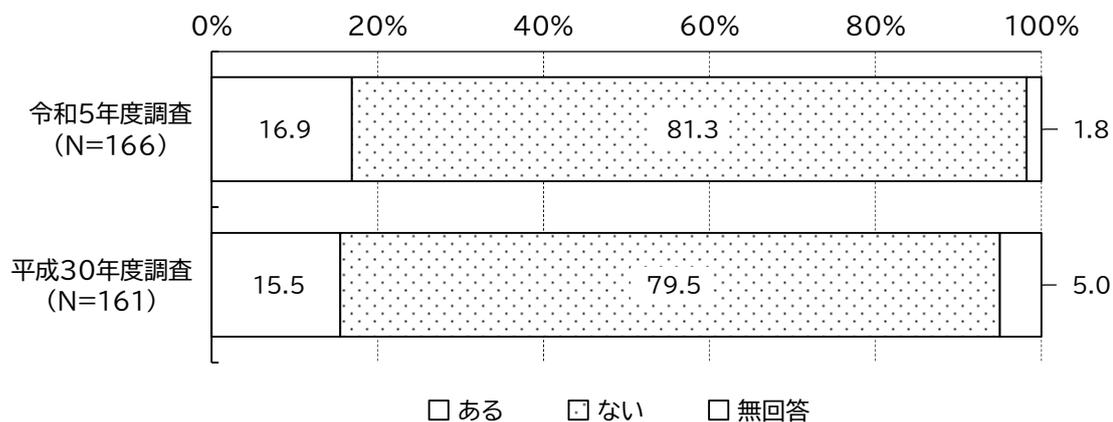


(5) 過去3年間に、結婚や妊娠・出産などで退職した女性を再雇用したことがありますか。〈単数回答〉

(事業所調査…問6)

「ある」が16.2%、「ない」が81.3%となっている。

前回調査時と比べて、「ある」の割合がやや多くなっている。



(6) 結婚や妊娠・出産などによりキャリアブランクのある人材の雇用について、
貴事業所ではどのようにお考えですか。〈複数回答〉

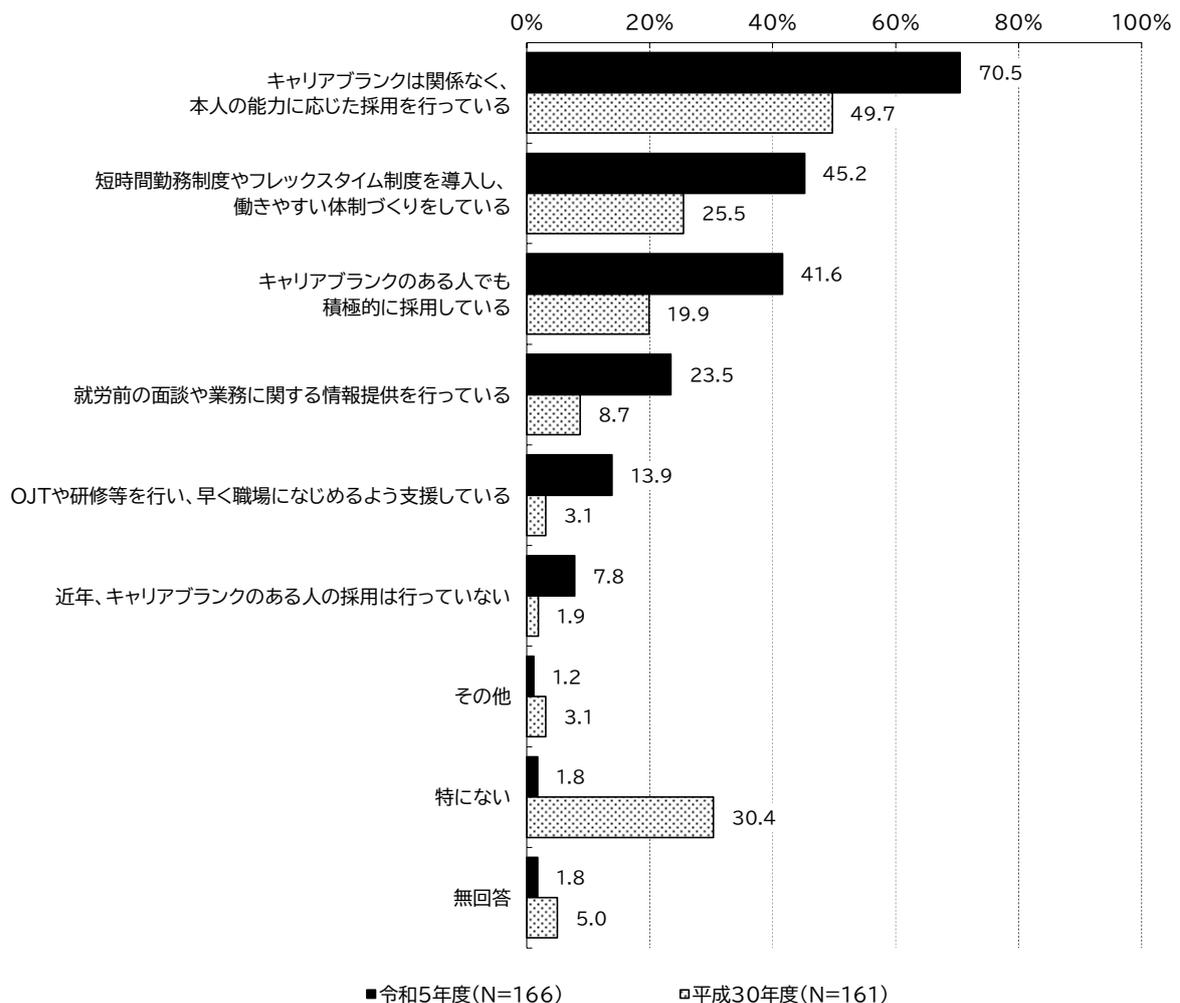
(事業所調査…問7)

全体では「キャリアブランクは関係なく、本人の能力に応じた採用を行っている」が70.5%と最も多く、次いで「短時間勤務制度やフレックスタイム制度を導入し、働きやすい体制づくりをしている」が45.2%、「キャリアブランクのある人でも積極的に採用している」が41.6%となっている。

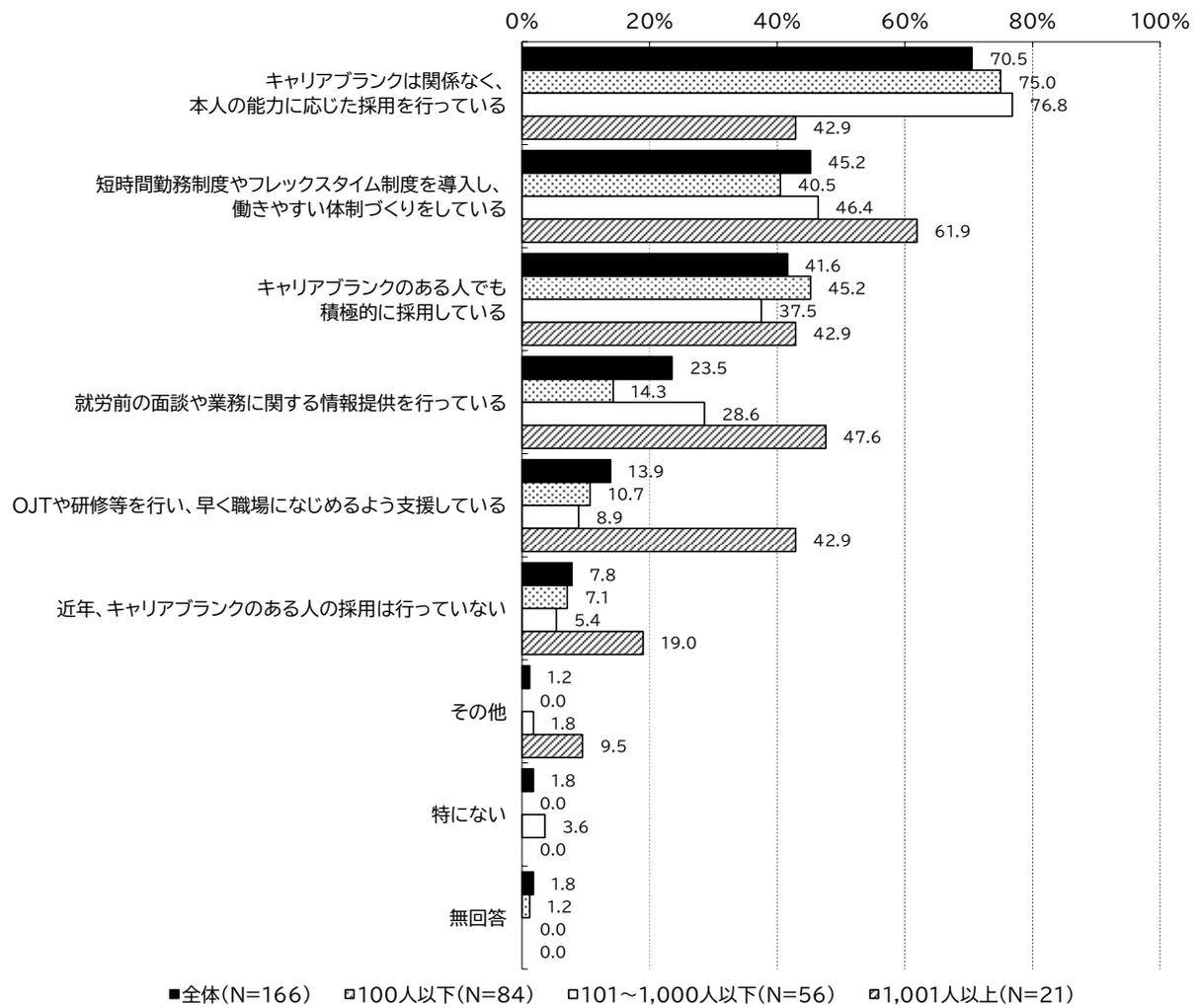
前回調査時と比べて「キャリアブランクは関係なく、本人の能力に応じた採用を行っている」が20.8ポイント、「短時間勤務制度やフレックスタイム制度を導入し、働きやすい体制づくりをしている」が19.7ポイント、「キャリアブランクのある人でも積極的に採用している」が21.7ポイント増加するなど、20ポイント程度もしくはそれ以上の増加となっている。

従業員数別では、1,001人以上が「短時間勤務制度やフレックスタイム制度を導入し、働きやすい体制づくりをしている」「就労前の面談や業務に関する情報提供を行っている」「OJTや研修等を行い、早く職場になじめるよう支援している」の割合が他の従業員数の事業所に比べて多い。その一方、「近年、キャリアブランクのある人の採用は行っていない」も多い。

【全体】



【従業員数別】



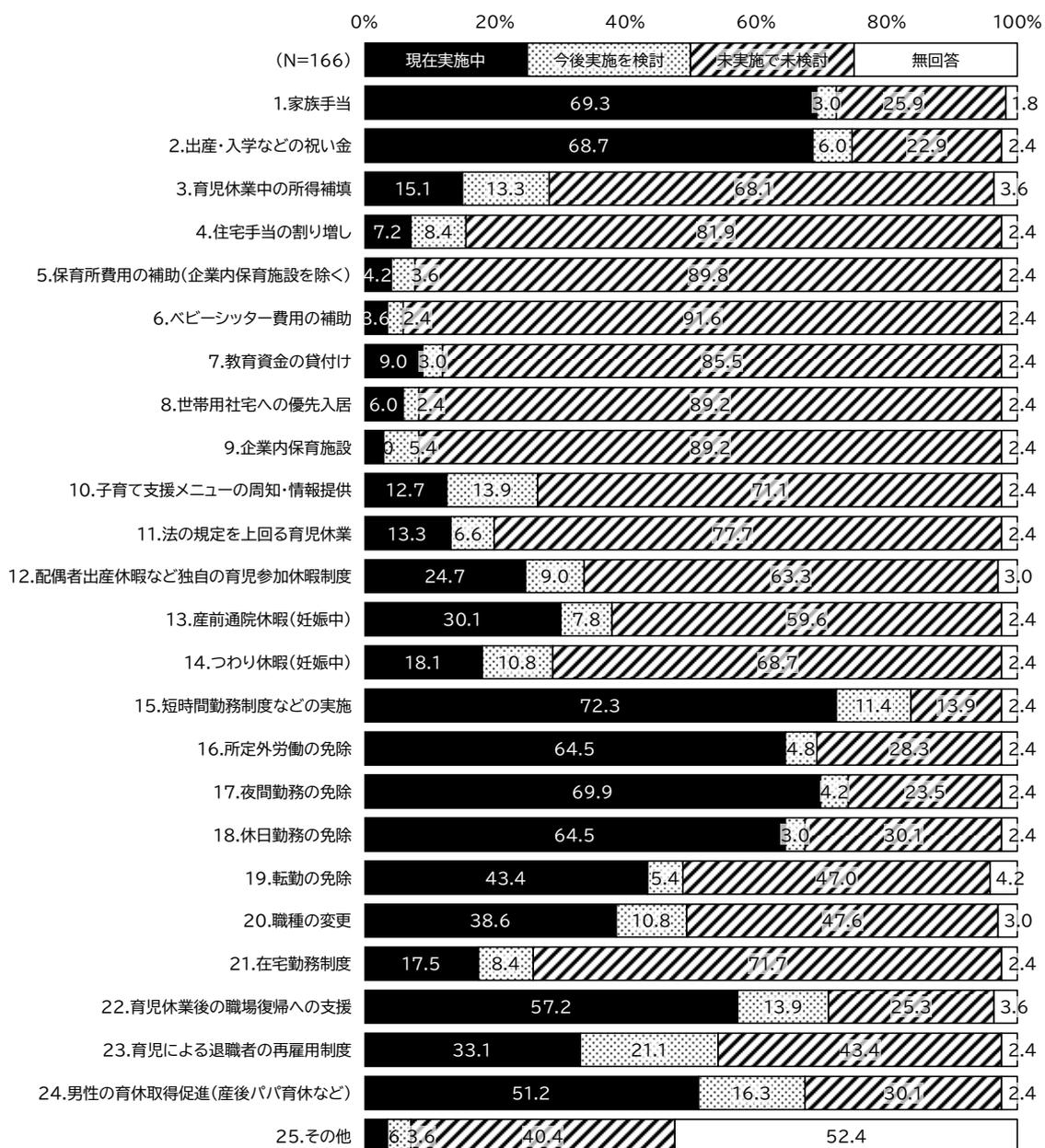
3. 仕事や職場の環境についてうかがいます

(7) 企業の子育て支援制度について、現在実施されているものと、今後実施されるもの、未実施・未検討の支援策についてお答えください。〈単数回答〉

(事業所調査…問8)

現在実施中の支援策について、「15. 短時間勤務制度などの実施」が72.3%と最も多い。また、「1. 家族手当」「2. 出産・入学などの祝い金」「17. 夜勤勤務の免除」が約7割、「16. 所定外労働の免除」「18. 休日勤務の免除」が6割台となっている。

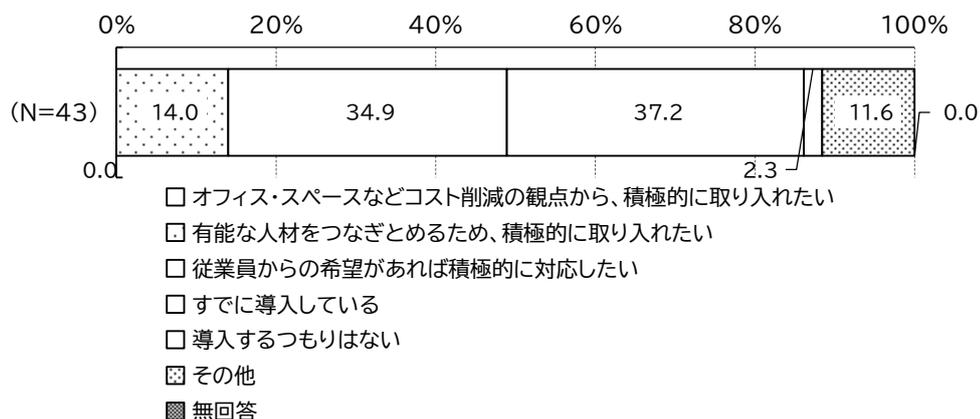
その一方で、「5. 保育所費用の補助（企業内保育施設を除く）」が4.2%、「6. ベビーシッター費用の補助」が3.6%、「9. 企業内保育施設」が3.0%であり、今後の実施を検討する割合も少ない。



(8) 子育て支援を目的とする在宅勤務制度について、貴事業所ではどのようにお考えですか。〈単数回答〉

(事業所調査…問 8-1)

「すでに導入している」が37.2%と最も多く、次いで「従業員からの希望があれば積極的に対応したい」が34.9%、「有能な人材をつなぎとめるため、積極的に取り入れたい」が14.0%となっている。

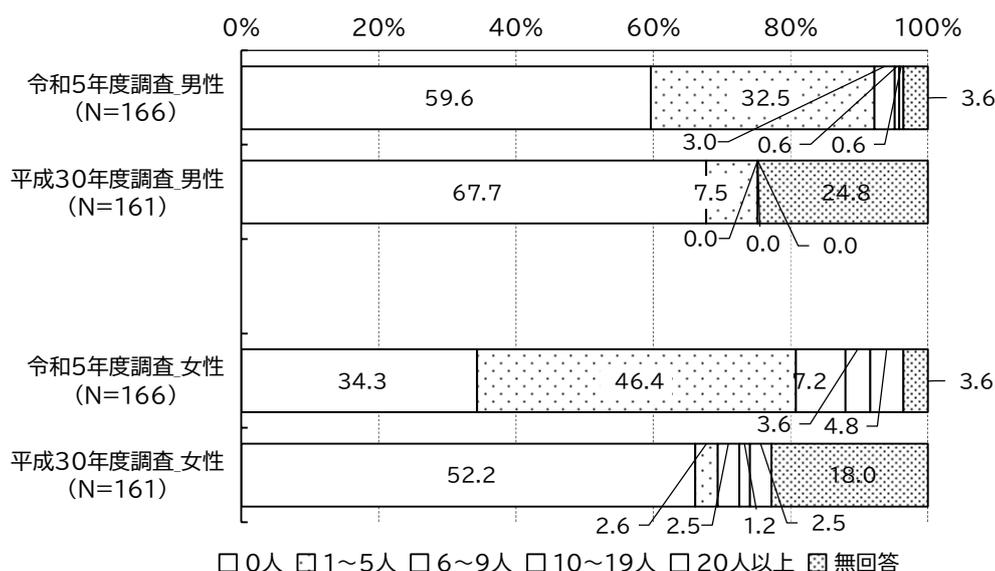


(9) 育児休業制度についてうかがいます。貴事業所では、従業員の育児休業の取得状況はどうか。〈単数回答〉

(事業所調査…問 9)

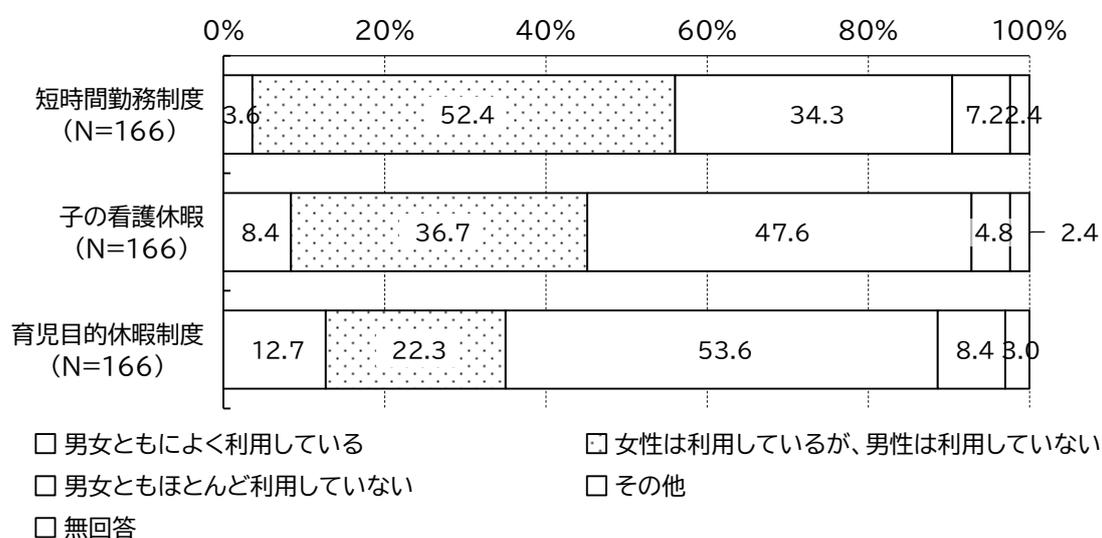
男性は「0人」が59.6%と最も多く、次いで「1～5人」が32.5%、「6～9人」が3.0%となっている。また、女性は「1～5人」が46.4%と最も多く、次いで「0人」が34.3%、「6～9人」が7.2%となっている。

前回調査時と比べて、男女ともに育児休業の取得が進んでいる。



(10) 育児・介護休業法では「3歳までの子を養育する労働者について、短時間勤務制度（1日6時間）を設けることを事業主の義務」とすることや「子の看護休暇（年5日の努力義務）」が記載されています。また、2022年4月の改正では、有期雇用の従業員の育児休業の取得要件が緩和されたほか、2023年4月の改正では、従業員1,000名以上の企業は男性の育児休業取得率等や育児休業・休暇の取得率を年1回公表することと定められました。貴事業所では、以下(1)～(3)の利用（進捗）状況はどうか。〈単数回答〉
 (事業所調査…問10)

短時間勤務制度では、5割以上が利用している。

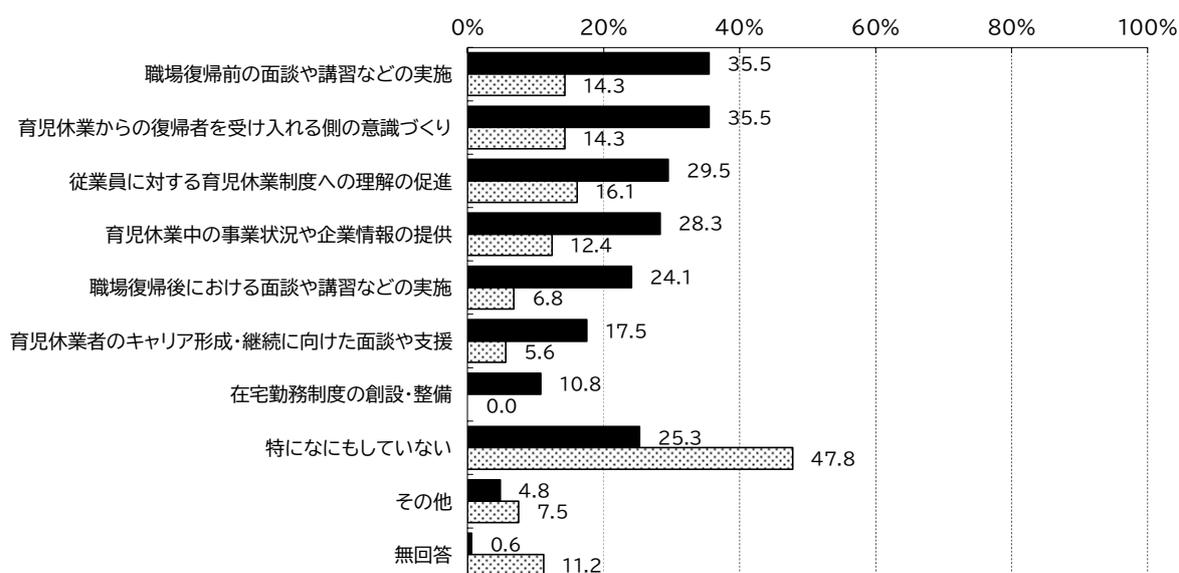


(11) 企業では、育児休業から職場復帰する従業員に対し、復帰支援として取り組まれていることはありますか。＜複数回答＞

(事業所調査…問 11)

「職場復帰前の面談や講習などの実施」「育児休業からの復帰者を受け入れる側の意識づくり」がそれぞれ 35.5%と最も多く、「従業員に対する育児休業制度への理解の促進」が 29.5%となっている。

前回調査時と比べて、「特になにもしていない」の割合が大きく減少し、復帰支援として取り組んでいる項目の割合が多くなっている。

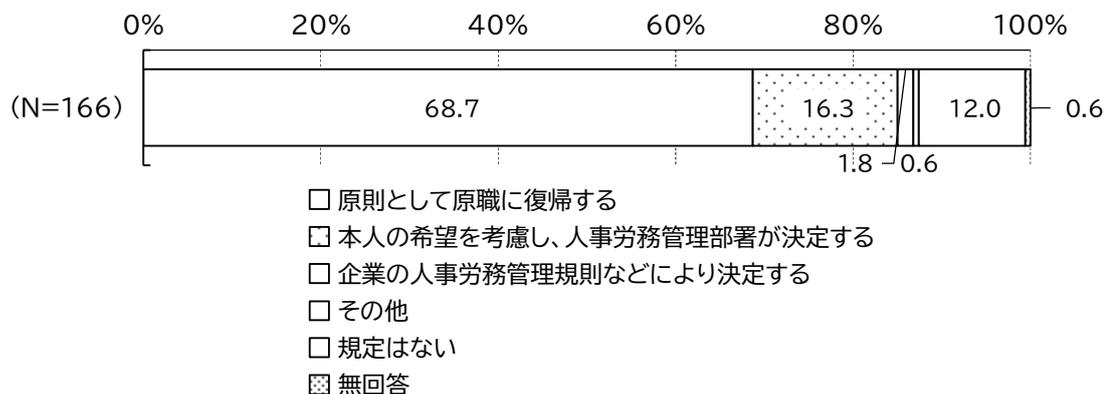


※平成 30 年度調査では「在宅勤務制度の創設・整備」の項目なし

(12) 育児休業を終えて職場に復帰した従業員の配置について、就業規則などではどのように規定されていますか。＜単数回答＞

(事業所調査…問 12)

「原則として原職に復帰する」が 68.7%と最も多く、次いで「本人の希望を考慮し、人事労務管理部署が決定する」が 16.3%、「規定はない」が 12.0%となっている。



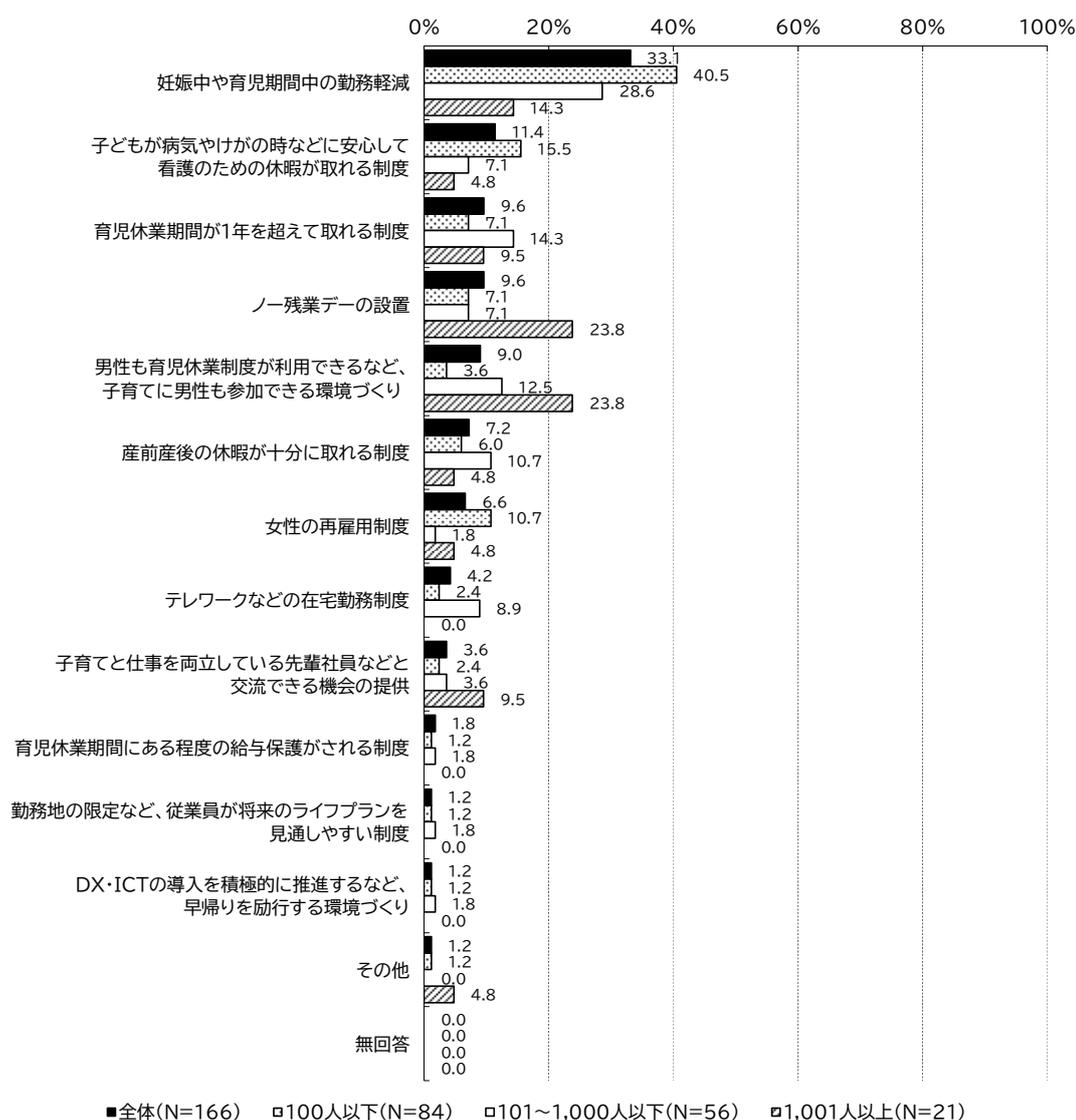
4. 子育て支援についてうかがいます

(13) 貴事業所では、子育てと仕事の両立のために職場でどのようなことが取り組みそうですか。〈単数回答〉

(事業所調査…問 13)

全体では「妊娠中や育児期間中の勤務軽減」が33.1%と最も多く、次いで「子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇が取れる制度」が11.4%、「育児休業期間が1年を超えて取れる制度」「ノー残業デーの設置」がそれぞれ9.6%となっている。

従業員数別について、100人以下では「妊娠中や育児期間中の勤務軽減」「子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇が取れる制度」「女性の再雇用制度」、101～1,000人以下では「育児休業期間が1年を超えて取れる制度」「産前産後の休暇が十分に取れる制度」「テレワークなどの在宅勤務制度」、1,001人以上では「ノー残業デーの設置」「男性も育児休業制度が利用できるなど、子育てに男性も参加できる環境づくり」「子育てと仕事を両立している先輩社員などと交流できる機会の提供」の割合が他の従業員数の事業所に比べて多い。

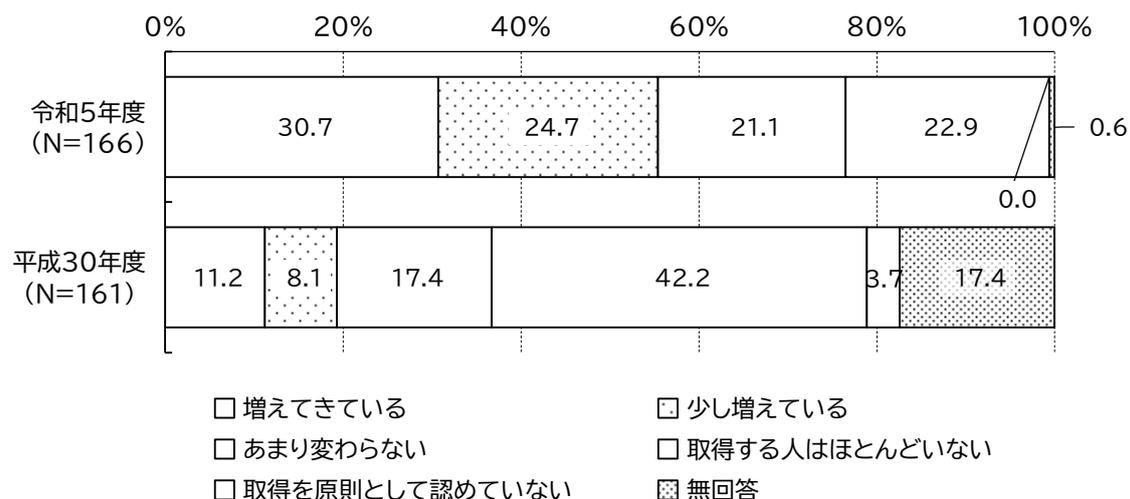


(14) 貴事業所では、ここ5年間において育児休業や育児休暇を取得する人は増えていますか。＜単数回答＞

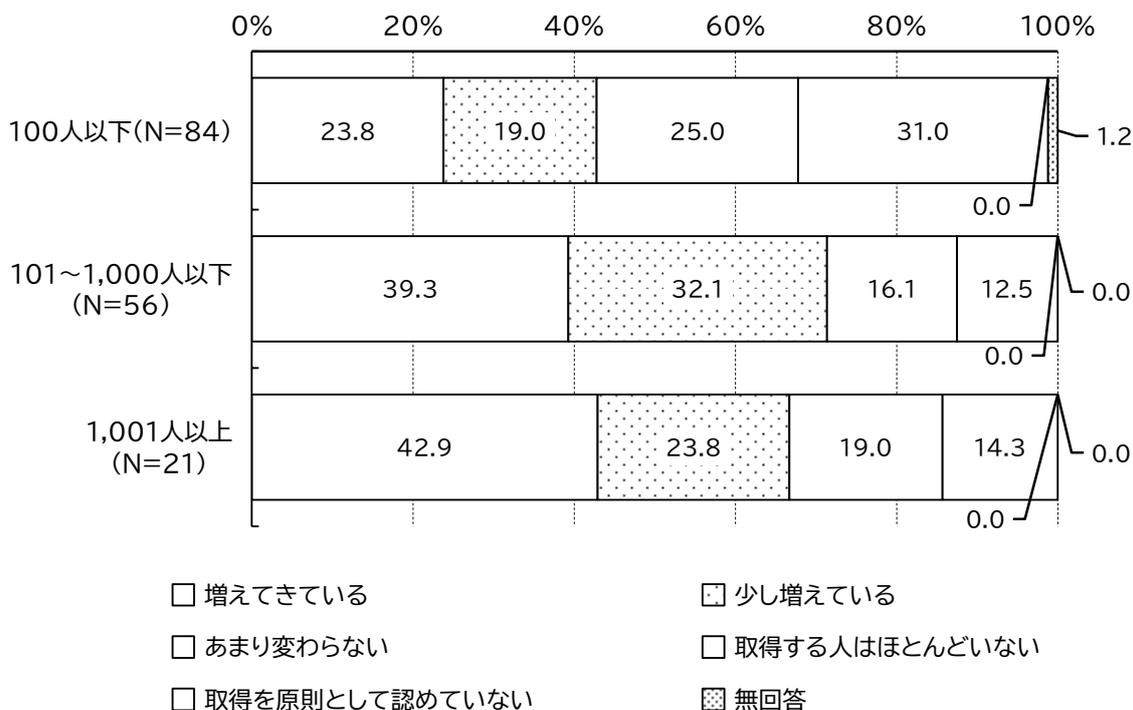
(事業所調査…問 14)

「増えてきている」と「少し増えている」の合計が55.4%であり、前回調査時の19.3%と比べて36.1ポイント増加している。

従業員別では、「増えてきている」「少し増えている」の合計が100人以下で42.8%、101～1,000人以下で71.4%、1,001人以上で66.7%となっている。



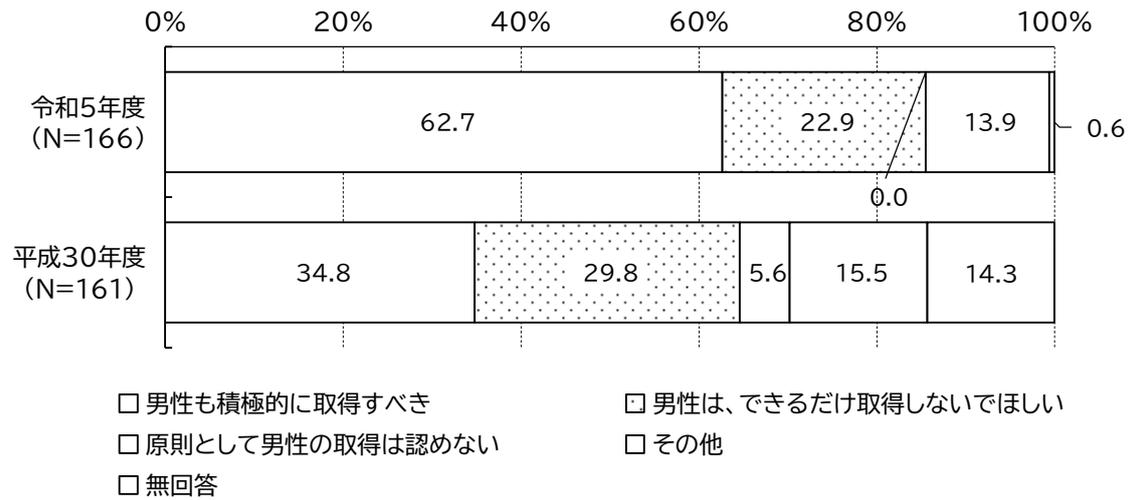
【従業員数別】



(15) 男性が育児休業や育児休暇を取得することについて、貴事業所ではどのような考えですか。〈単数回答〉

(事業所調査…問 15)

「男性も積極的に取得すべき」が62.7%と最も多く、前回調査時と比べて27.9ポイント増加している。次いで「男性は、できるだけ取得しないでほしい」が22.9%、「その他」が13.9%となっている。



(16) 従業員の子育て支援について、貴事業所ではどのようにお考えですか。

<単数回答>

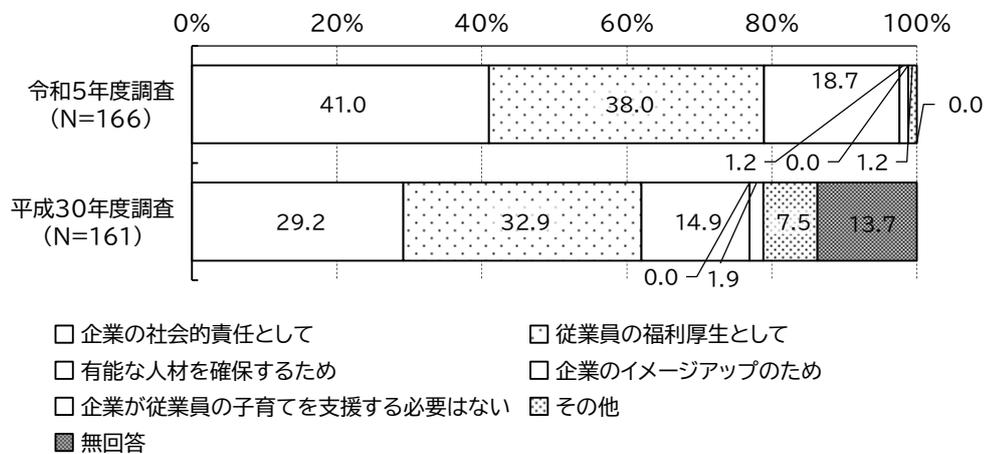
(事業所調査…問 16)

全体では「企業の社会的責任として」が41.0%と最も多く、次いで「従業員の福利厚生として」が38.0%、「有能な人材を確保するため」が18.7%となっている。

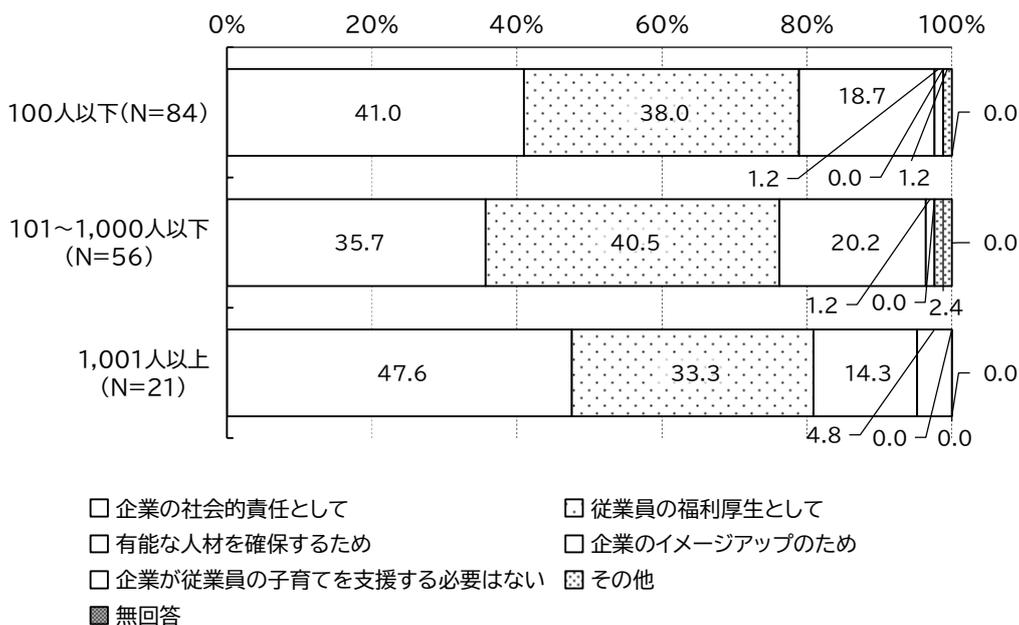
前回調査時と比べて、「企業の社会的責任として」「従業員の福利厚生として」「有能な人材を確保するため」が多くなっている。

従業員数別について、101～1,000人以下では「従業員の福利厚生として」「有能な人材を確保するため」、1,001人以上では「企業の社会的責任として」の割合が他の従業員数の事業所に比べて多い。

【全体】



【従業員数別】



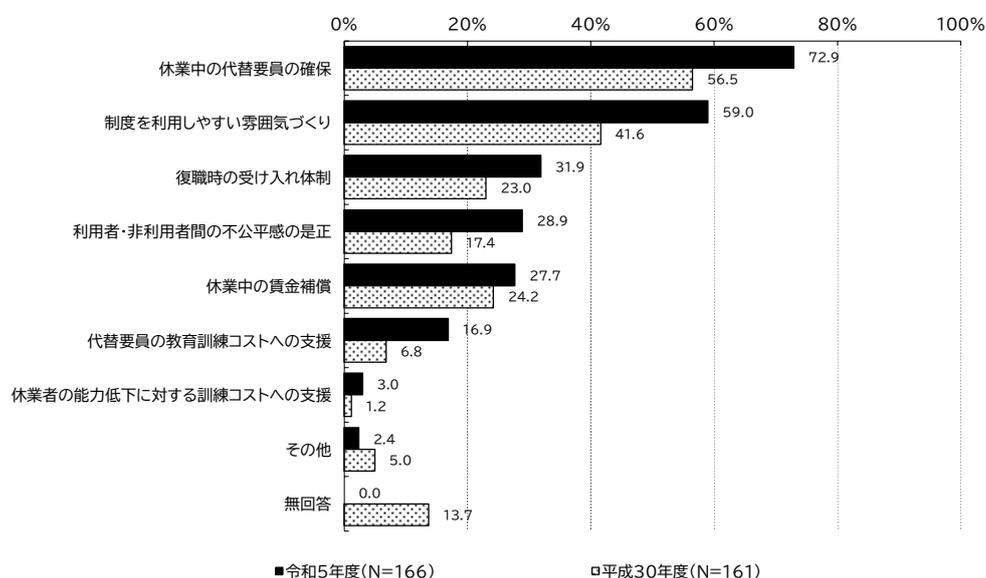
(17) 貴事業所では、育児・介護休業制度を定着させるために特に必要だと思われることは何ですか。＜複数回答＞

(事業所調査…問 17)

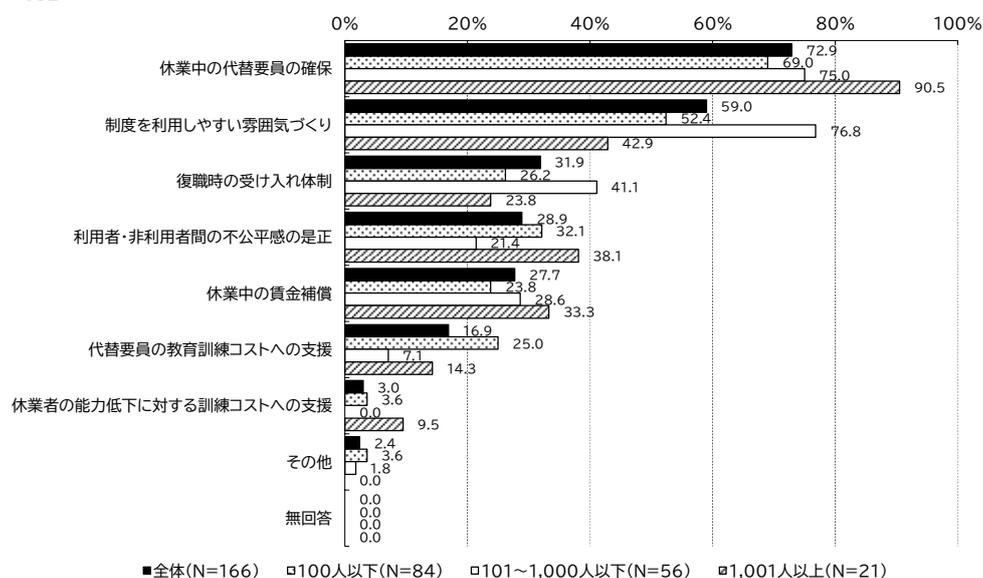
「休業中の代替要員の確保」が72.9%と最も多く、次いで「制度を利用しやすい雰囲気づくり」が59.0%、「復職時の受け入れ体制」31.9%となっており、それぞれ前回調査時と比べて増加している。

従業員数別について、100人以下では「代替要員の教育訓練コストへの支援」、101～1,000人以下では「制度を利用しやすい雰囲気づくり」「復職時の受け入れ体制」、1,001人以上では「休業中の代替要員の確保」「利用者・非利用者間の不公平感の是正」「休業中の賃金補償」「休業者の能力低下に対する訓練コストへの支援」の割合が他の従業員数の事業所に比べて多い。

【全体】



【従業員数別】



(18) 企業が子育て支援を進めるにあたって、何が問題になると思いますか。

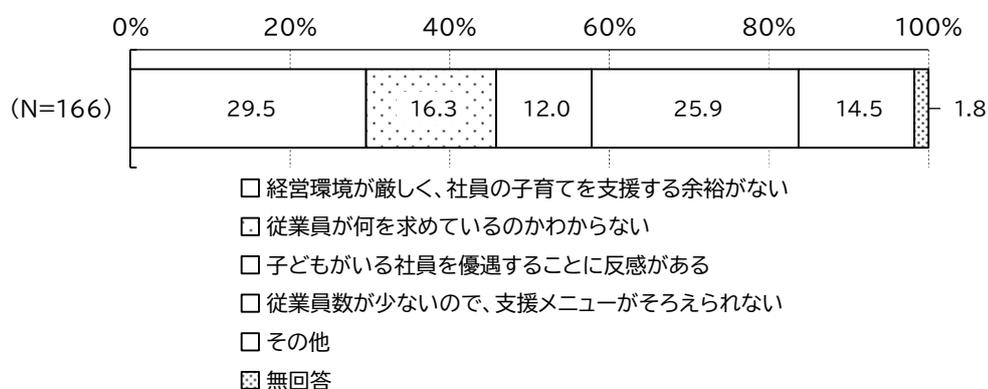
<単数回答>

(事業所調査…問 18)

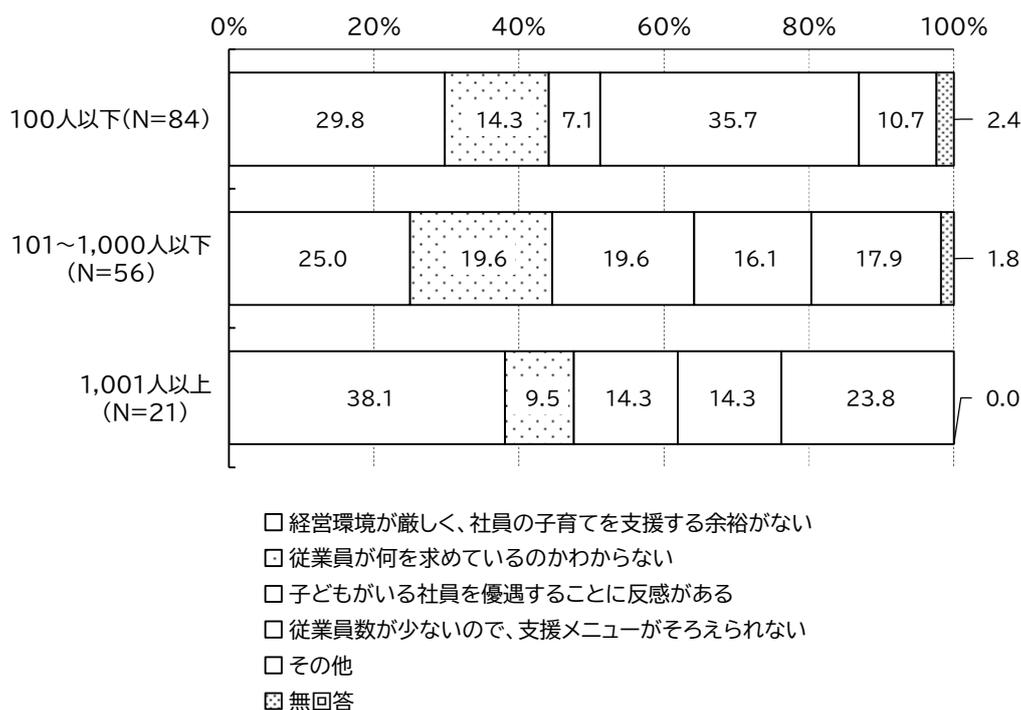
「経営環境が厳しく、社員の子育てを支援する余裕がない」が29.5%と最も多く、次いで「従業員数が少ないので、支援メニューがそろえられない」が25.9%、「従業員が何を求めているのかわからない」が16.3%となっている。

従業員数別について、100人以下では「従業員数が少ないので、支援メニューがそろえられない」、100～1,000人以下では「従業員が何を求めているのかわからない」「子どもがいる社員を優遇することに反感がある」、1,001人以上では「経営環境が厳しく、社員の子育てを支援する余裕がない」が他の従業員数の事業所に比べて多い。

【全体】



【従業員数別】



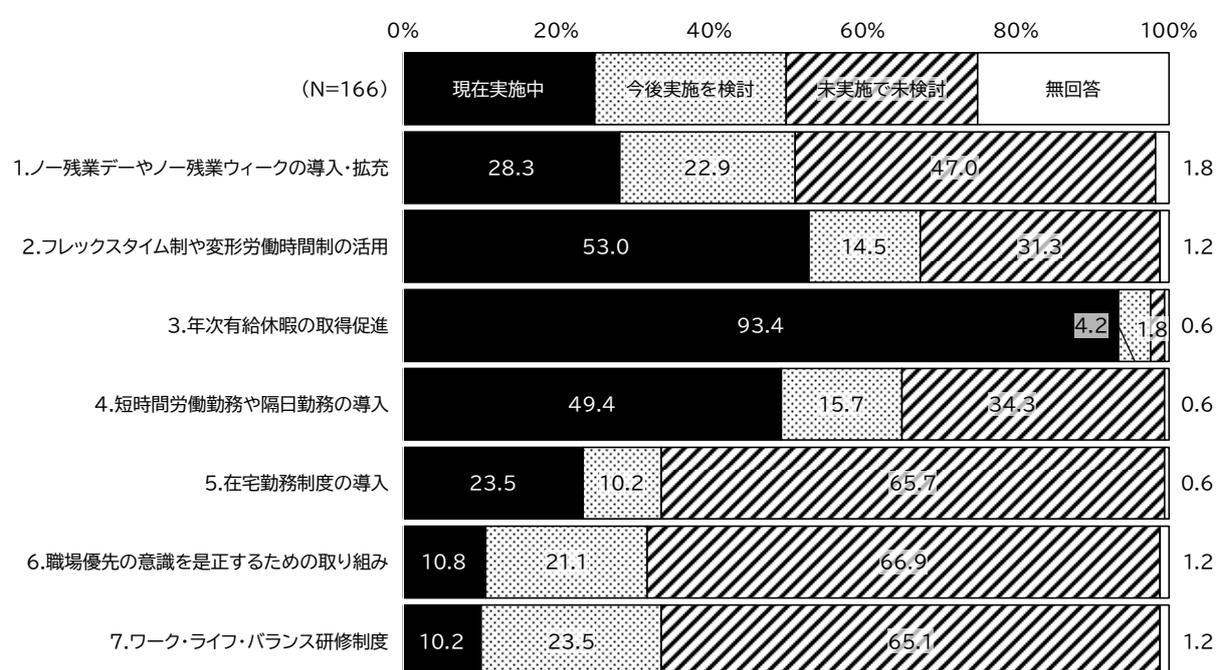
5. ワーク・ライフ・バランスの推進についてうかがいます

(19) 従業員の働き方の見直しについて、企業ではどんなことを実施していますか。〈単数回答〉

(事業所調査…問 19)

現在実施中の見直しについて、「3. 年次有給休暇の取得促進」が93.4%と最も多く、「2. フレックスタイム制や変形労働時間制の活用」が53.0%、「4. 短時間労働勤務や隔日勤務の導入」が49.4%となっている。

その一方で、「5. 在宅勤務制度の導入」「6. 職場優先の意識を是正するための取り組み」「7. ワーク・ライフ・バランス研修制度」については、6割超の事業所が未実施で未検討となっている。



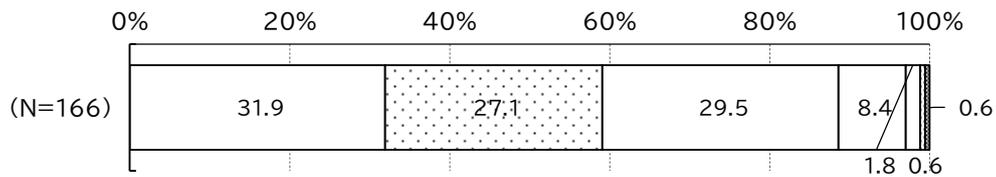
(20) ワーク・ライフ・バランスの推進について、企業における取り組みをどのように思いますか。＜単数回答＞

(事業所調査…問 20)

全体では「必要であり、企業としても推進している」が31.9%と最も多く、次いで「必要と思うが、現実的に難しい」が29.5%、「どちらかという必要であり、今後支援策も含め検討される予定」が27.1%となっている。

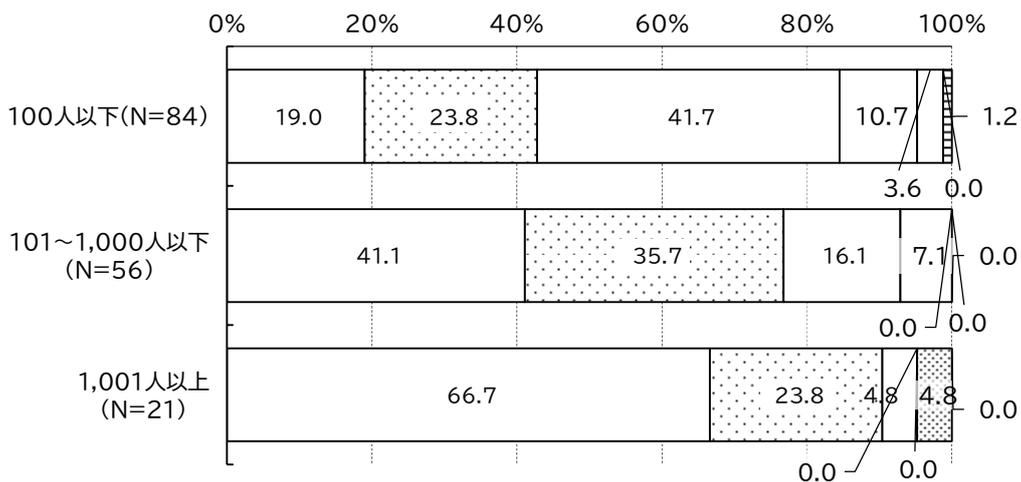
従業員数別について、100人以下では「必要と思うが、現実的に難しい」、1,001人以上では「必要であり、企業としても推進している」が他の従業員数の事業所に比べて多い。

【全体】



- 必要であり、企業としても推進している
- どちらかという必要であり、今後支援策も含め検討される予定
- 必要と思うが、現実的に難しい
- 個人の問題であり、あまり必要とは思われない
- 必要性を感じない
- その他
- 無回答

【従業員数別】



- 必要であり、企業としても推進している
- どちらかという必要であり、今後支援策も含め検討される予定
- 必要と思うが、現実的に難しい
- 個人の問題であり、あまり必要とは思われない
- 必要性を感じない
- その他
- 無回答

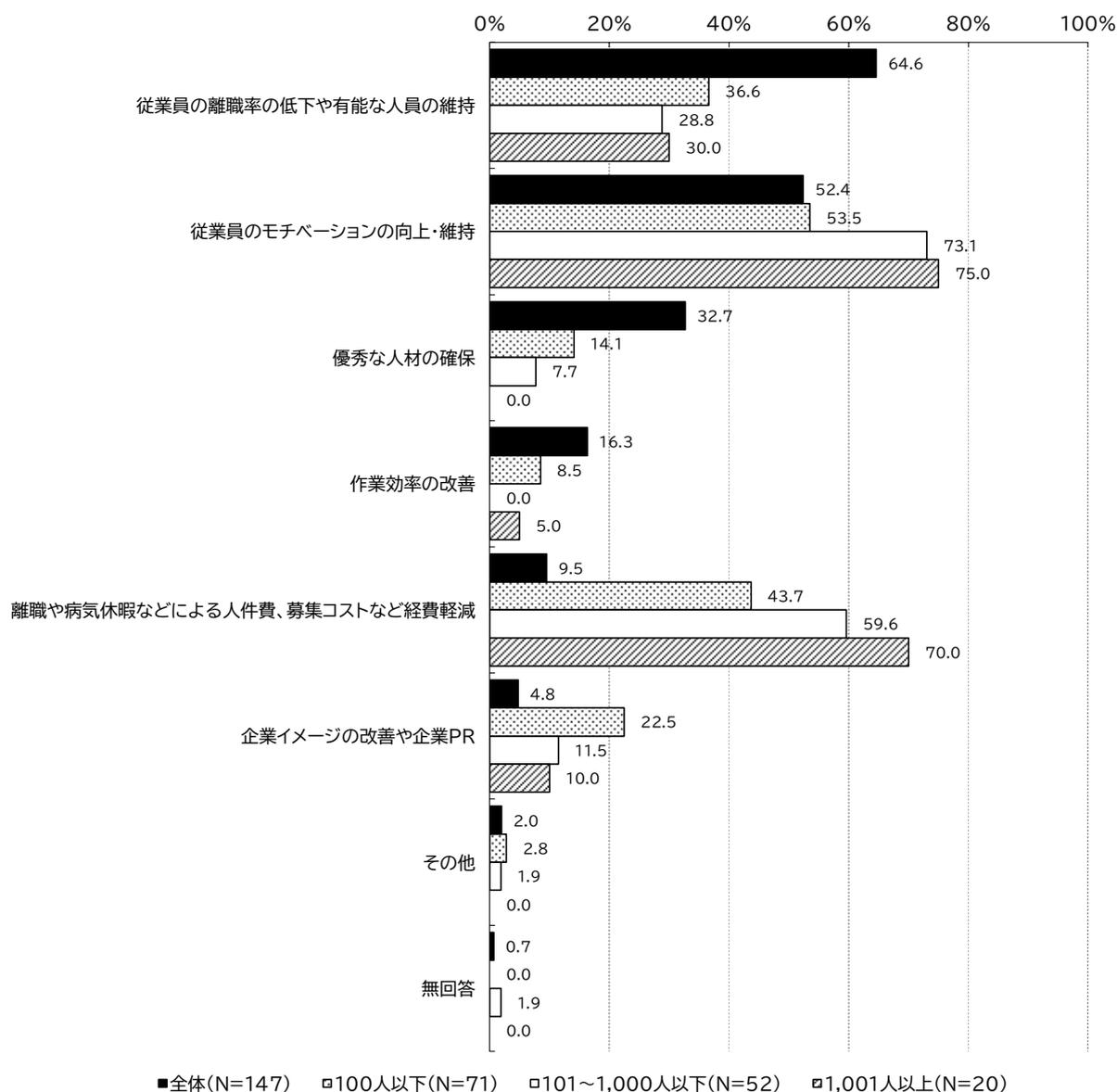
(21) ワーク・ライフ・バランスの推進が必要と考えられる理由は何ですか。

<複数回答>

(事業所調査…問 20-1)

全体では「従業員の離職率の低下や有能な人員の維持」が64.6%と最も多く、次いで「従業員のモチベーションの向上・維持」が52.4%、「優秀な人材の確保」が32.7%となっている。

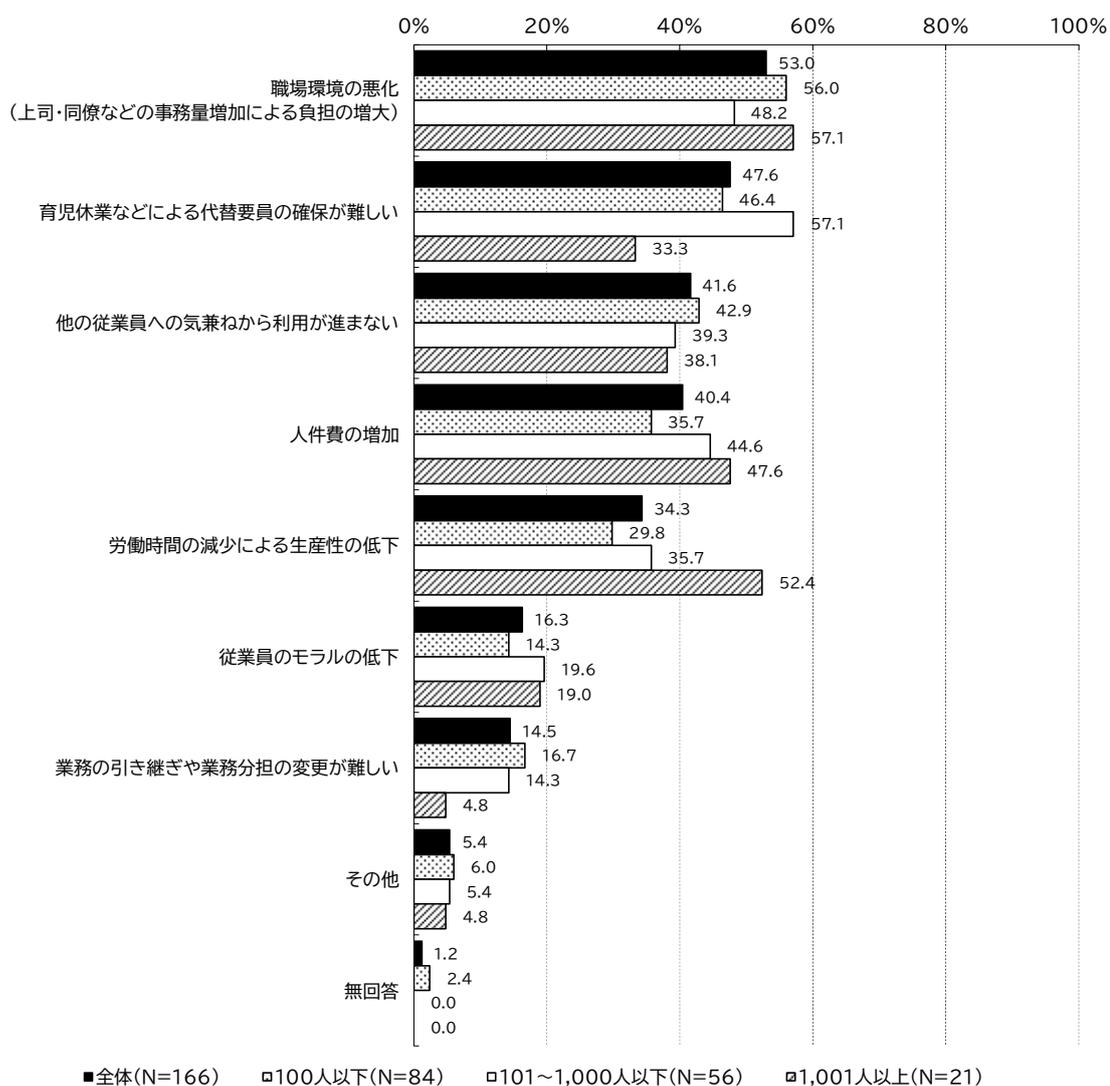
従業員数別について、101～1,000人以下と1,001人以上では「従業員のモチベーションの向上・維持」「離職や病気休暇などによる人件費、募集コストなど経費軽減」の割合が多い。



(22) ワーク・ライフ・バランスの推進において障がいとなりそうなこと、障がい
 となっていること。〈複数回答〉

(事業所調査…問 21)

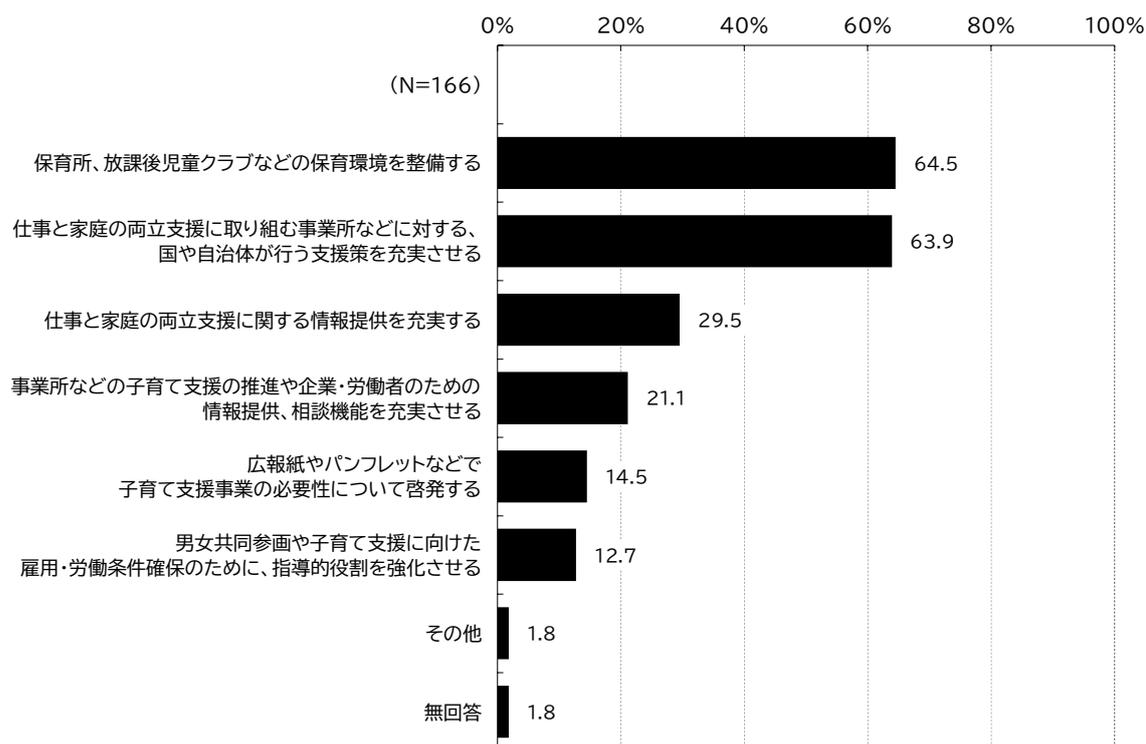
全体では「職場環境の悪化（上司・同僚などの事務量増加による負担の増大）」が53.0%と最も多く、次いで「育児休業などによる代替要員の確保が難しい」が47.6%、「他の従業員への気兼ねから利用が進まない」が41.6%となっている。



(23) 仕事と家庭の両立について、自治体が特に重点をおいて取り組むべきだと思うことはどのようなことですか。〈複数回答〉

(事業所調査…問 22)

「保育所、放課後児童クラブなどの保育環境を整備する」が64.5%と最も多く、次いで「仕事と家庭の両立支援に取り組む事業所などに対する、国や自治体が行う支援策を充実させる」が63.9%、「仕事と家庭の両立支援に関する情報提供を充実する」が29.5%となっている。



事業所の自由回答

区分	主な意見内容	件数
企業の負担	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ワーク・ライフ・バランスの重要性や企業にとってのメリットは承知しているが、人材確保や金銭面で難しいため、中小企業の厳しい現実を理解したうえで、踏み込んだ支援を期待している。 ▶ 中小企業にもできる男性職員の育児休業取得のための取組を教えてください。 ▶ 啓発、啓蒙だけでなく、実効性のある支援策が必要である。 	7
意識改革	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 職場の中に旧態依然とした考えが残っており、意識改革が必要である。 	3
両立支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 育児や介護で離職しなくてもよいように、希望する人が使えるよう保育園、児童育成センター、老人ホームなどを整備してほしい。 ▶ 仕事と家庭の両立が図りやすい社会づくりのため、現場の声に耳を傾け、必要な体制や環境整備をしてほしい。 ▶ 保育園に途中入園できず復職できない社員がいる。また、育休退園のために2人目の出産に踏み切れない社員もいる。保育施設の整備や育児の負担が軽減される環境を整えていただきたい。 	7
その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 仕事と家庭の両立が図りやすいよう以前から福利厚生が手厚く、子育てのための休暇を取る男性も多い。 	6

IV. 調査票

1. 就学前児童用調査票

岡崎市子ども・子育てに関するアンケート調査 (小学校入学前の子どもの保護者用)

皆様には、日頃から市政のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
岡崎市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づき、平成27年に岡崎市子ども・子育て支援事業計画「おかざきっこ子育てプラン」を策定、令和2年度には改定を行い、引き続き子どもと子育て支援の目標に立ち、子どもの育ちを重視する本市の取組に即した更なる環境整備を図ることを目指してまいります。
本調査は、この計画で目標を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の拡大」を導出し、市民の皆様の子育てに関する現状やご要望、ご意見などを把握することを目的として、小学校に入る前のお子さんのいるご家庭のうち、無作為に3,000世帯を呼び、ご協力をお願いするものです。
なお、ここで回答いただいた内容は、施設や事業の具体的な利用の可否を判断、決定するものではありません。将来の利用希望を把握していただくに役立ちたいと考えています。
ご多用のところおそれ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、調整にご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和5年11月
岡崎市長 中根 謙吾

ご回答は、以下のとおりインターネット又は郵送によりお願いいたします。

■ インターネットによる回答方法（できるだけこちらの方法でご回答をお願いします）

○ パソコン、スマートフォンなどで、下記のURLを入力するか、二次元コード（QRコード）を読み込み、「IID」をすべて半角文字で入力してください。

URL : <https://www16.webcase.net/form/survey-2310/okazaki-survey01>



ID :

- ログイン後は、画面に従ってご回答ください。
- 最終まで入力完了したら、【登録】ボタンを押して、「ご回答ありがとうございました」と表示されたら終了です。入力内容を修正したい場合は、【修正】ボタンを押してください。
- 【一時保存】ボタンを押すと、回答を一時保存することができます。再度ログインすれば入力再開することができます。一時保存期限を過ぎると、回答内容が消失されますのでご注意ください。
- **令和5年11月20日（月）まで**にご回答ください。

■ 郵送による回答方法

- 郵票もしくは、黒又は青のボールペンでご記入ください。
- 選択式の設問では、当てはまる番号の番号に○をつけてください。
- 選択式でない設問では、文字や数字を回答欄にご記入ください。
- 「その他」の回答については、() 内に具体的な内容を記入してください。
- 回答を記入した調査票を同封の返信用封筒に入れ、**令和5年11月20日（月）まで**に、郵便ポストに投函してください（切手不要、送付元の氏名や住所等の記載は不要です）。

■ お問い合わせ

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

＜お問い合わせ先＞ 岡崎市子ども部 子育て課
電話：0564-26-6020 月曜日～金曜日 8:30～17:15

1. お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地域の小学校区名を記入してください。わからない場合は、お住まいの町名をご記入ください。

小学校区 _____ 町・丁目 _____
→ わからない場合は、お住まいの町名 _____

問2 岡崎市に住んで何年になりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※旧藤田町を含む、回答される保護者の方の年数がお答えください。

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 3. 2～5年未満 | 5. 10～20年未満 |
| 2. 1～2年未満 | 4. 5～10年未満 | 6. 20年以上 |

2. お子さんご家族の状況についてうかがいます

問3 親名のお子さんの生年月日をご記入ください。口内に数字をご記入ください。

西暦 □□□□年 □□月 □□日 生まれ

問4 お子さんはいくらいらっしゃいますか。親名のお子さんを含めた人数を口内に数字をご記入ください。

お子さんの数 □□人

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

問7 世帯全体の年収（税込）は、おおよそどのくらいですか。仕事による収入と仕事以外の収入を合わせた金額について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 200万円未満 | 4. 400～500万円未満 | 7. 1,000万円以上 |
| 2. 200～300万円未満 | 5. 500～700万円未満 | |
| 3. 300～400万円未満 | 6. 700～1,000万円 | |

問8 現在の家計について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 黒字であり、毎月貯蓄している | 4. 赤字であり、貯蓄を切り崩している |
| 2. 黒字だが貯蓄はしていない | 5. 赤字であり、借入をしている |
| 3. 赤字でも黒字でもなく、ギリギリである | 6. その他 () |

問14 問13で「3」「4」(パート・アルバイトなどで就労している)に○をつけた方にかがいます。当てはまらない方は、問16へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親	②父親	フルタイムへの転換希望 (当てはまる番号1つに○)
1	1	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望
4	4	パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

問15 問13で「5」「6」(就労していない)に○をつけた方にかがいます。当てはまらない方は、問16へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、□内に数字でご記入ください。(記入例: 5日、0日、8時間)

(1)母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが □□ 歳になったところに就労したい

3. すぐにも、又は1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア、フルタイム

イ、パートタイム、アルバイトなど

1週当たり □□ 日 / 1日当たり □□ 時間

(2)父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが □□ 歳になったところに就労したい

3. すぐにも、又は1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア、フルタイム

イ、パートタイム、アルバイトなど

1週当たり □□ 日 / 1日当たり □□ 時間

5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

※ここでは「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問16-1に示した事業が当てはまります。

問16 お子さんには現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している → 問16-1へ 2. 利用していない → 問17へ

問16-1 問16で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1. 幼稚園 | (通常の幼稚園時間利用) |
| 2. 幼稚園の預かり保育 | (通常の幼稚園時間を超えて預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所 | (県や市の認可を受けたもの) |
| 4. 認定こども園 | (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 事業所内保育施設 | (企業が主に従業員用に運営する施設) |
| 6. 認可外の保育施設 | |
| 7. ファミリー・サポート・センター | (地域性監が子どもを預かる事業) |
| 8. その他 () | |

問16-2 問16で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。
平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

1週当たりの日数、1日当たりの時間 (何時から何時まで) を、□内に具体的な数字でご記入ください。

※数字は24時間制でご記入ください(記入例: 1日当たり8時間 0日9時~17時)

(1)現在

1週当たり □□ 日 1日当たり □□ 時間 (□□ 時 ~ □□ 時)

(2)希望

1週当たり □□ 日 1日当たり □□ 時間 (□□ 時 ~ □□ 時)

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。
 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休園期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(記入例：0|9時~1|7時)

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1~2回は利用したい

利用したい時間帯

□□時から □□時まで

**8. お子さんの病気の療の対応についてうかがいます
 (平日の教育・保育を利用する方のみ)**

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問16で「1」に○をつけた方)にうかがいます。利用していらっしゃる方は、問23にお進みください。
 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ➡ 問22-1ハ 2. なかった ➡ 問23ハ

問 22-1 お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を□内に数字でご記入ください(平日程度の対応も1日とカウントしてください)。

1年間の対応方法		日数
ア. 母親が休んだ		日
イ. 父親が休んだ		日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった		日
エ. 母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた		日
オ. 病児・病後児の療養を利用した		日
カ. ベビーシッターを利用した		日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した		日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた		日
ケ. その他()		日

問 22-2 問 22-1 で「ア」「イ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。
 なお、病児・病後児のための事業などの利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設などを利用したい ➡ □□日

2. 利用したいとは思わない(理由:)

病児保育・保育所滞り込んでいる子どもが病児になったとき、就労している親に代わって病児の子どもをみる保育のこと。
 市内には「病児や病後児保育施設(病児保育)」や「児童発達支援(病児保育)」があります。

問 22-3 問 22-2 で「1」できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

病児・病後児保育施設について、希望する条件はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自宅の近い場所に設置されていること
2. 小児科医院に併設されていること
3. 総合病院内に設置されていること
4. 遠くてもいいので公共交通機関に設置されていること
5. 利用手続きの手間や時間を要しないこと
6. 一般的な保育時間と同様に利用できること

9. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についてうかがいます

問 23 お子さんについて、日中の定期的な保育や病児のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も□内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数(年間)
1. 一時預かり(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	日
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間と並立して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	日
3. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	日
4. その他()	日
5. 利用していない	

問 24 お子さんについて、私用、親の通帳、不定期の返済などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字で記入ください。）。

なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の買い物など）、リフレッシュ目的		日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通帳など		日
ウ. 不定期の返済		日
エ. その他（ ）		日
2. 利用する必要はない		

問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の病後ケアや育児不安、病後ケアなど）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。子育て短期支援事業（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字で記入ください。）。

なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	日
ア. 冠婚葬祭		日
イ. 保護者や家族の病後ケア、不安		日
ウ. 保護者や家族の病後ケア		日
エ. その他（ ）		日
2. 利用する必要はない		

10. お子さんが5歳以上である方に、小学校卒業後の就学の方についてうかがいます

問 26 宛名のお子さんについて、小学生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年（1～3年生）の場合と小学校高学年（4～6年生）の場合について、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字で記入ください。（学童保育）
また「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」及び「6. 学区こどもの家」の場合には、利用を希望する時間帯に数字を記入ください。

	低学年（1～3年生）		高学年（4～6年生）	
	週	日くらい	週	日くらい
1. 自宅	週	日くらい	週	日くらい
2. 祖父祖母や友人・知人宅	週	日くらい	週	日くらい
3. 習い事	週	日くらい	週	日くらい
4. 部活動	週	日くらい	週	日くらい
5. 放課後児童クラブ*1（学童保育）	週	日くらい	週	日くらい
	週	日くらい	週	日くらい
6. 学区こどもの家*2	週	日くらい	週	日くらい
	週	日くらい	週	日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週	日くらい	週	日くらい
8. その他（ ）	週	日くらい	週	日くらい

*1 放課後児童クラブ：保護者や家族が平日に利用可能な時間帯に、児童のみの利用を希望するものではありません。児童のみの利用を希望する場合は、児童のみの利用を希望する時間帯に数字を記入してください。
*2 学区こどもの家：小学校には対応しない場合があります。学区内の児童のみの利用を希望する場合は、学区内の児童のみの利用を希望する時間帯に数字を記入してください。

問 26-1 「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方についてうかがいます。

土曜日や休日、放課後の利用希望はありますか。

(1)土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）の間は利用したい
3. 全学年（1～6年生）利用したい
4. 利用する必要はない

(2)休日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）の間は利用したい
3. 全学年（1～6年生）利用したい
4. 利用する必要はない

(3)長期休暇（夏休み・冬休みなど）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）の間は利用したい
3. 全学年（1～6年生）利用したい
4. 利用する必要はない

②「希望」より遅く復帰した方

①母親	②父親	希望より早く復帰復帰した理由 (当てはまる番号すべてに○)
1	1	希望する保育所に入らなかったため
2	2	自分や子どもなどの体調が悪くなったため
3	3	配偶者や家族の希望があったため
4	4	職場の受け入れ態勢が悪くなったため
5	5	子どもをみてくれる人がいないかったため
6	6	その他 ()
		その他 ()

問27-7 問27-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方について、お答えください。
 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。又は、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親	②父親	育児休業取得について (当てはまる番号1つに○)
1	1	1歳になるまで育児休業を取得したい
2	2	1歳になる前に復帰したい

問28 子育てと仕事の両立のために、職場にどのようなことを望みますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 妊娠中や育児期間中の勤務軽減
2. 産前産後の休暇が十分に取れる制度
3. 育児休業期間にある程度の給与保証がされる制度
4. 育児休業期間が1年を超えて取れる制度
5. 子どもが病気やけがの際などに安心して専任のための休暇が取れる制度
6. 男性も育児休業制度が利用できるなど、子育てに男性も参加できる環境づくり
7. 女性の再雇用制度
8. テレワークなどの在宅勤務制度
9. 勤務地の限定など、従業員が将来のライフプランを見通しやすい制度
10. DX・ICTの導入を機運的に推進するなど、早働きを促す環境づくり
11. ノー残業デーの設置
12. 子育てと仕事を両立している先輩社員などと交流できる機会の提供
13. その他 ()

12. 子育て全般についてうかがいます

問9 下記の事業ごとに、A～Cのすべてについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。Cについて、すでに対象となる時期を過ぎている場合は、対象だったら利用したという回答を避けてください。

事業名	A 知っている	B これまでで利用したことがある	C 利用したい
①体験型妊婦教室 妊婦さんとご家族を対象に、面談げんき館で体験型妊婦教室を実施します。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
②子育て応援すくすくメール、LINE 妊婦や3歳未満のお子さんの保護者を対象に、お子さんの成長に合わせて子育て支援情報をメール配信します。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③産前産後ホームヘルプサービス 妊婦中や出産後間もない時期、日中家族からの支援が受けられない場合にヘルパー等を派遣します。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
④ブックスタート 生後4か月～1歳8か月の未就学の子に絵本の読み聞かせと絵本のプレゼントをします。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤乳幼児からの育児教室 (無料育児教室) 初期 (おむね4～5か月)、後期 (おむね8～9か月) のお子さんと保護者を対象に、個別育児教室を開催します。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥まちかど ほっと相談室 (妊婦・乳児健康相談) 妊婦相談、体重管理、育児相談、産科相談、栄養相談などを行っています。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦すくすくテレホン 子どもの生活習慣や子育て、発達・育児相談など、来所相談、手紙・FAX相談も行っていきます。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑧初めてママのためのひろば 初めて育児を経験するママとお子さんが増え、親子で遊んだり、ママ友作りをしたり、情報交換したりする場です。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑨子育て広場 保育園の園庭や保育室の一部を提供し、親子の育児を支援します。(市別別館で実施)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑩子育て支援の会 市内の各学区の民生委員児童委員が中心となり、学区の子育て中のお母さんたちの支援を行っています。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑪わいわい子育て講座 0歳から就園前の乳幼児と保護者を対象に、市広センターでいろいろな遊びの体験・学習を行っています。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑫子育てハンドブック 妊婦期と0～3歳くらいまでのお子さんがいる家庭を対象に、行政手続きや子育て支援サービスなどの情報を一冊にまとめた情報誌です。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

問30 ひどり親家庭の保護者の方にかかっています。

下記の事業ごとに、A～Cのすべてについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。Cについて、すでに対象となる時期を過ぎている場合は、対象だったから利用したと答える方が答えください。

事業名	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 利用したい
①ひどり親家庭支援LINE ひどり親家庭の母又は父を対象に、ひとり親家庭支援に役立つ支援情報を配信します。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
②ひとり親家庭相談			
1 育児に関する相談 就労や進学のための資格取得に関する相談を行います。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
2 生活・家庭紛争等に関する相談 養育費・出産・育児期間の健康診断に関する相談を行います。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
3 経済的な相談 貸付や各種手当や給付金等の制度案内を行います。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
4 ことばに関する相談 子どもの養育や進学に関する相談を行います。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

問31 岡崎市における以下のような分野について満足していますか、「満足度」を5段階で評価し、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
①各種保育サービス*	5	4	3	2	1
②妊娠・出産・育児期間の健康診断	5	4	3	2	1
③身近で安心な小児医療サービス	5	4	3	2	1
④子育て相談窓口や子育て支援情報の提供	5	4	3	2	1
⑤公園など、身近な子どもの遊び場	5	4	3	2	1
⑥企業・専業主婦などの子育て支援	5	4	3	2	1
⑦犯罪などが少ない、安心できる地域環境	5	4	3	2	1
⑧総合的にみた子育てのしやすさ	5	4	3	2	1

*「各種保育サービス」…選べる保育、延長保育、一時保育など

問32 子どもを安心して産み育てられる環境のために、市に対してどのような施策を期待しますか。当てはまる番号5つまで○をつけてください。

1. 妊産婦や乳幼児の健康診査、保健指導などの母子保健体制の整備
2. 夜間や休日における小児科や医療体制の整備
3. 夜間保育、一時保育などの子どもを預けられる保育サービスの充実
4. 保育士の処遇改善による幼児教育、保育の質の向上
5. 幼児期から英語やプログラミングなど特別な教育を提供する環境（保育料とは別に費用負担あり）
6. 子育てに関する相談・情報・手帳などの窓口の一本化
7. メールやSNSを使った相談体制の充実
8. 地域における子育てサークルなどの自主活動への支援
9. 家事や育児への男女共同参加意識の啓発
10. 育児休暇制度の普及や労働時間短縮など、企業における子育て支援の充実
11. 子育てにかかると経済的な負担の軽減
12. 子どもの成長や家族人数に見合った住環境の整備
13. 全天候型の遊び場の整備など子どもの遊び場の充実
14. 乳幼児連れでも講演会やイベントに参加しやすいよう団体の保育機能の整備
15. ベビーベッドの設置やベビーカーを貸して歩きやすい歩道など、施設や道路の整備
16. 児童虐待を防止するための体制の整備
17. いじめや非行防止など、子どもが健全に育つための対策の充実
18. 特になし
19. その他（ ）

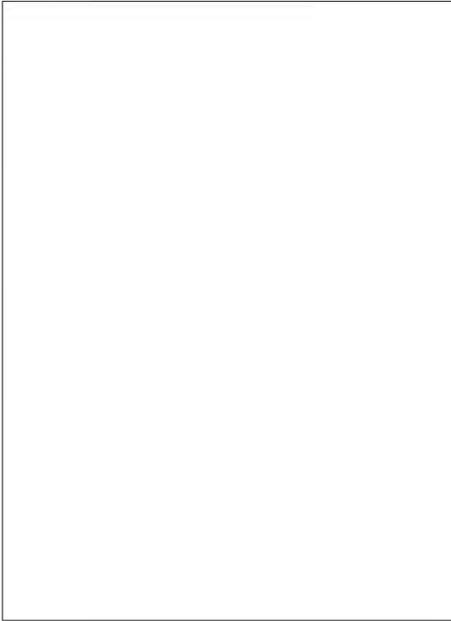
問33 あなたは、どのような方法で子育てに関する情報を収集していますか。当てはまる番号5つに○をつけてください。

1. 新聞・雑誌
2. テレビ・ラジオ
3. 近所の人
4. 友人・知人
5. インターネット
6. YouTube
7. 公式LINE
8. 市の冊子
9. 市役所の窓口
10. その他（ ）

問34 あなたは、インターネットやアプリを使った子育てサービスを利用したことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、「2. 利用していない」を選択した方は、その理由を記入してください。

1. 利用したことがある	
2. 利用していない	
利用したことがない理由	

問 35 最後、教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。



ご協力ありがとうございました。

- ・インターネットでご回答いただいた方は、11月20日(月)までに回答内容を送信してください。
- ・調査票でご回答いただいた方は、調査票を返信用封筒に入れて封をし、11月20日(月)までにポストへ投函してください。

2. 小学生児童保護者

岡崎市子ども・子育てに関するアンケート調査 (小学校児童の保護者用)

皆様には、日頃から市役にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
岡崎市では、子ども・子育て支援法(平成26年法律第95号)に基づき、平成27年に岡崎市子ども・子育て支援事業計画「おかげさすっ子 声かプラン」を策定、令和2年度には改正を行い、引き継ぎ子どもと子育て支援の目標に立ち、子どもの育ちを重視する本市の実情に即した更なる環境整備を図ることを目指してまいりました。

本調査は、この計画で環境を図るべき教育・保育・子育て支援の「質の底上げ」を算出し、市民の皆様の子育てに関する現状やご要望・ご意見を把握することを目的として、小学校のお子さんのいるご家庭のうち、無作為に4,000世帯を選び、ご協力をお願いするものです。
なお、ここで回答していただいた内容は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいております。

ご多用のところをおそれ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和5年11月
岡崎市長 中根 康浩

ご回答は、以下のとおりインターネット又は郵送によりお願いします。

■ インターネットによるご回答方法 (できるだけこちらの方法でご回答をお願いします)

○ パソコン、スマートフォンなどで、下記のURLを入力するか、二次コード(QRコード)を読み込み、「IID」をすべて半角で入力してください。

URL : <https://www16.webcas.net/form/pub/survey-2310/okazaki-survey02>

ID :



- ログイン後は、画面に従ってご回答ください。
- 最終で入力力が完了したら、【登録】ボタンを押して、「ご回答ありがとうございます」と表示されれば終了です。入力した内容を修正したい場合は、【修正】ボタンを押してください。
- 「一時保存」ボタンを押すと、回答を一時保存することができます。再度ログインすれば入力を再開することができます。一時保存期限を過ぎると、回答内容が消去されますのでご注意ください。
- **令和5年11月20日(月)まで**にご回答ください。

■ 郵送によるご回答方法

- 郵封もしくは、黒又は青のボールペンでご記入ください。
- 返封式の返封には、当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- 返封式ではない返封では、文字や数字を回答欄にご記入ください。
- 「その他」の回答については、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- 回答を記入した調査票を同封の返信用封筒に入れ、**令和5年11月20日(月)まで**に、郵便ポストに投函してください。(切手不要、送付元の氏名や住所等の記載は不要です)。

■ お問い合わせ

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

<お問い合わせ先> 岡崎市 子ども育成課

電話 : 0564-23-4820 月曜日 8:30~17:15

1. お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地域の小学校区名を記入してください。わからない場合は、お住まいの町名をご記入ください。

小学校区	町・丁目
→ わからない場合は、お住まいの町名	

問2 両前年に住んで何年になりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※旧稲田町を含め、回答される保護者の方の年数でお答えください。

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 3. 2~5年未満 | 5. 10~20年未満 |
| 2. 1~2年未満 | 4. 5~10年未満 | 6. 20年以上 |

2. お子さんご家族の状況についてうかがいます

問3 宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。口内に数字でご記入ください。

西暦	年	月	生まれ
□□□□	□□	□□	□□

問4 お子さんは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。

お子さんの数	人
□□	□

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

問7 世帯全体の年取(税込)は、おおよそどのくらいですか。仕事による収入と仕事以外の収入を合わせた金額について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 200万円未満 | 4. 400~500万円未満 | 7. 1,000万円以上 |
| 2. 200~300万円未満 | 5. 500~700万円未満 | |
| 3. 300~400万円未満 | 6. 700~1,000万円 | |

問8 現在の家計について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 黒字であり、毎月貯蓄している | 4. 赤字であり、貯蓄を切り崩している |
| 2. 黒字だが貯蓄はしていない | 5. 赤字であり、借入をしている |
| 3. 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである | 6. その他() |

3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問9 お子さんの子育て（教育を含む）を主にやっているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに)
 2. 主に母親)
 3. 主に父親)
 4. 主に祖父母)
 5. その他 ()

問10 日頃、お子さんを見てもらえる親族、知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる)
 2. 緊急時又は用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる)
 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる)
 4. 緊急時又は用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる)
 5. いずれもない)

問10-1 問10で「1」～「4」に○をつけた方についてうかがいます。
 お子さんを見てもらっている状況についてお答えください。①祖父母などの親族、②友人・知人それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①祖父母など	②友人・知人	お子さんを見てもらっている状況（当てはまる番号すべてに○）
1	1	身体的・精神的負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2	2	身体的負担が大きく心配である
3	3	時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4	4	自分たちの代わりに子どもを見てもらうことが心苦しい
5	5	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6	6	その他 ()
		その他 ()

問11 お子さまの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいいますか。または、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある → 問11-1)
 2. いない/ない → 問12へ)

問11-1 問11で「1. いる/ある」に○をつけた方についてうかがいます。
 気軽に相談できるのは誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家族・親族)
 2. 友人・知人)
 3. 子育て仲間)
 4. 近所の人)
 5. かかりつけの医師)
 6. 保健師・幼稚園等)
 7. 民生委員・児童委員)
 8. 市役所)
 9. 民間の相談機関)
 10. インターネットの子育て関連サイト)
 11. その他の相談先 (具体名:)

4. お子さんの保護者の就業状況についてうかがいます

お子さんの保護者の現在の就業状況（自営業、家族従事者を含む）をうかがいます。
 問12 から問14まで共通

- ・「フルタイム」＝1週5日程度、1日8時間程度の就労を目安にご判断ください。
 ・「パート・アルバイトなど」＝フルタイム以外の就労をいいます。
 ・父子家庭の場合の「母親」の欄、母子家庭の場合の「父親」の欄の記入は不要です。

問12 お子さんの保護者の現在の就業状況について、①母親、②父親のそれぞれで当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親	②父親	就業状況（当てはまる番号1つに○）
1	1	フルタイムで働いている
2	2	フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である
3	3	パート・アルバイトなどで働いている
4	4	パート・アルバイトなどで働いているが、産休・育休・介護休業中である
5	5	以前は働いていたが、現在は働いていない
6	6	これまで働いたことがない

問12-1 問12で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方についてうかがいます。
 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を①母親、②父親についてそれぞれ日内に数字でお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（記入例：⑤日、④回時間）。

	1週当たりの就労日数	1日当たりの就労時間
①母親	□ □ 日	□ □ □ □ 時間
②父親	□ □ 日	□ □ □ □ 時間

問13 問12で「3」「4」（パート・アルバイトなどで就労している）に○をつけた方についてうかがいます。当てはまらない方は、問15へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親	②父親	フルタイムへの転換希望（当てはまる番号1つに○）
1	1	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望
4	4	パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12で「5」「6」(就労していない)に○をつけた方にうかがいます。当てはまらない方は、問15へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号をそれぞれ1つに○をつけ、□内に数字でご記入ください。(記入例：5日、回、8時間)。

(1)母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったら 日に就労したい

3. すぐにも、又は1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム

イ. パートタイム、アルバイトなど

1週当たり 日 / 1日当たり 時間

(2)父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったら 日に就労したい

3. すぐにも、又は1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム

イ. パートタイム、アルバイトなど

1週当たり 日 / 1日当たり 時間

5. 子育てサービスの認知度についてうかがいます

問15 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことのあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

事業名	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 利用したい
①保健所の情報・相談事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
②相談事業(家庭児童相談)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③通所施設(ハートピア電美、上地)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
④教育相談センター(そよかぜ相談、教育相談等カウンセリング)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤運動場・体育館などの開放(子ども会・クラブ活動)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥学校が主催する活動(講演会、PTA活動)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦学区こどもの家	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑧ファミリー・サポート・センター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑨子育て短期支援事業(ショートステイ)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑩放課後等デイサービス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑪ひとり親家庭支援	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

問 16 ひどい親家庭の保護者の方にかかっています。「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけて下記の事業ごとに、A～Cのすべてについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。Cについて、すでに対象となる時期を過ぎている場合は、対象だったなら利用したと懸うかお答えください。

事業名	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 利用したい
①ひとりで親家庭支援LINE ひとりで親家庭の母又は父を対象に、ひとりで親家庭支援に 役立つ支援情報を配信します。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
②ひとりで親家庭相談			
1 親割に関する相談 親割や親割のための実務取得に関する相談を行います。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
2 生活・家庭内等に関する相談 養育費・親子交流等に関する相談を行います。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
3 経済的な相談 貸付や各種手当や給付金等の制度案内を行います。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
4 ことばに関する相談 こどもの養育や進学に関する相談を行います。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

問 17 問 15 の B で「はい」に○をつけたものについて、利用した際の利用満足度をお答えください。「満足度」を5段階で評価し、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
①保護者の情報・相談事業	5	4	3	2	1
②相談事業（家庭内等相談）	5	4	3	2	1
③通所施設（ハートピア電業、土地）	5	4	3	2	1
④教育相談センター （そよぎ相談、教育相談等カウンセリング）	5	4	3	2	1
⑤運動場・体育館などの相談 （子ども会・クラブ活動）	5	4	3	2	1
⑥学校が主催する活動 （講演会、PTA活動）	5	4	3	2	1
⑦学区子どもの家	5	4	3	2	1
⑧ファミリー・サポート・センター	5	4	3	2	1
⑨子育て短期支援事業（ショートステイ）	5	4	3	2	1
⑩放課後等デイサービス	5	4	3	2	1
⑪ひとりで親家庭支援	5	4	3	2	1

6. お子さんの病気の療育の対応についてうかがいます

問 18 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校やケガで学校を休んだことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった → 問 18-1 A 2. なかった → 問 19 A

問 18-1 この1年間に行った対応方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字で記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

	1年間の対応方法	日数
問 18-2 A	ア. 母親が休んだ	日
	イ. 父親が休んだ	日
	ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日
	エ. 母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた	日
	オ. ベビーシッターを利用した	日
	カ. 病後期一時託児事業を利用した	日
	キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番させた	日	
ケ. その他 ()	日	

問 18-2 問 18-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに○をつけた方にかかっています。その際、「できれば病後期一時託児事業を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字で記入ください。

1. 病後期一時託児事業などを利用したい → 日
2. 利用したいとは思わない (理由:)

7. お子さんの不定期の預かり事業の利用についてうかがいます

問19 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
1. ファミリー・サポート・センター	日
2. その他（ ）	日
3. 利用していない	

問20 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。）

なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的		日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など		日
ウ. 不定期の就労		日
エ. その他（ ）		日
2. 利用する必要はない		

問21 死名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・親族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病状など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。予約で短期支援事業（作業療法施設等で一定期間、子どもを預かる事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。）

なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	日
ア. 冠婚葬祭		日
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安		日
ウ. 保護者や家族の病状		日
エ. その他（ ）		日
2. 利用する必要はない		

8. お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます

問22 お子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、週当たり日数を数字でご記入ください。また、放課後の過ごし方の希望として、小学校低学年（1～3年生）の場合と小学校高学年（4～6年生）の場合について、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」及び「6. 学区子どもの家」の場合には、利用を希望する期間も口内に数字でご記入ください。

	現在の過ごし方		希望の過ごし方	
	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年生）	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年生）
1. 自宅	週	日くらい	週	日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	週	日くらい	週	日くらい
3. 習い事	週	日くらい	週	日くらい
4. 習活動	週	日くらい	週	日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）	週	日くらい	週	日くらい
▶ 下校時から			時まで	時まで
6. 学区子どもの家	週	日くらい	週	日くらい
▶ 下校時から			時まで	時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	日くらい	週	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	日くらい	週	日くらい

問23 すべての方にうかがいます。

小学生の子どもが家で1人又はきょうだいだけで過ごすことに不安を感じますが、低学年、高学年について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

また、不安に感じるのは、留守番をさせるどれくらいの時間から感じますか。口内に数字をご記入ください。（記入例：0|2時間以上）

1. 感じる	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年生）
2. 感じない	時間以上	時間以上

問 24 すべての方にかかいます。
 お子さんについて、土曜日、長期休暇（夏休み・冬休みなど）に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1) から (3) のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。
 (記入例：0 | 17時から | 1 | 8時間まで)
 なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

(1)土曜日	
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	□□時から □□時まで
3. 全学年（1～6年生）利用したい	
3. 利用する必要はない	
(2)祝日	
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	□□時から □□時まで
3. 全学年（1～6年生）利用したい	
3. 利用する必要はない	
(3)長期休暇（夏休み・冬休みなど）	
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	□□時から □□時まで
3. 全学年（1～6年生）利用したい	
3. 利用する必要はない	

問 25 問 22 の現在の過ごし方で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にかかいます。
 放課後児童クラブを利用する理由として、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 安心して預けられるから
2. 家で子どもだけでできないから
3. おやつを提供してもらえから
4. 生活習慣を指導してもらえから
5. 友だちが利用しているから
6. その他 ()

問 25-1 問 22 で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方、又は問 20 で「利用したい」と答えた方にかかいます。
 お住まいの学区の放課後児童クラブが利用できない場合、他の学区の放課後児童クラブを利用したいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	平日の場合	土曜・祝日・長期休暇の場合
1. 近隣学区であれば利用したい	1	1
2. 距離にかかわらず利用したい	2	2
3. 他の学区ならば利用しない	3	3

問 26 問 22 の現在の過ごし方で「6. 学区こどもの家」に○をつけた方にかかいます。
 学区こどもの家を利用する理由として、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 学区こどもの家に満足しているから
2. 本当は放課後児童クラブを利用したいが、学区内に放課後児童クラブがないから
3. 本当は放課後児童クラブを利用したいが、定員超過で利用できなかったから
4. 無料で利用できるから
5. 友だちが利用しているから
6. その他 ()

問 26-1 問 22 で「6. 学区こどもの家」に○をつけた方にかかいます。
 お子さんが学区こどもの家を利用するに当たり、こどもの家の機能として望むものを、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 地域との交流など活動内容を充実してほしい
2. 行事を増やしてほしい
3. 指導員を増やしてほしい
4. 学校から直接こどもの家へ下校したい
5. 遊園をやらせてほしい
6. 遊具を増やしてほしい
7. 造形図書室を大きくしてほしい
8. 空調設備をほしい
9. 現状のままです

9. 子育て全般についてうかがいます

問27 岡崎市における以下のような分野について満足していますか。「満足度」を5段階で評価し、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
①各種教育サービス	5	4	3	2	1
②学校などでの健康診断	5	4	3	2	1
③身近で安心な小児医療サービス	5	4	3	2	1
④子育て相談窓口や子育て支援情報の提供	5	4	3	2	1
⑤公園など、身近な子どもの遊び場	5	4	3	2	1
⑥企業・事業所などの子育て支援	5	4	3	2	1
⑦知恵などが少ない、安心できる地域環境	5	4	3	2	1
⑧総合的にみた子育てのしやすさ	5	4	3	2	1

問28 子どもを安心して産み育てられる環境のために、市にどのような施策を期待しますが。次の中から当てはまる番号に5つまで○をつけてください。

1. 妊娠前や乳幼児の健康診査、保健指導などの母子保健体制の整備
2. 夜間や休日における小児科や産科体制の整備
3. 夜間保育、一時保育などの子どもを預けられる保育サービスの充実
4. 保育士の処遇改善による幼児教育・保育の質の向上
5. 幼児館から英語やプログラミングなど特別な教育を提供する環境（保育料とは別に費用負担あり）
6. 子育てに関する相談・情報・手続きなどの窓口の一本化
7. メールやSNSを使った相談体制の充実
8. 地域における子育てサークルなどの自主活動への支援
9. 家事や育児への男女共同参加意識の啓発
10. 育児休暇制度の普及や労働時間短縮など、企業における子育て支援の充実
11. 子育てにかかる経済的な負担の軽減
12. 子どもの成長や家族人数に見合った住環境の整備
13. 全天候型の遊び場の整備など子どもの遊び場の充実
14. 乳幼児連れでも買い物やイベントに参加しやすいように会場の音声機能の整備
15. ベビーカーの設置やベビーカーを押して歩きやすい歩道など、施設や道路の整備
16. 児童虐待を防止するための体制の整備
17. いじめや非行防止など、子どもが健全に育つための対策の充実
18. その他
19. その他（ ）

問29 あなたは、どのような方法で子育てに関する情報を収集していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 新聞・雑誌
2. テレビ・ラジオ
3. 近所の人
4. 友人・知人
5. インターネット
6. YouTube
7. 公式HP
8. 市の冊子
9. 市役所の窓口
10. その他（ ）

問30 あなたは、インターネットやアプリを使った子育てサービスを利用したことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、12. 利用したことがない」を選択した方は、その理由を記入してください。

1. 利用したことがあ
 2. 利用したことがない
- 利用したことがない理由

問31 最後に、教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

- ・インターネットでご回答いただいた方は、11月20日(月)までに回答内容を返信してください。
- ・調査票でご回答いただいた方は、調査票を返信用封筒に入れて封をし、11月20日(月)までにポストへ投入してください。

3. 保育園・幼稚園・認定こども園職員

岡崎市の子ども・子育てに関するアンケート調査 (園職員)

皆様には、日頃から市園にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
岡崎市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第55号）に基づき、平成27年に岡崎子ども・子育て支援事業計画「おかしきっこ 育ちプラン」を策定、令和2年度には改定を行い、引き続き子どもと子育て家庭の自然に立ち、子どもの声をも重視する本市の実情に即した更なる環境整備を図ることを目指してきました。

本調査は、子育て支援現場の実態やご要望・ご意見等を把握することを目的として、本市の保育園・幼稚園・認定こども園職員の皆様にご協力をお願いするものです。

なお、ご回答いただいた内容は、本市の子ども・子育て施策の検討に利用させていただきます。回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。
ご多用のところをお察し入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和5年11月
岡崎市長 中根 康浩

以下のとおり、原則として、ご回答はインターネットによりお願いします。

■ **インターネットによるご回答方法（原則として、こちらの方法でご回答をお願いします）**
○ パソコン、スマートフォンなどで、下記のURLを入力するか、二次元コード（QRコード）を認識し、「IID」をすべて半角で入力してください。

URL : <https://www16.webcas.net/form/survey/pub/survey-2310/okazaki-survey03>

ID : 

○ ログイン後は、画面に従ってご回答ください。
○ 最後まで入力が入力が完了したら、「確認」ボタンを押して、「ご回答ありがとうございました」と表示されれば終了です。入力した内容を修正したい場合は、「修正」ボタンを押してください。
○ 「一時保存」ボタンを押すと、回答を一時保存することができます。再度ログインすれば入力内容を再開することができます。一時保存期限を過ぎると、回答内容が消失されますのでご注意ください。
○ **令和5年11月20日（月）**までにご回答ください。

■ **郵送によるご回答方法（インターネットによる回答ができない場合はこちらでお願いします）**
○ 封筒もしくは、黒又は青のボールペンでご記入ください。
○ 返信用封筒が必要な方は、局長 先生までおたずねください。
○ 速達式での返信では、当てはまる番号の番号に○をつけてください。
○ 速達式ではない返信では、文字や数字を返信用欄にご記入ください。
○ 「その他」の回答については、() 内に具体的な内容をご記入ください。
○ 回答を記入した郵便票を返信用封筒に入れ、**令和5年11月20日（月）**までに、郵便ポストに投函してください（切手不要、送付元の氏名や住所等の記載は不要です）。

■ **お問い合わせ**
この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。
<お問い合わせ先> 岡崎市子ども子育て課
電話：0564-23-4820 月曜日 8:30～17:15

1. あなたご自身についてうかがいます

問1 あなたの勤務地は次のうちどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 公立の保育園 2. 私立の保育園 3. 私立の幼稚園 4. 認定こども園

問2 保育園・幼稚園・認定こども園での保育経験年数は次のうちどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1～2年未満 3. 5～10年未満 5. 20年以上
2. 2～5年未満 4. 10～20年未満

問3 現在の年齢は、次のうちどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 20代 3. 40代 5. 60代
2. 30代 4. 50代

問4 現在、幼稚園教諭免許及び保育士資格の両方を保有していますか。なお、今年度中に取得予定の場合は「保有している」とし、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 両方保有している
2. 幼稚園教諭のみ保有している
3. 保育士資格のみ保有している

問5 あなたが幼稚園教諭免許や保育士資格を取得した理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 子どもと接することが好きだから 5. 学校や先生に勧められたから
2. あこがれ、興味のある仕事だったから 6. 就職・転職に困らないと思ったから
3. 将来の子育て時に役立つと思ったから 7. その他 ()
4. 親や家族に勧められたから 8. 特に理由はない

2. 仕事や職場の環境についてうかがいます

問6 保育園・幼稚園・認定こども園の仕事にやりがいや充実感を持っていますか。当てはまる番号1つに○をつけ、具体的な内容を記入してください。

1. 持っている 3. あまり持っていない 5. わからない
2. やや持っている 4. 持っていない

具体的な内容（「5. わからない」と回答した方は除く）
日課していることを記入ください。（例）「子どもの成長を近くで見る」「事務作業が多く煩雑」等

問7 現在の仕事の満足度についてうかがいます。それぞれの項目について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
1. 賃金	5	4	3	2	1
2. 労働時間・休みなどの勤務条件	5	4	3	2	1
3. 職員の配置状況	5	4	3	2	1
4. 研修や教育訓練・能力開発のあり方	5	4	3	2	1
5. 職場の人間関係・コミュニケーション	5	4	3	2	1
6. 職場生活全体	5	4	3	2	1
7. 育児や介護などに対する職場の理解や協力が特別	5	4	3	2	1

問8 問7で「不満」「やや不満」「やや満足」に○をつけた方にうかがいます。そのように思われる理由は何ですか。○をつけた項目について、理由を教えてください。

○をつけた項目	理由
1. 賃金	
2. 労働時間・休みなどの勤務条件	
3. 職員の配置状況	
4. 研修や教育訓練・能力開発のあり方	
5. 職場の人間関係・コミュニケーション	
6. 職場生活全体	
7. 育児や介護などに対する職場の理解や協力が特別	

問9 業務内容と比較した給与について、どう感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. かなり高い	4. やや安い
2. やや高い	5. かなり安い
3. 妥当	6. わからない

問9-1 問9で「4. やや安い」「5. かなり安い」に○をつけた方にうかがいます。

そのように思われた最も大きな理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 勤務時間の長さ	4. 将来への不安
2. 責任の大きさ	5. その他 ()
3. 生活維持が困難	

問10 あなたに任されている現在の業務量は適量だと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 多いと思う	4. どちらかといえば少ないと思う
2. どちらかといえば多いと思う	5. 少ないと思う
3. 適量だと思う	6. わからない

問11 ここ数年の間で、あなたの業務負担は増えていますか。それとも軽減されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 増えている	問11-1へ
2. 特に変化はない	問12へ
3. 軽減されている	

問11-1 問11で「1. 増えている」に○をつけた方にうかがいます。

業務負担が増してきた原因は何だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 利用者数の増加や利用時間の長時間化	
2. 研修や余糧などの増加	
3. 保護者への対応の多様化	
4. 特別な配慮を必要とする子どもへの対応の増加	
5. 外国籍の子どもへの対応の増加	
6. 児童士・教諭などの少なさ	
7. 指導・保育記録作成などの事務の増加	
8. 近隣住民苦情（交通渋滞や騒音対策など）の増加	
9. その他 ()	
10. わからない	

問12 労働条件・仕事の負担に関して以下のような悩み・不満などはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 賃金が少ない	
2. 身体上の負担が大きい	
3. 残業が多いなど、時間的に余裕がない	
4. 人手が足りず、一人あたりの仕事量が多い	
5. 休日出勤がある	
6. 休日がとりにくい・とれない	
7. 有給休暇がとりにくい	
8. 体調が悪くても休めない	
9. 特別なケアが必要な子どもへの負担が大きい	
10. 職場内の人間関係が悪い	
11. 保護者との人間関係が悪い	
12. 上司からのセクハラやパワハラがある	
13. 自分の教育・保育に自信がない	
14. 家庭生活と仕事との両立が難しい	
15. 園などの理念や運営方針が合わない	
16. 保護者からの苦情あるいは対応困難な注文など	
17. その他 ()	

問13 今の職場に必要な改善策は何だと感じますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 業務の軽減 | 6. 有給休暇等の取得改善 |
| 2. 職員数の増員 | 7. 職員同士のコミュニケーション |
| 3. 給与・賞与等の改善 | 8. 職務シフトの改善 |
| 4. DX・ICTの導入 | 9. その他 () |
| 5. 感情定評策の拡充 | 10. 特になし |

問14 今の施設について、改善が必要だと思ふ箇所や不足していると思うことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 教室・保育室や、ほふく室の改善 | 7. 調理室の改善 |
| 2. トイレの改善 | 8. 調理設備の整備 |
| 3. 屋内遊戯室の改善 | 9. 冷暖房環境の整備 |
| 4. おもちゃや絵本等の教材の不足 | 10. 子どもへの安全対策（施設や飛び出し防止柵） |
| 5. 園庭の拡張 | 11. その他 () |
| 6. 園庭の遊具の改善 | |

問15 今の職場・施設をやめる、あるいは、保育園・幼稚園・認定こども園の仕事からの転職を考へることはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|-------|----------|---------|
| 1. よくある | 2. ある | 3. たまにある | 4. 特になし |
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない | |

問16-1 問16で「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。
保育や幼児教育に関する研修では、どのような内容を希望しますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. 保育実技 | 8. グレーム対応 |
| 2. 救命救急 | 9. アレルギーマ対応 |
| 3. 安全管理 | 10. コミュニケーション能力 |
| 4. 小児保健 | 11. 保護者対応の研修 |
| 5. 養生管理 | 12. 一般教養 |
| 6. 発達心理学 | 13. その他 () |
| 7. 食育 | |

問17 2024年に「こども家庭ソーシャルワーカー（※）」が創設される予定です。この資格に対する取得意欲はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|--------------|----------|----------------|----------|
| 1. ぜひとも取得したい | 2. 取得したい | 3. 取得したいとは思わない | 4. わからない |
|--------------|----------|----------------|----------|
- ※こども家庭ソーシャルワーカーは、こども家庭福祉の推進において専門的な知識を専ら備えた民間資格であり、厚生労働省の検討会では、「こども家庭福祉の現場にソーシャルワーカーの専門性を十分に身に付けた人材を早期に輩出するため、改正児童福祉法により、まずは、一定の実務経験のある有資格者や現任者が、国の基準を満たす認定機関が認定した研修等を経て取得する認定資格を令和6年4月より導入する。」としています。児童相談所や児童発達支援施設、児童家庭センターなどより専門性の高い相談支援員としての活躍が期待されています。

3. 保護者などの状況についてうかがいます

問18 保護者から寄せられる要望としては、どのようなものが多いですか。当てはまる番号3つまでに○をつけて、具体的な内容を2語入力ください。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 職員の対応に関すること | 7. 園などの施設や設備に関すること |
| 2. 子どものケガや病気に関すること | 8. 通常保育以外の保育サービスに関すること |
| 3. おやつや給食に関すること | 9. 教育・保育内容の理解に関すること |
| 4. 尿褲・衛生面に関すること | 10. 子どもの発達理解に関すること |
| 5. 園などの行事に関すること | 11. その他 () |
| 6. 教育・保育時間に関すること | 12. わからない |
- 具体的な内容（「12. わからない」と回答した方は除く）
 例）「一時保育の利用日数を増やしてほしい」「子どもの様子をもっと詳しく教えてほしい」など

問19 最近の保護者やその子どもにみられる状況について、特に問題0だと思うことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 子どもが基本的な生活習慣を身につけていないまま入園していること |
| 2. 注意が散らかつたり、落ち着きがなかったりする子どもが多いこと |
| 3. 養育困難な保護者が増えていること |
| 4. ひとり親世帯が増えていること |
| 5. 子どもの家庭の問題が生じていること |
| 6. 育児不安や育児ストレスに悩む保護者が増えていること |
| 7. 保育園・幼稚園・認定こども園が提供するサービスと、保護者が求めるものが異なること |
| 8. 保護者からの要望が多様化・強硬化していること |
| 9. 子どもの問題に対する保護者の協力が十分でないこと |
| 10. 保護者同士の人間関係の問題があること |
| 11. 虐待・ネグレクトの懸念のあるケースが増えていること |
| 12. 外国籍の保護者・子どもと言葉の壁があり、十分なコミュニケーションが取れないこと |
| 13. その他 () |
| 14. 特になし |

4. ワーク・ライフ・バランスについてうかがいます

問20 自分の仕事と生活（趣味・家庭生活・余暇など）のバランスはとれていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. とれている | 3. あまりとれていない |
| 2. まあまあとれている | 4. とれていない |

問21 自分の仕事と生活（趣味・家庭生活・余暇など）は両方充実していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 充実している | 3. あまり充実していない |
| 2. まあ充実している | 4. 充実していない |

問22 あなたは困ったとき、誰に相談しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 1. 上司 | 4. 友人 |
| 2. 職場の同僚 | 5. その他（ ） |
| 3. 家族 | |

問23 最終に、仕事上の要望や提案、保育者として日頃感じていることなどがございましたら、ご自由に記入ください。

ご協力ありがとうございました。

- ・インターネットでご回答いただいた方は、11月20日(月)までに回答内容を送信してください。
- ・調査票でご回答いただいた方は、調査票を返信用封筒に入れて封をし、11月20日(月)までにポストへ投函してください。

4. 事業所

岡崎市の子ども・子育てに関するアンケート調査 (事業所)

皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
岡崎市では、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づき、平成27年に岡崎市子ども・子育て支援事業計画「おかしきっこ 育ちプラン」を策定、令和2年度には改定を行い、引き続き子どもと子育て家庭の目標に立ち、子どもの育ちを重視する本市の状況に即した更なる環境整備を図ることを目指してまいりました。
本調査は、市民の皆様の子育てに際する生活実態や事業所の皆様に対する子育て支援の取り組み状況等を把握することを目的として、本市内の事業所の皆様にご協力をお願いするものです。
なお、ご回答いただいた内容は、本市の子ども・子育て施策の検討に利用させていただきます。他の目的に利用することはありません。
ご多用のところをおそれ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

今和 5年11月
岡崎市 中根 康浩

ご回答は、以下のとおりインターネット又は郵送によりお願いします。
■ **インターネットによるご回答方法** (できるだけこちらの方法でご回答をお願いします)
○ パソコン、スマートフォンなどで、下記のURLを入力するか、二次元コード(QRコード)を読み込み、「ID」をすべて半角で入力してください。

URL : <https://www16.webcas.net/form/pub/survey-2310/okazaki-survey04>

ID :



- ログイン後は、画面に従ってご回答ください。
- 最後まで入力完了したら、「[登録] ボタン」を押して、「ご回答ありがとうございました」と表示されれば終了です。入力した内容を修正したい場合は、「[戻る] ボタン」を押してください。
- 「一時保存」ボタンを押すと、回答を一時保存することができます。再度ログインすれば入力を再開することができます。一時保存期限を過ぎると、回答内容が消失されますのでご注意ください。
- **令和5年11月20日(月)まで**にご回答ください。

- **郵送によるご回答方法**
- 郵券もしくは、黒又は青のボールペンでご記入ください。
- 選択式の質問では、当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- 選択式ではない質問では、文字や数字を回答欄にご記入ください。
- 「その他」の回答については、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- 回答を記入した調査票を同封の返信用封筒に入れ、**令和5年11月20日(月)まで**に、郵便ポストに投函してください。(切手不要、送付元の氏名や住所等の記載は不要です)。

■ **お問い合わせ**
この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。
<お問い合わせ先> 岡崎市子ども育成課
電話 : 0564-23-6920 月曜日～金曜日 8:30～17:15

1. 貴事業所

問1 ご回答いただく方の担当部署をご記入ください。
担当部署：()

問2 貴事業所の概要についてお答えください。

貴事業所の組織 (当てはまるものに○)	1. 本社 2. 支社 3. その他 ()
企業の業種 (当てはまるものに○)	1. 製造業 2. 建設業 3. 電気・ガス・熱供給・水道業 4. 情報通信業 5. 運輸業 6. 卸売・小売業 7. 金融・保険業 8. 不動産業 9. 飲食店・宿泊業 10. 医療・福祉 (社会福祉法人を含む) 11. 教育・学習支援業 (フィットネスクラブ、教習所等を含む) 12. 複合サービス業 (郵便局や、農協などの協同組合を含む) 13. サービス業 14. その他 ()
従業員数 (常用労働者の人数)	全社人数 貴事業所(支社)人数 人 人

問3 貴事業所の従業員の状況についてお答えください。

男性従業員数	人
うち、配偶者がいる者(配偶者)	人
うち、子どもがいる者	人
女性従業員数	人
うち、配偶者がいる者(配偶者)	人
うち、子どもがいる者	人

問4 貴事業所における勤務の状況についてお答えください。

平均的な従業員の労働時間	1. 週40時間程度 2. 週40時間以上 (⇒ 週 時間ほど) 3. その他 ()
休日勤務の有無	1. ある (⇒ 月 回程度) 2. ない
夜間勤務の有無	1. ある (⇒ 月 回程度) 2. ない

問8-1 問8、「21. 在宅勤務制度」で「1. 現在実施中」又は「2. 今後実施を検討」に○をつけた方について、

子育て支援を目的とする在宅勤務制度について、貴事業所ではどのようなお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. オフィス・スペースなどコスト削減の観点から、積極的に取り入れたい
2. 有能な人材をつなぎとめるため、積極的に取り入れたい
3. 従業員からの希望があれば積極的に対応したい
4. すでに導入している
5. 導入するつもりはない
6. その他 ()

問9 育児休業制度についてうかがいます。貴事業所では、従業員の育児休業の取得状況はどのようなか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	0人	1～5人	6～9人	10～19人	20人以上
男性	1	2	3	4	5
女性	1	2	3	4	5

問10 育児・介護休業法では「3歳までの子を養育する労働者について、短時間勤務制度（1日6時間）を設けることを事業主の義務」とすることや「子の看護休暇（年5日の努力義務）」が記載されています。また、2022年4月の改正では、有期雇用の従業員の育児休業の取得要件が緩和されたほか、2023年4月の改正では、従業員1,000名以上の企業は男性の育児休業取得率や育児休業・休暇の取得率を年1回公表することと定められました。貴事業所では、以下(1)～(3)の利用（進捗）状況はどのようなか。当てはまる番号をそれぞれ1つに○をつけてください。

※育児休業・法に基づいて取得することのできる休業制度
育児休業…休暇中に育児をする、育児を目的とした休暇の取得

- (1)短時間勤務制度
1. 男女ともによく利用している
 2. 女性は利用しているが、男性は利用していない
 3. 男女ともほとんど利用していない
 4. その他 ()
- (2)子の看護休暇
1. 男女ともによく利用している
 2. 女性は利用しているが、男性は利用していない
 3. 男女ともほとんど利用していない
 4. その他 ()
- (3)育児目的休暇制度
1. 男女ともによく利用している
 2. 女性は利用しているが、男性は利用していない
 3. 男女ともほとんど利用していない
 4. その他 ()

問11 企業では、育児休業から職場復帰する従業員に対し、復帰支援として取り組まれていることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 育児休業中の事業状況や企業情報の提供
2. 職場復帰前の面談や講習などの実施
3. 育児休業からの復帰を受け入れる側の意識づくり
4. 育児休業者のキャリア形成・継続に向けた面談や支援
5. 従業員に対する育児休業制度への理解の促進
6. 職場復帰後における面談や講習などの実施
7. 在宅勤務制度の創設・整備
8. 特になにもしていない
9. その他 ()

問12 育児休業を終えて職場に復帰した従業員の配置について、就業規則などではどのように規定されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 原則として原職に復帰する
2. 本人の希望を考慮し、人事労務管理部署が決定する
3. 企業の人事労務管理規則などにより決定する
4. その他 ()
5. 規定はない

4. 子育て支援についてうかがいます

問13 貴事業所では、子育てと仕事の両立のために職場でどのようなことが取り組まれていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 妊娠中や育児期間中の勤務軽減
2. 産前産後の休暇が十分に取れる制度
3. 育児休業期間にある程度給与保障がされる制度
4. 育児休業期間が1年を超えて取れる制度
5. 子どもが病気やけがが初時などに安心して看護のための休暇が取れる制度
6. 男性も育児休業制度が利用できるなど、子育てに男性も参加できる環境づくり
7. 女性の育児休業制度
8. テレワークなどの在宅勤務制度
9. 勤務地の規定など、従業員が母体のライフプランを見通しやすい制度
10. DX・ICTの導入を積極的に推進するなど、早帰りを副行する環境づくり
11. ノー残業デーの設置
12. 子育てと仕事を両立している従業員などと交流できる機会の提供
13. その他 ()

問 14 貴事業所では、ここ5年間において育児休業や育児休業取得する人は増えていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 増えてきている] 問14-1へ
2. 少し増えている	
3. あまり変わらない	
4. 取得する人はほとんどいない	
5. 取得を原則として認めていない	

問 14-1 問 14 で「3. あまり変わらない」「4. 取得する人はほとんどいない」に○をつけた方
うかがいます。
取得する人が増えていないと理由があればご記入ください。

--

問 15 男性が育児休業や育児休業取得することについて、貴事業所ではどのようなようにお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 男性も積極的に取得すべき) 問14-1へ
2. 男性は、できるだけ取得しないほしい	
3. 原則として男性の取得は認めない	
4. その他 ()	

問 16 従業員の子育て支援について、貴事業所ではどのようなようにお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 企業の社会的責任として) 問14-1へ
2. 従業員の福利厚生として	
3. 有能な人材を確保するため	
4. 企業のイメージアップのため	
5. 企業が従業員の子育てを支援する必要はない	
6. その他 ()	

問 17 貴事業所では、育児・介護休業制度を定章させるために特に必要だと思われることは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 休業中の代替要員の確保) 問14-1へ
2. 制度を利用しやすい雰囲気づくり	
3. 休業中の資金補償	
4. 復職時の受け入れ体制	
5. 代替要員の教育訓練コストへの支援	
6. 利用者・非利用者間の不公平感の是正	
7. 休業者の能力低下に対する訓練コストへの支援	
8. その他 ()	

問 18 企業が子育て支援を進めるとあって、何が問題になると思いますが、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 経営環境が厳しく、社員の子育ても支援する余裕がない) 問14-1へ
2. 従業員が何を求めているのかわからない	
3. 子どもがいる社員を感遇することに反響がある	
4. 従業員数が少ないので、支援メニューがそろえられない	
5. その他 ()	

5. ワーク・ライフ・バランスの推進についてうかがいます

問 19 従業員の働き方の見直しについて、企業ではどんなことを実施していますか。それぞれの項目について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

項目	現在実施中	今後実施を検討	未実施
1. ノー残業デーやノー残業ウィークの導入・拡充	1	2	3
2. フレックスタイム制や変形労働時間制の活用	1	2	3
3. 年次有給休暇の取得促進	1	2	3
4. 短時間労働勤務や幅口勤務の導入	1	2	3
5. 在宅勤務制度の導入	1	2	3
6. 労働協会の意見を是正するための取り組み	1	2	3
7. ワーク・ライフ・バランス研修制度	1	2	3
8. その他 ()	1	2	3

問 20 ワーク・ライフ・バランスの推進について、企業における取り組みをどのように思いますが。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 必要であり、企業としても推進している] 問20-1へ
2. どちらかというと必要であり、今後実施も含め検討される予定	
3. 必要と思うが、現実的に難しい	
4. 個人の問題であり、あまり必要とは思わない	
5. 必要性を感じない	
6. その他 ()	

問 20-1 問 20 で「1.」～「3.」に○をつけた方がいます。
ワーク・ライフ・バランスの推進が必要と考えられる理由は何ですか。当てはまる番号2つまで○をつけてください。

1. 優秀な人材の確保) 問20-1へ
2. 従業員の離職率の低下や有能な人員の維持	
3. 健康や病気が原因などによる人件費、募集コストなど経費削減	
4. 企業イメージの改善や企業PR	
5. 従業員のモチベーションの向上・維持	
6. 作業効率の改善	
7. その他 ()	

岡崎市の子ども・子育てに関するアンケート調査報告書

編集・発行 岡崎市こども部こども育成課
住所 〒444-8601
岡崎市十王町二丁目9番地
TEL 0564-23-6798
FAX 0564-23-6833
発行年月 令和6年3月
